

Cloud Virtual Machine

操作ガイド

製品ドキュメント





Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice

🔗 Tencent Cloud

All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ:

- 操作ガイド
 - 操作ガイド一覧
 - ご利用制限一覧
 - 便利な機能
 - コンソールのページビューの切り替え
 - インスタンス
 - インスタンスを作成
 - インスタンス作成ガイドライン
 - CVM購入ページからのインスタンスの作成
 - カスタムイメージによるインスタンスの作成
 - 同じ構成のインスタンスの購入
 - インスタンスを作成するためのAPI Explorerのベストプラクティススクリプトの生成
 - モデル比較の有効化
 - インスタンス起動テンプレートの管理
 - 一括連続命名または指定文字列パターン命名
 - Linuxインスタンスにログインする
 - 標準ログイン方式を使用してLinuxインスタンスにログインする(推奨)
 - リモートログインソフトウェアを使用してLinuxインスタンスにログイン
 - SSHを使用してLinuxインスタンスにログインする
 - VNCを使用してLinuxインスタンスにログインする
 - モバイルデバイスを使用してLinuxインスタンスにログインする

Windowsインスタンスにログインする

- 標準方式を使用してWindowsインスタンスにログイン(推奨)
- RDPファイルを使用してWindowsインスタンスにログインする
- リモートデスクトップ接続を使用してWindowsインスタンスにログインする
- VNCを使用してWindowsインスタンスにログインする
- モバイルデバイスからWindowsインスタンスにログインする

設定を調整する

- インスタンス構成の変更
- ネットワーク構成の変更
- プロジェクト設定の調整
- インスタンス構成変更の提案

情報の確認

- インスタンス情報の確認
- インスタンスメタデータのクエリ

- インスタンスの名前変更
- インスタンスのパスワードのリセット方法
- インスタンス IP アドレスを管理する
 - プライベートIPアドレスの取得とDNSの設定
 - プライベートIPアドレスの変更
 - パブリックIPアドレスの取得
 - パブリックIPアドレスの変更

パブリックIPアドレスを取り戻す

- セキュリティグループの変更
- 従量課金インスタンスの年額・月額課金への変換
- インスタンスの検索
- インスタンスリストのエクスポート
- インスタンスの起動
- インスタンスのシャットダウン
- インスタンスの再起動
- インスタンスの休止
- システムをリインストールする
- TATを使用してコマンドを実行し
- インスタンスの破棄/返却
 - インスタンスの廃棄/返却の概要
 - コンソールを使用したインスタンスの破棄/返却
- インスタンスの削除保護の有効化
- インスタンスを回収する又はインスタンスの復元
- スポットインスタンスの管理
- スポットインスタンスの回収状態を確認する
- 停止済み従量課金インスタンスの非課金化
- インスタンスロールの管理
- リザーブドインスタンス
 - リザーブドインスタンスの分割
 - リザーブドインスタンスのマージ
- イメージ
 - カスタムイメージの作成
 - カスタムイメージの共有
 - カスタマイズイメージの共有を取り消す
 - カスタムイメージの削除
 - イメージのコピー
 - イメージのインポート
 - イメージのインポートの概要

イメージの強制インポート

イメージのエクスポート

CentOS Linux関連操作

CentOSの移行 TencentOS Serverガイド

- サービス移行
 - オンライン移行

オンライン移行の概要

移行ガイド

オンライン移行ガイド

- オンライン移行:クライアントからの移行元のインポート
- オンライン移行:コンソールでのワンクリック移行
- マイグレーションツールの説明
 - 互換性とツール設定の説明
 - 移行時間予測チュートリアル
 - 課金説明
- オフライン移行

お問い合わせ

メンテナンスタスク

- メンテナンスタスクの概要
- メンテナンスタスクタイプと対処ポリシー
- メンテナンスタスクの確認
- メンテナンスポリシーの承認とメンテナンスの時間枠の指定
- プリセット承認ポリシーの設定

メンテナンスタスクアラート通知の設定

Cloud Block Storage

CBSスケールアウト

ディスクメディアの調整

CBSのパフォーマンスの調整

ネットワーク

VPCサービス切替

一般的なパブリックIPアドレス

EIP

ENI

パブリックネットワークゲートウェイの構成

EIP直通

セキュリティ

セキュリティグループ

セキュリティグループの概要

セキュリティグループの作成 セキュリティグループルールの追加 インスタンスをセキュリティグループに関連付ける セキュリティグループ セキュリティグループのコピー セキュリティグループの優先順位の調整 セキュリティグループルールの管理 セキュリティグループルールの表示 セキュリティグループルールの変更 セキュリティグループルールの削除 セキュリティグループルールのエクスポート セキュリティグループの応用例 サーバーの通常ポート 機密性の高い操作に対する保護機能を強化 ログインパスワードの管理 SSHキーの管理 スプレッドプレイスメントグループ

- 25番ポートのブロック解除
- タグ
 - タグを使用したインスタンスの管理
 - タグ編集
- 監視とアラーム
 - インスタンスの監視データを取得する

アラームの作成

Cloud Access Managementの例

操作ガイド 操作ガイド一覧

最終更新日:::2023-02-24 18:21:47

このドキュメントでは、CVMインスタンスおよびインスタンスに関連する操作について説明します。

CVMの購入と使用

CVMインスタンスを初めて購入して使用する場合は、以下の手順に従って開始することをお勧めします。

1. CVMインスタンスの概念を理解するには: CVMの概要 をご参照ください。

2. 適切なCVMモデルを選択して購入します。CVMインスタンスを個人ユーザーとして初めて使用する場合は、 Linuxインスタンスの構成 をご参照ください。

3. 購入したCVMインスタンスにログインします。購入したインスタンスの種類に応じて、Windowsインスタンス へのログイン または Linuxインスタンスへのログイン を選択することが可能です。

CVM設定の調整

CVMを購入した後、ニーズの変化によりCVMのディスクタイプやネットワークなどの設定を調整する可能性があります。その場合は、下記のドキュメントを参考にし操作を完了することができます。

インスタンス設定の調整 ネットワーク設定の調整 プロジェクト設定の調整 システムの再インストール

パスワードとキーのリセット

CVMのパスワードを忘れた場合、またはキーを紛失した場合は、次のドキュメントを参照して、パスワードまた はキーをリセットしてください。 インスタンスパスワードのリセット SSHキーの作成

インスタンスの更新と課金方法

インスタンスの更新

カスタムイメージの作成、インポートまたは削除

イメージ はCVMインスタンスを起動するためにすべての必要な情報を提供します。現在、Tencent Cloudは「パブ リックイメージ」、「カスタムイメージ」、および「共有イメージ」という3種類のイメージを提供します。以下 ではイメージがサポートされている操作について説明します。

カスタムイメージの作成 カスタムイメージの削除 イメージのインポート

イメージのコピー

トラブルシューティング

CVMインスタンスにログインできない場合、または応答が遅いなどの問題が発生している場合は、下記のドキュ メントを参照してトラブルシューティングを行うことができます。 CVMインスタンスにログインできない問題の解決策 CVMネットワーク遅延とパケット損失

ご利用制限一覧

最終更新日:::2024-05-16 10:56:30

CVM インスタンスの購入に関するアカウント制限

ユーザーはTencent Cloudアカウントの登録を行う必要があります。登録ガイドについては、Tencent Cloudアカウントの登録 をご参照ください。

従量課金のCVMが作成されると、システムは1時間分のCVM使用料をデポジットとしてアカウント残高に凍結され、請求書の支払いを行うための十分な資金がアカウントにあることを確認する必要があります。

CVMインスタンスの使用制限

仮想化ソフトウェアのインストールと再仮想化は、現時点ではサポートされていません(VMwareやHyper-Vのインストールなど)。

サウンドカードを使用したり、外部ハードウェアデバイス(USBフラッシュドライブ、外付けディスク、 USB トークンなど)をマウントしたりすることはできません。

パブリックゲートウェイは現在、Linuxシステムのみをサポートしています。

CVMインスタンスの購入制限

各ユーザーが各アベイラビリティーゾーンで購入可能な従量課金制のCVMインスタンスの総数は30台~60台で す。購入可能数は、CVM購入ページにアクセスして確認してください。 詳細については、CVMインスタンスの購入制限 をご参照ください。

イメージの使用に関する制限

パブリックイメージ:使用制限なし。 カスタムイメージ:リージョンごとに最大500のカスタムイメージがサポートされます。 共有イメージ:各カスタムイメージは、最大500人のTencent Cloudユーザーと共有することができます。カスタ ムイメージは、ソースアカウントと同じリージョンのアカウントとのみ共有できます。 詳細については、イメージの種類 をご参照ください。

ENI 制限

STencent Cloud

CPUとメモリの構成に基づいて、CVMインスタンスにアタッチできるENIの最大数は、ENIにアタッチできるプラ イベートIPの最大数とは異なります。ENIと単一のENI IPのクォータ数は以下のとおりです:

ご注意:

1つのENI にアタッチする IP の数は、ENIにアタッチできるIPの数の上限を表すのみで、上限に応じてEIPクォー タを提供することをお約束するものではありません。アカウントのEIPクォータは、EIP使用制限 に従って提供さ れます。

CVMインスタンスにアタッチできるENIの数

CVM ∕	ンス	タンス	い単一	→のFNIにア	タッ	チでき	3-	プラ	イベー	Ь	IP	の教	4
	~ ~	/ / /	VV+		~ /	100	· V ,	/ /	1.1	1	11 \	1) 4	へ

	インス	ENIクォー	ENIクォータ									
モデル	インス タンス タイプ	CPU: 1コア	CPU: 2コア	CPU: 4コア	CPU: 6コア	CPU: 8コア	CPU: 10コア	CPU: 12コア	CPU: 14コア			
標準型	標準型 S5	2	4	4	-	6	-	-	-			
	標準ス トレー ジ拡張 型 S5se	-	-	4	-	6	-	-	-			
	標準型 SA2	2	4	4	-	6	-	-	-			
	標準型 S4	2	4	4	-	6	-	-	-			
	標準 ネット ワーク 最適化 型 SN3ne	2	4	4	_	6	_	8	-			
	標準型 S3	2	4	4	-	6	-	8	-			
	標準型 SA1	2	2	4	-	6	-	-	-			
	標準型 S2	2	4	4	-	6	-	8	-			
	標準型	2	4	4	-	6	-	8	-			

🔗 Tencent Cloud

	S1								
High	High IO 型IT5	-	-	-	-	-	-	-	-
IO型	High IO 型IT3	-	-	-	-	-	-	-	-
	メモリ 型M5	2	4	4	-	6	-	8	-
	メモリ 型 M4	2	4	4	-	6	-	8	-
メモリ 型	メモリ 型M3	2	4	4	-	6	-	8	-
	メモリ 型 M2	2	4	4	-	6	-	8	-
	メモリ 型M1	2	4	4	-	6	-	8	-
コ ピュー テ 型	コン ピュー ティン グ型C4	-	-	4	-	6	_	-	-
	コン ピュー ティン グネッ ト ク 拡張 型CN3	_	_	4	-	6	_	_	-
	コン ピュー ティン グ型 C3	-	-	4	-	6	-	-	-
	コン ピュー ティン グ型 C2	-	-	4	-	6	-	-	-
GPU モデル	GPUコ ン	-	-	-	-	-	-	-	-

🔗 Tencent Cloud

	ピュー ティン グ型 GN6								
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN6S	_	-	4	-	6	-	-	-
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN7	_	-	4	-	6	-	-	-
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN8	-	-	-	4	-	-	-	8
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN10X	_	-	_	-	6	-	-	-
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN10Xp	_	-	_	-	-	6	-	-
FPGA モデル	FPGAア クセラ レー ション 型FX4	-	-	-	-	-	6	-	-
ビッグ	ビッグ	-	-	-	-	6	-	-	-

データ 型	データ 型D3								
	ビッグ データ 型D2	-	-	-	-	6	-	-	-
	ビッグ データ 型D1	-	-	-	-	6	-	-	-
ベアメタ	ル型CVM	ENIをアタッチすることはできません							

	インス	単一ネッ	トワークカ	ードにプラィ	イベートネッ	∧トワークIF) クォータを	バインドし	ます
モデル	インス タンス タイプ	CPU: 1コア	CPU: 2コア	CPU: 4コア	CPU: 6コア	CPU: 8コア	CPU: 10コア	CPU: 12コア	CPU: 14コア
標準型	標準型 S5	6	10	10	-	20	-	-	-
	標準ス トレー ジ拡張 型 S5se	-	-	20	-	20	-	-	-
	標準型 SA2	6	10	10	-	20	-	-	-
	標準型 S4	6	10	10	-	20	-	-	-
	標準 ネット ワーク 最適化 型 SN3ne	6	10	10	-	20	-	30	-
	標準型 S3	6	10	10	-	20	-	30	-
	標準型 SA1	メモリ =1G:	10	メモリ =8G:	-	20	-	-	-

🔗 Tencent Cloud

		2メモ リ >1G: 6		10メモ リ =16G: 20					
	標準型 S2	6	10	10	-	20	-	30	-
	標準型 S1	6	10	10	-	20	-	30	-
High	High IO 型IT5	-	-	-	-	-	-	-	-
IO型	High IO 型IT3	-	-	-	-	-	-	-	-
	メモリ 型M5	6	10	10	-	20	-	30	-
	メモリ 型M4	6	10	10	-	20	-	30	-
メモリ 型	メモリ 型M3	6	10	10	-	20	-	30	-
	メモリ 型M2	6	10	10	-	20	-	30	-
	メモリ 型M1	6	10	10	-	20	-	30	-
コン ピュー ティン グ型	コン ピュー ティン グ型C4	-	-	10	-	20	-	-	-
	コン ピュー ティン グネッ トワー ク拡張 型CN3	_	_	10	_	20	-	-	_
	コン ピュー	-	-	10	-	20	-	-	-

	ティン グ型 C3								
	コン ピュー ティン グ型 C2	-	-	10	-	20	-	-	-
GPU モデル	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN2	-	-	-	-	-	-	-	-
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN6	-	-	-	-	-	-	-	-
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN6S	-	-	10	-	20	-	-	-
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN7	_	-	10	-	20	-	-	-
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN8	-	-	-	10	-	-	-	30
	GPUコ ン ピュー ティン	-	-	-	-	20	-	-	-

	グ型 GN10X								
	GPUコ ン ピュー ティン グ型 GN10Xp	-	-	-	_	_	20	_	-
FPGA モデル	FPGAア クセラ レー ション 型FX4	-	-	-	-	-	20	-	-
	ビッグ データ 型D3	-	-	-	-	20	-	-	-
ビッグ データ 型	ビッグ データ 型D2	-	-	-	-	20	-	-	-
	ビッグ データ 型D1	-	-	-	-	20	_	_	-
ベアメタ	ル型CVM	ENIをア	タッチするこ	ことはできま	せん				

带域幅制限

アウトバウンド帯域幅の上限 (ダウンストリーム帯域幅): 次のルールは、2020年2月24日00:00以降に作成されたインスタンスに適用されます。

ネットワーク課金モデル	インスタンス	- 帯域幅設定範囲(Mbps)		
ホットリーク 林亚 し ノル	インスタンス課金モデル インスタンスの設定			
トラフィック課金	従量課金インスタンス	ALL	0 - 100	
带域幅課金	従量課金インスタンス	ALL	0 - 100	

共有带域幅	ALL	0 - 2000

次のルールは、2020年2月24日00:00より前に作成されたインスタンスに適用されます。

ネットワーク課金モデル	インスタンス	インスタンス				
イットリーク i 林 並 て ノ ル	インスタンス課金モデル	インスタンスの設定	市政幅改化地西(Mups)			
トラフィック課金	従量課金インスタンス	ALL	0 - 100			
带域幅課金	従量課金インスタンス	ALL	0 - 100			
共有带域幅	ALL	0 - 2000				

インバウンド帯域幅の上限(アップストリーム帯域幅):

ユーザーが購入した固定帯域幅が10Mbpsを超える場合、Tencent Cloudは購入した帯域幅に等しいパブリックネットワークインバウンド帯域幅を割り当てます。

ユーザーが購入した固定帯域幅が10Mbps未満の場合、Tencent Cloudは10Mbpsのパブリックネットワークインバウンド帯域幅を割り当てます。

ディスクに関する制限

制限タイプ	制限の説明
エラス ティックク ラウドディ スク機能	2018年5月以降、CVMインスタンスと一緒に購入したデータディスクはすべてエラスティッ ククラウドディスクとなり、CVMからのアンインストールと再マウントに対応します。こ の機能は、すべての アベイラビリティーゾーン でサポートされています。
クラウド ディスクの パフォーマ ンス制限	I/O 仕様は、入力と出力の両方のパフォーマンスに同時に適用されます。 例えば、1TB SSDの最大ランダムIOPSが26,000の場合、読み取りと書き込みの両方のパ フォーマンスがこの値に達する可能性があることを意味します。同時に、複数のパフォーマ ンス制限により、この例では使用するブロックサイズが4KBまたは8KBの場合、IOPSは最 大26,000 IOPSに達する可能性があります。ブロックサイズが16KBの場合、I/Oは最大IOPS 値に達することはできません (スループットは既に260MB/秒の制限に達しています)。
単一CVMイ ンスタンス にアタッチ できるエラ スティック クラウド	最大20個。

Cloud	Virtual	Machine
-------	---------	---------

ディスクの 数	
1つのリー ジョンにお けるスナッ プショット のクォータ	64 + リージョン内のクラウドディスクの数 * 64(個)。
クラウド ディスクを CVMインス タンスにア タッチする ための前提 条件	CVM インスタンスとクラウドディスクは、同じアベイラビリティゾーンにある必要があり ます。
スナップ ショット ロールバッ クの制限	スナップショットデータは、スナップショットが作成されたクラウドディスクにのみロール バックできます。
スナップ ショットを 使用したク ラウドディ スクの作成 - タイプ制限	データディスクのスナップショットのみが新しいエラスティッククラウドディスクの作成に 使用できます。
スナップ ショットを 使用したク ラウドディ スクの作成 - サイズ制限	スナップショットを使用して新しいクラウドディスクを作成する場合は、新しいクラウド ディスクの容量は、スナップショットのソースディスクより大きくする必要があります。

セキュリティグループに関する制限

CVMインスタンスは、同じリージョン内のセキュリティグループにのみ関連付けることができます。

セキュリティグループは、あらゆる ネットワーク環境 におけるCVMインスタンスに適用できます。

各ユーザーは各リージョンの各プロジェクト下に最大で50個のセキュリティグループを設定することができま す。

セキュリティグループには、最大100個のインバウンドまたはアウトバウンドルールを構成することができます。

1つのCVMインスタンスを複数のセキュリティグループに関連付けることができ、1つのセキュリティグループを 複数のCVMインスタンスに関連付けることができます。

クラシックネットワーク上のCVMインスタンスに関連付けられたセキュリティグループは、Tencent Cloudのリ レーショナルデータベース(MySQL、MariaDB、SQL Server、PostgreSQL)、NoSQLデータベース(Redis、 Memcached)から(またはこれら宛て)のデータパケットをフィルタリングできません。このようなインスタン スのトラフィックをフィルタリングする必要がある場合は、iptablesを使用するか、クラウドファイアウォール製 品を購入すると行うことができます。

関連するクォータ制限を下表に示します。

機能説明	制限
セキュリティグループ数	50個/リージョン
セキュリティグループごとのルール数	100件/インバウンド方向、100件/アウトバ ウンド方向
各セキュリティグループに関連付けることができるCVMイン スタンスの数	2000個
各CVMインスタンスに関連付けることができるセキュリティ グループの数	5个
各セキュリティグループが参照できるセキュリティグループ ID数	10个

VPCに関する制限

リソース	制限(個)
各アカウントの各リージョン内のVPC数	20
各VPC内のサブネット数	100
各VPCに関連付けることができるクラシックネットワークタイプのCVMインスタンスの数	100
各VPC内のルーティングテーブル数	10
各サブネットに関連付けることができるルーティングテーブル数	1
各ルーティングテーブルのルーティングポリシー数	50
各VPCのHAVIPデフォルトクォータ数	10

便利な機能

コンソールのページビューの切り替え

最終更新日:::2023-04-11 15:05:41

概要

CVMコンソールのインスタンスリスト画面は、タブとリストビューをサポートしています。この記事を参照して、画面ビューを切り替えることができます。

タブビューには、自動的に検出を開始するインスタンスセルフ検出ツール、インスタンス情報へのすばやいアクセス、高頻度操作用ポータルなどの利点があります。CVMの数が5台以下の場合は、タブビューを使用することをお勧めします。

操作手順

1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで **インスタンス** を選択します。

2. 「インスタンス」画面で、画面右側にある「**タブビューへ切り替え**」をクリックすると、ビューを切り替える ことができます。下図のとおりです。

Create	Start Up	Shutdown	Restart	Reset Password	Terminate/Return	More Actions
Separate keywo	rds with " ", and	separate tags usir	ng the Enter key			
ID/Name	Mo nito ring	Status T	Availabili 🝸	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (i)
Unnamed	ılı	阏 Running	Guangzhou Zone 3	Standard S5 主	و. Network:Default-VPC	ţ1

3. タブビューの切り替えに成功すると、下図のようになります。

タブビューで、インスタンスのヘルスステータス情報、インスタンスの詳細情報をすばやく取得し、インスタン ス管理操作を行うことができます。

Instance ID) 后
Availability Zone	Guangzhou Zone 3
IP	
Instance Billing Mode	Pay-as-you-go Modify billing mode
Bandwidth billing mode	Bill by traffic Modify billing mode
Instance Configuration	Standard S5 - 2C 4G Adjust Model and Specs
Operating System	TencentOS Server 2.6 (Final) Reinstall the System
Creation Time	2022-03-03 12:12:06

説明:

複数のCVMインスタンスがある場合、画面右側にある「**リストビューへ切り替え**」をクリックして、リスト ビューに切り替えることができます。

インスタンス

インスタンスを作成 インスタンス作成ガイドライン

最終更新日:::2023-04-11 17:14:39

このドキュメントでは、基本的な操作から高度なカスタマイズ機能まで、CVMインスタンスを作成する方法について詳しく説明します。

CVM購入ページを介したCVMインスタンスの作成は、最も一般的に使用される方法です。これにより、業務上の ニーズに合わせて柔軟に設定項目を選択できます。詳細については、CVM 購入ページからのインスタンスの作成 をご参照ください。

使い慣れたOS、アプリケーションプログラム、またはその他の構成を使用する場合は、最初にカスタムイメージ を作成し、インスタンスの作成時にそれを選択して効率を高めることができます。詳細については、イメージを使 用してインスタンスの作成 をご参照ください。

現在のインスタンスと同じ構成のインスタンスを購入する場合は、同じ構成のインスタンスを直接作成すること ができます。詳細については、同じ構成のインスタンスの購入 をご参照ください。

CVM購入ページからのインスタンスの作成

最終更新日:::2023-04-21 15:33:22

概要

このドキュメントでは、カスタム設定モードを例として、Tencent Cloud Virtual Machine (CVM) インスタンスを作 成する方法について説明します。

前提条件

CVMインスタンスを作成する前に、次の手順を完了する必要があります。

Tencent Cloudアカウントの登録 を行い。

ネットワークタイプがVPCのCVMインスタンスを作成するには、ターゲットリージョンで VPCの作成 を行い、 VPCのターゲットアベイラビリティーゾーンで サブネットの作成 を行う必要があります。

システムによって自動的に作成されたデフォルトのプロジェクトを使用しない場合は、プロジェクトの作成 を行 う必要があります。

システムによって自動的に作成されたデフォルトのセキュリティグループを使用しない場合は、ターゲットリー ジョンで セキュリティグループの作成 を行い、業務上の必要性を満たすセキュリティグループルールを追加する 必要があります。

Linuxインスタンスの作成時にSSHキーペアをバインドしたい場合は、ターゲットプロジェクト下で SSHキーの作 成 を行う必要があります。

カスタムイメージを使用してCVMインスタンスを作成する場合は、カスタムイメージの作成 または イメージのイ ンポート を行う必要があります。

操作手順

1. Tencent Cloud公式サイト にログインし、**製品>コンピューティングとコンテナー**>Cloud Virtual Machine を選 択して、**今すぐ購入**をクリックしてCVM購入ページに進みます。

カスタマイズ設定:特定のシナリオでの使用に適し、ユーザーが特定のニーズに合わせて簡単にCVMインスタン スを購入するのに役立ちます。

2. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

カテゴ	入力	設定説明
リー	必	
	須/	
	オプ	

	ショ ン	
課金モデ ル	入力 必須	実際のニーズに応じて選択してください。 従量課金:CVMインスタンスの柔軟な料金体系であり、eコマースでの買い占めな ど、デバイスの需要が瞬間的に大きく変動するシナリオに適しています。 スポットインスタンス:CVMインスタンスの提供形態の一つであり、ビッグデータコ ンピューティング、ロードバランシングを使用したオンラインサービス、Webサイト サービスなどのシナリオに適しており、一般的な価格帯は従量課金制インスタンスの 10% ~20%です。 課金モデルの詳細については、課金モデルの説明をご参照ください。
リージョ ン/アベイ ラビリ ティー ゾーン	入力 必須	 リージョン:アクセスレイテンシを最小限に抑え、アクセス速度を向上させるために、エンドユーザーに最も近いリージョンを選択することをお勧めします。 アベイラビリティーゾーン:実際のニーズに応じて選択してください。 複数のCVMを購入する必要のある場合は、異なるアベイラビリティーゾーンを選択することで障害復旧効果を実現することをお勧めします。 リージョンとアベイラビリティーゾーンの選択の詳細については、リージョンとアベイラビリティーゾーンをご参照ください。
インスタ ンス	入力 必須	Tencent Cloudでは、基盤となるハードウェアに基づいて最適化されたさまざまなイン スタンスタイプが用意されています。 インスタンスの詳細については、インスタンス仕様 をご参照ください。
イメージ	入力 必須	Tencent Cloudはパブリックイメージ、カスタムイメージ、共有イメージを提供してい ます。イメージタイプ をご参照のうえイメージを選択してください。
システム ディスク	入力 必須	OSのインストールに使用されます。 容量はデフォルトで50GBです。 リージョンに よって、選択可能なクラウドディスクの種類が異なります。実際の画面の指示に従っ て選択してください。 クラウドディスクの詳細については、「Cloud Disk Types」をご参照ください。
データ ディスク	オプ ショ ン	CVMインスタンスのストレージ容量を拡張し、効率的で信頼性の高いストレージデバ イスを提供するために使用されます。データディスクはデフォルトでは追加されませ ん。 クラウドディスクの詳細については、「Cloud Disk Types」をご参照ください。
定期ス ナップ ショット	オプ ショ ン	システムディスクまたはデータディスクに定期スナップショットポリシーを設定でき ます。定期スナップショットの詳細については、定期スナップショットをご参照くだ さい。
数量	入力 必須	購入が必要なCVMの数を示します。

3. 次へ:ネットワークとホストの設定をクリックして、インスタンス設定ページに入ります。

4. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

カテ ゴ リー	入力 必 須/ プョ ン	設定説明
ネットワク	入力 必須	 Tencent Cloud上に構築された、論理的に隔離されているネットワークスペースを示します。1つのVirtual Private Cloud(VPC)は、少なくとも1つのサブネットで構成されます。システムは各リージョンにデフォルトのVPCとサブネットを提供します。 既存のVPC/サブネットが要件を満たしていない場合は、VPCコンソールでVPCまたはサブネットを作成できます。 注: デフォルトでは、同じVPC内のリソースはプライベートネットワークを介して相互接続されます。 CVMインスタンスを購入するときは、CVMインスタンスとそのサブネットが同じアベイラビリティーゾーンにあることを確認してください。
パブ リッ クIP	オプション	CVMインスタンスがパブリックネットワークにアクセスする必要がある場合は、CVMに パブリックIPを割り当てる必要があります。CVMインスタンスの作成時にパブリックIPを 割り当てるか、またはCVM作成後に EIP を設定できます。 注意: 無料で割り当てられた独立したパブリックIPアドレスはインスタンスからバインド解除で きません。このIPアドレスをバインド解除するには、このパブリックIPをEIPに変換して 再びバインド解除を行ってください。EIPの詳細については、Elastic IP (EIP) をご参照く ださい。 以下の2つのケースについては、現時点では独立したパブリックIPアドレスの割り当ては サポートしておりません。詳細については、実際の購入ページをご参照ください。 IPリソースは売り切れました リソースは一部地域でのみご利用いただけます
帯 幅 金 デル	入力 必須	Tencent Cloudは以下の2つの異なるネットワーク課金モデルが用意されています。実際の ニーズに応じて0Mbpsより大きい値を設定してください。 トラフィック使用量による課金:実際に使用されているトラフィックに基づいて課金され ます。ピーク帯域幅を制限することで、予期せぬトラフィックによって生じる料金を回避 することができ、瞬時帯域幅がこの値を超えるとパケットロスが発生します。この課金モ デルは、ネットワークトラフィックが大きく変動するシナリオに適しています。 共有帯域幅パッケージによる課金:業務中のパブリックネットワークのトラフィックピー クが異なる時間帯に分散しているとき、共有帯域幅パッケージによって帯域幅の集約課金 が実現できます。これは、大規模な業務やパブリックネットワークのさまざまなインスタ ンスがトラフィックピークシフトを形成できるシナリオに適しています。 現在、共有帯 域幅パッケージはベータ版テスト段階です。ご利用を希望される場合は、チケットを提出 してください。 詳細については、パブリックネットワーク課金モデルをご参照ください。

使用できるセキュリティグループがない場合は、セキュリティグループの新規作成を選択 できます。 入力 使用できるセキュリティグループがすでにある場合は、 既存のセキュリティグループを 必須 選択できます。 セキュリティグループの詳細については、 セキュリティグループをご参照ください。 オプ 必要に応じてタグをインスタンスに追加し、クラウドリソースの分類、検索および集約に タグ ショ 使用することができます。詳細については、タグをご参照ください。 \geq ユーザーが定義して、作成する必要があるCVMの名前を示します。 インスタンス名を定義しない場合は、インスタンス作成後のインスタンス名は「名前無 オプ し」になります。 スタ インスタンス名を定義する場合は、このインスタンス名称は128文字以内に制限する必要 ショ ンス ン があります。さらに一括連続命名または文字列パターン命名 することができます。 注:この名前はコンソールにのみ表示されます。CVMインスタンスのホスト名ではありま せん。 ユーザーがCVMにログインするための方法を設定します。実際のニーズに応じて設定して ください。 パスワードの設定:インスタンスのログインパスワードをカスタマイズします。 ログ 入力 キーの関連付け(Linuxインスタンスのみサポート):SSHキーをインスタンスと関連付 イン 必須 けると、SSHキーを介してより安全にCVMにログインできます。 使用できるキーがない 方法 場合、または既存のキーが適切でない場合は、「今すぐ作成」をクリックしてキーを作成 できます。SSHキーの詳細については、SSHキーをご参照ください。 パスワードの自動生成:自動生成されたパスワードはサイト内メールに送信されます。 デフォルトでは無効になっています。必要に応じて有効にすることができます。「インス スタ オプ ンス タンスの終了保護 | 機能を有効化するとコンソールまたはAPI経由でインスタンスを終了 ショ することはできません。詳細については、インスタンスの終了保護の有効化 をご参照く の終 ン 了保 ださい。

ショ できます。詳細については、パブリックネットワーク帯域幅上限 をご参照ください。

必要に応じて、CVMインスタンスのパブリックネットワーク帯域幅上限を設定することが

オプ

ン

帯域

幅の

値

セ

IJ

ティ

グ

ルー

プ

イン

名

イン

護

セ

キュ

	ショ ン	で、CVM監視指標を取得し、それらを監視アイコン形式で表示できるほか、カスタムア ラームしきい値などの設定がサポートされています。さらに、3次元CVMデータ監視、イ ンテリジェントなデータ分析、リアルタイムな障害アラート、およびデータレポートのカ スタマイズ構成などの機能も提供します。これにより、ユーザーは業務とCVMのヘルス状 態を正確に把握できます。
高 な 定	オシン	実際のニーズに応じてインスタンスにより多くの設定を行うことができます。 ホスト名:ユーザーは、CVM OS内のコンピュータ名をカスタマイズできます。CVMイン スタンスが作成されたら、CVMにログインしてホスト名を表示できます。 所属プロジェクト:デフォルトのプロジェクトが選択されています。必要に応じて既存の プロジェクトを選択して、さまざまなCVMインスタンスをを管理するために使用されま す。 CAMロール:ロールを設定した後にロールによってCVMにTencent Cloud内のサービス、 操作およびリソースのアクセス権限を付与します。詳細については、インスタンスロール の管理をご参照のうえ設定してください。 プレイスメントグループ:必要に応じてインスタンスをプレイスメントグループに追加 し、ビジネスの可用性を向上させることができます。詳細については、プレイスメントグ ループをご参照のうえ設定してください。 カスタムデータ:カスタムデータを指定することでインスタンスを設定します。設定され たスクリプトは、インスタンスの起動時に実行されます。一度に複数のCVMインスタンス を購入すると、カスタムデータはすべてのCVMインスタンスで実行されます。Linux OSで はShell形式、Windows OSではPowerShell形式がサポートされており、最大16KBのオリジ ナルデータが保存可能です。詳細については、カスタムデータをご参照ください。 注 :カ スタムデータの設定は、cloud-initサービスを使用する特定のパブリックイメージにのみ適 用されます。詳細については、Cloud-Initをご参照ください。

5. 次へ:設定情報の確認をクリックして、設定情報の確認ページに進みます。

6. 購入したCVM情報と各設定の料金明細を確認します。

7.「『Tencent Cloudサービス利用規約』に同意する」を読んでチェックを入れます。

8. 実際のニーズに応じて、次の操作を実行できます。

起動テンプレートとして保存の選択:このインスタンスの設定を起動テンプレートとして保存します。起動テンプ レートを使用してインスタンスをすばやく作成できます。詳細は、インスタンス起動テンプレートの管理 をご参 照ください。

API Explorerベストプラクティススクリプトの作成を選択:選択した設定に対応するOpenAPIベストプラクティ ススクリプトコードを発行して、同じ設定のCVMを購入する際に使用できるように保存することができます。詳 細については、インスタンスを作成するためのAPI Explorerのベストプラクティススクリプトの生成 をご参照くだ さい。

9. 今すぐ購入またはアクティブ化をクリックし、支払いを完了します。

支払いが完了すると、CVMコンソール にアクセスし、お客様のCVMを確認することができます。

CVMインスタンス名、パブリックIPアドレス、プライベートIPアドレス、ログイン名、初期ログインパスワード などの情報は、サイト内メールの形でアカウントに送信されます。これらの情報を使用してインスタンスへのロ グイン、管理ができます。また、CVMのセキュリティを確保するためにできるだけ早くCVMのログインパスワードを変更してください。

カスタムイメージによるインスタンスの作成

最終更新日:::2023-04-11 18:06:06

概要

カスタムイメージを使用して同じOS、アプリケーション、およびデータを有するCVMインスタンスを簡単に作成 し、業務またはデリバリー効率を向上させることができます。このドキュメントでは、カスタムイメージを使用し てインスタンスを作成する方法について説明します。

前提条件

インスタンスを作成する必要があるアカウントとリージョンにすでにカスタムイメージが作成されている。 まだカスタムイメージを作成されていない場合は、以下の方法を参考にしてください。

イメージにある状態	ソリューション
ローカルコンピュー ターまたはその他の プラットフォーム上 にイメージがある	ローカルコンピューターまたはその他のプラットフォーム上にイメージがあるロー カルコンピュータまたは他のプラットフォームのシステムディスクイメージファイ ルをCVMインスタンスのカスタムイメージにインポートします。詳細については、 イメージのインポートの概要 をご参照ください。
カスタムイメージは ありませんが、テン プレートとして使用 できるインスタンス がある	詳細な操作については、カスタムイメージの作成 をご参照ください。
その他のリージョン にカスタムイメージ がある	インスタンスを作成するターゲットリージョンにカスタムイメージをコピーしま す。詳細については、イメージのコピー をご参照ください。
その他のアカウント にカスタムイメージ がある	インスタンスを作成するアカウントとカスタムイメージを共有します。詳細につい ては、カスタムイメージの共有 をご参照ください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションメニューでイメージをクリックし、イメージ管理ページに進みます。

3. イメージページの上部でリージョンを選択します。
 4. イメージソースに基づいてタブを選択し、イメージリストページに進みます。
 パブリックイメージタブ:パブリックイメージページに進みます。
 カスタムイメージタブ:カスタムイメージページに進みます。
 共有イメージタブ:共有イメージページに進みます。
 5. ターゲットイメージの操作列で、インスタンスの作成をクリックします。

Im	age	Guangzhou	Shanghai	Nanjing	Beijing	Chengdu	Chongqing	Hong Kong, China	Singapore	Bangkok	Mumbai	Seoul	Tokyo	Silicon Valley	Virginia	Toronto
Г	Public I	mages 🤇	ustom Imag	je S	Shared Ima	ge										
	Note: 1 Mic this 2 Ten 3 Ima 4 You	rosoft discontinu image to purcha cent Cloud plans ge service uses C can adjust the p	ed maintena se new CVM to start charg CBS snapshot olicy accordir	nce suppor instances c ging custon for data sto ng to your a	t for the Wi or reinstall (n images ac orage. CBS actual requi	indows Servi CVM instance cording the Snapshot (Ir rements to a	er 2008 R2 ope es. However, th ir snapshot size iternational) wi avoid unnecess	rating system on Janu e use of custom imag : in Q1 2020. You can Il be commercialized c ary costs:	ary 14, 2020. / es, marketplac go to snapshc in Mar. 1, 2019	Accordingly, ' te images, an ot list page ar 9.Please note	Tencent Clou d imported nd image de that you m	ud will off images w tails page ay be cha	icially dea ill not be to check rged for s	activate the publ affected.View D the updated inf mapshot service	ic image for etails ormation or for your cus	Window n associat stom ima
	• v	Vhen a custom ir	nage is create	ed, a related	d snapshot	is created a	utomatically. To	delete this snapshot,	you need the	delete the as	sociated im	age first.	Please ch	eck associated si	napshots in	lmage De
	• F	or shared image	s, only the cre	ator of the	image is cl	narged										
	• 6	mage snapshots	are billed by t	the size of :	snapshots.	You can che	ck the total sna	pshot size in Snapsho	t Overview.							
	Create	Instance	Cross-regior	replication	n In	nport Image	Delete									
		ID/Name					Status	Туре	(Capacity	Oper	ating Sys	tem			
							Normal	Custom Im	age g	50GB	Cent)S 7.6 64ł	pit			

6. ポップアップしたダイアログボックスで、**OK**をクリックします。

7. 画面上の指示に従って、インスタンスを構成および作成します。

リージョンフィールドとイメージフィールドが自動的に入力されます。必要に応じてインスタンスのその他の情報 を設定してください。詳細については CVM購入ページからのインスタンスの作成 をご参照ください。 説明:

選択したカスタムイメージに1個或いは複数個のデータディスクスナップショットが含まれている場合、システム は自動的にこれらのスナップショットを基に同じ数量のクラウドディスクをデータディスクとして作成し、各ク ラウドディスクの容量は対応するスナップショットと同じになります。クラウドディスクの容量を増やすことはで きますが、減らすことはできません。

関連ドキュメント

RunInstances API を呼び出して、カスタムイメージを使用してインスタンスを作成することもできます。 説明:

CVMインスタンス全体のイメージを使用してインスタンスを作成する場合は、まず DescribeImages APIを呼び出 してイメージに関連付けられているスナップショッIDを取得してから、RunInstances APIを呼び出してスナップ ショットIDパラメータを渡します。そうしないと、作成されたクラウドディスクと対応するスナップショットIDが 一致せず、スナップショットデータをロールバックできず、データディスク上にデータがないため、正常にマウン トできません。

同じ構成のインスタンスの購入

最終更新日:::2023-04-13 10:45:05

概要

CVMコンソールが提供する「同じ構成の購入」または「インスタンス起動テンプレート」機能を使用して、CVM インスタンスのすばやい作成、時間の節約、特定シナリオでの水平スケーリング効率の向上を実現できます。

操作手順

同じ構成のインスタンスの作成

CVMコンソール にログインします。
 インスタンス管理画面の上方でリージョンを選択します。
 インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。
 リストビュー
 タブビュー

ターゲットインスタンスを見つけて、下図に示すように、[操作]列でさらに > 同じ構成の購入をクリックします。

Create Start Up	Shutdow	vn Restart	Reset Passwo	More Actions	•			
Separate keywords with " ",	and separate tag	s using the Enter k	ey			Q, View instance	s pending repossession	
- ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance B
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4	GPU Compute GN6S	127	-		Pay-as-you Created at 19:00:29
	di.	🐼 Running	Shanghai Zone 4	GPU Compute GN6S		200		Pay-as-you Created at 19:00:28
Total items: 2								

ターゲットインスタンスのページで、下図に示すように、画面の右上隅にあるその他の操作 > 同じ構成の購入を クリックします。

(he initial	login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if you f	orgot it.	Log Ir
Instance ID		Instance Configuration	11 mar 10 million
Availability Zone	Shanghai Zone 4	Operating System	
IP	-	Creation Time	2021-01-08 19:00:29
Instance Billing Mode	Pay-as-you-go Modify billing mode		
Bandwidth billing mode	Bill by traffic Modify billing mode		

4. CVMの購入数量を設定し、自動選択したその他の構成を確認します。

実際のニーズに応じて、購入するCVMのパラメータ設定を調整することもできます。

5. 「『Tencent Cloudサービス利用規約』と『返金ルール』に同意する」、または「『Tencent Cloudサービス利用 規約』に同意する」を読んでチェックを入れます。

6. 今すぐ購入またはアクティブ化をクリックし、支払いを完了します。

インスタンス起動テンプレートを使用したインスタンスの作成

既存のインスタンス起動テンプレートを使用して、インスタンスをすばやく作成できます。詳細については、イン スタンス起動テンプレートを使用したインスタンスの作成 をご参照ください。

インスタンスを作成するためのAPI Explorer のベストプラクティススクリプトの生成

最終更新日:::2023-04-11 18:17:50

概要

Tencent Cloudは、CVM購入ページで選択した構成に対応するインスタンスを作成するための OpenAPIベストプラ クティスのスクリプトコードの生成をサポートしています。コードを保存して、同じ構成のCVMインスタンスを 購入できます。

前提条件

Tencent Cloud公式ウェブサイトにログインし、CVMインスタンスのカスタム設定購入ページ に入ります。 必要に応じてCVMインスタンスの設定を選択し、設定情報の確認ページに入ります。パラメータの設定方法につ いては、CVM購入ページからのインスタンスの作成 をご参照ください。

操作手順

1. 設定情報の確認ページで、API Explorerのベストプラクティススクリプトの生成をクリックします。次の図に示 すように:

1.Select Model	2.Complete Configuration	3.Confirm Configuration
Please make sure port 22 an You have not set the CVM pa	d the ICMP protocol are allowed in the current sec issword. An auto-generated password will be sent	surity group. Otherwise, you will not be able to remotely log in to or ping to your internal message. You can reset your password on CVM conso
✓ Region and mode	Guangzhou Zone 4; S5.SMALL2 (Standard S5	,1-core 2 GB)
✓ Image Public image	; CentOS 8.0 64bit	
✓ Storage and Bane	dwidth 50 GB system disk; By Traffic: 1Mbps	
 Security Groups 		
✓ Set Information ↓	ogin by password (random)	
 Advanced Setting 	s	
elected Model S5.SMALL2	(Standard S5, 1-core, 2 GB) Config	uration Fee (IDD) JSD/hr (<u>Billing Details</u>)
Amount1	+ Netwo	rk Fee

2. 「API Explorerのベストプラクティススクリプトの生成」ダイアログボックスには、次の情報が表示されます。 次の図に示すように:



APIワークフロー:選択した設定に基づいて、 RunInstances インターフェースの説明と実際のパラメータを提供 します。そのうち、 * でマークされたパラメータは、インターフェースの必須パラメーターです。データに カーソルを合わせると、完全に表示されます。

APIスクリプト:JavaおよびPythonプログラミング言語でコードを生成します。 必要に応じて[Java]または [Python]タブを選択し、右上隅にある**Copy Script**をクリックしてスクリプトコードを取得します。保存したコー ドを使用して、同じ設定のCVMインスタンスを購入できます。

説明:

セキュリティ上の理由から、インスタンスのパスワードはページまたはスクリプトコードに表示されません。パ スワードはご自身で変更してください。

API Explorerプラクティススクリプトは、有効期限の一括設定をサポートしていません。インスタンスの作成後に 個別に設定できます。
モデル比較の有効化

最終更新日:::2024-07-09 15:00:58

操作シーン

CVM を購入する際には、モデル比較ツールを有効にし、複数のモデルの構成パラメータ、性能指標、価格などを 水平比較することができます。その同時に、選択したモデルの構成に応じて、最適なモデルをインテリジェント的 に推薦し、適切な CVM を効率的に購入するお手伝いをします。

操作手順

- 1. Tencent Cloud の公式サイトにログインし、CVM の カスタム構成購入ページに入ります。
- 2. モデル比較機能を有効にし、下図に示すように、モデルの仕様を追加します。

Instance config	urations								
Instance	Filter	All CPU cores	~ All MEMs	✓ Fuzzy search	n specification name	, such as S5.SN 🙁 Q	Hide sold out specifications	Reset	
	Architecture	X86 computing	Heterogeneous Computing						
	Instance family	Standard	MEM-optimized	Compute	High IO	Preferential			
	Model	All models	Recommend Standard SA5	Standard S8	Standard SA4	Standard S6	Standard S5 Show a	all ~	
	Selected model	Selected model: S5.	MEDIUM2 (Standard S5, 2C20) Seoul Zone 1 is	automatically selected	I.To increase the quota, plea	ase apply in the console 🛛 . 🕜 Pricing	of random AZ	
	VS Comparison Enable	d							Model recomme
	Add Insta	nce 🛈	Specifications	vCPU 🕦 🗘	MEM \$	CPU Clock Spee	Processor	Private net 🔶	Reference fee
	- Stand	lard S5 (23% off) uate Inventory)	S5.MEDIUM2	2Core	2GB	2.5GHz/3.1GHz	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5Gbps	
	- Stand	lard S5 (23% off) uate Inventory)	S5.MEDIUM4	2Core	4GB	2.5GHz/3.1GHz	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5Gbps	
	+ Stand	lard S5 (23% off) uate Inventory)	S5.MEDIUM8	2Core	8GB	2.5GHz/3.1GHz	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5Gbps	
	+ Stand Low 1 View n	lard S5 (23% off) nventory nore	S5.LARGE4	4Core	4GB	2.5GHz/3.1GHz	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5Gbps	
	+ Stand	lard S5 (23% off)	S5.LARGE8	4Core	8GB	2.5GHz/3.1GHz	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5Gbps	

3. 比較開始をクリックすると、下図に示すように、モデル比較ページがポップアップ表示されます。



			The optimised in the second seco	
Model Comparison Settings Highlight Differences Hide Identical Items	SS.MEDILMA2 × Bandard 55 2 cores 2 08 Charge Purchase	2 SA5.MEDUIM4 × Bandard 3A6 (2 cores 4 08) Change Purchase	3 SA5.4XLANGE32 × Standard SA5 19 cores 32 08 Change Purchase	Recommend Recommendations based on 1 selected model + SA5.MEDRUM2
Basic Information				Standard SA5 2 cores 2 G
Availability Zone	Seoul Zone 1	Seoul Zone 1	Seoul Zone 1	
Architecture	X86 computing	X86 computing	X86 computing	+
Instance Family	Standard S5	Standard 8A5	Standard SA5	S8.MEDIUM2
Instance Specifications	S5.MEDIUM2	SA5.MEDIUM4	SA5.40LARGE32	Standard 3612 cores 2 de
vepu	2 cores	2 cores	16 cores	
MEM	268	4GB	3238	
Compute				1
Processor	Intel Xeon Cascade Lake 8255C/Intel Xeon Cooper Lake	AMD EPYC Bergamo	AMD EPYC Bergamo	
CPU Clock Speed/Turbo Boost	2.5GHz/3.1GHz	-/3.10142	-/3.10102	
GPU	-	-	-	
GPU memory				
Whether to support specifying the number of threads bound with CPU	Supported	Supported	Supported	•
Network				
Private Network Broadband	1.5Gbps	1.5Gtps	50kps	
Packets in/out	300k PPS	250k PPS	1400k PPS	
Whether to support IPv6	Supported	Supported	Supported	
Image Public image	OpenGloudOS, TencentOS, CentOS, Windows, Ubuntu, Debian, CentOS Stream, Red	OpenCloudOS, TencentOS, CentOS, Windows, Utruntu, Debian, CentOS Stream, Red	OpenCloudOS, TencentOS, CentOS, Windows, Ubuntu, Debian, CentOS Stream, Red	
Data Storage	так, Аннашкая, Следья, ореглялы, тоску шкая, гтерлал, геола	THE, PERSONAL CONTRACT OPENALOUS, PERSONAL PERSON, PERSONAL PERSONAL	THE, PRINCIPAL CONTROL OPERATOR, PRINCIPAL PRINCIPALITY, PERSON	
Supported system disk	Delayed COD. Februard dated COD. Devolves developed total COD.	Referred PDD Enterned short DDD	Enhanced alors (PDD) Parlament (PDD)	
types	EXERCISE USES, EXERCISE COMPLEXES, PTORNET COMPLEXES, COMPLEXES	Examinion over, Elimentora conta solo	LINERGOV COMPLEXIV, DEBUTION COMP	
Supported data disk types	Enhanced cloud SSD, Balanced SSD, Premium cloud disk, Cloud SSD	Enhanced cloud SSD, Balanced SSD	Enhanced cloud SSD, Balanced SSD	
Whether to support NVME disk	Not supported	Not supported	Not supported	
Number of data disks that can be mounted	20	20	20	
Data Backup	Supported	Supported	Supported	
More Information				
Other Availability Zones in the Current Region	Secul Zone 2		-	
Other Regions/Availability Zones	Guargino Zone 3, Guargino Zone 4, Guargino Zone 6, Guargino Zone 7 Brungtal See 3, Guargina Zone 4, Guargina Zone 6, Guargina Zone 7, Strungtal Zone 7, Yang Beng Technology C22 Bunglia Zone 1 Brungta See 3, Guargina Zone 4, Guargina Zone 6, Yang Beng Technology C22 Bunglia Zone 1 Brungta See 3, Bungta Zone 3, Bungta Zone 6, Strungta Zone 6, Yang Zone 3 Brungta See 3, Bungta Zone 4, Bungta Zone 6, Bungta Zone 7 Brungta Beijing Zone 1, Bungta Zone 6, Bungta Zone 7 Brungta Beijing Zone 1, Bungta Zone 6, Bungta Zone 7 Brungta Beijing Zone 1, Bungta Zone 6, Bungta Zone 7 Brungta Beijing Zone 1, Bungta Zone 7, Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Brungta Beijing Zone 1, Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Bungta Beijing Zone 1, Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Bungta Beijing Zone 7, Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Bungta Beijing Zone 7, Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Bungta Cone 1, Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Bungta Cone 1, Bungta Zone 7 Bungta Cone 1, Bungta Zone 7 Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Bungta Zone 7, Bungta Zone 7 Bungta Zone 7, Bungta Zone 7	Cuangshou Guangshou Zone 6, Guangshou Zone 7 Shungha Shungha Zone 5, Shungha Zone 8 Namijan Zone 5, Shungha Zone 8 Shungha Zone 7, Jang Zone 3 Hong Kong Zone 2, Hong Kong Zone 3 Shungha Zone 8, Shungha Zone 7, Shungha Zone 8 Brington Brington Singspece Zone 3, Singspece Zone 4, Singspece Zone 3, Singspece Zone 4, Singspece Zone 3, Singspece Zone 4, Singspece Zone 3, Singspece Zone 3, Singspece Zone 4, Singspece Zone 3, Singspece Zone 4, Sin	Osarogitou Guangheu Zone 6, Osarogitou Zone 7 Dinorylui Bionghui Zone 5, Dinorgiui Zone 8 Norgitog Zone 5, Narjing Zone 3, Narjing Zone 3, Narjing Zone 7, Hong Kong 200 3, 200 Bionghui Biologico Zone 6, Bioling Zone 7 Bionghui Biologico Zone 6, Dining Zone 7 Biogeone Zone 6, Dining Zone 7 Biogeone Zone 2, Engenore Zone 3 Jalauri Jalauri Zone 7, I roadurt Zone 2 Transfort Tone 2 Tistyo Tang Zone 3 Virgina Vegetia Zone 1, Wingleia Zone 2	

複数のモデルを追加し、すべてのパラメータを水平比較することができます。

同じ項目を非表示にし、異なる項目を強調することができます。

選択したモデルに応じて最適なモデルをインテリジェント的に推薦します。

ローカルでのアーカイブと共有のために、共有比較結果をエクスポートすることができます。

4. 購入をクリックします。CVM の購入ページに入り、情報を設定します。

インスタンス起動テンプレートの管理

最終更新日:::2024-03-14 14:41:10

操作ケース

インスタンス起動テンプレートには、Cloud Virtual Machine(CVM) インスタンス作成に必要なコンフィギュ レーション情報(インスタンスパスワードを除く)が保存されており、指定したインスタンス起動テンプレート を使用してインスタンスを素早く作成し、効率性と操作性を向上させることができます。この文書では、迅速なイ ンスタンス作成のために、CVM コンソールからインスタンス起動テンプレートを作成、管理、使用する方法につ いて説明します。

使用説明

インスタンス起動テンプレートの作成に成功した後に、コンフィギュレーションを変更することができません。 インスタンス起動テンプレートは、1つ以上のバージョンを作成し、各バージョンに異なるコンフィギュレーショ ン情報を設定することができます。インスタンス起動テンプレートを使用してインスタンスを作成する時に使用さ れるデフォルトのバージョンを指定することができます。

操作手順

インスタンステンプレートの作成と表示

1. Cloud Virtual Machine コンソール にログインし、左側のナビゲーションばーでインスタンス起動テンプレート を選択します。

2. インスタンス起動テンプレートページで、テンプレート新規作成をクリックします。

3. インスタンス起動テンプレートの新規作成ページに入り、テンプレート名及びテンプレート説明をカスタマイ ズして入力することができます。その他のコンフィギュレーションは購入ページからインスタンスを作成するを 参照して設定してください。

4. コンフィギュレーション情報の確認のステップで、『Tencent Cloud サービス契約』 と 『購入に関する注意事 項』を読み、同意するチェックボックスにチェックを入れ、** 今すぐ作成 をクリックすればよいです。作成に成 功すると、コンソールでインスタンス起動テンプレートを確認できます。下図のとおりです。

Instance launch template	🔇 Guangzhou 🔻		
Create template			Multiple keywords only support preci
Template ID/name	Default template	Latest version	Default template creation
	1	1	
Total items: 1			

テンプレート ID をクリックすると、テンプレートの詳細ページに移動して詳細情報を表示できます。

インスタンステンプレートバージョンの作成

1. インスタンス起動テンプレートページで、バージョンを新規作成するテンプレートが所在する行の右側にある バージョンの新規作成を選択します。下図のとおりです。

Instance launch template	🔇 Guangzhou 👻		
Create template			Multiple keywords only support precis
Template ID/name	Default template	Latest version	Default template creation
Þ	1	1	
Total items: 1			

2. インスタンス起動テンプレートの新規作成ページに入り、購入ページからインスタンスを作成する を参照して 設定してください。

3. コンフィギュレーション情報の確認**のステップで、『Tencent Cloud サービス契約』 と『購入に関する注意 事項』を読み、同意するチェックボックスにチェックを入れます。

オリジナルコンフィギュレーションの比較を選択し、ポップアップ表示される「オリジナルコンフィギュレー ションの比較」ウィンドウで、新しいバージョンとオリジナルインスタンス起動テンプレートの違いを確認しま す。下図のとおりです。

Instance Sta	artup Template Select basic con	figurations Configure network and host	t Confirm configu
Selected config	urations		
Basic and instance	configurations		
CVM billing Mc mode	onthly subscription	Region Guangzhou	Availability zone
Instance SA	5.LARGE16 (Standard SA5, 4C16G)	Image	System disk
Data disk No	ot set		
Network and secur	ity group		
Network		Subnet	Public IP
Bandwidth billing mode		Line type	Security grou
Other settings	SSH key pair		
Generate API Explor	rer best practice scripts		
uto-renewal	When there is sufficient balance in the acc After purchase, you can modify the automatic renews automatic meawed takes precedence ours wurcher d	count and the device expires, monthlyAuto-renewal ① al cycle in the console. Configure automatic renewal 2	
erms and Agreement	I have read and agree to "Tencent Cloud !	Service Terms"、 "Refund Policy"	
Selected SA5.LARGE	16 (Standard SA5, 4C16G) Period 1 m	onth V Quantity - 1 +	0

4. 間違いがないことを確認したら、**今すぐ作成**をクリックすればよいです。

作成に成功した後、インスタンス起動テンプレートページで、テンプレートが所在する行の前にある

をクリックすると、展開されたリストでバージョンを表示することができます。

インスタンステンプレートのデフォルトバージョンの指定

1. インスタンス起動テンプレートページで、テンプレートが所在する行の前にある

▶ をクリックします。

2. 展開されたリストで、設定するバージョンの右側にあるデフォルトに設定をクリックします。下図のとおりで す。

Instance launch template	🔇 Guangzhou 👻			
Create template				Multiple keywords only support precise queries
Template ID/name	Default template	Lat	test version	Default template creation time
•	1	2		
Version	Version description	Instance configurations	Creation time	Default
1	-	SA5.MEDIUM2		Yes
2	-	SA5.LARGE16		No
Total items: 1				50 👻

3. ポップアップ表示されるデフォルトテンプレートの設定ウィンドウで、確認をクリックします。

インスタンステンプレートを使用してインスタンスを作成する

1. インスタンス起動テンプレートページで、テンプレートが所在する行の右側にあるインスタンス新規作成を選 択します。

説明:

インスタンスの作成は、デフォルトでインスタンス起動テンプレートの**デフォルトバージョン**のコンフィギュ レーションを使用します。また、テンプレートが所在する行の前にある

Þ

をクリックし、展開されたリストで、他のバージョンを選択してインスタンスを作成することができます。 2. CVMの新規作成ページのコンフィギュレーション情報の確認ステップで、オリジナルコンフィギュレーション の比較を選択し、ポップアップ表示される「オリジナルコンフィギュレーションの比較」ウィンドウで、インス タンスとインスタンス起動テンプレートの違いを確認することができます。

3. 間違いがないことを確認した後、『Tencent Cloud サービス契約』 と 『購入に関する注意事項』を読み、同 意する チェックボックスにチェックを入れ、有効にする をクリックすればよいです。

インスタンス起動テンプレートの削除

1. インスタンス起動テンプレートページで、削除するインスタンス起動テンプレートが所在する行の右側にある 削除を選択します。

2. ポップアップ表示される削除ウィンドウで、確認をクリックすればよいです。

関連ドキュメンテーション

購入ページからインスタンスを作成する

一括連続命名または指定文字列パターン命名

最終更新日:::2022-07-28 10:37:09

概要

複数のインスタンスを作成する過程で、インスタンス名/ホスト名をある程度規則的にしたい場合に、一括作成時 のインスタンス拡張子数字の自動昇順機能や、パターン文字列を指定する機能を提供しており、購入画面と Tencent Cloud APIという2つの方法から実装することができます。

n個のインスタンスを購入する必要があり、「CVM+シーケンス番号」のようなインスタンス名/ホスト名(インス タンスCVM1、CVM2、CVM3など)を発行したい場合、拡張子数字の自動昇順を使用すれば実装できます。 n個のインスタンスを作成し、インスタンス名/ホスト名にシーケンス番号を付け、シーケンス番号をxからインク リメントするよう指定する必要がある場合は、単一パターン文字列の指定で実装できます。

複数のプレフィックスを持つn個のインスタンス名/ホスト名を作成し、それぞれのプレフィックスでシーケンス番 号を指定したい場合は、単一パターン文字列の指定で実装できます。

適用範囲

このドキュメントは、インスタンス名の設定とホスト名の設定に適用されます。

操作手順

説明:

以下の操作手順は、インスタンス名を設定する例です。ホスト名を設定する手順は、設定する名前のタイプによっ て若干異なります。

拡張子数字の自動昇順

この機能を使用すると、一括購入したインスタンスに同じプレフィックスと番号がインクリメントされるインス タンス名に設定できます。

ご注意:

作成に成功したインスタンスのデフォルトのシーケンス番号は1からインクリメントされ、開始のシーケンス番号 を指定することはできません。

以下の操作は**3**つのインスタンスを購入し、これらのインスタンスに「CVM +シーケンス番号」の形式で名前を付けることを想定しています。(すなわちインスタンスの名称は CVM1、CVM2 和 CVM3となる)

購入ページの操作

API の操作

1. インスタンスの作成を参照して、3つのインスタンスを購入し、「ネットワークとホストの設定」の中で「プレフィックス+シーケンス番号」の命名規則でインスタンスの名称を記入し、すなわちインスタンス名称を CVM と記入します。下図に示す通り:

1.Select Mo	odel 2.Comp	blete Configuration	3.Confirm Configura	ation		
Security Groups	New security group	Existing Security Gro	Operation Guide I2			
	Select a security group	~ G	м г			
	To open other ports, you car	n New security group ⊠				
Project	DEFAULT PROJECT	~				
Tag	Tag key		Tag value		Operation	G
	(Optional) Please select	a tag key 🗸 🗸	(Optional) Please select the tag v	alue 🗸	Delete	
	Add If the existing tags or tag v	values are not suitable, you o	can go to the console and create new ta	igs or tag values	2	
nstance Name	CVM characters remaining.	SI	upports batch sequential naming o	r pattern string	-based naming. Yo	u can ente

2. ページの指示に従い、支払いを完了します。

Tencent Cloud API RunInstances で、該当するフィールドを設定します。 インスタンス名:InstanceNameフィールドに CVM を指定します。 ホスト名:HostNameフィールドに CVM を指定します。

パターン文字列の指定

この機能を使用すると、一括購入したインスタンスは、指定したシリアル番号を持つ複雑な形式で名前を付ける ことができます。必要に応じて、インスタンス名に1つ以上のパターン文字列を使用して設定できます。 パターン文字列が指定されたインスタンス名は:**{R:x}**の形式で、x で生成したインスタンス名の開始番号を示 します。

単一パターン文字列の指定

以下の操作では**3**つのインスタンスを作成し、**3**から始まる昇順の番号を付けたいと想定しています。 購入ページの操作 API の操作 1. インスタンスの作成 を参照してインスタンスを購入し、「ネットワークとホストの設定」の中で「プレフィッ クス+パターン文字列の指定{R:x}」という命名規則でインスタンスの名称を記入し、すなわちインスタンス名称を CVM{R:x} と記入します。下図に示す通り:

1.Select Mo	del 2.Co	nplete Configuration	3.Confirm Configuration			
Security Groups	New security grou	Existing Security Gro	oups Operation Guide 2			
	Select a security group	~ C	×			
	To open other ports, you	can New security group 🛙				
Project	DEFAULT PROJECT	v				
Tag	Tag key		Tag value		Operation	G
	(Optional) Please se	ect a tag key 🗸 🗸	(Optional) Please select the tag value	~	Delete	
	Add If the existing tags or ta	ig values are not suitable, you o	can go to the console and create new tags or ta	ag values⊠		
nstance Name	CVM{R:3} characters remaining	s	upports batch sequential naming or patte	ern string-l	based naming. Yo	u can enter
agin Mathada	Set Password	Coll Key Deit	m Pageword			

2. ページの指示に従い、支払いを完了します。

Tencent Cloud API RunInstances で、該当するフィールドを設定します。 インスタンス名: InstanceNameフィールドに CVM {R:3} を指定します。 ホスト名: HostNameフィールドに CVM を指定します{R:3}。

複数のパターン文字列の指定

以下の操作例は、3つのインスタンスを作成し、インスタンス名称に cvm、 Big 、 test プレフィックスを含み、か つ cvm と Big プレフィックスの後にはシーケンス番号を付け、シーケンス番号はそれぞれ13と2からインクリメン トします(すなわちインスタンス名称は cvm13-Big2-test、cvm14-Big3-test、cvm15-Big4-testとなる)。 購入ページの操作

API の操作

1. インスタンスの作成を参照して3つのインスタンスを購入します。「ネットワークとホストの設定」ページで 「プレフィックス+パターン文字列の指定{R:x}-プレフィックス+パターン文字列の指定{R:x}-プレフィックス」と いう命名規則でインスタンス名を記入し、すなわちインスタンス名を cvm{R:13}-Big{R:2}-test と記入し ます。下図に示す通り:

Security Groups	New security group	Existing Security	Groups	Operation Guide ₽			
	Select a security group	~	G				
	To open other ports, you can	New security group D					
Project	DEFAULT PROJECT	~					
Tag	Tag key			Tag value		Operation	G
	(Optional) Please select	a tag key	•	(Optional) Please select the tag value	~	Delete	
	Add If the existing tags or tag v	alues are not suitable,	you can g	go to the console and create new tags or tag	values⊠		

2. ページの指示に従い、支払いを完了します。

Tencent Cloud API RunInstances で、該当するフィールドを設定します。

インスタンス名: InstanceNameフィールドに cvm{R:13}-Big{R:2}-test を指定します。

ホスト名: InstanceNameフィールドに cvm{R:13}-Big{R:2}-test を指定します。

検証機能

拡張子数字の自動昇順 または パターン文字列の指定 でインスタンスの一括作成を実装したら、以下の操作によっ て検証することができます。

設定したインスタンス名の検証

CVMコンソール にログインし、新規作成したインスタンスを確認すると、下図のように、一括購入したインスタンスが設定したルールに従って命名されていることが確認できます。

ID/Name	Monitoring	Availability Zone 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv6	Instance Billing Mode 🔻
cvm15-Big4-test	di	Nanjing Zone 1	Standard S5 🗱	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:		Pay as you go Created at 2021-03-11 16:33:47
cvm14-Big3-test	di	Nanjing Zone 1	Standard S5 👬	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network		Pay as you go Created at 2021-03-11 16:33:44
cvm13-Big2-test	di	Nanjing Zone 1	Standard S5 🗱	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:		Pay as you go Created at 2021-03-11 16:33:41

設定したホスト名の検証

1. Cloud Virtual Machineのインスタンスを再起動し、ログインします。

2. インスタンスのOSの種類により、異なる操作手順を選択します。

Linux インスタンス

Windows インスタンス

OSのインターフェースで以下のコマンドを実行します。





hostname

CMDコマンドラインツールを開き、以下のコマンドを実行します。





hostname

3. hostname コマンドで返された結果を確認します。 以下のような結果が返ってくれば、設定は成功しています。





cvm13-Big2-test

4. ステップ1 - ステップ3 を繰り返し、他の一括購入インスタンスを順に検証します。

Linuxインスタンスにログインする 標準ログイン方式を使用してLinuxインスタ ンスにログインする(推奨)

最終更新日:::2023-04-12 10:30:04

概要

WebShell はTencent Cloudが推奨するログイン方法です。ローカルOSがWindows、Linux、Mac OSのいずれで あっても、インスタンスのパブリックIPを購入している限り、WebShell経由でインスタンスにログインすること ができます。このドキュメントでは、WebShell経由で Linuxインスタンスにログインする方法について説明しま す。

WebShellの利点は下記の通り:

コピペのショートカットキーをサポートします。

マウスホイールのスクロール機能をサポートします。

中国語入力をサポートします。

セキュリティが高い、ログインするたびにパスワードまたはキーを入力する必要があります。

認証方式

パスワードまたは**キー**です。

前提条件

Linuxインスタンスにログインするための管理者のアカウントとパスワード(またはキー)を取得済みであること。

インスタンス作成時に、システムによるパスワードのランダム発行を選択した場合は、サイト内メール からパス ワードを取得してください。

ログインパスワードを設定済みの場合は、そのパスワードを使用してログインしてください。パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

キーがインスタンスに関連付けられている場合、そのキーを使用してログインできます。キーに関する詳細については、SSHキー をご参照ください。

CVMインスタンスはパブリックIPをすでに購入しており、インスタンスに関連付けられたセキュリティグループの中で、送信元がWebShellのプロキシIPとなるリモートログインポート(デフォルトは22)を開放しています。

クイック設定でCVMインスタンスを購入した場合は、デフォルトでポート開放しました。 カスタム設定でCVMインスタンスを購入した場合は、セキュリティグループの応用例を参照して、ポートを手動 で開くことができます。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー

タブビュー

下図に示すように、ログインするLinux CVMインスタンスを選択し、画面右側にあるログインをクリックします。



下図に示すように、ログインするLinux CVM インスタンスのタブを選択し、ログインをクリックします。

The initial	ogin name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if you for	orgot it.	Log In Shutdown Resta
Instance ID	and the second se	Instance Configuration	CS
Availability Zone		Operating System	
IP		Creation Time	2021-01-08 19:00:29
Instance Billing Mode	Contractory of Contractory		
Bandwidth billing mode (

3. 下図に示すように、開いた「標準ログイン | Linuxインスタンス」ウィンドウで、実際のニーズに応じて**パス ワードでログイン**または**キーでログイン**方式のいずれかを選択し、ログインします。

Clear Terminal						
Log in	to instance					×
Pass	sword login	Key log	in			
Instance	P					
Port	22					
User Na	me roo	t				
Login pa	assword					
Note Plea as p In ca Sub Teno	e: ort 22 for SSH, , ase of stutters wh scribe to Cloud M cent Cloud does e them securely	at remote login port 36000 for t hile logging in, p IonitorNotify you not store your ir	ports from W linux) are ope lease check t u when excep istance passi	ebshell pro: en.Details. the CPU an otion occurs word or key	xy IP (such nd MEM. s. Details。 r. Please	
		ОК	Cancel			

以下の説明を参照して、ログインに必要な情報を入力してください。

ポート:デフォルトのポート番号は22番です。必要に応じて入力してください。

ユーザー名:Linuxインスタンスのデフォルトのユーザー名はroot(Ubuntuシステムインスタンスのデフォルトの ユーザー名はubuntu)です。必要に応じて入力してください。

パスワード:前提条件のステップで取得したログインパスワードを入力します。

キー:インスタンスに関連付けられているキーを選択します。

4. **ログイン**をクリックすると、Linuxインスタンスにログインできます。

ログインに成功すると、下図に示すように、WebShellインターフェースに以下のプロンプトが表示されます。



後続の操作

CVMにログインした後、個人用Webサイトまたはフォーラムを構築したり、その他の操作を実行したりできま す。関連操作については、下記をご参照ください: WordPress 個人用サイトを構築する Discuz!フォーラムを手動で構築する

関連ドキュメント

インスタンスのパスワードをリセット SSHキーの管理

リモートログインソフトウェアを使用して Linuxインスタンスにログイン

最終更新日:::2023-04-13 10:59:30

概要

このドキュメントでは、PuTTYソフトウェアを例として、リモートログインソフトウェアを使用してWindowsからLinuxインスタンスにログインする方法について説明します。

対応OS

Windows

認証方式

パスワードまたはキーです。

前提条件

インスタンスにログインするための管理者アカウント及びパスワード(またはキー)を取得しました。 システムのデフォルトパスワードを使用してインスタンスにログインする場合は、サイト内メールにアクセスし てパスワードを取得してください。

パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

CVMインスタンスはすでにパブリックIPを購入されており、このインスタンスは22番ポート(クイック設定で購入したCVMインスタンスの場合、デフォルトで開放している)を開放しました。

操作手順

パスワードでログインする

キーでログインする

1.リモートログオンクライアントソフト「PuTTY」をダウンロードします。

2. putty.exeをダブルクリックして、PuTTYクライアントを開きます。

3. PuTTY Configuration ウィンドウで、次の内容を入力します。次の図に示すように:

🕵 PuTTY Configura	ation	? ×
Category:		
Session Logging Terminal Keyboard Bell Features Window Appearance	^	Basic options for your PuTTY session Specify the destination you want to connect to Host Name (or IP address) Port 22 Connection type: Raw Telnet Rogin SSH Serial
Behaviour Translation ∵ Selection Colours Connection Data Proxy Telnet Rlogin		Save of delete a stored session Saved Sessions test Default Settings Load Save Delete
SSH Kex Host keys Cipher ⊕ Auth	*	Close window on e <u>x</u> it: Always Never Only on clean exit
About	<u>H</u> elp	<u>O</u> pen <u>C</u> ancel

パラメータは次のとおりです:

Host Name (or IP address): CVMのパブリックIPアドレスです。 (CVMコンソールにログインし、インスタンスリストと詳細画面でパブリックIPを取得できます)。

Port:CVMのポート。「22」である必要があります。

Connect type:「SSH」を選択します。

Saved Sessions: testなどのセッション名を入力します。

「Host Name」を設定した後、「Saved Sessions」を設定して保存します。「Saved Sessions」の下に保存されて いるセッション名をダブルクリックしてCVMにログインできます。

4. **Open**をクリックして「PuTTY」インターフェースに入り、「login as:」というコマンドプロンプトが表示されます。

5. 「login as」の後にユーザー名を入力し、Enterキーを押します。

6. 「Password」の後にパスワードを入力し、Enterキーを押します。

入力されたパスワードはデフォルトでは表示されません。次の図に示すように:



Proot@VM_32_28_centos:~	_	×
2 login as: root 2 root@ [root@VM_32_28_centos ~]#		~

ログインが完了すると、コマンドプロンプトの左側に現在ログインしているCVMに関する情報が表示されます。 1. リモートログオンクライアントソフト「PuTTY」をダウンロードします。putty.exeとputtygen.exeの両方をそれ ぞれダウンロードしてください。

2. puttygen.exeをダブルクリックして、PuTTy Keyクライアントを開きます。

3. Loadをクリックし、ダウンロードした秘密鍵が保存されているパスを選択して開きます。キーペアを作成した 後、秘密鍵をダウンロードして保持する必要があります。詳細については、SSHキーの管理をご参照ください。 例えば、davidという名前の秘密鍵ファイルを選択して開きます。

😴 PuTTY Key Generator	? ×
File Key Conversions Help	
Key No key.	
Actions	
Generate a public/private key pair	Generate
Load an existing private key file	Load
Save the generated key Save public key	Save private key
Parameters	
Type of key to generate:	O SSH-1 (RSA)
Number of bits in a generated key:	2048

4.

PuTTY Key Generator

ウィンドウにキー名を入力し、PuTTY が秘密鍵の暗号化に使用するパスワードを設定します(オプション)。設 定が完了したら、【Save private key】をクリックします。次の図に示すように:

PuTTY Key Generation	ator		? ×					
ile Key Conversio	ns Help							
Key								
Public key for pasting in	to OpenSSH authorized_keys	file:						
ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAADAQABAAABAQC/3DZzTLWHeFRpy9iF1lmD9w49WirrAe +2bE/A1idt2xjGf2jluQNQZ//t6yPojGzBTcl1Hjeahsu8xX0cCehQ7Dvcmu5Yu4kUG2J +lpvwOvzYVXt3qcLYxb1+vLb7gjnzG1LTp1m98YGmj6U7HViChuMFvUE8EhudxYLj0p /iv+k07UfnZRA+wregPzsdVKzTBej/avUqq16sZhb740S								
Key fingerprint:	ssh-rsa 2048 b0:10:db:8b:5b:	fc:0e:b5:b8:6e:e	9:4e:95:a9:5f:1a					
Key comment:	david							
Key passphrase:								
Confirm passphrase:								
Actions								
Generate a public/priva	te key pair		Generate					
Load an existing private	key file	_	Load					
Save the generated ke	Sav	e public key	Save private key					
Parameters								
Type of key to generate RSA	sa Oecdsa	O ED25519	O SSH-1 (RSA)					
Number of bits in a gen	erated key:		2048					

5. ポップアップウィンドウで、キーを保存するパスを選択します。ファイル名フィールドに「Key Name.ppk」と 入力して、Saveをクリックします。 例えば、david秘密鍵ファイルをdavid.ppkキーファイルとして保存します。 次の図に示すように:

😴 Save private key as:						×
← → • ↑ <mark> </mark> « [OATA (D:) → test	~	ې 5	Search te	st	
Organize 🔻 New fol	der				· · ·	?
1 Ouishaaaaa	Name	^	~	/ Date mo	dified	Туре
Quick access		No item	s match your	search.		
💻 This PC			,			
💣 Network						
	۲.					>
File <u>n</u> ame: dav	id.ppk					~
Save as <u>t</u> ype: PuT	TY Private Key Files	(*.ppk)				~
 Hide Folders 			C	<u>S</u> ave	Cancel	

6. putty.exeをダブルクリックして、PuTTYクライアントを開きます。

7. 左側のナビゲーションバーで、Connection>SSH>Authを選択して、Auth設定インターフェースに入ります。
 8. Browseをクリックし、キーが保存されているパスを選択して開きます。次の図に示すように:

🕵 PuTTY Configurat	ion		?	\times				
Category:								
- Window	^	Options controlling SSH authentic	ation					
Behaviour		Display pre-authentication banner (SSH	-2 only)					
···· Translation		Bypass authentication entirely (SSH-2 o	nly)					
Colours		Authentication methods						
		Attempt authentication using Pageant						
Data		Attempt TIS or CryptoCard auth (SSH-1)) 5H-2)					
Telnet			,					
Rlogin		Autoentication parameters						
- Kex		Allow attempted changes of usemame in SSH-2						
- Host keys		Private key file for authentication:		_				
Cipher		D:\david.ppk	Browse					
TTY		-						
X11 Tunnels								
Bugs								
More bugs								
Serial	×							
About	Help	Open	Cance	I				

9. Session設定インターフェースに切り替えて、CVM IP、ポート、および接続タイプを設定します。次の図に示すように:

🕵 PuTTY Configurat	tion		? ×
Category:			
Session	^	Basic options for your PuTTY se	ssion
- Terminal		Specify the destination you want to connect Host <u>N</u> ame (or IP address)	ct to Port
Bell			22
····· Features		Connection type: ○ Ra <u>w</u> ○ <u>T</u> elnet ○ Rlogin ● <u>S</u> SH	I <mark>OSe</mark> rial
···· Appearance ···· Behaviour		Load, save or delete a stored session	
···· Translation ⊡·· Selection		test	
Colours		Default Settings test	<u>L</u> oad
Data Proxy			Sa <u>v</u> e
···· Telnet			<u>D</u> elete
⊡ SSH			
···· Kex ···· Host keys ···· Cipher		Close window on e <u>x</u> it: ○ Always ○ Never ● Only on cl	ean exit
Auth	~		
About	<u>H</u> elp	<u>O</u> pen	<u>C</u> ancel

Host Name (IP address): CVMのパブリックIPアドレスです。 CVMコンソールにログインし、インスタンスリ ストと詳細画面でパブリックIPを取得できます。

Port:CVMのポート。「22」である必要があります。

Connect type:「SSH」を選択します。

Saved Sessions: testなどのセッション名を入力します。

「Host Name」を設定した後、「Saved Sessions」を設定して保存します。「Saved Sessions」の下に保存された セッション名をダブルクリックしてCVMにログインできます。

10. **Open**をクリックして「PuTTY」インターフェースに入り、「login as:」というコマンドプロンプトが表示されます。

11. 「login as」の後にユーザー名を入力し、Enterキーを押します。

12. ステップ4 に従って暗号化された秘密鍵のパスワードを設定する場合は、「Passphrase for key "imported-openssh-key":」の後にパスワードを入力し、Enterを押してください。

入力されたパスワードはデフォルトでは表示されません。次の図に示すように:

Proot@VM-0-112-centos:~	_	×
g login as: root Authenticating with public key "imported-openssh-key" Passphrase for key "imported-openssh-key": [root@VM-0-112-centos ~]#		~

ログインが完了すると、コマンドプロンプトの左側に現在ログインしているCVMに関する情報が表示されます。

その後の操作

CVMにログインした後、個人用Webサイトまたはフォーラムを構築したり、その他の操作を実行したりできま す。詳細については、下記のドキュメントをご参照ください: WordPress 個人用サイトを構築する Discuz!フォーラムを手動で構築する

SSHを使用してLinuxインスタンスにログイ ンする

最終更新日:::2023-06-25 17:49:49

ユースケース

このドキュメントでは、SSHキーを使用して、ローカル Linux、Mac OS、または Windowsサーバーから Linux イ ンスタンスにログインする方法について説明します。

サポートされているOS

Linux、Mac OS または Windows (Windows 10 および Windows Server 2019 を含む)

認証方式

パスワードまたはキーです。

前提条件

インスタンスにログインするための管理者アカウントとパスワード(またはキー)を取得しました。

Linux インスタンスの管理者アカウントは通常、デフォルトでは root にし、Ubuntu システムは ubuntu で す。実際の状況に応じて変更できます。

システムのデフォルトパスワードを利用してインスタンスにログインする場合は、サイト内メール に移動してパ スワードを取得してください。

キーを使用してログイン する場合は、キーを作成してこのCVMインスタンスに関連付ける必要があります。さら に詳細な操作については、 SSHキー をご参照ください。

パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

CVMインスタンスはすでにパブリックIPを購入されており、このインスタンスは22番ポート(クイック設定で購入 したCVMインスタンスの場合、デフォルトで開放している)を開放しました。

操作手順



パスワードでログインする

キーでログインする

1. 次のコマンドを実行して、Linux CVMに接続します。

説明:

ローカルコンピューターが Mac OSを実行している場合は、次のコマンドを実行する前に、システム付属のターミ ナルを開く必要があります。

ローカルコンピューターが Linuxを実行している場合は、次のコマンドを直接実行できます。

ローカルコンピューターがWindows 10またはWindows Server 2019を実行している場合は、次のコマンドを実行 する前に、コマンドプロンプト(CMD)を開く必要があります。





ssh <username>@<hostname or IP address>

username は、前提条件で取得されたデフォルトのアカウントです。

hostname or IP address は Linux インスタンスのパブリックIPアドレス或いはカスタムドメイン名です。 2. 取得したパスワードを入力し、**Enter**キーを押してログインを完了します。

1. 次のコマンドを実行して、プライベートキーファイルに本人だけ読み取り権限を付与します。

ローカルコンピューターが Mac OSを実行している場合は、次のコマンドを実行する前に、システム付属のターミ ナルを開く必要があります。

ローカルコンピューターが Linuxを実行している場合は、次のコマンドを直接実行できます。



chmod 400 <ダウンロードしたCVMに関連するプライベートキーの絶対パス>

ローカルコンピューターがWindows 10を実行している場合は、次のコマンドを実行する前に、コマンドプロンプト(CMD)を開く必要があります。



icacls <ダウンロードしたCVMに関連するプライベートキーの絶対パス> /grant <システムのユーザーアカ





icacls <ダウンロードしたCVMに関連するプライベートキーの絶対パス> /inheritancelevel:r

2. 次のコマンドを実行してリモートログインします。





ssh -i <ダウンロードしたCVMに関連するプライベートキーの絶対パス> <username>@<hostname or IP

username は、前提条件で取得したデフォルトのアカウントです。

hostname or IP address は Linux インスタンスのパブリックIPアドレス或いはカスタムドメイン名です。 例えば、 ssh -i "Mac/Downloads/shawn_qcloud_stable.pem" ubuntu@192.168.11.123 コマンド を実行して、Linux CVMにリモートログインします。

その後の操作

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CVMにログインした後、個人用Webサイトまたはフォーラムを構築したり、その他の操作を実行したりできま す。詳細については、下記のドキュメントをご参照ください: WordPress 個人用サイトを構築する

Discuz!フォーラムを手動で構築する

VNCを使用してLinuxインスタンスにログイ ンする

最終更新日:::2023-04-11 18:55:38

概要

VNC接続は、Tencent Cloudが提供するWebブラウザ経由でCVMにリモート接続する方式です。クライアントにリ モートデスクトップサービスがインストールされていないかまたはリモートデスクトップ接続ができない場合や、 いかなる方法でも接続できない場合は、ユーザーはVNCを介してCVMにログインし、CVMの状態を観察し、かつ CVMアカウントから基本的なCVM管理操作を行うことができます。

使用制限

VNC経由でログインしたCVMは現在、コピー・ペースト機能、中国語入力ソフト、およびファイルのアップロードまたはダウンロードをサポートしていません。

VNC経由でCVMにログインする場合は、Chrome、Firefox、IE 10 以降などの主流のブラウザを使用する必要があります。

VNC接続は専用端末です。つまり、一度に1人のユーザーだけが VNCクライアントを使用してCVMに接続できます。

前提条件

インスタンスにログインするための管理者アカウントとパスワードを取得しました。インスタンス作成時に、シ ステムによるパスワードのランダム発行を選択した場合は、サイト内メールにアクセスしてパスワードを取得し てください。

インスタンス作成時に、システムによるパスワードのランダム発行を選択した場合は、サイト内メッセージ にア クセスして取得してください。

ログインパスワードを設定済みの場合は、そのパスワードを使用してログインしてください。パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。



2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー

タブビュー

下図に示すように、インスタンスの管理ページで、ログインする Linux CVM インスタンスを選択し、ログインを クリックします。

Create Start Up	Shutdov	wn Restart	Reset Passwo	More Actions	*				
Separate keywords with "	", and separate tag	gs using the Enter k	ey.			Q View instances	pending repossession		
D/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mod \mathbf{T}	Netwo
	di	🔿 Running	Shanghai Zone 4		120	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by t
	di	🛞 Running	Shanghai Zone 4	•		1000	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by t
Total items: 2									

下図に示すように、ログインしたいLinux CVMタブを選択し、ログインをクリックします。

The initial I	ogin name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if you fo	rgot it.	C	Log in	Shutdown	Restart
Instance ID		Instance Configuration			CS	
Availability Zone		Operating System		-		
IP		Creation Time	2021-01-08 19:00:29			
Instance Billing Mode						
Bandwidth billing mode (

3. 開いた「標準ログイン | Linuxインスタンス」ウィンドウで、**VNCログイン**をクリックします。下図のとおりで す。
| Log into Linux instance | × |
|---|---------------|
| Standard login method Recommended | Login failed? |
| Supports copy-paste, Chinese input method. Make sure SSH port (TCP:22) is open. | |
| Alternative login methods (VNC) | |
| Copy-paste and Chinese input are not supported.
Note: If VNC login is selected, please enable MFA secondary verification to increase security level.
Log In Now | |
| Additional login methods: Log into Linux CVM 🛂 | |

4. 開いたウィンドウの中で、「login」の後ろにユーザー名を入力し、Enterを押します。

Linuxインスタンスのデフォルトのユーザー名は root 、Ubuntuシステムインスタンスのデフォルトのユーザー 名は ubuntu になります。必要に応じて入力してください。

5. 「Password」の後にパスワードを入力し、Enterキーを押します。

入力したパスワードはデフォルトでは表示されません。 ログイン完了後、以下に示すように、現在ログインして いるCVMの情報がコマンドプロンプトの左側に表示されます。



その後の操作

CVMにログインした後、個人用Webサイトまたはフォーラムを構築したり、その他の操作を実行したりできま す。詳細については、下記のドキュメントをご参照ください: Linuxの一般的な操作およびコマンド

WordPress 個人用サイトを構築する

Discuz!フォーラムを手動で構築する

モバイルデバイスを使用してLinuxインスタ ンスにログインする

最終更新日:::2023-04-13 10:48:09

概要

このドキュメントでは、さまざまなモバイルデバイスからLinuxインスタンスにログインする方法について説明し ます。ここで使用する接続ツールは、次のとおりです。 iOSデバイス:ここではTermius-SSH clientを例として使用します。 Android デバイス:ここではJuiceSSHを例として使用します。

該当するモバイルデバイス

iOSおよびAndroidデバイス

前提条件

CVMインスタンスの状態が「実行中」であること。

インスタンスにログインするための管理者のアカウントとパスワード(またはキー)を取得済みであること。 システムのデフォルトパスワードを使用してインスタンスにログインする場合は、最初に サイト内メール に移動 してパスワードを取得してください。

パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

CVMインスタンスはすでにパブリックIPを購入されており、このインスタンスは22番ポート(クイック設定で購入したCVMインスタンスの場合、デフォルトで開放している)を開放しました。

操作手順

実際に使用しているモバイルデバイスに基づいて、以下の方法でインスタンスにログインしてください。 iOS デバイス

Android デバイス

1. App StoreからTermius-SSHクライアントをダウンロードし、プロンプトに従って登録します。

2. ホーム画面でNew Hostをクリックします。

3. 「New Host」ページに進み、以下のログイン情報を設定します。下図のとおりです。



Cancel	New Host	Save
Alias		
Hostname		
Group		>
Tags		>
Backspace as (CTRL+H	
SSH / MOSH		
Use SSH		
Use Mosh		
Use Mosh Port		22 Default
Use Mosh Port Username		22 Default root

Hostname: CVM インスタンスのパブリックIP アドレス。取得方法については、パブリックIPアドレスの取得 を ご参照ください。

Use SSH:デフォルトで有効になっています。

Username:管理者アカウントrootを入力します。Ubuntu OSを使用する場合、管理者アカウントはubuntuになります。

Password:インスタンスのログインパスワードを入力します。

4. ページ右上隅のSaveをクリックしてログイン設定を保存します。

5.「Hosts」ページでログイン情報を選択し、ページ下部のポップアップウィンドウでContinueをクリックしてロ グインを確認します。下図のとおりです。



5. 以下の画面が表示されればログイン成功です。

Activate the web console with: systemctl enablenow cockpit.socket
Last login: Mon Jun 7 16:10:01 2021 from 2 [root@VM-12-4-centos ~]#

認証情報の新規作成

1. JuiceSSHをダウンロードしてインストールします。

2. ホーム画面で「接続」を選択し、「認証」タブをクリックします。

3. 「認証」タブで、ページの右下隅にある+をクリックします。

4. 「認証の新規作成」ページで、ログインアカウントとパスワードを設定します。

ニックネーム:カスタム認証名、オプション。

ユーザー名:管理者アカウントのrootを入力します。Ubuntu OSを使用する場合、管理者アカウントはubuntuになります。

設定(オプション)を選択し、ポップアップウィンドウにインスタンスのログインパスワードを入力します。 5. ページの右上隅にある✔をクリックすると、認証を新規作成できます。

接続の新規作成

1. ホーム画面で「接続」を選択し、「接続」ページの右下隅にある+をクリックします。

2. 「接続の新規作成」ページで、以下のログイン情報を設定します。

ニックネーム:カスタム接続名、オプション。

タイプ:「SSH」を選択します。

アドレス: CVMインスタンスのパブリックIP アドレス。取得方法については、パブリックIPアドレスの取得 をご 参照ください。

認証:認証情報の新規作成の手順で追加した認証情報を選択します。

ポート:ポート22を入力します。

残りのパラメータはデフォルト設定のままにしておいてください。

3. ページ下部のグループに追加をクリックして、ログイン設定を保存します。

インスタンスへのログイン

1. 「接続」ページで、ログインするインスタンスを選択し、ポップアップウィンドウで**同意する**をクリックしま す。

2. 以下の画面が表示されればログイン成功です。



Windowsインスタンスにログインする 標準方式を使用してWindowsインスタンスに ログイン(推奨)

最終更新日:::2023-04-11 18:37:02

概要

ここでは、標準ログイン方式(WebRDP)を使用してWindowsインスタンスにログインする方法についてご説明します。

説明:

この方式はローカルマシンのOSを区別せず、コンソールからWindowsインスタンスへの直接ログインをサポート しています。

前提条件

Windowsインスタンスにリモートログインするには、インスタンスの管理者アカウントとパスワードを取得する 必要があります。

ログインパスワードを設定済みの場合は、そのパスワードを使用してログインしてください。パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードのリセット方法してください。

インスタンス作成時に、システムによるパスワードのランダム発行を選択した場合は、サイト内メール にアクセ スして初期パスワードを取得してください。

CVMインスタンスはパブリックIPがすでに購入され、インスタンスに関連付けられたセキュリティグループの中で、送信元がWebShellのプロキシIPとなるリモートログインポート(デフォルトは3389)を開放しています。 クイック設定で CVMインスタンスを購入した場合、ポートはデフォルトで開かれます。

カスタム設定経由でCVMインスタンスを購入した場合は、セキュリティグループの応用例を参照して、ポートを 手動で開くことができます。

インスタンスのパブリックネットワーク帯域幅が 5Mbit/s 以上であることを確認してください。そうでない場合、 リモートデスクトップの応答が遅くなる可能性があります。ネットワーク帯域幅の調整が必要な場合は、ネット ワーク構成の変更 をご参照ください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。 リストビュー タブビュー

下図のように、ログインする Windows CVMインスタンスを選択し、右側にあるログインをクリックします。

Create Start U	p Shutdov	wn Restart	Reset Passwo	More Actions	•			
Separate keywords with "	", and separate tag	gs using the Enter k	ey			Q. View instance	s pending repossession	
D/Name	Monitori ng	Status ▼	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mod T
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4			y	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29
	di	阏 Running	Shanghai Zone 4	•		1000		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28
Total items: 2								

下図のように、ログインするWindows CVM インスタンスのタブを選択し、ログインをクリックします。

The initia	login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Mes	sage Center,Reset the password if you forgot it.	L	Log In	Shutdown
istance ID	1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	Instance Configuration			cs
vailability Zone		Operating System		-	
	2000	Creation Time	2021-01-08 19:00:29		
stance Billing Mode					
andwidth billing mode					

3. 開いた「標準ログイン | Windowsインスタンス」ウィンドウに、実際の状況に応じてログイン情報を入力します。

ポート:デフォルトは3389です。必要に応じて入力してください。

ユーザー名: Windowsインスタンスのデフォルトのユーザー名は Administrator です。必要に応じて入力してください。

パスワード:前提条件のステップで取得したログインパスワードを入力します。

4. **ログイン**をクリックすると、Windowsインスタンスにログインできます。

ここでは、OSがWindows Server 2016 Data center Edition 64ビット英語版であるCVMを例とします。ログインに 成功すると以下のような画面が表示されます。



関連ドキュメント

インスタンスのパスワードのリセット方法 ネットワーク設定の調整

RDPファイルを使用してWindowsインスタン スにログインする

最終更新日:::2023-04-20 17:37:53

ご注意:

WebRDPは、Windowsインスタンスのデフォルトのログイン方法です。ローカルのログインクライアントをダウ ンロードすることなく、CVMコンソールからワンクリックでWindowsインスタンスにログインできます。ログイ ン方式については、標準方式を使用してWindowsインスタンスにログイン(推奨)をご参照ください。

概要

RDPはRemote Desktop Protocolの略称であり。お客様のローカルコンピュータがリモートコンピュータに接続で きるようにするためにMicrosoftが開発したマルチチャネルプロトコルです。 Tencent Cloudは、Windows CVMへ のログインにRDP方式を推奨しています。このドキュメントは、RDPファイルを使用してWindowsインスタンス にログインする方法について説明します。

サポートされるシステム

Windows、Linuxと Mac OSは全てRDPを使用してCVMにログインすることができます。

前提条件

Windowsインスタンスにリモートログインするには、インスタンスの管理者アカウントとパスワードを取得する 必要があります。

インスタンス作成時に、システムによるパスワードのランダム発行を選択した場合は、サイト内メール にアクセ スしてパスワードを取得してください。

ログインパスワードを設定済みの場合は、そのパスワードを使用してログインしてください。パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

CVMインスタンスはパブリックIPがすでに購入され、インスタンスに関連付けられたセキュリティグループの中で、送信元がWebShellのプロキシIPとなるリモートログインポート(デフォルトは3389)を開放しています。

クイック設定でCVMインスタンスを購入した場合、ポートはデフォルトで開かれます。

カスタム設定経由でCVMインスタンスを購入した場合は、セキュリティグループの応用例 を参照して、ポートを 手動で開くことができます。 インスタンスのパブリックネットワーク帯域幅が 5Mbit/s 以上であることを確認してください。そうでない場合、 リモートデスクトップの応答が遅くなる可能性があります。ネットワーク帯域幅の調整が必要な場合は、ネット ワーク設定の調整 をご参照ください。

操作手順

Windows システム

Linux システム

MacOS システム

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストモード:インスタンスの管理ページで、ログインするWindows CVM インスタンスを選択して、右側にある ログインをクリックします。

Separate keywords with "	", and separate tag	is using the Enter k	ey			Q, View instances	pending repossession		
ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z T	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4	Primary IPv6	Instance Billing Mod T	Network
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4		122			Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by tra
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4	•		200	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by tra

タブモード:下図のように、ログインしたいWindows CVMタブを選択し、ログインをクリックします。

The initi	al login name for this CVM is root. You can check the initial login password	In the Message Center, Reset the password if you forgot it.
nstance ID	10.00 million	Instance Configuration cs
Availability Zone		Operating System
p	2000	Creation Time 2021-01-08 19:00:29
nstance Billing Mode		
Bandwidth billing mode	e	

3. 開いた「標準ログイン | Windowsインスタンス」ウィンドウの中から、RDPファイルのダウンロードを選択 し、RDPファイルをローカルにダウンロードします。 説明: リモートデスクトップ接続で使われているポート番号を変更した場合は、RDPファイルを変更し、IPアドレスの後 ろに:ポートを追加する必要があります。

Recommended	Login failed
Download and run the RDP file to log into Remote D	esktop. Please ensure that the remote login port (TCP:3389) is
open.	
Note: copy and paste is supported.	
1. For Windows OS, please click the button below to	download RDP file. For details , please see Logging into Windows
Download RDP file	
2. For Linux system, please install rdesktop. 🔀	
3. For MacOS, please install Microsoft Remote Deskt	op for Mac. 🖪
Alternative login methods (VNC)	
Copy-paste and Chinese input are not supported.	
Note: If VNC login is selected, please enable MFA se	condary verification to increase security level.

4. ローカルにダウンロードしたRDPファイルをダブルクリックして開き、パスワードを入力します。最後に

「OK」をクリックすればリモート接続が許可されます。

システムのデフォルトパスワードを使用してインスタンスにログインする場合は、サイト内メール にアクセスし てパスワードを取得してください。

パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

説明:

リモートデスクトップクライアントとしてrdesktopを使用することをお勧めします。詳細については、rdesktop公 式説明をご参照ください。

1. 以下のコマンドを実行し、rdesktop がインストールされているかどうかを確認します。





rdesktop

rdesktopをインストールしている場合、ステップ4を実行してください。

command not foundというプロンプトが表示された場合、rdesktopをインストールされていないことを示し、ステップ2を実行してください。

2.

ターミナル

ウィンドウで以下のコマンドを実行してrdesktopインストールパッケージをダウンロードします。この手順は rdesktop 1.8.3バージョンを例とします。





wget https://github.com/rdesktop/rdesktop/releases/download/v1.8.3/rdesktop-1.8.3.t

最新のインストールパッケージが必要な場合は、GitHub rdesktopページ にアクセスして最新のインストールパッケージをさがし、コマンドラインを最新のインストールパスに置き換えます。

3. rdesktopをインストールするディレクトリで、以下のコマンドを実行し、rdesktopを解凍してインストールします。





```
tar xvzf rdesktop-<x.x.x>.tar.gz ##x.x.xをダウンロードしたバージョン番号に置き換えます
cd rdesktop-1.8.3
./configure
make
make install
4.
以下
のコマンドを実行してWindowsインスタンスにリモートで接続できます。
```

説明:



例の中のパラメータをご自分のパラメータに変更してください。



rdesktop -u Administrator -p <your-password> <hostname or IP address>

Administrator は前提条件で入手した管理者アカウントです。

<your-password> は設定されたログインパスワードです。

システムのデフォルトパスワードを使用してインスタンスにログインする場合、サイト内メール からパスワード を取得してください。パスワードを忘れた場合、インスタンスのパスワードをリセット してください。

<hostname or IP address> は、お客様のWindowsインスタンスのパブリックIPまたはカスタムドメイン名 となります。インスタンスのパブリックIPの取得方法は、パブリックIPアドレスの取得 をご参照ください。



説明:

以下の操作は Microsoft Remote Desktop for Macの例です。マイクロソフトは2017年にRemote Desktopクライアン トのダウンロードリンクの提供を正式に停止し、現在は、子会社のHockeyAppがベータ版を配布しています。 Microsoft Remote Desktop Beta でベータ版をダウンロードすることができます。

以下の操作は、Windows Server 2012 R2 OSのCVMインスタンスに接続する方法を例に説明します。

1. Microsoft Remote Desktop for Mac \mathcal{E} ローカルコンピューターにダウンロードしてインストールします。

2. MRDを起動して、下図に示すようにAdd Desktopをクリックします。



3. 表示された「Add Desktop」ウィンドウで、以下の手順に従って、接続を作成します。下図に示すように:

Add PC	;					
	PC name:	118.				
Us	er account:	Ask when required				
	General	Display Devices & Audio Folders				
Frie	endly name:	Optional				
	Group:	Saved PCs				
	Gateway:	No gateway				
		 Reconnect if the connection is dropped Connect to an admin session Swap mouse buttons 				
		Cancel Add				

3.1 「PC name」にCVMインスタンスのパブリックIPアドレスを入力します。パブリックIPアドレスを取得する方 法の詳細については、パブリックIPアドレスの取得 をご参照ください。

3.2 Addをクリックします。

3.3 他のオプションはデフォルト設定のままで、接続が作成されます。

ウィンドウで作成された接続を確認できます。下図に示すように:

•••	Microsoft Ren	note Desktop		
··· = ◆ · + ·	PCs	Workspaces	Q Search	
✓ Saved PCs				
118.				
1 PC				

4. 新規作成した接続をダブルクリックして開き、ポップアップウィンドウでプロンプトに従って、CVMのアカウントとパスワードを入力し、**Continue**をクリックします。

5. システムのデフォルトパスワードを使用してインスタンスにログインする場合は、サイト内メール にアクセス してパスワードを取得してください。

6. パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

7. 下図のように、ポップアップしたウィンドウで**Continue**をクリックして、接続を確認します。



接続に成功すると、次のページが表示されます。



RDP帯域幅制限の説明

利用可能なネットワーク帯域幅は、RDP経由のログインやCVMの使用体験に直接影響し、アプリケーションプロ グラムやディスプレイ解像度ごとに、各々のネットワーク構成が必要です。マイクロソフトは、それぞれのユース ケースでRDPを使用する時のインスタンスの最小帯域幅要件を提供しています。下表を参照して、インスタンス のネットワーク設定が業務のニーズを確実に満たすようにしてください。そうでない場合、遅延などの問題が発 生する可能性があります。

説明:

インスタンスの帯域幅を調整したい場合は、ネットワーク設定の調整 をご参照ください。

以下のデータは、解像度が1920x1080で、デフォルトのグラフィックモードとH.264/AVC 444グラフィックモード を同時に採用する単一のモニター構成に適用されます。

シナリオ	デフォル トモード	H.264/AVC 444 モード	シナリオ説明
休眠	0.3Kbps	0.3Kbps	ユーザーがすでに作動を一次停止し、アクティブな画面更新が発 生していない状態。
Microsoft	100 -	200 - 300	ユーザーがMicrosoft Word、印刷、図形のペーストをアクティブ



Word	150 Kbps	Kbps	に使用中で、ドキュメント間の切り替えも行っている状態。
Microsoft Excel	150 - 200Kbps	400 - 500Kbps	ユーザーがMicrosoft Excelをアクティブに使用中で、同時に公式 や図表が含まれた複数のセルを更新している状態。
Microsoft PowerPoint	4 - 4.5Mbps	1.6 - 1.8Mbps	ユーザーがMicrosoft PowerPoint、印刷、ペーストをアクティブ に使用中。またコンテンツが豊富な図形を変更中で、スライド ショー効果も使用している状態。
Web閲覧	6 - 6.5Mbps	0.9 - 1Mbps	ユーザーがグラフィックコンテンツが豊富なウェブサイトをアク ティブに閲覧中(横方向および縦方向にページをスクロール) で、その中に複数の静止画や動画が含まれている状態。
画像ライブ ラリ	3.3 - 3.6Mbps	0.7 - 0.8Mbps	ユーザーが画像ライブラリアプリケーションプログラムをアク ティブに使用中。画像の閲覧、スケーリング、サイズの調整、回 転を行っている状態。
ビデオ再生	8.5 - 9.5Mbps	2.5 - 2.8Mbps	ユーザーがスクリーンの半分を占有する 30FPS のビデオを視聴 中。
フルスク リーンビデ オ再生	7.5 - 8.5Mbps	2.5 - 3.1Mbps	ユーザーがフルスクリーンに最大化した 30FPS のビデオを視聴 中。

リモートデスクトップ接続を使用して Windowsインスタンスにログインする

最終更新日:::2023-04-11 18:28:31

概要

ここでは、Windowsシステムのローカルコンピュータでのリモートデスクトップを介したWindowsインスタンス へのログイン方法について説明します。

サポートされているOS

Windows

前提条件

Windowsインスタンスにリモートログインするには、インスタンスの管理者アカウント番号と対応するパスワードを獲得する必要があります。

システムのデフォルトパスワードを使用してインスタンスにログインする場合は、サイト内メール にアクセスし てパスワードを取得してください。

パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

お客様のCVMインスタンスはパブリックIPをすでに購入しており、3389番ポートが開いています(このポートは、 クイック設定で購入したCVMインスタンスに対してデフォルトで開いています)。

操作手順

説明:

以下Windows7OSを例に取って、操作手順を説明します。 1. 下図に示すように、ローカルのWindowsコンピュータで、

をクリックし、**プログラムとファイルの検索**欄に**mstsc**と入力し、**Enter**を押して、リモートデスクトップ接続ダ イアログボックスを開きます。

•	Remote Desktop Connection 🗕 🗖 🗙					
	Remote Desktop Connection					
<u>C</u> omputer:	Example: computer.fabrikam.com					
User name:	None specified					
The computer name field is blank. Enter a full remote computer name.						
Show Options Connect Help						

2. 「コンピュータ」の後にWindowsサーバーのパブリックIPを入力し、接続をクリックします。パブリックIPア ドレスの取得を参考にサーバーのパブリックIPを取得できます。

3. 下図に示すように、ポップアップした「Windowsセキュリティ」ウィンドウに、インスタンスの管理者アカウ ントとパスワードを入力します。

説明:

「このリモート接続を信頼しますか。」というダイアログボックスが表示されたら、「このコンピューターへの 接続について今後確認しない」にチェックを入れ、**接続**をクリックします。

Windows CVMインスタンスのデフォルトの管理者アカウントは Administrator で、パスワードは前提条件を 参考に取得できます。

Windows Security	×
Connecting to	a se de la constante de la cons
	Password Remember my credentials
	Use another account
	OK Cancel

4. OKをクリックすると、Windowsインスタンスにログインできます。

VNCを使用してWindowsインスタンスにログ インする

最終更新日:::2023-04-11 18:22:45

概要

VNC接続は、Tencent Cloudが提供するWebブラウザ経由でCVMにリモート接続する方式です。クライアントにリ モートデスクトップサービスがインストールされていないかまたはリモートデスクトップ接続ができない場合や、 いかなる方法でも接続できない場合は、ユーザーはVNCを介してCVMにログインし、CVMの状態を観察し、かつ CVMアカウントから基本的なCVM管理操作を行うことができます。

使用制限

VNC経由でログインしたCVMは現在、コピー・ペースト機能、中国語入力ソフト、およびファイルのアップロードまたはダウンロードをサポートしていません。

VNC経由でCVMにログインする場合は、Chrome、Firefox、IE 10 以降などの主流のブラウザを使用する必要があります。

VNC接続は専用端末です。つまり、一度に1人のユーザーだけが VNCクライアントを使用してCVMに接続できます。

前提条件

Windowsインスタンスにリモートログインするには、インスタンスの管理者アカウント番号と対応するパスワードを獲得する必要があります。

インスタンス作成時に、システムによるパスワードのランダム発行を選択した場合は、サイト内メール からパス ワードを取得してください。

ログインパスワードを設定済みの場合は、そのパスワードを使用してログインしてください。パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、ログインするWindows CVMインスタンスを選択し、ログインをクリックします。



リストビュー

タブビュー

下図のように、ログインしたいWindows CVMを探し、右側にあるログインをクリックします。

Create Start Up	Shutdov	vn Restart	Reset Passwo	More Actions	¥				
Separate keywords with " ", a	and separate tag	is using the Enter ke	ey.			Q, View instance	s pending repossession		
D/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🍸	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mod $ ilde{ extbf{ heta}}$	Ne
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4			,		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill
	di	阏 Running	Shanghai Zone 4	•			-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill
Total items: 2									

下図のように、ログインしたいWindows CVMタブを選択し、**ログイン**をクリックします。

The initial	ogin name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if you for	rgot it.	Log In Shutdown
Instance ID		Instance Configuration	CS
Availability Zone		Operating System	
Þ		Creation Time	2021-01-08 19:00:29
Instance Billing Mode			
Bandwidth billing mode (

3. 開いた「標準ログイン | Windowsインスタンス」ウィンドウの中から、VNCログインを選択します。下図のとお りです。

Log into Windows instance
Log in with RDP file Recommended
Download and run the RDP file to log into Remote Desktop. Please ensure that the remote login port (TCP:3389) is open. Note: copy and paste is supported For Windows OS, please click the button below to download RDP file. For details , please see Log into Windows instances ☑ Download RDP file 2. For Linux system, please install rdesktop ☑ 3. For MacOS, please install Microsoft Remote Desktop for Mac ☑
Alternative login methods (VNC)
Copy-paste and Chinese input are not supported. Note: If VNC login is selected, please enable MFA secondary verification to increase security level. Log In Now
Additional login methods: Log into Windows CVM 🔀

4. ポップアップしたログインウィンドウの中で、左上の**リモートコマンドの送信**を選択し、 **Ctrl-Alt-Delete**をク リックしてシステムログイン画面に入ります。下図のとおりです。



5. ログインパスワードを入力し、**Enter**を押せば、Windows CVMにログインできます。

モバイルデバイスからWindowsインスタンス にログインする

最終更新日:::2023-04-13 15:26:32

概要

このドキュメントでは、Microsoftリモートデスクトップクライアントを使用してさまざまなモバイルデバイスからWindows インスタンスにログインする方法について説明します。

サポートされているモバイルデバイス

iOSおよびAndroidデバイス

前提条件

CVMインスタンスの状態が「実行中」であること。

インスタンスにログインするための管理者のアカウントとパスワードを取得済みであること。

システムのデフォルトパスワードを使用してインスタンスにログインする場合は、サイト内メール に移動してパ スワードを取得してください。

パスワードを忘れた場合は、インスタンスのパスワードをリセットしてください。

CVMインスタンスはパブリックIPをすでに購入しており、3389番ポートが開いています(このポートは、クイック 設定で購入したCVMインスタンスに対してデフォルトで開いています)。

操作手順

説明:

この操作手順では、iOSデバイスを例とします。Androidデバイスの実際の操作手順と大差ありません。

1. Microsoftリモートデスクトップをダウンロードして、RD Clientを起動します。

2. 「PC」ページで、右上隅の + を選択し、ポップアップメニューからAdd PCをクリックします。

3. 「Add PC」ページで、以下のログイン情報を設定します。

PC名: CVMインスタンスのパブリックIPアドレス。取得方法については、パブリックIPアドレスの取得 をご参照 ください。

ユーザーアカウント:デフォルトでは、「Ask when required」が選択されています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



4. 入力完了後、Saveをクリックします。

5. 「PC」 ページで、ログインするインスタンスを選択し、ポップアップウィンドウにインスタンスの管理者アカ ウントとパスワードを入力します。

管理者アカウント:Windowsインスタンスの管理者アカウントは Administrator です。

パスワード:インスタンスのログインパスワードを入力します。

6. Continueをクリックします。次のような画面が表示されている場合は、Windowsインスタンスへのログインに 成功したことを意味します。



設定を調整する インスタンス構成の変更

最終更新日:::2023-04-13 15:28:07

概要

Tencent Cloud CVMインスタンスのハードウェアデバイスは、迅速かつ柔軟に調整できます。このドキュメントでは、インスタンス構成のアップグレード、ダウングレード、およびモデルに跨る構成変更に関する操作方法および 関連注意事項について説明します。

前提条件

インスタンスの状態が「シャットダウン」または「実行中」の場合、構成を変更できます。インスタンスが実行中 の場合、強制的にシャットダウンして再起動すると、変更が有効になります。

ご注意:

インスタンスがシャットダウン状態の場合は、コンソールで変更を直接実行できます。

インスタンスが実行中の場合は、オンラインで構成を変更できます。操作完了後、強制シャットダウンを確認する 必要があり、インスタンスの再起動後に変更が有効になります。

インスタンスの構成をオンラインで**一括変更**可能です。一括変更操作を実行するときに、**実行中**のインスタンスが ある場合は、インスタンスを強制的にシャットダウンする必要があります。インスタンスの再起動後に変更が有効 になります。

制限事項と影響

構成変更実行時の制限事項

システムディスクとデータディスクの両方ともCBSクラウドディスクであるインスタンスのみが、構成の変更を サポートします。 構成のアップグレード 回数無制限、アップグレードはすぐに有効になります。 構成のダウングレード

従量課金インスタンスは、ダウングレード回数に制限がなく、いつでも構成をダウングレードすることができま す。 インスタンスファミリー間での構成変更:データ移行を必要とせずに、インスタンスファミリー間で構成を変更 できます。

構成を変更する場合、変更が可能なインスタンスタイプは、現在のアベイラビリティーゾーンがターゲット仕様 を提供するかどうかに関連しています。次の考慮点と制限に注意してください:

スポットインスタンスは、クロスモデルの構成変更をサポートしていません。

専用インスタンスは、クロスモデルの構成変更をサポートしていません。構成変更の範囲は、インスタンスが配置されている専用ホストの残りのリソースの影響を受けます。

GPU や FPGAなどの異種インスタンスは、インスタンスファミリー間で構成を変更するためのソースまたはター ゲットインスタンスタイプとして使用できません。

クラシックネットワークを構成するインスタンスはVirtual Private Cloudのみをサポートするインスタンスへの変更 をサポートしません。

ターゲットインスタンスタイプが、現在のインスタンスタイプ用に構成されているCBSタイプをサポートしてい ない場合、構成を変更できません。

ターゲットインスタンスタイプが、現在のインスタンスタイプ用に構成されているイメージタイプをサポートしていない場合、構成を変更できません。

ターゲットインスタンスタイプが、現在のインスタンスタイプ用に構成されているENIまたはENI数量をサポート していない場合、構成を変更できません。詳細については、Usage Limits をご参照ください。

ターゲットインスタンスタイプが、現在のインスタンスタイプ用に構成されているパブリックネットワーク帯域 幅の上限をサポートしていない場合、構成を変更できません。詳細については、パブリックネットワーク帯域幅 の上限 をご参照ください。

影響

一部のインスタンスのプライベートIP アドレスは、構成変更後に変更される場合があります。プライベートIPア ドレスが変更されると、関連する情報が調整ページに表示されます。 そのような情報が表示されない場合、プラ イベートIPアドレスは変更されていません。

操作手順

説明:

業務に変更が生じた場合は、インスタンス構成を変更できます。

構成をアップグレードする場合は、構成のアップグレードに伴い発生する可能性のある料金をお支払いください。

構成をダウングレードする場合は、払い戻しの詳細を確認してください。CVMインスタンスを強制的にシャット ダウンして再起動すると、新しい構成はすぐに有効になります。

コンソールから

APIから

単一インスタンスの構成の変更

1. CVMコンソールにログインし、CVMページに移動します。

2. 実際に使用するビューモードに従って操作します。

リストビュー:リストビュー:下図のように、ターゲットインスタンスを選択し、画面右のメニューから**さらに>** リソース調整>構成の変更をクリックします。

Separate keywords with "[", and separate tags using the Enter key					Q View instances pending repossession				
ID/Name	Monitori ng	Status ▼	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🤅	Primary IPv6	Instance Billing Mod T	Netw
	di.	left Running	Chengdu Zone 1		1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:Default-VPC	1000		CDH Billing Created at 2019-12-18 09:44:15	Bill b
Total items: 1									

下図のように、下図のように、ターゲットインスタンスのページで、画面の右上隅にあるその他の操作> リソース 調整 > 構成の変更を選択します。

Not named			
The initial	login name for this CVM is root. You can check the initial login password in th	he ^{Message Center,Reset the password if you forgot it.}	Log In Shutdown
Instance ID		Instance Configuration	666 - T 1 - T 1 - T 1
Availability Zone	Chengdu Zone 1	Operating System	
IP	10.000	Creation Time	2019-12-18 09:44:15
Instance Billing Mode			
Bandwidth billing mode			

3. 下図のように、「ターゲット構成の選択」ページで、インスタンスのステータスと動作を確認し、必要なモデ ルとインスタンス仕様を選択し、仕様とパフォーマンスパラメータを確認して、次へをクリックします。

Adjust Configuration						
Select target configuration You've selected 1 instance	> 2	Billing Details	s > (3) Sh	utdown CVM		
Instance ID Instan	nce Name			Current configuration		
11 IS 18 1	~~~			on an an an an an		
Total cores 🔻 Tota	I Mem 🔻 All Models	s 🔻 🗹 Show	supported models only			
Model	Specifications	vCPU	MEM	Processor model (clock-rate)	Private network	Pack
Standard SA2	SA2.SMALL1	1-core	1GB	AMD EPYC™ Rome(2.6 GHz)	1.5 Gbps	250K
Standard SA2	SA2.SMALL2	1-core	2GB	AMD EPYC™ Rome(2.6 GHz)	1.5 Gbps	250K
Standard S5	S5.SMALL2	1-core	2GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5 Gbps	250K
Standard S5	S5.SMALL4	1-core	4GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5 Gbps	250K
Standard S5	S5.MEDIUM4	2-core	4GB	Intel Xeon Cascade Lake 8255	1.5 Gbps	300K
Total items: 102					20 🔻 / pa	age

4. インスタンスの課金モデルに基づき、料金を確認し、次へをクリックします。

従量課金インスタンス:新仕様で凍結が必要な金額をご確認ください。下図のように、構成変更後、従量課金制 インスタンスは第1段階から課金されますので、ルールをよく確認してから操作してください。

Adjus	t Configuration				
~	Select target configuration	>	2 Billing Details > 3 Shutdown	CVM	
()	Please note th	at after the configuration	n adjustment, billing of pay-as-you-go instances will start	from the first tier. <u>Learn more</u>	
No	Instance ID	Instance Name	Current configuration	Target configuration	Billed period
1		(1,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1,2,1	LANCE AND ALL MADE	the second second second second	Pay as you go
			Previous step	Next Close	

5.「シャットダウン通知」ステップで、インスタンスの実行状況に基づいてプロンプトを注意深くお読みください。

現在のインスタンスが実行中の場合は、次の図に示すように、プロンプトを注意深く読み、[強制シャットダウン に同意する] にチェックを入れる必要があります。



Adjus	t Configuration									
S	Select target configuration	>	Billing Details	>	3 Shutdown C	/M				
0	 You need to shutdown the instance for the current operation: To avoid data loss, we will shut down the instance before adjusting the configuration. Your business will be interrupted during shut down so please take necessary provide the state of the system corruption. We recommend manually shutting down CVM manually before the operation. Forced shutdown may take a while. Please be patient. 									
Forced	shutdown * 🔽 Agree	to a forced shu	utdown							
					Previous step	Adjust Now				

現在のインスタンスがシャットダウンされている場合、次のプロンプトが表示されます。

Adjust Configuration		
Select target configuration	> V Billing Details	> 3 Shutdown CVM
(i) You need to shutdown the	instance for the current operation, and	all selected instances are shut down.
		Previous step Adjust Now

5. 変更を開始をクリックして注文ページに移動し、支払いを完了します。

ResetInstancesType rインターフェースを使用してインスタンスで構成できます。詳細については、インスタンス 構成の調整 APIドキュメントをご参照ください。

ネットワーク構成の変更

最終更新日:::2023-04-13 15:18:40

概要

Tencent Cloudは必要に応じて、パブリックネットワーク課金モデルまたはパブリックネットワーク帯域幅の変更 をサポートし、変更はすぐに有効になります。制限と価格の詳細については、パブリックネットワーク課金方式の 変更 をご参照ください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインし、「インスタンス」ページの上部で、帯域幅を変更するCVMインスタンスが存在 するリージョンを選択します。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー

タブビュー

下図のように、対象のCVMインスタンスの行の右側にある**さらに>リソース調整>ネットワークを調整**を選択しま す。

Create	Start Up	Shutdow	vn Restart	Reset Passwo	More Actions	v				
Separate keywo	ords with " ", and	d separate tag	is using the Enter k	ey			Q View instance	s pending repossession		
ID/Name		Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Network Bil
		di	🐼 Running	Chengdu Zone 1		1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:Default-VPC	100	-	CDH Billing Created at 2019-12-18 09:44:15	Bill by traffic
Total items: 1										
										L

下図のように、対象のCVMインスタンスのページの右上隅にあるその他の操作 > リソース調整 > ネットワークを 調整を選択します。
The initial	login name for this CVM is root. You can check the initial login password in	the Message Center, Reset the password if you forgot it.	Log In SI
Instance ID		Instance Configuration	1000 C 1000 C 1000
Availability Zone	Chengdu Zone 1	Operating System	
IP	(1-1-1)	Creation Time	2019-12-18 09:44:15
Instance Billing Mode			
Bandwidth billing mode			

3. ポップアップした「ネットワークを調整」ダイアログボックスで、必要に応じてパブリックネットワーク課金 モデルまたはパブリックネットワーク帯域幅を調整します。

ネットワーク課金モデル: Tencent Cloudはトラフィック課金と帯域幅課金という2つの異なる課金モデルが用意されています。帯域幅課金モデルは、利用した時間単位で課金される仕組みです。

ターゲット帯域幅制限:Tencent Cloudは、**専用型パブリックネットワーク**と共有型パブリックネットワーク(帯 域幅パッケージによって課金され、現在ベータテストの段階)という2つのネットワーク構成を提供しています。 このドキュメントでは、専用型パブリックネットワークの構成のへ変更、つまり単一CVMインスタンスの帯域幅 上限の変更を例に取り上げます。

説明:

帯域幅上限の詳細については、パブリックネットワーク帯域幅上限 をご参照ください。 4. ターゲット課金モデルを選択するか、ターゲット帯域幅の値を設定して、**OK**をクリックします。

関連ドキュメント

パブリックネットワーク課金方式の変更 パブリックネットワーク課金方式

Product Pricing

パブリックネットワーク帯域幅の上限

プロジェクト設定の調整

最終更新日:::2023-04-12 14:31:32

概要

プロジェクト機能は、プロジェクトごとにクラウドリソースを管理するために使用されます。 CVMインスタンス を作成するときは、それをプロジェクトに割り当てる必要があります。Tencent Cloudは、CVMインスタンスの作 成後に、ユーザーがインスタンスを新たなプロジェクトに再割り当てすることをサポートしています。

ご注意:

インスタンスを新たなプロジェクトに割り当てる場合は、まずプロジェクトを新規作成してください。プロジェ クトを作成する方法の詳細については、Project Management をご参照ください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー

タブビュー

インスタンスリストで新たなプロジェクトに再割り当てする必要があるCVMインスタンスを選択し、右側のその 他 > インスタンス設定 > プロジェクトに割り当てるをクリックします。

説明:

複数のCVMインスタンスを新たなプロジェクトに再割り当てする必要がある場合は、それらを選択し、画面上部 にある**その他の操作 > インスタンス設定 > プロジェクトに割り当てる**をクリックします。

Instances Shanghai	2 Other reg	gions(30)	Reset Passwo	rd More Actions	Y	Q View instance	s nendina renassessian		
D/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Network Bi
	di -	🔗 Running	Shanghai Zone 4	GPU Compute GN6S	120	1000	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffic
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4	GPU Compute GN6S	~	μ	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill Rename Export Edit Tag
Total items: 2									Bind/M Assign
									Manag Migrate

下図に示すように、新たなプロジェクトに再割り当てする必要があるCVMページで、ページ右上コーナーのその 他操作 > インスタンスの設定 > プロジェクトへの割り当てを選択します。

The initial	login t e for this CVM is root. You can check the initial login password in the	Message Center,Reset the password if you forgot it.	Log In Shutdown	
nstance ID		Instance Configuration	GPU Compute GN6S - 4C 20G Adjust Model and Specs	R
vailability Zone	Shanghai Zone 4	Operating System	TencentOS Server 2.2 (Final) Reinstall the System	E
		Creation Time	2021-01-08 19:00:29	Ed
				В
tance Billing Mode	Pay-as-you-go Modify billing mode			A:
and a field to be the second of				M
anawiain billing mode	bin by tranic moonly bining mode			Μ

3. ポップアップした「プロジェクトに割り当てる」ウィンドウで、新たなプロジェクト名を選択し、**OK**クリック すると、プロジェクトへの割り当て操作が完了します。



ou've selected 1 instance.	Collapse	
ID/Name	Instance Type	Instance Configuration
	GPU Compute GN6S 🔁	4-core 20GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:vpc-mzg9lleo
Search by project name/c	description	Q
Project Name	Descripti	ion
0		
Project Name	Descripti	ion

インスタンス構成変更の提案

最終更新日:::2023-04-13 10:54:38

概要

Tencent Cloudは、直近3日間のCVMインスタンスの負荷状況に基づき、それに対応するインスタンスの設定を調整するための提案を行います。この提案は Cloud Monitorによって収集されたCPU、メモリなどの監視データを基に分析を行って得られたものであり、実際の状況を踏まえて、インスタンス構成を変更するかどうかを決定できます。

説明事項

インスタンスの設定を調整するための提案はインスタンスの直近3日間の平均負荷データ(5分ごとにデータを統計)を基に得られたものであり、CPU使用率とメモリ使用率が瞬間的に急激に上昇しているインスタンスではな く、一定時間内のワークロードが安定しているインスタンスに適用されます。

本機能はGPU、FPGAなどの異種モデルおよびCloud Physical Machineには適用されません。アラート作成を介し てインスタンスの使用状況を能動的に監視できます。

この提案は参考に過ぎず、インスタンスの使用状況を監視するために高い要件が設定される場合は、Cloud Monitor を使用して能動的に監視することをお勧めします。

操作手順

CVMコンソール にログインし、インスタンスリストページに移動します。
 インスタンスリストページで、インスタンスのモニタリングバーに

● 警告アイコンが表示されている場合は、対応するインスタンスに構成を変更するための提案があります。 3.

警告アイコンをクリックすると、「構成変更に関するアドバイス」ウィンドウがポップアップします。 4. 「構成変更に関するアドバイス」ウィンドウに、このインスタンスの使用状況に基づき推奨されるターゲット モデルが表示されます。「その他推奨モデルを表示する」にチェックを入れれば、その他推奨モデルを表示できま す。 5. 提案に従ってインスタンスの構成を変更する必要がある場合は、「インスタンス構成変更費用についての説明 を読んで同意しました」にチェックを入れ、変更を開始をクリックします。

情報の確認

インスタンス情報の確認

最終更新日:::2023-06-28 11:30:24

概要

ユーザーがCVMインスタンス情報を確認しやすいように、Tencent Cloudは下記の3種類の確認方法を提供しています。

コンソールの 概要 ページでアカウントにおけるCVMインスタンス総数及びそれらの稼動状態、各リージョンのリ ソース数、クォータ等の情報を確認します。

コンソール CVM ページで、特定リージョン内のすべてのCVMインスタンスに関する情報を確認します。

インスタンス詳細ページであるCVMインスタンスの詳細情報を確認します。

前提条件

CVMコンソールにログインします。

操作手順

インスタンス概要情報の確認

左側ナビゲーションバーで、 概要 を選択し、CVM概要ページに移動します。

当該ページでは、確認可能な情報、及び実行可能な操作は下記を含んでいます。

CVM状態(即ちCVMの総数)、7日以内に期限切れになるインスタンス数、ごみ箱のインスタンス数、正常な サーバー数。

更新待ちCVMリスト、当該ページでCVMを更新できます。

リソース数とクォータ。各リージョンの従量課金CVM、カスタムイメージ及びスナップショットクォータ情報を 確認できます。また、当該ページでクォータを申請できます。

クロスリージョンでクラウドリソースをサーチします。

CVMリスト情報の確認

下図のように、左側ナビゲーションバーで、インスタンス を選択し、インスタンスリストページに移動します。

Cloud Virtual Machine	Instances 🕓 Guangzho	u(4) • 🔻							
9 Instances	Create Start up	Shutdown	Restart	Reset Password	More Actions 🔻				
S Dedicated Hosts	Separate keywords with " "; pr	ress Enter to sepa	rate filter tags			Q,	View instances pending reposse	ession	
Placement Group									
Images	ID/Name	Monitoring	Status T	Availability Zor 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Ins
🗘 Auto Scaling 🖄		di.	🖂 Running	Guangzhou Zone 4	Standard S4		ť	-	
Cloud Block Storage									
Snapshots *									
⑥ SSH Key									
Security Groups		di 👘	공 Running	Guangzhou Zone 4	Standard S2			-	
IP EIP									
③ Service Migration									
III Pacyrda Pin 👻									

このページでは、ID/インスタンス名、監視、ステータス、アベイラビリティーゾーン、インスタンスタイプ、設定、メインIPv4アドレス、メイン IPv6 アドレス、インスタンス課金モデル、ネットワーク課金モデルおよび所属 プロジェクトなどを含む情報操作を確認できます。

説明:

実際のニーズに応じて使用できます コンソールインスタンスのページビューへの切替。 下図のように、右上コーナーの

ι¢ι

をクリックし、ポップアップした「カスタムリストフィールド」ウィンドウで表示したいリストの詳細情報を選 択します。

Dis	play Settings		×
-	Select the columns you want to display. V 12 columns can be selected (13 selected)	Vith your screen resolution, up to now).	
~	ID/Name 🔽	Primary IPv4	
~	Monitoring 🗸	Primary IPv6	
~	Status 🔽	Instance Billing Mode	
~	Availability Zone 🔽	Network billing mode	
~	Instance Type 🔽	Project	
~	Instance Configuration 🗸	Tag (key:value)	
\checkmark	Operation		
	ОК		
		-	

インスタンス詳細情報の確認

1. インスタンスの管理ページ上部で、リージョンを選択します。

2. 詳細を確認しようとするインスタンスを見つけ、 ID/インスタンス名をクリックし、インスタンス詳細ページに入ります。下図の通りです。

インスタンス詳細ページで、インスタンス情報、アーキテクチャ図、ネットワーク情報、設定情報、イメージ情報、課金情報、Elastic Network Interface(ENI)、監視、セキュリティグループ、操作ログなどを確認できます。

Instance ID						Instance Co-
Instance ID						Instance Con
Availability Zone	Chengdu Zon	le 1				Operating Sys
IP		د ō				Creation Time
Instance Billing Mode	CDH Billing					
Bandwidth billing mode	e Bill by traffic	Modify billing r	mode			
Basic Information	ENI	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs	
Basic Information	ENI	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs	
Basic Information	ENI	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs Project	Default Project
Basic Information	e ENI	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs Project Tags	Default Project None 💉
Basic Information	ation	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs Project Tags Key	Default Project None 💉 None
Basic Information	ation	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs Project Tags Key Placement Group	Default Project None 💉 None p None

インスタンスメタデータのクエリ

最終更新日:::2023-07-19 10:51:48

インスタンスメタデータは、インスタンスに関連するデータを指します。実行中のインスタンスを構成または管理 するために使用できます。

説明:

インスタンスのメタデータにはログイン後にのみアクセスできますが、データは暗号化されていません。インス タンスにアクセスできる人員はいずれもそのメタデータを表示できます。そのため、機密データを保護するために 適切な予防措置を講じる必要があります。

インスタンスメタデータの分類

Tencent Cloudは現在、次のメタデータを提供しています。

データ	説明	バー ジョ ン
instance-id	インスタンスID	1.0
instance-name	インスタンス名	1.0
uuid	インスタンスID	1.0
local-ipv4	インスタンスのプライベートIP アドレス	1.0
public-ipv4	インスタンスのパブリックIPアドレス	1.0
mac	インスタンスのeth0デバイスの MAC アドレス	1.0
placement/region	インスタンスのリージョン	2017 年9 月19 日更 新
placement/zone	インスタンスのアベイラビリティーゾーン	2017 年9 月19 日更 新
network/interfaces/macs/\${mac}/mac	インスタンスネットワークインターフェースのデバイ	1.0



	スアドレス	
network/interfaces/macs/\${mac}/primary- local-ipv4	インスタンスネットワークインターフェースのプライ マリプライベートIPアドレス	1.0
network/interfaces/macs/\${mac}/public- ipv4s	インスタンスネットワークインターフェースのパブ リックIPアドレス	1.0
network/interfaces/macs/\${mac}/vpc-id	インスタンスネットワークインターフェースのVPC ID	2017 年9 月19 日更 新
network/interfaces/macs/\${mac}/subnet- id	インスタンスネットワークインターフェースのサブ ネットID	2017 年9 月19 日更 新
network/interfaces/macs/\${mac}/local- ipv4s/\${local-ipv4}/gateway	インスタンスネットワークインターフェースのゲート ウェイアドレス	1.0
network/interfaces/macs/\${mac}/local- ipv4s/\${local-ipv4}/local-ipv4	インスタンスネットワークインターフェースのプライ ベートIPアドレス	1.0
network/interfaces/macs/\${mac}/local- ipv4s/\${local-ipv4}/public-ipv4	インスタンスネットワークインターフェースのパブ リックIPアドレス	1.0
network/interfaces/macs/\${mac}/local- ipv4s/\${local-ipv4}/public-ipv4-mode	インスタンスネットワークインターフェースのパブ リックネットワークモード	1.0
network/interfaces/macs/\${mac}/local- ipv4s/\${local-ipv4}/subnet-mask	インスタンスネットワークインターフェースのサブ ネットマスク	1.0
payment/charge-type	インスタンスの料金プラン	2017 年9 月19 日更 新
payment/create-time	インスタンスの作成時間	2017 年9 月19 日更 新
payment/termination-time	インスタンスの終了時間	2017



		年9 月19 日更 新
app-id	インスタンスが属するユーザーの Appld	2017 年9 月19 日更 新
as-group-id	インスタンスのAuto ScalingグループID	2017 年9 月19 日更 新
spot/termination-time	スポットインスタンスの終了時間	2017 年9 月19 日更 新
instance/instance-type	インスタンス仕様	2017 年9 月19 日更 新
instance/image-id	インスタンスのイメージ ID	2017 年9 月19 日更 新
instance/security-group	インスタンスに関連付けられているセキュリティグ ループの情報	2017 年9 月19 日更 新
instance/bandwidth-limit-egress	インスタンスのプライベートネットワークの送信帯域 幅制限(Kbit/s)	2019 年9 月29 日更 新



instance/bandwidth-limit-ingress	インスタンスのプライベートネットワークの受信帯域 幅制限(Kbit/s)	2019 年9 月29 日更 新
cam/security-credentials/\${role-name}	CAMロールポリシーによって生成される一時的な認証 情報。インスタンスがCAMロールに関連付けられてい る場合にのみ取得できます。 \${role-name} を実際の CAMロール名に変更する必要があります。それ以外の 場合は、`404` が返されます。	2019 年12 月11 日更 新
volumes	インスタンス ストレージ	1.0

説明:

上記テーブルにおける \${mac} および \${local-ipv4} フィールドはそれぞれインスタンスに指定された ネットワークインターフェースのMACアドレスとプライベートIPアドレスを表します。

リクエストの宛先URLアドレスは、大文字と小文字を区別する必要があります。返されたリクエストの結果に従って、新しいリクエストの宛先URLアドレスを作成する必要があります。

返された配置データは、新しいバージョンで変更されています。以前のバージョンのデータを使用する必要がある 場合、以前のバージョンのパスを指定するか、バージョンのパスを指定しないことによりバージョン1.0のデータ にアクセスすることができます。返された配置データの詳細については、リージョンとアベイラビリティゾーン をご参照ください。

インスタンスメタデータのクエリ

インスタンスにログインすると、インスタンスのローカルIPアドレスやパブリックIPアドレスなどのメタデータに アクセスして、外部アプリケーションとの接続を管理できます。

実行中のインスタンス内部からすべてのカテゴリーのインスタンスメタデータを確認するには、次のURIを使用し てください。





http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/

cURLツールまたはHTTP GETリクエストを介してメタデータにアクセスできます。例:





curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/

リソースが存在しない場合、HTTPエラーコード「404 Not Found」が返されます。

メタデータ関連の操作はすべて、**インスタンスにログインした後**のみ実行できます。まずインスタンスにログイン してください。詳細については、Windowsインスタンスへのログイン または[Linuxインスタンスへのログイン]を ご参照ください。

メタデータクエリ例

以下の例では、メタデータのバージョン情報を取得する方法を説明します。

ご注意:

Tencent Cloudがメタデータのアクセスパスまたは返されたデータを変更する時、新しいメタデータのバージョン をリリースします。お客様のアプリケーションプログラムまたはスクリプトが以前のバージョンの構造または返さ れたデータに依存している場合、指定された初期のバージョンを使用してメタデータにアクセスできます。バー ジョンを指定しない場合、デフォルトでバージョン1.0がアクセスされます。



[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/ 1.0 2017-09-19 latest meta-data

以下の例では、メタデータのバージョン情報を取得する方法を説明します。そのうち「/」で終わる単語はディレ クトリを表し、「/」で終わらない単語はアクセスデータを表します。具体的なアクセスデータの意味は、前文の **インスタンスメタデータの分類**をご参照ください。



```
[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/
instance-id
instance-name
local-ipv4
mac
```



```
network/
placement/
public-ipv4
uuid
```

以下の例では、インスタンスの物理的な位置情報を取得する方法を説明します。 返されるデータと物理的な位置 情報の関係については、リージョンとアベイラビリティゾーンをご参照ください。



[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/placement/regio
ap-guangzhou



[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/placement/zone
ap-guangzhou-3

以下の例では、インスタンスのプライベートIPアドレスを取得する方法を説明します。インスタンスに複数のENI がある場合、eth0デバイスのネットワークアドレスが返されます。



[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/local-ipv4 10.104.13.59/

以下の例では、インスタンスのパブリックIPアドレスを取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/public-ipv4
139.199.11.29

以下の例では、インスタンス ID を取得する方法を説明します。インスタンスIDはインスタンスの一意の識別子です。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/instance-id ins-3g445roi

以下の例では、インスタンスUUIDを取得する方法を説明します。インスタンスUUIDはインスタンスの一意の識別 子とすることができますが、インスタンスIDを使用してインスタンスを識別することをお勧めします。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/uuid cfac763a-7094-446b-a8a9-b995e638471a

以下の例では、インスタンスのeth0デバイスのMACアドレスを取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/mac 52:54:00:BF:B3:51

以下の例では、インスタンスのENI情報を取得する方法を説明します。複数枚のENIは複数行のデータを戻し、各 行のデータはENI1枚のデータディレクトリです。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
52:54:00:BF:B3:51/

以下の例では、指定されたENIの情報を取得する方法を説明します。





```
[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
local-ipv4s/
mac
vpc-id
subnet-id
owner-id
primary-local-ipv4
public-ipv4s
local-ipv4s/
```

以下の例では、指定されたENIのVPC情報を取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
vpc-ja82n9op

[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
subnet-ja82n9op

以下の例では、指定されたENIにバインドされたプライベートIPアドレスのリストを取得する方法を説明します。 ENIが複数のプライベートIPアドレスにバインドされている場合、複数行のデータが返されます。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
10.104.13.59/

以下の例では、プライベートIPアドレスの情報を取得する方法を説明します。





```
[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
gateway
local-ipv4
public-ipv4
public-ipv4-mode
subnet-mask
```

以下の例では、プライベートIPアドレスのゲートウェイを取得する方法を説明します。VPCモデルのみがこのデー タをクエリできます。VPCモデルの詳細については、Virtual Private Cloud をご参照ください。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
10.15.1.1

以下の例では、プライベートIPアドレスがパブリックネットワークにアクセスするために使用するアクセスモード を取得する方法を説明します。VPCモデルのみがこのデータをクエリできます。クラシックネットワークタイプの CVMインスタンスは、パブリックネットワークゲートウェイを介してパブリックネットワークにアクセスしま す。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
NAT

以下の例では、プライベートIPアドレスにバインドされたパブリックIPアドレスを取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
139.199.11.29

以下の例では、プライベートIPアドレスのサブネットマスクを取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/network/interfa
255.255.192.0

以下の例では、インスタンスの課金方法を取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/payment/charge-POSTPAID_BY_HOUR

以下の例では、インスタンスの作成時間を取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/payment/create-2018-09-18 11:27:33

以下の例では、スポットインスタンスの終了時間を取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/spot/terminatio 2018-08-18 12:05:33

以下の例では、CVMが属するアカウントAppldを取得する方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/app-id 123456789

以下の例では、インスタンスが属する CAM ロールによって生成された一時的な認証情報を取得する方法を説明します。この例では、ロール名は「CVMas」です。




```
[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/cam/security-cr
{
    "TmpSecretId": "AKIDoQMxA6cW447p225cIt9NW8dhA1dwl5UvxxxxxxuqRlEb5_",
    "TmpSecretKey": "Q9z24VucjF4xQQN1PEsH3exxxxxxgA=",
    "ExpiredTime": 1615590047,
    "Expiration": "2021-03-12T23:00:47Z",
    "Token": "xxxxxxxxxx",
    "Code": "Success"
}
```

以下の例では、インスタンスストレージをクエリする方法を説明します。





[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/volumes
disk-xxxxxxx/

インスタンスユーザーデータのクエリ

インスタンスの作成時にインスタンスユーザーデータを指定できます。 cloud-initが設定されたCVMインスタンス はこのデータにアクセスできます。



ユーザーデータの検索

インスタンスにログイン後、以下の方法でユーザーデータにアクセスできます。



[qcloud-user]# curl http://metadata.tencentyun.com/latest/user-data
179, client, shanghai

インスタンスの名前変更

最終更新日:::2023-03-03 11:40:46

概要

ユーザーがコンソールで CVM インスタンスを管理し、各インスタンスを名前からすばやく簡単に見つけられるようにするために、Tencent Cloudは各インスタンスのネーミングをサポートし、インスタンスの名前をいつでも変更でき、新しい名前はすぐに有効になります。

操作手順

インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。 リストビュー

タブビュー

単一インスタンスの名前変更

1. CVMコンソール にログインします。

2. 下図のように、インスタンスリストで、名前を変更したいインスタンスを選択し、画面右のメニューから**さら** に>インスタンス設定>名前変更をクリックします。

Create Start Up	Shutdov	vn Restart	Reset Passwo	More Actions	•				
Separate keywords with "	", and separate tag	is using the Enter ke	ey.			Q. View instances	pending repossession		
✓ ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Networ
	di	A Running	Shanghai Zone 4			pane.	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by tr
v (di	lease Running	Shanghai Zone 4	•	12	-		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill Rer Exp Edit
Total items: 2									Bin
									Ass Ma
									Mic

3. ポップアップウィンドウで、新しいインスタンス名を入力し、OKをクリックします。これで名前の変更が完了 します。

複数インスタンスの名前変更

1. CVMコンソールにログインします。

2. 下図のように、インスタンスリストで、名前を変更したい複数のインスタンスを選択し、画面上部のメニュー バーからその他の操作>インスタンス設定>名前変更をクリックします。

Separate keywords with "	, and separate tag	s using the Enter ke				Q. View instances	pending repossession		
✓ ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type 🔻	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Netwo
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4			pane.		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by t
	di	Running	Shanghai Zone 4		12	-	·	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill Ren Exp Ed
Total items: 2									Bin
									As
									Ma
Total items: 2									

3. ポップアップウィンドウで、新しいインスタンス名を入力し、OKをクリックします。これで名前の変更が完了 します。

説明:

この方法で変更された複数のインスタンスの名前はすべて同じになります。

1. CVMコンソール にログインします。

2. 下図のように、インスタンスの名称を変更したいCVMタブを選択し、画面右上コーナーのその他操作 > インス タンス設定 > 名称変更を選択します。

-test1	• as-test2		
The initia	Running I login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the	lessage Center,Reset the password if you forgot it.	Log In Shutdow
nstance ID		Instance Configuration	
wailability Zone		Operating System	
p	1000	Creation Time	2021-01-08 19:00:29
nstance Billing Mode			
andwidth billing mode			

3. ポップアップウィンドウで、新しいインスタンス名を入力し、**OK**をクリックします。これで名前の変更が完了 します。

インスタンスのパスワードのリセット方法

最終更新日:::2023-03-03 11:55:53

概要

CVMインスタンスのログインパスワードを忘れた場合は、コンソールでリセットすることができます。このド キュメントでは、コンソールでインスタンスのログインパスワードをリセットする方法について説明します。 **ご注意:**

インスタンスが「シャットダウン」状態である場合、ログインパスワードを直接リセットできます。

インスタンスがまだ実行中の場合、コンソールでログインパスワードをリセットすると強制的にシャットダウン されます。データが失われるのを防ぐため、あらかじめ操作時間の計画を立てておいてください。業務時間外やオ フピーク時にパスワードをリセットすることをお勧めします。

操作手順

単一インスタンスのパスワードのリセット

複数インスタンスのパスワードのリセット

1. CVMコンソールにログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:下図のように、パスワードをリセットしたいCVMインスタンスを選択し、画面右のメニューから さらに>パスワード/キー>パスワードをリセットをクリックします。

ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mod T	Network Bi
	di	Running	Shanghai Zone 4		4-core 20GB 1Mbps System disk: Premi Cloud Storage Network:Default-VPC			Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffi
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4	•	4-core 20GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:Default-VPC	100	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by traffi
Total items: 2									

タブビュー:下図のように、パスワードをリセットしたいCVMページで、**パスワードをリセット**ボタンをクリッ クします。

• as-test1	• as-test2					
The initi	I login name for this CVM is root. You can check the initial	login password in the Message Center, Reset the password if you forgo	ot it.	Log in	Shutdown	Re
Instance ID		h	nstance Configuration			
Availability Zone	Shanghai Zone 4	c	Operating System			
IP	10000	c	Creation Time	2021-01-08 19:00:29		
Instance Billing Mode						
Bandwidth billing mode						

3. 下図のように、ポップアップウィンドウで、「ユーザー名」のタイプを選択し、パスワードをリセットしたい ユーザー名と、対応する「新しいパスワード」と「パスワードの確認」を入力して、**次へ**をクリックします。

ご注意:

そのうち「ユーザー名」タイプのデフォルトは「システムデフォルト」であり、対応するOSのデフォルトユー ザー名(Windowsシステムのデフォルトユーザー名は Administrator 、Ubuntuシステムのデフォルトユー ザー名は ubuntu 、その他のバージョンのLinuxシステムのデフォルトは root)が使用されます。別のユー ザー名を指定する必要がある場合は、「ユーザー名の指定」を選択し、対応するユーザー名を入力してくださ い。

ID/Name	Instance Type	Instance Configuration
	Standard S5 👬	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network
Jsername	System default 🔹	
	root	
New Password]
	Please enter the instance password	
Confirm Password]
	Please enter the instance password ag	gain

4. インスタンスの状態に従ってパスワードをリセットします。

下図のように、状態が「**実行中**」であるインスタンスのパスワードをリセットするには、「強制シャットダウン に同意」にチェックを入れ、パスワードをリセットボタンをクリックします。これでパスワードのリセットは完 了です。

Reset Password	×
Set Password > 2 Shutdown CVM	
 i) You need to shutdown the instance for the current operation: To avoid data loss, we will shut down the instance before adjusting the configuration. Your business will be interrupted during shut down so please take necessary precautions before continuing. Forced shutdown may result in data loss or file system corruption. We recommend manually shutting down CVM manually before the operation. Forced shutdown may take a while. Please be patient. 	
Forced shutdown * Agree to a forced shutdown Previous step Reset Password	

下図のように、状態が「シャットダウン」であるインスタンスのパスワードをリセットするには、パスワードを リセットボタンをクリックします。これでパスワードのリセットは完了です。

Reset Password		×
Set Passwor	rd > 2 Shutdown CVM	
You need to selected ins	shutdown the instance for the current operation, and all tances are shut down.	

1. CVMコンソール にログインします。

2. 下図のように、インスタンスの管理画面で、パスワードをリセットするCVMインスタンスを選択し、画面上部のメニューバーからパスワードをリセットボタンをクリックします。

Instances	Other regio	ons(50) 💌							
Create Start Up Project:DEFAULT PROJECT	Shutdown Separate keywor	Restart	Reset Password	More Actions 🔻		Q View instances pend	ing repossession		
✓ ID/Name	Monitorin g	Status 🔻	Availability Zc 🍸	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mode 🔻	Network Bill
					2 results found	for "Project:DEFAULT PROJECT"	Back to list		
	di -	阏 Running	And and	Standard S5 🗱	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:	a		Pay as you go Created at 2021-06-30 10:43:59	Bill by traffic
	di (阏 Running		Standard S5 🗱	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:	a	•	Pay as you go Created at 2021-06-30 10:43:55	Bill by traffic
Total items: 2									

3. 下図のように、「パスワード設定」手順で、「ユーザー名」のタイプを選択し、パスワードをリセットしたい ユーザー名と、対応する「新しいパスワード」と「パスワードの確認」を入力して**次へ**をクリックします。

ご注意:

そのうち「ユーザー名」タイプのデフォルトは「システムデフォルト」であり、対応するOSのデフォルトユー ザー名(Windowsシステムのデフォルトユーザー名は Administrator 、Ubuntuシステムのデフォルトユー ザー名は ubuntu 、その他のバージョンのLinuxシステムのデフォルトは root)が使用されます。別のユー ザー名を指定する必要がある場合は、「ユーザー名の指定」を選択し、対応するユーザー名を入力してくださ い。

ID/Name	Instance Type	Instance Configuration
	Standard S5 😽	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:
	Standard S5 🛟	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:
lsername	System default	
	root	
lew Password		
	Please enter the instance password	
Confirm Password	Please enter the instance password	again
0		-

4. インスタンスの状態に従ってパスワードをリセットします。

下図のように、状態が「**実行中**」であるインスタンスのパスワードをリセットするには、「強制シャットダウン に同意」にチェックを入れ、パスワードをリセットボタンをクリックします。これでパスワードのリセットは完 了です。

Reset Password	×
Set Password > 2 Shutdown CVM	
 Vou need to shutdown the instance for the current operation: To avoid data loss, we will shut down the instance before adjusting the configuration. Your business will be interrupted during shut down so please take necessary precautions before continuing. Forced shutdown may result in data loss or file system corruption. We recommend manually shutting down CVM manually before the operation. Forced shutdown may take a while. Please be patient. 	
Forced shutdown * Agree to a forced shutdown Previous step Reset Password	

下図のように、状態が「シャットダウン」であるインスタンスのパスワードをリセットするには、パスワードを リセットボタンをクリックします。これでパスワードのリセットは完了です。



よくある質問

Windowsインスタンスのパスワードのリセットに失敗した場合は、CVMパスワードリセット失敗、またはパス ワードが無効を参照してトラブルシューティングを行うことができます。

インスタンス IP アドレスを管理する プライベートIPアドレスの取得とDNSの設定

最終更新日:::2023-04-13 10:51:02

概要

このドキュメントでは、インスタンスのプライベートIPアドレスを取得し、プライベートDNSを設定する方法に ついて説明します。

操作手順

インスタンスのプライベートIPアドレスの取得

コンソールを利用した取得

API を利用した取得

インスタンスメタデータを利用した取得

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンス管理ページで、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:下図のように、プライベートIPを表示したいインスタンスを選択し、マウスを「プライマリIPv4ア ドレス」列に移動して、

をクリックすれば、プライベートIPをコピーできます。

ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type 🔻	Instance Configuration	Primary IP\
	di	阏 Running	Shanghai Zone 4	B		-

タブビュー:下図のように、インスタンスページで、「IPアドレス」のプライベートネットワークアドレス後の

をクリックすれば、プライベートIPをコピーできます。

as-test1	• as-test2
The in	itial login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if yo
Instance ID	
Availability Zone	
IP	(Public) T (Private) T
Instance Billing Mode	
Bandwidth billing mo	de

DescribeInstances インターフェース をご参照ください。

1. CVMにログインします。

2. cURLツールまたはHTTPのGETリクエストを介して、インスタンスのメタデータにアクセスします。 説明:

以下の操作は、cURLツールを例とします。

次のコマンドを実行し、プライベートIPを取得します。





curl http://metadata.tencentyun.com/meta-data/local-ipv4

下図のように、返される情報はプライベートIPアドレスです。

[root0UM_58_27_centos ~]# curl http://metadata.tencentyun.com/meta-data/local-ipv4
10.XXX.XX.27

インスタンスメタデータのさらに詳細な情報については、 インスタンスメタデータの確認 をご参照ください。

プライベートネットワークDNSの設定



ネットワーク解析にエラーが発生した場合、CVMのOSの種類に応じてプライベートネットワークDNSを手動で設 定できます。 Linux システム Windows システム 1. Linux CVMにログインします。

2.次のコマンドを実行して、 /etc/resolv.conf ファイルを開きます。



vi /etc/resolv.conf

3. 「i」キーを押して編集モードに切り替え、プライベートネットワークDNSに対応するリージョンに従ってDNS IPを変更します。

たとえば、プライベートネットワークDNS IPを北京リージョンのプライベートネットワークDNSサーバーに変更 します。



nameserver 10.53.216.182
nameserver 10.53.216.198
options timeout:1 rotate

4. Escキーを押して、:wqを入力し、ファイルを保存して戻ります。



1. Windows CVMにログインします。

2. OSのインターフェースで、コントロールパネル > ネットワークと共有センター > アダプターの設定の変更を開きます。

3. **イーサネット**を右クリックして、**プロパティ**を選択し、「イーサネットのプロパティ」ウィンドウを開きま す。

4. 下図のように、「イーサネットのプロパティ」ウィンドウで、**インターネットプロトコルバージョン4** (TCP/IPv4)をダブルクリックして開きます。



5. 次のDNSサーバーのアドレスを使う にチェックをして、プライベートネットワーク DNS に対応するリージョ ンに従ってDNS IPを変更します。



ganize	Disable this network d	evice Diagnose this connection	Rename this connection View status of this connection »
8	Bluetooth Network Connection Not connected Bluetooth Device (Personal A	ea Ethernet0 Network Intel(R) 82574L Giaabi	Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4) Properties X
	Ethernet0 Status	Networking	General Alternate Configuration
	General	Connect using:	You can get IP settings assigned automatically if your network supports
	Connection IPv4 Connectivity: IPv6 Connectivity: Media State: Duration: Speed: Details Activity	Intel(R) 82574L Gigabit Network C This connection uses the following items: Client for Microsoft Networks Client for Microsoft Networks Client for Microsoft Networks Client for Microsoft Network Adapter Micro Acrosoft Network Adapter Multi Microsoft Network Adapter Multi Microsoft LLDP Protocol Driver LIDP Protocol Version 6 (TCF (for the appropriate IP settings.
	Bytes: 1,0	Install Uninstall Description Transmission Control Protocol/Internet wide area network protocol that provid across diverse interconnected network	Alternate DNS server: 8 . 8 . 4 . 4 Ualidate settings upon exit Advanced OK Cancel

6. **OK**をクリックします。

プライベートIPアドレスの変更

最終更新日:::2024-07-05 16:57:38

ユースケース

コンソールで、プライベート ネットワーク内のクラウド サーバー (クラウド仮想マシン、CVM) インスタンスのイ ントラネット IP を直接変更できます。このドキュメントでは、クラウド サーバー コンソールでプライベート ネットワーク内の CVM インスタンスのイントラネット IP を変更する方法を説明します。

制限条件

プライマリENIのプライマリIPを変更すると、関連するCVMが自動的に再起動されます。 セカンダリENIのプライマリ IPは変更できません。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. プライベートIPを変更するインスタンスのリージョンを選択し、インスタンスのID/名前をクリックして、イン スタンスの詳細画面に入ります。

3. ENIタブを選択して、

をクリックしてプライマリENIを展開します。

4. プライマリENIの操作列で、プライマリIPの変更をクリックします。

5. 「プライマリIPの変更」ダイアログボックスで、新しいIPアドレスを入力してから【OK】をクリックします。 変更は、インスタンスの再起動後に有効になります。

ご注意:

現在のサブネットCIDRに属するプライベートIPのみ入力できます。

パブリックIPアドレスの取得

最終更新日:::2023-03-03 15:01:54

概要

このドキュメントは、コンソール、API、およびインスタンスメタデータでパブリックIPアドレスを取得する方法 について説明します。

操作手順

コンソールを利用した取得 API を利用した取得 インスタンスメタデータを利用した取得 1. CVMコンソール にログインします。 2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。 リストビュー:下図のように、マウスをプライマリ IPアドレス列に移動し、

ロ をクリックすれば、このIPアドレスをコピーできます。

Separate keywords with 1, and	u separate tag	view instances pe	nung repossession				
ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6
100	di	阏 Running	Shanghai Zone 4		120	Public <mark>FD F1</mark> (Private) I <u>D</u>	-

タブビュー:下図のように、インスタンスページで、「IPアドレス」のパブリックネットワークアドレス後の

をクリックすれば、パブリックIPをコピーできます。

as-test1	as-test2	
	Running	
The	initial login name for this CVM is root. You can check the initial login password in t	heMessage Center,Reset the password if you forgot it.
Instance ID		Instance Configuration
Availability Zone		Operating System
IP	(Public)	Creation Time
Instance Billing Mo	ode	
Bandwidth billing r	mode	

ご注意:

パブリックIPアドレスは、NATを介してプライベートIPアドレスにマッピングされるため、インスタンス内部で ネットワークインターフェースのプロパティを(ifconfig (Linux) または ipconfig (Windows) コマ ンドを介して)確認しても、パブリックIPアドレスは表示されません。インスタンス内部からインスタンスのパ ブリックIPアドレスを確認したい場合は、インスタンスメタデータを利用した取得をご参照ください。

詳細については、DescribeInstances をご参照ください。

1. CVMインスタンスにログインします。

具体的なログイン方法については、標準ログイン方法を使用した Linuxインスタンスへのログイン および標準ログ イン方法を使用した Windowsインスタンスへのログイン をご参照ください。

2. cURLツールまたはHTTPのGETリクエストを介してmetadataにアクセスし、パブリックIPアドレスを取得します。





curl http://metadata.tencentyun.com/meta-data/public-ipv4

戻り値に次のような構造がある場合は、パブリックIPアドレスを確認できます。

詳細については、インスタンスメタデータの確認 をご参照ください。

パブリックIPアドレスの変更

最終更新日:::2023-03-03 15:12:56

概要

このドキュメントでは、CVMインスタンスのパブリックIPアドレスを変更する方法について説明します。

注意事項

各アカウントは、同じリージョンのCVMインスタンスのパブリックIPアドレスを1日に最大3回変更できます。 各インスタンスのパブリックIPは、**1回だけ変更できます。 元のパブリックIPは、変更後にリリースされます。**

前提条件

CVMコンソール にログインしました。

操作手順

インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー

タブビュー

1. 下図のように、パブリックIPアドレスを変更するCVMインスタンスを選択し、さらに> IP/ENI>パブリックIPを 変更を選択します。

Create Start Up	Shutdov	vn Restart	Reset Passwo	rd More Actions	v					
Separate keywords with " ", an	d separate tag	is using the Enter ke				Q View instances pending repossession				
ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🚯	Primary IPv6	Instance Billing Mod $\overline{\mathbf{Y}}$	Network Billing M	
	.lı	🛃 Running	· Zona A	GDII Comput	Makes C	1000	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffic	
	di	अ Running		8	Ne		-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by traffic Unb Retu Cha	
Total items: 2									Bind	
									Unb	

2. 「IPの変更」ダイアログボックスで、**OK**をクリックして変更を完了します。

下図のように、パブリックIPアドレスを変更するインスタンスの詳細ページに移動して、その他の操作>
 IP/ENI>パブリックIPを変更を選択します。

• as-test1	• as-test2		
The initia	al login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if you	forgot it.	Log In Shutdown
Instance ID	Classific Control of C	Instance Configuration	
Availability Zone		Operating System	
IP		Creation Time	2021-01-08 19:00:29
Instance Billing Mode			
Bandwidth billing mod			

2.「IPの変更」ダイアログボックスで、OKをクリックして変更を完了します。

パブリックIPアドレスを取り戻す

最終更新日:::2023-03-03 15:17:29

ユースケース

このドキュメントでは、使用したことがあって、まだ他のユーザーに割り当てられていないパブリックIPアドレスを取り戻す方法について説明します。

注意事項

取り戻したIPはEIPであり、EIPの合計数は製品のクォータの合計を超えてはいけません。 各アカウントは、各地域で1か月あたり最大3回まで特定のIPアドレスを申請できます。

操作手順

1. CVMコンソールにログインします。

2. 左側のナビゲーションメニューバーから【Public IP】タブをクリックし、「EIP」管理ページに入ります。

3. 【Retrieve IP】をクリックします。下図に示すように:

EIP											
Guangzhou(1)	Shanghai(6)	Beijing(1)	Chengdu(2)	Chongqing	Hong Kong, China(1)	Singapore	Bangkok	Mumbai	Seoul(2)	Tokyo(2)	Silicon Valley
For CVMs created	For CVMs created on Sept 18, 2019 and later, the maximum number of public IPs that can be bound to a CVM is subject to new restrictions. See the documentation for details.										
Apply Ret	rieve IP Re	elease									
D/Name	I	M Status 🎙		Elastic IP add	Iress Billing I	Mode	Bind res	ources	Publis	hing regions	Bound reso
		II Bound		14	End Billi	ng	0		-		NAT Gatewa

4. 「Retrieve IP」ダイアログボックスで、パブリックIPアドレスを入力し、【Query】をクリックし、IPを取り戻 すことを申請できるかどうかを確認します。下図に示すように:

Ketrieve IP		×
Currently you can are not used by c	n only retrieve public IPs that you used before wh	ien they
are not used by o	other users.	
Please check whethe	r this IP is available first	

はいの場合、【Apply Now】をクリックします。

いいえの場合、申請したIPアドレスがすでに使用されていることを意味し、取り戻すことができません。この場 合、別のIPアドレスを申請するか、【Cancel】をクリックして画面を閉じます。

セキュリティグループの変更

最終更新日:::2023-04-10 15:32:09

概要

セキュリティグループは、インスタンスの仮想ファイアウォールとして機能し、1つまたは複数のCVMのネット ワークアクセス制御を設定するために使用され、Tencent Cloudが提供する重要なネットワークセキュリティ分離 方法です。CVMインスタンスを作成する際に、そのインスタンスのセキュリティグループを設定する必要があり ます。Tencent CloudはユーザーがCVMインスタンスを作成した後にインスタンスが属するセキュリティグループ を変更することをサポートしています。

ご注意:

インスタンスを新しいセキュリティグループに設定したい場合は、先にセキュリティグループを新規作成してく ださい。具体的な操作については、セキュリティグループの作成 をご参照ください。

前提条件

CVMコンソールにログインしました。

操作手順

設定されたセキュリティグループの変更

インスタンス管理ページで、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストモード

タブモード

1. 下図に示すように、インスタンスの管理ページで、新しいセキュリティグループを設定する必要があるCVMイ ンスタンスを選択し、さらに>セキュリティグループ>セキュリティグループの設定をクリックします。

Create Start up	Shutdown	Restart	Reset Password	More Actions 💌					
Separate keywords with " ";	press Enter to sepa	rate filter tags			Q L V	/iew instances pending reposs	ession		
D/Name	Monitoring	Status 🔻	Availability Zot 🕈	Instance Type 🔻	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mode 🗡	Network bil
	di	Running	Guangzhou Zone 4	Standard S4 🏶	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Lab1-VPC01	11	-	Pay as you go Created at 2020-05-09 09:56:13	Bandwidth P.
	dı	🔊 Running	Guangzhou Zone 4	Standard S2 🏶	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Lab1-VPC01	a	-	Pay as you go Created at 2020-05-09 09:14:39	Bandwidth P
	di	🔗 Running	Guangzhou Zone 4	Standard S2	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud)t <u>1</u>	-	Pay as you go Created at 2020-05-09 09:14:06	Bandwidth P

2. ポップアップウィンドウで、新しいセキュリティグループ名にチェックを入れ(複数選択可)、**Confirm**をク リックするとセキュリティグループを変更することができます。

1. インスタンスの管理ページで、新しいセキュリティグループを設定する必要があるCVMインスタンスのタブを 選択します。

2. 下図に示すように、インスタンス詳細ページで、右上のその他の操作 > セキュリティグループ > セキュリティ グループの設定を選択します。

•	-		
	Basic Information	ENI Public IP Monitoring Security Groups Operation L	ogs
	Instance Info		Architecture
	Name		South China(Guangzhou)/Guangzhou Zone 4/
	Instance ID		
	UUID	:364eebb51	I security group
	Instance Specification	Standard S4 S4.SMALL2	
	Project	Default Project	
	Region	Guangzhou	Running

3. ポップアップウィンドウで、新しいセキュリティグループ名にチェックを入れ(複数選択可)、 Confirmをクリックします。

インスタンスに関連付けられたセキュリティグループの変更

1. インスタンスの管理ページで、セキュリティグループに関連付ける必要があるCVMインスタンスID/名前をク リックし、このインスタンスの詳細ページに進みます。

2. 下図に示すように、インスタンス詳細ページで、**セキュリティグループ**タブを選択し、「Bound security groups」欄で**Bind**をクリックします。

c Information ENI Public	ID Monitoring			
	ir wontoning	Security Groups	Operation Logs	
Sound to security group		Sort	Bind Rule preview	w rule Outbound rule
Priority Security Group ID/na	me	Operatio	on	
6		Unbind	-	, Open all ports
			Source	
			ALL	

3. 下図に示すように、ポップアップウィンドウで、実際のニーズに基づいて関連付けるセキュリティグループに チェックを入れ、OKをクリックしてセキュリティグループとの関連付け操作を完了します。

rojects	All projects	v		Selecte	d (4)		
elect a s	security group				ID/Name	Notes	
Enter th	e security group r	name or ID	Q,	÷.			8
_ I ✓	D/Name	Notes	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	*			8
<u>~</u>				*			8
<u>~</u>			- *	→ <u></u>			Ø

従量課金インスタンスの年額・月額課金への 変換

最終更新日:::2024-03-14 14:43:59

操作ケース

Cloud Virtual Machine(CVM)をより便利にご利用いただくために、Tencent Cloud では、CVM の従量課金イン スタンスを年額・月額課金インスタンスに変換する機能を開放しており、一時的に使用される従量課金インスタ ンスを長期的かつ安定的にご利用いただける年額・月額課金インスタンスに変換します。変換操作は、CVM のコ ンソールと TencentCloud API で行うことができます。このドキュメントでは、CVM のコンソールで従量課金イン スタンスを年額・月額課金インスタンスに変換する機能の操作について説明します。

変換ルール

CVM のコンソールでは、課金方式の変換機能を提供しています。具体的なルールは以下のとおりです。

従量課金インスタンスを個々・一括に年額・月額課金インスタンスに変換することができます。

従量課金インスタンスを年額・月額課金インスタンスに変換する際に、リニューアルオーダーが発生します。課金 方式の変換を有効にするには、このオーダーの支払いプロセスを完了する必要があります。

支払いが行われなかった場合、または支払いが失敗した場合は、お客様の オーダーセンター ページでオーダーを 確認して処理することができます。

課金方式を従量課金から年額・月額課金に変換する CVM は、5 日以内の理由なしの払い戻しをサポートしません。

課金方式の変換と支払いが成功すると、インスタンスは直ちに年額・月額で課金されます。新しい年額・月額課金 インスタンスの開始時刻は、変換が成功した時刻とします。

支払いが成功するまで、このインスタンスに対して課金方式の変換を繰り返して実行することはできません。 支払いが成功するまでに、インスタンスの設定情報が変更され(設定の調整/システムの再インストール/帯域幅の 調整/ディスクの調整など)、新しいオーダーの金額とインスタンスが一致せず、未払いオーダーの支払いが禁止 される場合は、まず オーダーセンター で現在の未払いオーダーをキャンセルしてから、新しい変換操作を実行す る必要があります。

従量課金から年額・月額課金への変換機能は、インスタンスとディスクを同期的に変換する課金方式をサポート しています。インスタンス課金方式の変換後、標準アカウントタイプ(bill-by-IP)の通常のパブリックネットワー ク IP の時間帯域幅の課金方式と、従来のアカウントタイプ(bill-by-CVM)の時間帯域幅の課金方式は、年額・月 額の帯域幅課金方式の自動変換をサポートしており、それ以外のネットワーク帯域幅課金方式は変更されませ ん。

使用制限

使用可能なゾーンの年額・月額課金の残りのクォータが、変換する従量課金インスタンス数より少ない場合は、 変換をサポートしません。

従量課金インスタンス以外のインスタンスは、変換をサポートしません。

ビッドインスタンスは、変換をサポートしません。

インスタンスネットワークの課金方式が帯域幅の使用時間に基づくため、現在、変換をサポートしません。

クラウドマーケットイメージを使うインスタンスは、変換をサポートしません。

バッチ型インスタンス BC1、BS1 は、変換をサポートしません。

従量課金インスタンスに未完了の変換オーダーがある場合は、変換をサポートしません。

従量課金インスタンスに定時破棄が設定された場合は、変換をサポートしません。変換が必要な場合は、定時破 棄をキャンセルしてから、再度変換してください。

操作手順

1. Cloud Virtual Machine コンソール にログインします。

2. 実際のニーズに応じて、インスタンス管理ページで、異なるインスタンス変換操作を選択します。

個々のインスタンスの変換

複数のインスタンスの変換

ンスタンス管理ページで、実際に使用するビュー方式に応じて操作します。

リストビュー:右側の操作バーで、その他 > インスタンス設定 > 従量課金から年額・月額課金への変換を選択し ます。下図のとおりです。

説明:

また、変換するインスタンスにチェックを入れ、上部にあるのその他の操作> インスタンス設定 > 従量課金 から年額・月額課金への変換を選択することができます。

ID/Name	Mo nito ring	Status ▼	Availabili 🔻	Instance type T	Instance configuration	Primary IPv4	Primary IPv6	Instance billing mode T	Network billin: T	0
ins-k3fb1gme gardennchen_test _allinone	ılı	阏 Running	Guangzhou Zone 6	Standard S6 📘	2-core 2GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	139.199.178.169 (Public) F 172.16.49.107 (Private)	-	Pay-as-you-go Created at 2023-10-19 10:44:47	Bill by traffic	L I
ins-e6vvka4g test_languange _1	di	🛞 Running	Guangzhou Zone 6	Standard S6 🚺	2-core 4GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	43.138.202.25 (Public) [1 172.16.48.11 (Private)	-	Rename Instance termination protection Export instances	1	
ins-Odmgspc4 diluczhang	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 3	Standard S5 😰	2-core 4GB 0Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	- 172.16.16.13 (Private)	[Edit tags Bind/modify role Assign to project	Monthly Subscription	י י ו
ins-lhqgt4ro echochang在测试	di	阏 Running	Guangzhou Zone 3	Standard SA2 ╬	2-core 4GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC	1.12.60.154 (Public) [172.16.16.17 (Private)	- l	Manage instance placement gr Migrate to CDH	roup	J.

タブビュー:インスタンスページで、右上にあるその他の操作 > インスタンス設定 > 従量課金から年額・月額課 金への変換を選択します。下図のとおりです。

			Running	Log in Shut	tdown	t Reset password	Terminate/Return	More actio
the instance, c	hame is root. If you select ' heck the password in	"Handom password"	when purchasing					Purchase
Message Cent	er. You canreset the passwo	ord if you forget it.				Rename		Instance s
						Instance termination p	otection	Reinstall s
					_	Export instances		Password
Basic information	ENI Public IP	Monitoring	Security groups	Operation logs	Run command	ds Edit tags		Resource
						Bind/modify role		Create cus
						Assign to project		IP/ENI
Instance information						Switch from Pay-as-yo	u-go to Monthly Subscription	Security g
lame	1000		Project	Default Project		Manage instance place	ment group	OPS and (
			-			Migrate to CDH	-	hou)/Guang
nstance ID			Tags	None 🧨			jadnewzg	
UUID			Key	- 12 B	de Ce	. (1 security group	
Instance specification	Standard S6 S6.MEDI	UM2	Placement group	None				
Instance termination protection	Disabled 🧨		Region	Guangzhou			1 ENI	

変換するすべてのインスタンスにチェックを入れ、上部にあるの**その他の操作> インスタンス設定 > 従量課** 金から年額・月額課金への変換をクリックします。そうすると、インスタンスの課金方式を一括に変換することが できます。下図のとおりです。

操作できないインスタンスには理由が表示されます。

Cre	eate	Start up		Shutdown	Restart	Reset password	Terminate/Return	More actions v			Switch to
If you enter multiple keywords, only exact matching is supported.					ig is supported.	Rename		Instance settings View instances pending reposses		nding repossession	
	ID/Name		Mo nito ring	Status T	Availabili 🝸	Hibernate Instance termination protection Export instances		Load a key Resource adjustment Add to security group	Primary IPv6	Instance billing mode T	Network billin: T
	r J	зt	di	공 Running	Guangzhou Zone 6	Edit tags Bind/modify role Delete role		3	-	Pay-as-you-go Created at 2023-10-19 10:44:47	Bill by traffic
	n e	-	di.	阏 Running	Guangzhou Zone 6	Switch from Pay-as-you Manage instance placen Migrate to CDH	-go to Monthly Subscription			Pay-as-you-go Created at 2023-07-17 10:47:12	Bill by traffic
	n J		di	Running	Guangzhou Zone 3	Standard S5 🔳	2-core 4GB 0Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC			Pay-as-you-go Created at 2022-10-19 15:50:01	Bill by traffic
	n 31	đ	di	Aunning	Guangzhou Zone 3	Standard SA2 🛟	2-core 4GB 5Mbps System disk:Balanced SSD Network:Default-VPC			Pay-as-you-go Created at 2022-09-22 20:53:07	Bill by traffic
i i s t	in si te	1	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 6	Standard S5 🔁	2-core 2GB 5Mbps System disk:Premium Cloud Disk			Pay-as-you-go Created at 2022-07-07 17:15:21	Bill by traffic

3. ポップアップ表示される**従量課金から年額・月額課金への変換ウィンドウ**で、実際のニーズに応じてリニュー アル時間及び自動リニューアルの可否を設定します。下図のとおりです。
| You've selected 1 in | istance. Co | llapse | | | | | | | |
|---|--|---|--|--|---|--|--|--------------------------|--------|
| ID/Name | | Insta | nce type | | Instance co | onfiguration | New expiry | time | Disc |
| en. | | Stand | lard S6 | 2 | 2-core 2GB
System disk
SSD
Network:vpc | 5Mbps
::Balanced
c-9679ku27 | 202 | | |
| When you changed. The display | I switch from
For bandw
ayed discou | m Pay-
idth bil
unt is th | as-you-ç
lling deta
he highes | to Monthly
ils, see <u>Switc</u>
at discount fo | Subscription,
hing Rules 12.
r all instances. | both the billing | mode of instan | ce and disk v | will b |
| When you
changed.
The displa | ı switch fron
For bandw
ayed discou | m Pay-
idth bil
unt is th | -as-you-ç
lling deta
he highes | to Monthly
ils, see <u>Switc</u>
It discount fo | Subscription,
hing Rules 🗹 .
r all instances. | both the billing | mode of instan | ce and disk v | will t |
| When you
changed.
The displatements of the displatements of the displatement of t | I switch from
For bandw
ayed discou | m Pay-
idth bil
unt is th | as-you-ç
ling deta
ne highes
3 | to Monthly
ils, see <u>Swito</u>
t discount fo
1 year | Subscription,
hing Rules 12 .
r all instances.
2 years | both the billing
3 years | mode of instand
4 years | ce and disk v
5 years | will b |
| When you
changed.
The displated of the displated of | I switch froi
For bandw
ayed discou
1
Auto-re | m Pay-
idth bil
unt is th
2
new th | -as-you-g
lling deta
he highes
3
e device | to Monthly
ils, see <u>Swito</u>
it discount fo
1 year
every month | Subscription,
hing Rules 12 .
r all instances.
2 years
when my acco | both the billing
3 years
bunt has sufficie | mode of instand
4 years
nt balance | ce and disk v | will b |
| When you
changed.
The displated
enewal period *
uto-renewal
torage | I switch from
For bandw
ayed discound
1
Auto-re
Switch to M | m Pay-
idth bil
unt is th
2
new th
/onthly | as-you-g
lling deta
ne highes
3
e device | to Monthly
ils, see <u>Swito</u>
it discount fo
<u>1 year</u>
every month
ption as well | Subscription,
hing Rules 12 .
r all instances.
2 years
when my acco | both the billing
3 years
ount has sufficie | mode of instand
4 years
nt balance | 5 years | will b |
| When you
changed.
The displate
the displate the displate
the displate the disp | a switch from
For bandw
ayed discou
1
Auto-re
Switch to M | m Pay-
idth bil
unt is th
2
new th
Aonthly | as-you-ç
lling deta
ne highes
3
e device
r Subscrij | to Monthly
ils, see <u>Swito</u>
at discount fo
<u>1 year</u>
every month
ption as well | Subscription,
hing Rules 12 .
r all instances.
2 years
when my acco | both the billing
3 years
ount has sufficie | 4 years | 5 years | |

リニューアル時間:年額・月額課金に変換した後の購入時間を選択します。複数インスタンスの一括変換の場合 は、同じ購入時間しか設定できません。

自動リニューアル:ニーズに応じて自動リニューアルを選択します。

4. 従量課金から年額・月額課金への変換に関するルールを読み、同意するチェックボックスにチェックを入れ て、今すぐ変換をクリックします。このインスタンスに未完了の変換オーダーがない場合は、自動的に支払いペー ジにジャンプします。

5. ページの指示に従って支払いを完了すると、変換操作は完了します。

よくある質問

変換処理中に問題が発生した場合は、よくある質問>課金関連ドキュメントを参照してください。

インスタンスの検索

最終更新日:::2023-03-03 15:57:20

シナリオ

デフォルトでは、CVMコンソールは現在のリージョン内のすべてのプロジェクトのインスタンスを表示します。 現在のリージョンでインスタンスをすばやく検索できるように、Tencent Cloud はCVM検索機能を提供します。現 在、所属するプロジェクト、インスタンスの課金方法、インスタンス タイプ、アベイラビリティ ゾーン、IP、イ ンスタンス ID、インスタンス名などのリソース属性によってインスタンスをフィルタリングすることが可能で す。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 必要に応じて、検索ボックスに検索したいキーワードとなる言葉を入力します。

Q をクリックして検索します。 キーワードを入力し、

Q をクリックします。下図の通りです。

Instances	🔇 Nanjing 1 •	Other regions(3	3) 🔻							
Create	Start up	Shut down	Restart	Reset Password Mor	e Actions 🔻	_				
Project: All I	Projects 🛞 🛛 Sepi ra	te keywords with "	", and separate tags	using the Enter key		😂 🛈 🔍 🗌 Vie	ew instances pending reposse	ssion		
D/Nan	ne	Monitoring	Status 🔻	Availability Zone 🔻	Instance Type 🔻	Instance Configuration	Primary IPv6	Instance Billing Mode T	Network Billing Mode 🔻	Project ▼
						1 result found for "Projec	t:All Projects" Back to list			
		di	Running	Nanjing Zone 1	Standard S5 🐝	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:		Pay as you go Created at 2021-03-11 16:39:54	Bill by traffic	Default Projec
Total items:	1								20 -	/ page 🔣 🕴

検索するリソースディメンション(所属するプロジェクト、インスタンスの課金方法、インスタンスタイプなど) を選択し、 Q をクリックします。下図の通りです。

Create Start of	p Shut down	Restart	Reset Password Mo	re Actions 🔻					
Project: All Projects 🕲	Separate keywords with "	", and separate tag	s using the Enter key		🕲 🔅 🔍 🗌 View in	stances pending repossessi	on		
ID/Name	Select a hiter Instance Name	Status T	Availability Zone 🔻	Instance Type T	Instance Configuration Pr	imary IPv6	Instance Billing Mode $\overline{\mathbf{Y}}$	Network Billing Mode $ au$	Project ▼
	Instance ID				1 result found for "Project:All	Projects" Back to list			
	Instance Status IPv4 Availability Zone	🐼 Running	Nanjing Zone 1	Standard S5 🏶	1-core 2GB 1Mbps - System disk: Premium Cloud Storage		Pay as you go Created at 2021-03-11 16:39:54	Bill by traffic	Default Projec
	Instance Type				Network: 4 🕺 👝 🤉				
Total items: 1	Instance Billing Mode Network Billing Mode							20 -	/ page 🛛 🕅
	Tag key								
	Placement Group ID								
	IPv6	J							

3. 検索構文の詳細については、

(1) をクリックしてインスタンスを検索するための構文を確認することができます。 インスタンスを検索するための構文の詳細については、次の図をご参照ください。

	Enter Format	Example	Display in Search Box	Description
Single key- word	[Keyword]	10.0.0.1	10.0.0.1 Use ' ' to split more than one keywor Q	List all instances including the keyword "10.0
Multiple key- words	[Keyword] [Enter key ←] [Keyword]	10.0.0.1 www.123.com 192.169.23.54	10.0.0.1 www.123.com 192.169.23.45 Q	List all instances that include all the three ke words"10.0.0.1,""www.123.com"and"192.169
Single re- source type	[Resource type]: [Keyword]	IP: 10.0.0.1	IP: 10.0.0.1 Use 'I' to split more than one keyn Q	List all instances whose IP is "10.0.0.1"
Multiple re- source types	[Resource type]: [Keyword][Enter key ↩][Resource type]: [Keyword]	Availability Zone: Hong Kong Zone 2 Project: Default	Availability Zone: Hongkon Project: Defau Q	List all instances whose "Availability Zone" is ' Kong Zone 2" and "Project " is "Default"
Single re- source type and multiple keywords	[Resource type]: [Keyword] [Key- word]	CVM Status: Creating Shut- down	CVM Status: Creating Shu Use ' ' to split Q	List all instances whose "CVM Status " is "Crea or "Shutdown"
Pasted con- tents	{pasted contents}	112.11.22.33 112.11.22.34 112.11.22.53	112.11.22.33 112.11.22.3 Use ' ' to split r Q	List all instances include the keywords "112.11.22.33", "112.11.22.34" or "112.11.22.!

インスタンスリストのエクスポート

最終更新日:::2023-03-03 16:06:37

概要

コンソールでリージョンのCVMインスタンスリストをエクスポートでき、エクスポートするリストフィールドも カスタマイズできます。最大27のフィールドを選択できます。現在エクスポートできるフィールドは:ID、イン スタンス名、状態、リージョン、アベイラビリティーゾーン、インスタンスタイプ、OS、イメージ ID、CPU、メ モリ、帯域幅、パブリックネットワークIP、プライベートネットワーク IP、システムディスクの種類、システム ディスクサイズ、データディスクの種類、データディスクサイズ、所属ネットワーク、所在サブネット、関連 VPC、作成時間、有効期限、インスタンスの課金方法、プロジェクト、専用ホスト ID、およびタグを含みます。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンス管理ページ上部で、リージョンを選択し、実際に使用するビューモードに従って操作します。 リストビュー

タブビュー

下図のように、インスタンスリストの右上隅にある

Create Start Up	Shutdow	n Restart	Reset Passwo	rd More Actions	¥				
Separate keywords with " ", and	d separate tag	s using the Enter ke	≥y			Q, View instance	es pending repossession		
ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🤅	Primary IPv6	Instance Billing Mod T	Network Billin
	di	🔿 Running	Chengdu Zone 1		1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:Default-VPC	1000	•	CDH Billing Created at 2019-12-18 09:44:15	Bill by traffic
Total items: 1									

下図のように、インスタンスページ右上部の

 Not named 			
The initial	ogin name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if you t	orgot it.	Log In Shutdown
Instance ID		Instance Configuration	
Availability Zone	Chengdu Zone 1	Operating System	
IP		Creation Time	2019-12-18 09:44:15
Instance Billing Mode			
Bandwidth billing mode			

3. 下図のように、表示された「インスタンスをエクスポート」ウィンドウで、エクスポートするフィールドを選択し、「OK」をクリックします。

Exp	oort instan	ices			\times
~	Select All				
\checkmark	ID		~	Bandwidth (Mbps)	
\sim	Instance I	Name	~	Primary public IPv4	
~	Status		~	Primary private IPv4	
~	Region		~	Primary IPv6	
~	Availabilit	y Zone	~	System Disk Type	
~	Instance 1	Гуре	~	System disk size (GB)	
~	CPU (core	:)	~	Data Disk Type	
~	MEM (GB))	~	Data disk size (GB)	
~	Operating	g System	~	Network type	
~	Image ID		~	Vpcld	
~	VPC name	2			
~	Subnet ID)			
~	Subnet na	ame			
~	Creation 1	Time			
~	Expiry Tim	ne			
~	Instance E	Billing Mode			
~	Network I	billing mode			
~	Project				
~	Dedicated	Host ID			
~	Tag				
Exp	ort range	 All Instance Only export search Selected Instance 	result		
		ОК	(Close	

インスタンスの起動

最終更新日:::2023-04-10 18:46:16

概要

本テキストではCVMコンソールおよびTencent Cloud APIを介してシャットダウン状態のインスタンスを起動する 方法について説明します。

操作手順

コンソールを介したインスタンスの起動 API を介したインスタンスの起動

単一インスタンスの起動

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:下図のように、起動したいインスタンスを選択し、画面右のメニューから**さらに > インスタンス** 状態 > 起動を選択します。

Separate keywords with " ", a	nd separate tag	is using the Enter k	ey			Q, View instances	pending repossession			
ID/Name	Monitori ng	Status 🔻	Availability Z 🍸	Instance Type 🔻	Instance Configuration	Primary IPv4 (i)	Primary IPv6	Instance Billing Mod T	Network Bil	ling Mod 🔻
	di	lease Running	Shanghai Zone 4	GPU Compute GN6S				Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffic	
	ılı	🐼 Running	Shanghai Zone 4	GPU Compute GN6S				Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by traffic	Restart Start Up Shutdown Terminate/Re
Total items: 2										20 🔻 / page

タブビュー:下図のように、起動したいインスタンスページで、右上コーナーの**起動**を選択します。

The initia	al login name for this CVM is root. You can check the initial login password in	the Message Center, Reset the password if you forgot it.	Log in Shutdown	Restart
instance ID		Instance Configuration		Restar Start U
Availability Zone	Shanghai Zone 4	Operating System		Shutde
P		Creation Time	2021-01-08 19:00:29	Termir
nstance Billing Mode				
Bandwidth billing mo				

複数インスタンスの起動

下図のように、すべての起動したいインスタンスにチェックを入れ、リスト上部で、**起動**をクリックすれば、イ ンスタンスを一括起動できます。

Create Start Up	p Shutdov	wn Restar	t Reset Passw	ord More Action	5 🔻				
Separate keywords with "	", and separate tag	gs using the Enter I	cey			Q, View instance	s pending repossession		
✓ ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🚯	Primary IPvб	Instance Billing Mod T	Network Billir
	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 3		122	082		Pay-as-you-go Created at 2021-11-15 20:53:54	Bill by traffic
	di	🛞 Running	Guangzhou Zone 3	firm D		1000	-	Pay-as-you-go Created at 2021-09-28 23:16:06	Bill by traffic
	di	🔿 Running	Guangzhou Zone 3			Contract of) -	Pay-as-you-go Created at 2020-12-09	Bill by traffic

StartInstances インターフェースをご参照ください。

後続の操作

インスタンスが起動状態である場合のみ、次の操作を実行できます。

インスタンスにログイン:インスタンスのOSに基づき、Linuxインスタンスにログイン または Windowsインスタンスにログイン します。

Cloud Block Storage (CBS)の初期化:マウントされた**CBS**のフォーマット、パーティションおよびファイル システムの作成などの初期化操作を実行します。

インスタンスのシャットダウン

最終更新日:::2023-04-12 10:53:05

概要

ユーザーはインスタンスサービスを停止する必要がある場合、または構成を変更するためにシャットダウンを実 行する必要がある場合、インスタンスをシャットダウンできます。インスタンスをシャットダウンすることはロー カルコンピューターのシャットダウンに相当します。

注意事項

システムコマンド (Windows OSおよび Linux OSでのshutdownコマンド) または Tencent Cloud コンソールを使用 して、インスタンスをシャットダウンできます。コンソールでシャットダウンプロセスを表示して、問題が発生し ているかどうかを確認することをお勧めします。

シャットダウン後、インスタンスはサービスを提供しなくなります。シャットダウンする前に、CVMがサービス 要求の受信を停止していることを確認してください。

インスタンスを通常シャットダウンする場合、状態は先に「シャットダウン中」に変更し、シャットダウン後 「シャットダウン済み」に変更します。シャットダウンプロセスに時間がかかりすぎる場合は、例外が発生する可 能性があります。詳細については、システムのシャットダウンを参照し、強制シャットダウンを回避します。 インスタンスをシャットダウンした後、すべてのストレージは引き続きインスタンスに接続され、すべてのディ スクデータは保持されますが、メモリ内のデータは失われます。

インスタンスをシャットダウンしても、その物理属性は変更されません。インスタンスのパブリックIPとプライ ベートIPも変更されません。Elastic IP とインスタンスの間の関連付けが維持されます。ただし、サービスの中断 により、これらのIPにアクセスするとエラー応答が返されます。Classiclink の関係は変更されません。

シャットダウンするインスタンスが CLBインスタンスのバックエンドサーバークラスター に該当する場合は、 シャットダウン後にサービスの提供を継続できません。

ヘルスチェックポリシーが設定されている場合、シャットダウンされたインスタンスは自動的にブロックされ、 リクエストは転送されなくなります。ヘルスチェックポリシーが設定されていない場合、クライアントに502エ ラーが返される場合があります。詳細については、ヘルスチェックのトラブルシューティングをご参照ください。

シャットダウンされたインスタンスが Auto Scalingグループ にある場合は、Auto Scaling サービスはシャットダウ ンされたインスタンスを動作不良としてマークし、Auto Scaling グループから移動させ、代替インスタンスを起動 することがあります。さらに詳細な情報については、Auto Scaling をご参照ください。

操作手順

コンソールを介したインスタンスのシャットダウン API を介したインスタンスのシャットダウン

単一インスタンスのシャットダウン

1. CVMコンソールにログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:下図のように、シャットダウンしたいインスタンスを選択し、画面右のメニューから**さらに > イ** ンスタンスの状態 > シャットダウンを選択します。

ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Network Bi	lling Moc
	,lı	🐼 Running	Chengdu Zone 1		1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage			CDH Billing Created at 2019-12-18 09:44:15	Bill by traffic	:
					Network:Default-VPC					Restart
tal items: 1										Start U
										Shutde
										Termir

タブビュー:下図のように、シャットダウンしたいインスタンスのページで、画面の右上隅にあるその他の操作> インスタンスの状態>シャットダウンをクリックします。

lot named				(
The initial lo	ogin name for this CVM is root. You can check the initial login passwo	rd in the Message Center, Reset the password if you forgot it.	Log In Shutdown	Restart
instance ID		Instance Configuration		
vailability Zone	Chengdu Zone 1	Operating System		
	10.000	Creation Time	2019-12-18 09:44:15	
nstance Billing Mode				
landwidth billing mode	Contraction of the local division of the loc			

複数インスタンスのシャットダウン

1. CVMコンソール にログインします。

2. 下図のように、シャットダウンするすべてのインスタンスを選択し、リストの上部にあるシャットダウンをク リックすれば、インスタンスを一括シャットダウンできます。

Separate keywords with "	", and separate tag	gs using the Enter I	key			Q View instance	es pending repossession	
✓ ID/Name	Monitori ng	Status 🔻	Availability Z 🍸	Instance Type 🔻	Instance Configuration	Primary IPv4 🕄	Primary IPv6	Instance
	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 3					Pay-as-y Created 20:53:54
	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 3		ns um	-		Pay-as-y Created 23:16:06
2	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 3	2	-n -r		-	Pay-as-y Created 19:54:52

説明:

シャットダウンできないインスタンスについて原因が表示されます。

StopInstances インターフェースをご参照ください。

後続の操作

インスタンスがシャットダウンされている場合にのみ、下記の属性を変更できます。

インスタンス構成(CPU、メモリ):インスタンスタイプを変更するには、インスタンス構成の変更 をご参照く ださい。

パスワードの変更:ログインパスワードをご参照ください。

SSH キーのロード: SSH キーをご参照ください。

インスタンスの再起動

最終更新日:::2023-03-03 16:16:35

概要

CVMインスタンスを再起動することは、それを維持するための一般的な方法です。インスタンスの再起動はロー カルコンピューターのOSを再起動することと同じです。このドキュメントでは、インスタンスを再起動する方法 について説明します。

注意事項

再起動の準備:インスタンスは再起動中にサービスを提供できないため、CVMを再起動する前に、サービスリク エストの受信が一時停止していることを確認してください。

再起動の操作方法:インスタンスで再起動コマンド(たとえば、Windowsでの再起動コマンドやLinuxでのReboot コマンドなど)を実行する代わりに、Tencent Cloudが提供する再起動操作を使用してインスタンスを再起動する ことを推奨します。

再起動時間:通常、インスタンスの再起動には数分しかかかりません。

インスタンスの物理的特性:インスタンスの再起動操作は、インスタンスの物理的特性を変えません。インスタンスのパブリックIP、プライベートIP、保存されているいかなるデータも変更されません。

課金について:インスタンスを再起動しても、新しいインスタンスの請求期間が開始されることはありません。

操作手順

次の方法でインスタンスを再起動できます。 コンソールからインスタンスの再起動 API によるインスタンスの再起動

単一インスタンスの再起動

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:下図のように、再起動するインスタンスを選択し、画面右のメニューから**さらに>インスタンスの** 状態>再起動をクリックします。

							period greposition		
ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mod T	Network Billing Mod
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4		4-core 20GB 1Mbp: System disk: Premium Cloud Storage Network:Default-VPC	100	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffic
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4	•	I-core 20GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:Default-VPC			Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by traffic Start Up Shutdo Termina
Total items: 2									20 💌 ,

タブビュー:下図のように、再起動するインスタンスのページで、画面の右上隅にある再起動をクリックします。

-test1	• as-test2			•
as-to The initia	est1 😢 😰 Running Il login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Messag	e Center.Reset the password if you forgot it.	Log In Shutdown	Restart
nstance ID		Instance Configuration		
vailability Zone	Shanghai Zone 4	Operating System		
2		Creation Time	2021-01-08 19:00:29	
nstance Billing Mode				

複数インスタンスの再起動

1. CVMコンソール にログインします。

2. 下図のように、再起動するすべてのインスタンスを選択し、ページ上部にある**再起動**をクリックしてインスタンスを一括で再起動できます。インスタンスが再起動できない場合は、その理由が表示されます。

Instances Shanghai	2 Other re	gions(27) 🔻							
Create Start Up	Shutdow	vn Restart	Reset Passwo	rd More Actions	¥				
Separate keywords with " ", and	d separate tag	s using the Enter ke				Q, View instances	pending repossession		
✓ ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Network Billing Me
100	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4		4	1012	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffic
2	di	🛞 Running	Shanghai Zone 4			1000	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by traffic
Total items: 2									20 -

説明:

単一インスタンスもこの方法で再起動できます。

詳細については、RebootInstances インターフェース をご参照ください。

インスタンスの休止

最終更新日:::2023-03-14 15:31:49

ユースケース

インスタンスを休止状態にすると、オペレーティングシステムはメモリ内のデータ(オペレーティングシステム で実行されている各アプリケーションとその使用状況)をインスタンスのシステムディスクに保存します。ユー ザーがインスタンスを次回起動すると、オペレーティングシステムは前回保存したメモリデータを読み取り、休 止前のCVMインスタンスの実行状態に自動的に復元されます。

シャットダウンとの違いは、シャットダウン後のインスタンスを再起動すると、オペレーティングシステムが バックグラウンドサービスとアプリケーションサービスを再起動するということです。

ある時間帯でインスタンスを実行する必要がなく、特定の操作(設定調整やシステムの再インストール)も行う 必要がない場合、インスタンスを休止状態にすることをおすすめします。

使用の前提条件

1. インスタンスの休止は現在、国際ステーションシリコンバレー地域が利用できますが、今後、他の地域も利用 できるようになります;

2. 今のところ、標準型S3インスタンスおよびメモリが150 GIB未満のものが休止機能をオンにすることができま す。他のインスタンスタイプへの適用についてまだ開発中です;

3. イメージはカスタムイメージ: Ubuntu20、CentOS 8.xであり、休止機能をオンにすることができます;

4. システムディスクはクラウドディスクであり、休止機能をオンにすることができます;

5. インスタンスに休止agentを実装しました。

注意事項

1. インスタンスの作成時に休止機能をオンにすると、この機能をオフにすることはできません;

2. インスタンスの作成時に休止機能がオフになっている場合、インスタンスを休止状態にすることはできません;

3. 従量課金の場合は、「休止状態に入ると課金されない」と「インスタンス保留状態に入っても課金される」が サポートされますが、スポットインスタンスでは休止状態に入っても課金されます。

4. インスタンスの作成時に休止状態がオンになっている場合、次の操作はサポートされません:

構成の調整がサポートされません。

システムの再インストールがサポートされません。

スナップショットの作成がサポートされていません。

ディスク媒体の調整がサポートされません。

カスタムイメージの作成がサポートされません。

5. Auto Scalingグループ内のインスタンスは休止をサポートしていません。

ご注意:

1. インスタンス内で休止操作が行われた場合、休止料金がかかります。

2. 休止に失敗すると、インスタンスは自動的に「実行中」状態になります。

操作手順

1. 作成時に休止状態をオンにする。

インスタンスを作成するときは、まず休止機能をオンにします。オンにしないと、インスタンスを休止状態にする ことはできません。

2. 休止agentのインストール。

cvmインスタンスの内部にログインします。

agentスクリプトのダウンロード:wget https://store-1252113659.cos.na-siliconvalley.myqcloud.com/suspend.py agentのインストール:

centosマシンの場合:python3 suspend.py

ubuntuマシンの場合: sudo python3 suspend.py

3. インスタンスを休止状態にする。

CVMインスタンスが休止状態になり、休止agentがインストールされると、実行中のインスタンスを休止状態にす ることができます。

CVMコンソール-インスタンスとイメージ-インスタンスページにアクセスし、休止したいインスタンスを選択し、 「インスタンスの設定-休止」をクリックします;

従量課金されたインスタンスでは、「休止状態に入ると課金されない」と「インスタンス保留状態に入っても課 金される」を選ぶことができますが、スポットインスタンスでは休止状態に入っても課金されます。

OKをクリックすると、インスタンスはstopped状態になります。インスタンスを起動する必要がある場合は、ス タートアップを選択してください。

システムをリインストールする

最終更新日:::2023-04-28 17:34:15

概要

システムを再インストールすると、インスタンスが起動直後の初期状態に復元されます。これは、インスタンスが システムの障害に遭った時の重要なリカバー手段です。次のドキュメントでは、OSの再インストール方法につい て説明します。

CVMは、次の2種類の再インストール方法を提供します。

同じプラットフォームでの再インストール: CVMは、どのリージョンでも同じプラットフォームでの再インス トールが可能です。

たとえば、LinuxからLinuxに再インストールする場合や、WindowsからWindowsに再インストールする場合。 -**異なるプラットフォーム間の再インストール**:中国大陸のみをサポートします(中国香港を含めない)。 たとえば、LinuxからWindowsに再インストールする場合や、WindowsからLinuxに再インストールする場合。 説明:

現在、新しく追加されたすべてのCloud Block Storage(CBS)インスタンスとローカルディスクインスタンス は、異なるプラットフォームでのシステムの再インストールをサポートしています。既存の20GBローカルディス クインスタンスの一部は、コンソールでのクロスプラットフォームの再インストールをサポートしていません。 これらのローカルディスクインスタンスを使用するユーザーは、チケットを提出して申請する必要があります。 スポットインスタンスはシステムの再インストールをサポートしていません。

注意事項

再インストールの準備:システムを再インストールすると、システムディスクの内容が失われるため、再インス トールする前にシステムディスクの重要な情報をバックアップする必要があります。システムの実行データを保持 する必要がある場合は、システムを再インストールする前にカスタムイメージを作成して、このイメージを選択 して再インストールすることを推奨します。

イメージ選択に関する推奨事項:Tencent Cloudより提供されるイメージまたはカスタムイメージを使用して再イ ンストールすることを推奨します。ソースが不明なイメージやその他のソースのイメージを使用することは推奨さ れません。システムディスクを再インストールする時には、他の操作を実行しないでください。

インスタンスの物理的特性:インスタンスのパブリックIPは変更されません。

インスタンス仕様の制限:お客様のインスタンスがWindows 2016や2019の関連バージョンのイメージを使用して 再インストールする必要がある場合、インスタンスメモリは2Gより大きくする必要があります。

課金について:システムディスクのサイズが調整された場合(CBSのみがサポートされる)は、CBSの課金標準 に従って課金します。詳細については、ディスク価格 をご参照ください。 -後続作業:システムディスクを再インストールした後、データディスクのデータは保留され、影響を受けませんが、使用するには再マウントする必要があります。

操作手順

次の方法でOSを再インストールできます。

- コンソールを使用したシステムの再インストール
- API を使用したシステムの再インストール
- 1. CVMコンソールにログインします。
- 2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。
- リストビュー:下図のように、システムを再インストールしたいインスタンスの行で、その他 > システムの再インストールを選択します。

ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 (i)	Primary IPv6	Instance Billing Mod T	Network B
	di	Aunning	Shanghai Zone 4		12		-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffi
	di	Running	Shanghai Zone 4	•		1000		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill by traffi
lotal items: 2									

タブビュー:下図のように、システムを再インストールしたいインスタンスページで、右上コーナーのその他操 作 > システムの再インストールを選択します。

as-test1	• as-test2					
The initia	login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the password if you f	orgot it.		Log In	Shutdown	
Instance ID		Instance Configuration				
Availability Zone		Operating System				
IP		Creation Time	2021-01-08 19:00:29			
Instance Billing Mode						

3. ポップアップした「システムの再インストール」ウィンドウで、「システム再インストール時の注意事項」を 読み、**次へ**をクリックします。

4. 下図のように、現在のインスタンスを使用したイメージまたはその他のイメージを使用することを選択し、インスタンスのログイン方法を設定して、**OK**をクリックします。

説明:

なお、イメージタイプが**カスタムイメージ**または**共有イメージ**である場合に限り、ログイン方法として**イメージ** 設定の保持を選択することができます。

✓ Heads up	> 2 Config	uration			
You've selected 1 insta	nce. Collapse				
ID/name	Instance ty	/pe	Operating system	1	System disk
	S6 2-core 4	IGB	OpenCloudOS Ser	ver 8 💠	Balanced SSD
 Data in the it.<u>Operatio</u> If the curre 	instance data disk will no on guide 🗹 ent system disk size is too :	t be cleared. But you small to meet the red	need to mount the di quirements, please exp	sk manually after and the capacity.	Disk capacity
lmage type	Current image	Public image	Custom image	Shared imag	e Marke
Target image	OpenCloudOS Server	8/			
Target image Login methods	OpenCloudOS Server	Bind key F	ollow image		
Target image Login methods Username	OpenCloudOS Server a	Bind key F	ollow image		
Target image Login methods Username New password	OpenCloudOS Server a Set password root Please enter the inst	Bind key F	ollow image		
Target image Login methods Username New password Security reinforcement	OpenCloudOS Server & Set password root Please enter the inst	Bind key F tance Ø S Protection and Clo	ollow image ud Workload Protectic	on for free. Abou	t Security Reinf
Target image Login methods Username New password Security reinforcement Cloud monitoring	OpenCloudOS Server & Set password root Please enter the inst Activate Anti-DDo FREE cloud monitor required) About C	Bind key F Bind key F S Protection and Clo pring, analysis, alarmi Cloud Monitor 🗳	ollow image ud Workload Protectic ing, and server monito	on for free. Abou	t Security Reinf 1ponent installa

ResetInstanceインターフェース をご参照ください。

後続の操作

ご利用のCVMはシステムが再インストールされる前にすでにデータディスクがマウントされており、また、シス テム再インストールのタイプが異なるプラットフォームの再インストールとなる場合、次のドキュメントを参照 して、元のOSにあるデータディスクデータを読み込む必要があります。

LinuxをWindowsに再インストールした後に元のEXTタイプのデータディスクを読み込む

WindowsをLinuxに再インストールした後に元のNTFSタイプのデータディスクを読み込む

TATを使用してコマンドを実行し

最終更新日:::2023-07-10 11:39:25

概要

Tencent Cloud Automation Tools (TAT) はCVM、Lighthouseインスタンス向けに設計されたせネイティブな運用保 守および展開ツールです。TATは、インスタンスにリモート接続しなくても、Shellコマンドを自動的に一括実行 して、自動化スクリプトの実行、プロセスのポーリング、ソフトウェアのインストール/アンインストール、アプ リケーションの更新、パッチのインストールなどのタスクを完了することができます。TATの詳細については、概 要 をご参照ください。

このドキュメントは、TATを使用してコマンドを実行し、インスタンスを管理する方法について説明します。

前提条件

CVMインスタンスは、TATエージェントをインストールする必要があります。詳細については、TATのインス トール をご参照ください。

説明:

既存のCVMインスタンスの一部は現時点でTATの使用をサポートしていませんが、今後、すべてのインスタンス でTATがサポートされる予定です。

操作手順

コマンドの作成と実行およびコマンドの実行ステータスの確認には、次のドキュメントをご参照ください: コマンドの作成

コマンドの実行 またはログイン不要のコマンド実行

コマンドの実行ステータスのクエリ

インスタンスの破棄/返却 インスタンスの廃棄/返却の概要

最終更新日:::2024-04-10 10:14:43

このドキュメントでは、インスタンスの廃棄およびリリースの概要と操作方法について説明します。その他期限切 れ情報については、期限切れのリマインダーをご参照ください。

概要

特定のインスタンスが必要でない場合は、インスタンスを廃棄することができます。廃棄されたインスタンスはご み箱に投入されますが、これらのインスタンスはさまざまなユースケースやニーズに応じて更新、復元、または リリースできます。

ご注意:

ユーザーのアカウントが支払い延滞である場合、復元する前に、従量課金のインスタンスに対して先に料金を補 充してください。

廃棄/返却方式

従量課金のインスタンスタイプでは、インスタンスの廃棄およびリリースは次の方式があります:

自主廃棄:支払い延滞なしの従量課金タイプのインスタンスに対しては、手動で廃棄することができます。従量課 金タイプのインスタンスがごみ箱で最大2時間保持され、その後完全にリリースされます。

定時廃棄:従量課金タイプのインスタンスに対して定時廃棄を設定します。将来の時点でインスタンスを定時廃棄 するように設定し、廃棄時間が秒単位まで設定できます。定時廃棄に設定されているインスタンスはごみ箱に入ら ず、すぐにリリースされます。定時廃棄の前に、随時に定時廃棄を取り消すことができます。

期限切れ/支払い延滞の場合の自動廃棄:従量課金タイプのインスタンスは残高が0未満の状態で2時間+15日間続いた後、自動的にリリースされます(最初の2時間には料金は続いて差し引かれますが、次の15日間にはシャット ダウンされ、料金の差し引きが停止します。支払い延滞の従量課金インスタンスはごみ箱に投入されないため、インスタンスリストで確認できる)。指定された時間内に 更新 をした場合、引き続き使用できます。

タイプ	自主廃棄(支払い 延滞なし)	定時廃棄(支払い 延滞なし)	期限切れ/支払い延滞の場合の自動廃棄
従量課 金タイ プのイ ンスタ ンス	廃棄後、ごみ箱で 最大2時間保持さ れ、期限が切れた 後に復元されない	定時廃棄のインス タンスを設定し、 設定された時間に なるとごみ箱に投	インスタンスが支払い延滞した後、最初の2時間に は料金は続いて差し引かれ、インスタンスが使用で きますが、次の15日間にはシャットダウンされ、 料金の差し引きが停止します。支払い延滞の従量課 金インスタンスはごみ箱に投入されません。この

	場合はリリースさ	入せず、直接リ	間、更新していない場合は、インスタンスはリリー
	れます。	リースされます。	スされます。
年額・ 月額タ イプの インス タンス	早期廃棄はサポー トされていません	定時廃棄に関連し ません	期限切れで廃棄されたインスタンスはゴミ箱に入 り、最大7日間保管されます。期間が満了するまで にリカバリーされない場合は、インスタンスは解放 されます。

関連影響

インスタンスが廃棄状態になると、インスタンスのデータ、Elastic IP、および課金には次のような影響が及びま す:

課金関係:インスタンスが廃棄中またはリリースされた状態になると、このインスタンスに関する費用は発生しません。

インスタンスデータ:マウントされているローカルディスクとElastic Cloud Block Storage以外のものは同時にリ リースされ、データが回復できないため、事前にバックアップしておいてください。Elastic CBSは独自のライフ サイクルに従います。

Elastic IP:インスタンスが廃棄されたElastic IP(セカンダリENIのIPを含む)は継続的に保持されますが、アイドルIPには費用がかかりますので、保持する必要がない場合は、直ちにリリースしてください。

操作手順

インスタンスは次のように自主廃棄/返却できます:

コンソールを使用したインスタンスの廃棄/返却に関する詳細情報は、コンソールを使用したインスタンスの廃棄/ 返却 をご参照ください。

APIを使用したインスタンスの廃棄/返却に関する詳細情報は、TerminateInstancesインターフェース をご参照くだ さい。

コンソールを使用したインスタンスの破棄/

返却

最終更新日:::2022-07-12 16:15:19

概要

ここでは、課金モデルが従量課金であるCVMインスタンスをコンソールを介して破棄/返却することについてご説明します。

ご注意:

CVMインスタンスの破棄/返却による影響については、関連する影響をご参照ください。

操作手順

従量課金タイプのインスタンスの破棄とリリース

従量課金タイプのインスタンスに対しては、直ちに廃棄するか、または定時廃棄にすることができます。 1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

下図に示すように、リストビュー:インスタンスを破棄する必要がある行の右側にあるその他>インスタンスの ステータス > 破棄/返却を選択します。

Instances 🔇	Shanghai 2 Other re	gions(27) 🔻							
Create St Separate keywords v	rart Up Shutdow with " ", and separate tag	vn Restart is using the Enter k	Reset Passwo	rd More Actions	•	Q. View instances	pending repossession		
D/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🍸	Instance Type 🔻	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Net
	dı	🐼 Running	Shanghai Zone 👘	B	ie:	100		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill
	dı	🐼 Running	Shanghai Zone 4	8		1000		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill
Total items: 2									

複数のインスタンスを同時に破棄する必要がある場合は、インスタンスにチェックを入れ、リスト上部のその他

の操作 > 破棄/返却を選択すれば完了です。

下図に示すように、タブビュー:破棄するインスタンス画面で、画面右上隅の破棄/返却をクリックします。

as-test1	• as-test2		
The initia	I login name for this CVM is root. You can check the initial login password in the Message Center, Reset the	password if you forgot it.	Log In Shutdown
Instance ID		Instance Configuration	
Availability Zone		Operating System	
IP		Creation Time	2021-01-08 19:00:29
Instance Billing Mode			
Bandwidth billing mode	Contraction of the second		

3. ポップアップした「破棄/返却」ウィンドウで、インスタンスを**今すぐ破棄**または**時間を指定して破棄**すること を選択できます。

直ちに廃棄: 直ちに廃棄することを選択した場合、リソースを直ちにリリースするか、または2時間後にリソース するかを選択できます。直ちにリリースすることを選択した場合、このインスタンスに関連するデータはクリアさ れ、復元不能になります。

定時廃棄:定時廃棄を選択した場合、定時廃棄の時間を設定する必要があります。期限切れになると、インスタン スは定期的に廃棄・リリースされ、且つ復元不能になります。

4. 破棄方法を選択したら、次へをクリックして、破棄および保持されている実際のリソースと関連リソースを確認します。

5. リソースの破棄を確認したら、破棄の開始をクリックします。

関連する操作

定時廃棄を取り消す

1. CVMコンソール にログインします。

2. 下図に示すように、インスタンスリストから定時廃棄を取り消すインスタンスを特定し、インスタンスの課金 モード列から定時廃棄を特定し、マウスカーソルを

(1) に置くと定時廃棄のプロンプトボックスが表示されます。

Instances S Nanjing 1	• Other regions(33) 🔻				
Create Start up	Shut down	Restart	Reset Password Mor	re Actions 🔻		
Separate keywords with " ", and	separate tags using) the Enter key			Q View instances pending re	possession
ID/Name	Monitoring	Status T	Availability Zone 🔻	Instance Type T	Instance Configuration Primary IPv6	Instance Billing Mode T No
Ū	di	🛞 Running	Nanjing Zone 1	Standard S5 👬	1-core 2GB 1Mbps - System disk: Premium Cloud Storage Network: <u>Default-VPC</u>	The instance will be terminated by 202 17:48:37. Cancel Scheduled Termination
Total items: 1						

3. 破棄をクリックすると、「時間を指定して破棄」のキャンセルを確認するプロンプトボックスが表示されま す。

4. 下図に示すように、ポップアップしたプロンプトボックスで、「時間を指定して破棄」をキャンセルするイン スタンスの情報を確認し、**OK**をクリックすると、「時間を指定して破棄」のキャンセルが直ちに有効になりま す。

ou've selected 1 insta	ance. Collapse	
ID/Name	Instance Type	Instance Configuration
	Standard S5	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network:
re you sure you wan	t to cancel the scheduled terminati	on for the above instance(s)?

インスタンスの削除保護の有効化

最終更新日:::2022-07-07 16:19:38

操作シナリオ

通常の状況下で、あるインスタンスが不要になった場合は、コンソールまたはAPIでインスタンスの削除操作を行 うことができます。意図せずインスタンスを削除してしまうことを防ぐため、インスタンスの削除保護を有効にす ることができます。有効にすると、コンソールおよびAPIによってインスタンスを削除することができなくなりま す。インスタンスの削除が必要なことが確認できている場合は、インスタンスの削除保護を無効にしてから削除操 作を行うことができます。

インスタンスの削除保護を有効にすることで、業務データインスタンスの保存を保障し、意図せずインスタンス を削除してしまうことを防ぐことができます。ここではコンソール上でインスタンスの削除保護を有効化または無 効化する方法についてご説明します。

説明事項

新規購入したインスタンスおよび既存のインスタンスでは、インスタンスの削除保護はデフォルトで無効になっています。必要に応じて有効化することができます。

インスタンスの削除保護はシステムレベルでの削除に対しては無効です。例えば、従量課金インスタンスが支払い 遅延のためにシャットダウン後に削除される場合などです。

操作手順

インスタンスの削除保護の有効化

既存のインスタンスの削除保護の有効化

新規購入インスタンスの削除保護の有効化

1. CVMコンソール にログインします。

2. 実際のニーズに応じて、単一または複数のインスタンスの削除保護を有効化することができます。

単一のインスタンスの削除保護の有効化:

下図のように、「インスタンス」ページで、インスタンスの削除保護を有効化したいインスタンスを見つけ、その 行の右側の**その他 > インスタンス設定 > インスタンスの削除保護の設定**を選択します。



Separate keywords with " ", and separate	rate tags using the Ente	r key			Q View instances pending repossession			
ID/Name	Monitoring	Status 🔻	Availability Zone 🔻	Instance Type T	Instance Configuration Primary IPv4 🛈	Instance Billing Mode T	Network Billing Mode T	Project T
	.lı	Aunning	Guangzhou Zone 3	Standard SA2 👔		Pay-as-you-go Created at 2022-05-25 14:50:52	Bill by traffic	Default Project
Total items: 1								
								L

インスタンスの削除保護の一括有効化:

下図のように、「インスタンス」ページで、インスタンスの削除保護を有効化したいインスタンスにチェックを 入れ、リスト上方の**その他 > インスタンス設定 > インスタンスの削除保護の設定**を選択します。

eparate keywords with " ", and	I separate tags using the Ente	er key	Rename	Instance Settings	View instances pendin	g repossession	
/ ID/Name	Monitoring	Status 🔻	Edit Tags	Load a Key Resource Adjustment	nstance Configuration	Primary IPv4 🚯	Instance Billing M
	di	Aunning	Bind/Modify a Role Delete a Role Assign to Project	Add to Security Group	1		Pay-as-you-go Created at 2022-05 10:39:12
	.h	🔿 Running	Manage Instance Placement Group Migrate to CDH	tandard SA2 📘	100		Pay-as-you-go Created at 2022-05 10:39:07
	dt	🔿 Running	Chongqing Zone 1	Standard SA2 👔		-	Pay-as-you-go Created at 2022-05 10:38:59

3. ポップアップした「インスタンスの削除保護の設定」ウィンドウで、「有効」を選択し、**OK**をクリックすれ ば、インスタンスの削除保護の有効化が完了します。

インスタンスの新規購入時に、下図のように「カスタム設定」を選択し、「2.ホストの設定」手順で「インスタンスの削除保護」にチェックを入れます。



	IT NO SUITADIE KEY IS TOUND, YOU CAN CREATE NOW
Instance termination protection	✓ Prevent instances from being accidentally terminated in the console or via API ⑦
Security	Enable for free
reinforcement	Free Anti-DDoS Basic Details 🖾 and CWP Basic Details 🖄
Cloud monitor	ing Free cloud monitoring, analysis, alarming, and server monitoring metrics (component installation required) Deta

説明:

その他のパラメータ設定については、購入画面でインスタンスを作成 をご参照ください。

インスタンスの削除保護の無効化

インスタンスが削除可能であることが確認できている場合は、次の手順を参照し、インスタンスの削除保護を無 効にしてから削除操作を行ってください。

1. CVMコンソール にログインします。

2. 実際のニーズに応じて、単一または複数のインスタンスの削除保護を無効化することができます。

単一のインスタンスの削除保護の有効化:

下図のように、「インスタンス」ページで、インスタンスの削除保護を有効化したいインスタンスを見つけ、その 行の右側の**その他 > インスタンス設定 > インスタンスの削除保護の設定**を選択します。

Separate keywords with " ", and separat	e tags using the Enter	key		C	Q View instances pending repossession				
ID/Name	Monitoring	Status 🔻	Availability Zone 🔻	Instance Type 🔻	Instance Configuration Primary IPv4 (Instance Billing Mode T	Network Billing Mode T	Project T	
	di	A Running	Guangzhou Zone 3	Standard SA2 📘		Pay-as-you-go Created at 2022-05-25 14:50:52	Bill by traffic	Default Project	
Total items: 1									

インスタンスの削除保護の一括有効化:

下図のように、「インスタンス」ページで、インスタンスの削除保護を有効化したいインスタンスにチェックを 入れ、リスト上方の**その他 > インスタンス設定 > インスタンスの削除保護の設定**を選択します。

eparate keywords with " ", and	d separate tags using the Ente	er key	Rename	Instance Settings	View instances pendin	ng repossession	
ID/Name	Monitoring	Status 🝸	Export Instances Edit Tags	Load a Key Resource Adjustment	nstance Configuration	Primary IPv4 (j)	Instance
	di	_{Running}	Bind/Modify a Role Delete a Role Assign to Project	Add to Security Group	1	in the second	Pay-as-yo Created a 10:39:12
	.lı	_{Running}	Manage Instance Placement Group Migrate to CDH	tandard SA2 😰			Pay-as-yo Created a 10:39:07
	di	_{Running}	Chongqing Zone 1	Standard SA2 👔		-	Pay-as-yo Created a 10:38:59

3. ポップアップした「インスタンスの削除保護の設定」ウィンドウで、「無効」を選択し、**OK**をクリックすれば、インスタンスの削除保護の無効化が完了します。

関連ドキュメント

購入画面でインスタンスを作成 インスタンスの削除/返却

インスタンスを回収する又はインスタンスの 復元

最終更新日:::2023-07-27 14:36:40

このドキュメントでは、インスタンスの回収メカニズムとインスタンスリカバリの操作方法について説明します。 詳細については、支払い延滞の説明 をご参照ください。

インスタンス回収の説明

Tencent Cloudゴミ箱はCVMインスタンスの回収メカニズムです。インスタンスの回収について次の通りです。 従量課金インスタンス:手動で終了するか、スケジュールされた時間に終了する従量課金インスタンスは、ゴミ 箱に移動されます。延滞が発生した場合、従量課金インスタンスには回収メカニズムがないため、支払い延滞が2 時間+15日を過ぎると、インスタンスのリソースが直接リリースされます。

ごみ箱に移動するインスタンスの説明については、次のとおりです。

従量課金インスタンスはごみ箱に移動します

保持時間:支払い延滞がない場合、ユーザーが手動で終了したインスタンスはゴミ箱に2時間保持されます。 期限切れ処理:期日までに更新されていないインスタンスの場合、保持期間を超えた時点でシステムがインスタ ンスリソースを解放し、自動的にインスタンスの破棄/返却を開始して、復元できなくなります。インスタンスに バインドされているElastic IPは保持されます。このElastic IPが不要になった場合は、速やかに解放してくださ い。

マウント関係:インスタンスがゴミ箱に入った後、Cloud Load Balancer、Cloud Block Storage、Classiclinkとのマ ウント関係は**自動的に終了しません**。

操作の制限:ごみ箱内のインスタンスについては、 更新の再開、インスタンスの破棄/返却 と イメージの作成 (特殊モデルを除く)操作のみを行うことができます。

ご注意:

料金の支払いを滞納している場合、ゴミ箱から従量課金インスタンスを復元することはできません。このインス タンスを復元するには、最初に更新料を支払う必要があります。

従量課金インスタンスはゴミ箱に最大2時間保存されるため、インスタンスを継続して使用できるように、インス タンスを時間内に更新および復元する必要があります

料金の支払いを滞納している場合、従量課金インスタンスはゴミ箱に入らないため、CVMのインスタンスリスト ページで確認する必要があります。支払い延滞が2時間+15日を過ぎても更新されない場合、インスタンスはリ リースされます。

インスタンスの復元

[CVMコンソール]にログインし、左側のナビゲーションバーでごみ箱> インスタンスごみ箱 を選択します。
 「インスタンスごみ箱」画面で、実際のニーズに応じた操作方法を選択します。

単一インスタンスの復元

インスタンスの一括復元

リストで復元する必要があるインスタンスを見つけ、**復元**をクリックして操作し、更新の支払いを完了します。 リスト内の復元する必要があるすべてのインスタンスにチェックを入れ、トップにある**一括復元**をクリックすれ ば、更新の支払いは完了です。

スポットインスタンスの管理

最終更新日:::2023-05-15 10:48:14

概要

このドキュメントでは、スポットインスタンスの管理及び購入方法などをご説明させていただきます。現在、ス ポットインスタンスは下記の3種類の方法を通じて利用することができます。

CVMコンソール: CVM購入ページでは、スポットインスタンスモードがサポートされています。

BatchComputeコンソール: BatchComputeコンソールでジョブ送信およびコンピューティング環境作成時に、スポットインスタンスを選択できます。

TencentCloud API:スポットインスタンスパラメーターが RunInstanceインターフェース に追加されました。

操作手順

CVMコンソール

Batch Compute コンソール

クラウド API

1. CVM購入ページにログインします。

2. 下図に示すように、課金方法はスポットインスタンスを選択します。

Billing Mode	Pay as you go	Spot Instar	nces Detailed C	Comparison 🗈				
_			U					
Region	Guangzhou	Shanghai	Nanjing Promo	Beijing	Chengdu	Chongqing	Taipei, Chir	na <mark>N</mark>
					1			
	Singapore	Bangkok	Jakarta NEV	Mumbai	Seoul	Tokyo	Silicon Valley	
	Toronto	Frankfurt	Moscow	São Paulo NEW				
	Tencent Cloud prod	ucts in different red	tions cannot commun	nicate via private petwo	rk. Selecting the re	aion closest to you	r customers can re	duce

3. 実際のニーズと画面の指示に従って、リージョン、アベイラビリティーゾーン、ネットワークタイプ、インスタンスなどの構成情報を選択します。

4. 購入するスポットインスタンスの情報と各構成アイテムの費用の詳細を確認します。

5. アクティブ化をクリックして支払いを行います。

支払いが完了した後、CVM コンソール にログインしてスポットインスタンスを確認できます。

BatchCompute機能の説明

非同期インターフェース

ジョブの送信またはコンピューティング環境の作成、予想されるコンピューティング環境のインスタンス数を変 更する場合、BatchComputeは非同期の形式でリクエストを処理します。つまり、在庫、価格などの理由で現在の リクエストを満たせない場合は、満たせるようになるまでスポットインスタンス型リソースを申請し続けます。 インスタンスをリリースしたい場合は、BatchComputeコンソールで予想されるコンピューティング環境のインス タンス数を調整する必要があります。CVMコンソールでインスタンスをリリースすると、BatchComputeコンソー ルは、予想されるインスタンス数に達するまでインスタンスを自動的に作成します。

クラスターモデル

BatchComputeインスタンスのコンピューティング環境は、スポットインスタンスのバッチを1つのクラスターと して維持することをサポートします。スポットインスタンスの希望する数、構成、および最高指値を送信するだけ で、コンピューティング環境は、予想される数量に達するまでスポットインスタンスを自動的かつ継続的に適用 します。中断が発生した後も補充数量の申請が自動的に再開されます。

固定価格

現段階では固定割引モデルを採用しており、パラメータを現在の市場価格以上の値に設定する必要があります。市 場価格の詳細については、スポットインスタンス をご参照ください。

使用手順

1. BatchComputeコンソール にログインします。

2. コンピューティング環境管理ページで任意のリージョン(例えば広州リージョンなど)を選択し、新規作成を クリックします。

コンピューティング環境の作成ページに進みます。

3. 下図に示すように、「課金タイプ」をスポットインスタンスに設定し、実際のニーズに応じて、必要なモデ ル、イメージ、名前、目標数量などの情報を選択します。

New computing environment	
Name	
Region	Guangzhou
Availability Zone	Guangzhou Zone 3 Guangzhou Zone 4 Guangzhou Zone 6 Guangzhou Zone 7
Billing Type	Regular Instance Spot Instance
Resource Scheduling Mode	Compute Resource Pool Specified Models
Bidding Policy	Follow market price
Model Type	General (2.3~2.5 GHz) Compute (3.2~3.4 GHz) All Models
Instance Configuration	Please select a model type
	System disk (Premium Cloud Storage 50 GB), data disk (No data disk), bandwidth (No public network bandwidth), password (system)
Available Models	The selected models are available in the current region.
Image	Public Images 💌 Please select 💌
	You must select the images that have installed and configured Cloud-init.
Expected quantity	- 0 +
Tag configuration	Tag key Tag value Oper
	ation
	Please select • Please select •
Mara and Emurican	Add
More configurations +	
	OK Cancel

4. OKをクリックして、作成を完了します。

作成が完了したら、BatchCompute コンソール で新しいコンピューティング環境を確認できます。また、コン ピューティング環境内のCVMインスタンスも同期的に作成されており、このコンピューティング環境のアクティ ビティログとインスタンスリストでインスタンスの作成の進行状況を確認できます。

RunInstance インターフェースにおけるInstanceMarketOptionsRequest パラメータはスポットインスタンスの使用 モード(有効または無効)を指定し、関連情報を構成できます。

同期インターフェース:現在、RunInstanceが提供している同期リクエストインターフェースは一回限り使用でき ます。即ち、申請が失敗(在庫不足、請求価格が市場価格以下)した場合は直ちに失敗を戻し、引き続き申請をし ません。

固定価格:現段階では固定割引モデルを採用しており、パラメータを現在の市場価格以上の値に設定する必要が あります。市場価格の詳細については、スポットインスタンス をご参照ください。

サンプルシナリオの説明


顧客は広州三区における一つのインスタンスを保有しており、当該インスタンスの課金モードが時間単位で課金す る入札モードです。詳細な内容は以下の通りです。 最高入札額:0.0923ドル/時間 入札リクエストモード:1回限りのリクエスト イメージID:img-pmqg1cw7 選択するモデル:2C4G二世代標準型(S2.MEDIUM4) 購入数:1台

リクエストパラメータ





https://cvm.tencentcloudapi.com/?Action=RunInstances &Placement.Zone=ap-guangzhou-3 &InstanceChargeType=SPOTPAID &InstanceMarketOptions.MarketType=spot &InstanceMarketOptions.SpotOptions.MaxPrice=0.0923 &InstanceMarketOptions.SpotOptions.SpotInstanceType=one-time &ImageId=img-pmqg1cw7 &InstanceType=S2.MEDIUM4 &InstanceCount=1 &<パブリックリクエストパラメータ>

リターンパラメータ





```
{
   "Response":{
    "InstanceIdSet": [
        "ins-1vogaxgk"
    ],
    "RequestId": "3c140219-cfe9-470e-b241-907877d6fb03"
   }
}
```

スポットインスタンスの回収状態を確認する

最終更新日:::2023-04-12 11:00:46

スポットインスタンスは、価格または在庫などの理由によりTencent Cloud によって自主的に回収されることがあ ります。インスタンスが回収される前にユーザーがカスタム操作を実行できるように、インスタンス内部から Metadata メカニズムを介して回収状態を取得するためのインターフェースが提供されています。詳細内容は下記 の通りです。

メタデータ

インスタンスメタデータは、インスタンスに関するデータで、実行中のインスタンスを設定または管理するため に使用します。インスタンス内部からインスタンスメタデータにアクセスして取得できます。詳細については、 インスタンスメタデータの確認をご参照ください。

メタデータを介したスポットインスタンスの回収ステータス情報 の取得

スポットインスタンスの回収状態に関する情報を取得するには、cURLツールまたはHTTP GETリクエストを介し てメタデータにアクセスできます。





curl metadata.tencentyun.com/latest/meta-data/spot/termination-time

以下のような情報が返ってきた場合は、スポットインスタンスの回収時間を意味します。

説明:

スポットインスタンスのオペレーティングシステムによって設定された回収時間。タイムゾーンの標準はUTC+8 です。





2018-08-18 12:05:33

404 not foundエラーが表示された場合、インスタンスがスポットインスタンスではないか、まだ回収をトリガー していないことを意味します。

操作の詳細については、インスタンスメタデータの確認 をご参照ください。

停止済み従量課金インスタンスの非課金化

最終更新日:::2023-05-10 15:32:34

概要

停止済みインスタンスの非課金化は、従量課金インスタンスはシャットダウン操作によって**シャットダウン**状態 になった後、インスタンス(CPU、メモリ)の料金が請求されなくなり、クラウドディスク(システムディスク とデータディスク)、パブリックネットワーク帯域幅やイメージ等のコンポーネントは引き続き課金されます。 ご注意:

[停止済みインスタンスの非課金化] 機能を有効にすると、インスタンスのCPU、メモリは**保存されない**、パブリックIPアドレスは**自動的にリリースされます**。その他機能、使用制限、および影響については、停止済み従量課金 インスタンスの非課金化 をご参照ください。

操作手順

コンソールからインスタンスをシャットダウンする

1. CVMコンソール にログインします。

2. 実際のニーズに応じて、適切な操作方法を選択してください

単一インスタンスのシャットダウン:

2.1.1 シャットダウンするインスタンスを選択し、右側の操作欄で【さらに】>【インスタンス状態】>【シャット ダウン】をクリックします。

2.1.2 【停止済みインスタンスの非課金化】を選択し、【OK】をクリックします。

インスタンスがこの機能をサポートしていない場合、インスタンスリストに「停止済みインスタンスの非課金化 をサポートしていません」と表示されます。

複数インスタンスのシャットダウン:

2.1.1 シャットダウンするインスタンスをすべて選択し、リストの上部にある【シャットダウン】をクリックする と、インスタンスを一括シャットダウンできます。

シャットダウンできないインスタンスには原因が表示されます。

2.1.2 【停止済みインスタンスの非課金化】を選択し、【OK】をクリックします。

インスタンスがこの機能をサポートしていない場合、インスタンスリストに「停止済みインスタンスの非課金化 をサポートしていません」と表示されます。

APIを使ってインスタンスをシャットダウンする

StopInstances APIを使用してインスタンスをシャットダウンできます。詳細については、StopInstances をご参照 ください。次のパラメータを追加します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



パラメータ名	選択 必須	タイプ	説明
StoppedMode	いいえ	String	 「停止済みインスタンスの非課金化」機能は、従量課金制のインスタンスでのみ利用できます。 有効な値: KEEP_CHARGING:停止したインスタンスも引き続き課金されます。 STOP_CHARGING:停止したインスタンスには料金が発生しません。 デフォルト値: KEEP_CHARGING

インスタンスロールの管理

最終更新日:::2022-03-16 16:54:44

操作シナリオ

CAM (Cloud Access Management)のロールは一組の権限を持つ仮想ロールで、Tencent Cloud中のサービスをダ ウンロードし、操作およびリソースのアクセス権限をロールに付与するために使用します。CAMのロールはCVM インスタンスに関連付けられ、インスタンス内でTencent Cloudセキュリティ証明書サービスSTSの一時キーに基 づき他のクラウド製品のAPIにアクセスすることができます(一時キーは周期的に更新されます)。この方法を使 用すると、直接SecretKeyを使用して権限制御を実行するのと比べ、アカウント下のSecretKeyセキュリティの安 全性が強化され、CAMの機能を活用して制限と権限付与をより緻密に管理することができます。

ここでは、インスタンスロールのバインド、変更および削除などの、インスタンスロールの管理方法について説明 します。

機能のメリット

インスタンスのためにCAMのロールをバインドすると、以下の機能およびメリットが加わります。

STS一時キーを使用すると、Tencent Cloudの他のクラウドサービスにアクセスできます。

異なるインスタンスに異なる権限付与ポリシーが含まれるロールを付与すると、インスタンスは異なるクラウド リソースに対する異なるアクセス権限を持つことができ、より緻密な権限制御が実現します。

自分でインスタンス中にSecretKeyを保存する必要はありません。修正ロールの権限付与によって権限を変更する ことができ、インスタンスが備えているアクセス権限を迅速にメンテナンスすることができます。

利用説明

インスタンスは cvm.qcloud.com のロールを含むロールのバインドのみをサポートしています。詳細について は、ロールの基本概念 をご参照ください。

インスタンスのネットワークタイプは専用ネットワークVPCである必要があります。 1つのインスタンスは一度に1つのCAMロールの権限付与のみをサポートしています。 インスタンスロールをバインド、変更および削除しても、別料金は発生しません。

操作手順

インスタンスロールのバインド/変更

単一インスタンスロールのバインド/変更 複数インスタンスロールのバインド/変更 1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーでインスタンスを選択します。 2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。 リストビュー:ロールをバインドまたは変更する必要があるCVMの行の右側にあるその他>インスタンス設定> ロールのバインド/変更を選択します。下図のとおりです。

ID/Name	Monitorin g	Status T	Availability Zc 🔻	Instance Type Y	Instance Configuration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mode T	Network billing mode T	Proj
	ılı	lease Running	Nanjing Zone 1	Standard S5 👫	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Default-VPC	-		Pay as you go Created at 2021-04-07 10:23:04	Bill by traffic	Defa
Total items: 1									Rename Export instances Edit Tags Bind/Modify a Role Assign to Project Manage Instance Pla	cement

タブビュー: CVM画面で、画面の右上隅にある**その他>インスタンス設定>ロールのバインド/変更**を選択します。 3. ポップアップした「ロールのバインド/変更」ウィンドウで、バインドするロールを選択して、**OK**をクリックす れば完了です。

1.「インスタンス」リスト画面で、ロールをバインドまたは変更する必要があるCVMにチェックを入れ、トップ にある**その他の操作>インスタンス設定>ロールのバインド/変更**をクリックします。下図のとおりです。

Create Start up Separate keywords with " ", and	Shutdown separate tags u	ising the	Restart Reset Password Enter key Rename	More Actions Terminate/Return Instance Settings	•	Q. View instances pene	ding repossession		
✓ ID/Name	Monitorin g	Statu	Export instances	Load a key	ance	Primary IPv4 (i)	Primary IPv6	Instance Billing Mode 🔻	Network billing
	di	🔿 Ru	Edit Tags Bind/Modify a Role Delete a Role Assign to Project	Resource Adjustment Add to security group	 bre 1GB 1Mbps bren disk: Premium Cloud Storage Network: Default-VPC 	a	-	Pay as you go Created at 2021-04-07 10:23:04	Bill by traffic
Total items: 1			Manage Instance Placement Group						

2. ポップアップした「ロールのバインド/変更」ウィンドウで、バインドするロールを選択して、**OK**をクリックす れば完了です。

説明:

この方法で変更された複数のインスタンスでは、ロールが同じになります。

インスタンスロールの削除

単一インスタンスロールの削除

複数インスタンスロールの削除

1. CVMコンソール にログインし、左側のナビゲーションバーでインスタンスを選択します。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:ロールを削除する必要があるCVMの行の右側にあるその他>インスタンス設定>ロールの削除を選 択します。下図のとおりです。

Create Start up	Shutdown	Restart	Reset Password	More Actions 🔻		Q. View instances pendin	g repossession		
D/Name	Monitorin g	Status T	Availability Zc 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4	Primary IPv6	Instance Billing Mode T	Network billing mode T
	di	🐼 Running	Nanjing Zone 1	Standard S5 🛟	1-core 1GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Default-VPC	California (Pay as you go Created at 2021-04-07 10:23:04	Bill by traffic
Total items: 1									Rename Export instances Edit Tags Bind/Modify a Role Delete a Role Assign to Project Manage Instance Placem

タブビュー:CVM画面で、画面の右上隅にあるその他の操作>インスタンス設定>ロールの削除を選択します。

3. ポップアップした「ロールの削除」ウィンドウで、**OK**をクリックすれば完了です。

1.「インスタンス」リスト画面で、ロールを削除する必要があるCVMにチェックを入れ、トップにあるその他の 操作>インスタンス設定 > ロールの削除をクリックします。下図のとおりです。

Create Start up	Shutdown	ing the	Restart Reset Password	More Actions 🔻		Q. View instances pend	ding repossession		
☑ ID/Name	Monitorin g	Statu	Rename Export instances	Instance Settings Load a key	ance ifiguration	Primary IPv4 (j)	Primary IPv6	Instance Billing Mode T	Network billing mode T
	di	🔿 R	Bind/Modify a Role Delete a Role Assign to Project	Add to security group	ore 1GB 1Mbps em disk: Premium Cloud Storage Vetwork: Default-VPC			Pay as you go Created at 2021-04-07 10:23:04	Bill by traffic
Total items: 1			Manage Instance Placement Group						20 🔻 / pa

2. ポップアップした「ロールの削除」ウィンドウで、**OK**をクリックすれば完了です。

リザーブドインスタンス リザーブドインスタンスの分割

最終更新日:::2022-06-13 18:20:58

操作シナリオ

リザーブドインスタンスを使用する柔軟性を満たすために、リザーブドインスタンスを、対応する仕様の従量課 金制インスタンスと一致する、より小さな 変換係数 の複数のリザーブドインスタンスに分割できます。

リザーブドインスタンス分割のルールと制限

1c1g 1c2g 2c4g仕様のモデルは分割をサポートしません。

インスタンスサイズの変更をサポートしますが、インスタンスタイプの変更をサポートしません。

同じAvailability Zoneをサポートしますが、リザーブドインスタンスのリージョンまたはAvailability Zoneの変更を サポートしません。

ターゲットのリザーブドインスタンス変換係数の総数は、元のリザーブドインスタンス変換係数の総数と同じで ある必要があります。

分割を許可する前に、CPU:メモリの比率が同じであることを確認してください。 最大100の分割をサポートします。

操作手順

1. Cloud Virtual Machine (CVM) コンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで、リザーブドインスタンスをクリックします。

3. リザーブドインスタンスのページで、分割するリザーブドインスタンスの操作列の下にある分割をクリックします。

4. リザーブドインスタンス分割のウィンドウで、新しく分割されたリザーブドインスタンス名を入力し、CPU、 メモリ、およびインスタンスの数を選択します。

実行結果

分割操作が完了すると、元のリザーブドインスタンスの状態は**期限切れ**になり、生成された新しいリザーブドイ ンスタンスの状態は**有効**になります。

用語の解釈

変換係数:インスタンスパフォーマンスの強みです。通常、vCPUの数によって異なり、リザーブドインスタンスの分割とマージに使用されます。変換係数=vCPUの数

変換係数の総数=インスタンスタイプの変換係数*リザーブドインスタンスの数。分割/マージの前後で、変換係数 の総数は同じである必要があります。

リザーブドインスタンスのマージ

最終更新日:::2022-06-13 18:20:58

操作シナリオ

リザーブドインスタンスを使用する柔軟性を満たすために、複数のリザーブドインスタンスを、対応する仕様の 従量課金制インスタンスと一致する、より大きな変換係数の1つのリザーブドインスタンスにマージできます。

リザーブドインスタンスマージのルールと制限

リザーブドインスタンスは**有効**の状態となっています。

リザーブドインスタンスは同じAvailability Zoneにある必要があります。

リザーブドインスタンスの支払いタイプは同じです。

リザーブドインスタンスのOSプラットフォーム(Windows/linux)と終了時刻は同じである必要があります。

1c1g 1c2g 2c4g仕様のモデルはマージをサポートしません。

インスタンスサイズの変更をサポートしますが、インスタンスタイプファミリーの変更をサポートしません。

リザーブドインスタンスのリージョンまたはAvailability Zoneの変更をサポートしません。

ターゲットのリザーブドインスタンス変換係数の総数は、元のリザーブドインスタンス変換係数の総数と同じで ある必要があります。

マージを許可する前に、CPU:メモリの比率が同じであることを確認してください。

操作手順

1. Cloud Virtual Machine (CVM) コンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで、リザーブドインスタンスをクリックします。

3. リザーブドインスタンスのページで、マージするリザーブドインスタンスの操作列の下にあるマージをクリックします。

4. リザーブドインスタンスマージのウィンドウで、マージされるリザーブドインスタンスを選択して、新しく マージされたリザーブドインスタンス名を入力します。

実行結果

マージ操作が完了すると、元のリザーブドインスタンスの状態は**期限切れ**になり、生成された新しいリザーブド インスタンスの状態は**有効**になります。

用語の解釈

変換係数:インスタンスパフォーマンスの強みです。通常、vCPUの数によって異なり、リザーブドインスタンスの分割とマージに使用されます。変換係数=vCPUの数

変換係数の総数=インスタンスタイプの変換係数*リザーブドインスタンスの数。分割/マージの前後で、変換係数 の総数は同じである必要があります。

イメージ

カスタムイメージの作成

最終更新日:::2024-05-16 11:07:36

概要

Tencent Cloudが提供するパブリックイメージを使用するだけでなく、カスタムイメージを作成することもできま す。カスタムイメージを作成した後、Tencent Cloudコンソールでこのイメージと同一構成のTencent Cloud CVM インスタンスをすばやく作成することができます。

説明:

イメージの基盤となるデータストレージは、CBSスナップショットサービスを使用します。

カスタムイメージを作成する場合、デフォルトでイメージに関連付けられたスナップショットが作成されます。カ スタムイメージを保持すると一定のスナップショット料金が発生します。詳細については、Billing Overview をご 参照ください。

注意事項

各リージョンは、最大500個のカスタムイメージをサポートします。

Linuxインスタンスにデータディスクがあっても、システムディスクにのみイメージを作成する場合

は、 /etc/fstab にデータディスク構成が含まれていないことを確認してください。そうしないと、このイ メージで作成したインスタンスを正常に起動できません。

イメージの作成には10分以上かかる場合があります。具体的な時間はインスタンスのデータサイズによって異な ります。業務への影響を避けるためには、事前に関連準備を行ってください。

コンソールまたはAPIで CBM インスタンスを使用してカスタムイメージを作成することはできません。CVMイン スタンスを使用してカスタムイメージを作成することができます。

Windowsインスタンスがドメインに参加し、ドメインアカウントを使用する必要がある場合は、カスタムイメージを作成する前に、Sysprep操作を実行し、インスタンスがドメイン参加後にSIDが一意になるようにしてください。詳細については、Sysprepを実行してドメイン参加後のCVMの一意のSIDを確保をご参照ください。

操作手順

コンソールからのカスタムイメージの作成 API 経由でカスタムイメージの作成 インスタンスのシャットダウン(オプション)

1. CVMコンソール にログインし、対応するインスタンスのシャットダウンが必要かどうかを確認します。 ご注意:

2018年7月以降にパブリックイメージを元に作成されたインスタンス(システムディスクはCBS)はオンラインイ メージ制作(インスタンスをシャットダウンせずにイメージを制作すること)をサポートしています。これ以外で のインスタンスは、インスタンスをシャットダウンしてからイメージを制作し、イメージが現在のインスタンス デプロイ環境と完全に一致するようにしてください。

インスタンスをシャットダウンする必要がある場合は、次の手順に進みます。

インスタンスをシャットダウンする必要がない場合は、カスタムイメージの作成に進んでください。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:下図に示すように、ターゲットインスタンスの行の右側にある**さらに**>インスタンス状態*> シャットダウンをクリックします。

Instances 🛇 Guangzh	ou 25 • Other	r regions(6) 🔻							
Create Start up	Shut down	Restart	Reset Password	More Actions 🔻					
Instance Type:Standard S5	Separate keywor	ds with " ", and sep	parate tags using the Ent	er key		Q. View instances pend	ling repossession		
ID/Name	Monitorin g	Status T	Availability Zc 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🚯	Primary IPv6	Instance Billing Mode T	Network Billing Mod
					2 results found	for "Instance Type:Standard S5	Back to list		
	di	A Running	Guangzhou Zone 6	Standard S5 🍀	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Default-VPC	0	-	Pay as you go Created at 2021-02-05 15:54:54	Bill by traffic
	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 6	Standard S5 🗱	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Default-VPC	a	-	Pay as you go Created at 2020-11-17 16:29:16	Bill by traffic Start Shut Term
Total items: 2									20 -

タブビュー:下図に示すように、インスタンス詳細ページでシャットダウンをクリックします。

Initial logi	Running name: root. You can check the details of the newly created instances in ^{Message Center} : Hyou forgot your password, clickleset password		Log In Shutdow	s Re	estart	Res
Instance ID		Instance Configuration	Standard SA2 - 1C 1G Adjust Model and Specs			
Availability Zone	Guangzhou Zone 3	Operating System	TencentOS Server 3.1 (TK4) Reinstall the System			
IP		Creation Time	2022-05-25 14:50:52			
Instance Billing Mode	Pay-as-you-go					
Bandwidth billing mode	Bill by traffic Modify billing mode					

カスタムイメージの作成

1. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー:ターゲットインスタンスの行の右側にある**さらに > イメージの作成**をクリックします。下図に示 すとおりです:

Create Start up	Shut down	Restart	Reset Password	More Actions 🔻					
Instance Type:Standard S5	Separate keywor	ds with " ", and sep	arate tags using the Ent	er key		Q. View instances pend	ing repossession		
ID/Name	Monitorin g	Status T	Availability Zc 🔻	Instance Type ▼	Instance Configuration	Primary IPv4 🛈	Primary IPv6	Instance Billing Mode T	Network Billin
					2 results found	for "Instance Type:Standard S5"	Back to list		
	di	() Shutdown	Guangzhou Zone 6	Standard S5 🍀	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Default-VPC	11	-	Pay as you go Created at 2021-02-05 15:54:54	Bill by traffic
	di	🐼 Running	Guangzhou Zone 6	Standard S5 🍀	1-core 2GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: Default-VPC	a		Pay as you go Created at 2020-11-17 16:29:16	Bill by traffic
tal items: 2									

タブビュー:画面の右上隅にあるその他の操作>イメージの作成を選択します。下図に示すとおりです:

•••	-		
Initial I	gin name: root. You can check the details of the newly created instances in Message Center. If you forgot your password, clickReset password		Log In Shutdown Restart Re
Instance ID	in	Instance Configuration	Standard SA2 - 1C 1G Adjust Model and Specs
Availability Zone	Guangzhou Zone 3	Operating System	TencentOS Server 3.1 (TK4) Reinstall the System
IP		Creation Time	2022-05-25 14:50:52
Instance Billing Mode	Pay-as-you-go		
Bandwidth billing mode	Bill by traffic Modify billing mode		

2. ポップアップ画面で構成を完了してください。

イメージ名とイメージの説明:名称と説明をカスタマイズします。

タグ:必要に応じてインスタンスのタグを追加できます。タグは、クラウドリソースの分類、検索、および集約に 使用されます。 詳細については、タグ をご参照ください。

説明:

システムディスクとデータディスクを含むカスタムイメージを作成するには、チケットを送信してください。 3. イメージの作成をクリックすると、作成が完了します。

左側のナビゲーションバーで **イメージ**をクリックすると、「イメージ」ページでイメージの作成の進行状況を確 認できます。

カスタムイメージを利用したインスタンスの作成(オプション)

イメージの作成が完了すると、イメージリストで作成したイメージを選択し、右側にある**CVMインスタンスを作** 成をクリックして、イメージと同じ構成のサーバーを購入できます。

lmages (🕽 Guangzhou 💌				
Public Image	Custom Image Shared Ima	age			
i Note					
1. Micn to pu	osoft discontinued maintenance support for t rchase new CVM instances or reinstall CVM i	he Windows Server 2008 R2 operating s nstances. However, the use of custom in	system on January 14, 2020. <mark>A</mark> nages, marketplace images, ar	ccordingly, Tencent Cloud officially deactivated the ind imported images will not be affected.	e public image for Windows Server 20
2. Tenc	ent Cloud plans to start charging custom ima	ges according their snapshot size in Q1	2020. You can go to <u>snapshot</u>	list and image details page to check the updated	information on associated snapshots
3. Imag	e service uses CBS snapshot for data storage.	CBS Snapshot (International) was comr	mercialized on March 1, 2019.	Please note that you may be charged for snapshot	t service for your custom images. For
4. You o	an adjust the policy according to your actual	requirements to avoid unnecessary cos	ts:		
• Wł	en a custom image is created, a related snap	shot is created automatically. To delete	this snapshot, you need the de	elete the associated image first. Please check assoc	ciated snapshots in Image Details pa
• For	shared images, only the creator of the image	e is charged.			
• Ima	age snapshots are billed by the size of snapsh	ots. You can check the total snapshot si	ize in Snapshot Overview.		
	ance Cross-region replication	Import Image Delete			Separ
ID/Name	Status	Туре	Capacity	Operating System	Operation
	Normal	Custom Image	50GB	Ubuntu Server 18.04.1 LTS 64bit	Create an Instance St

CreateImage APIを使用してカスタムイメージを作成することができます。詳細については、 CreateImage をご参照ください。

ベストプラクティス

データディスク上のデータ移行

新しいインスタンスを起動する同時に、元のインスタンスのデータディスクのデータを保持する必要がある場 合、最初にデータディスクの スナップショット を作成してください。新しいインスタンスを起動する時に、この データディスクのスナップショットを使用して新しいCBSデータディスクを作成します。 詳細については、スナップショットを使用してクラウドディスクの作成 をご参照ください。

カスタムイメージの共有

最終更新日:::2024-05-16 10:48:25

概要

共有イメージとは、ご自分で作成済みの カスタムイメージ を他のTencent Cloudアカウントと共有することをい います。他のTencent Cloudアカウントから共有イメージを手軽に取得し、そこから必要なコンポーネントを取得 して、カスタムコンテンツを追加することができます。

ご注意:

Tencent Cloudはその他のTencent Cloudアカウントの共有イメージの整合性またはセキュリティを保証することは できません。ソース元が確かな共有イメージのみ、使用されることをお勧めします。

注意事項

イメージごとに最大500のTencent Cloudアカウントと共有することができます。

共有イメージは名前や説明を変更することはできません。CVMのインスタンス作成時、またはインスタンスシス テムの再ストール時のみ使用できます。

その他のTencent Cloudアカウントに共有したイメージは、自身のイメージクォータを占有しません。

その他のTencent Cloudアカウントに共有したイメージは削除できますが、先にこのイメージのすべての共有を取 り消す必要があります。共有を取り消す操作については、カスタムイメージの共有を取り消す をご参照くださ い。取得した共有イメージは削除できません。

イメージは、Tencent Cloudアカウントが同じリージョン内の相手との共有をサポートしています。異なるリー ジョンの相手と共有する場合は、先にイメージを異なるリージョンにコピーしてから、共有する必要があります。 取得した共有イメージを、さらに別のTencent Cloudアカウントに共有することはできません。

操作手順

ルートアカウントのアカウントIDの取得

Tencent Cloudの共有イメージは、相手側端末のルートアカウントの一意のIDによって識別されます。次の方法 で、ルートアカウントのアカウントIDを取得するように相手に通知することができます。

1. CVMコンソール にログインします。

2. 右上隅のアカウント名をクリックし、アカウント情報を選択します。

3.「アカウント情報」管理ページで、ルートアカウントのアカウントIDを確認および記録します。

4. 取得したアカウントIDを自分に送信するように相手に通知します。

共有イメージ

コンソールによる共有

API による共有

1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで **イメージ** を選択します。

2. カスタムイメージタブを選択し、カスタムイメージ管理ページに進みます。

3. カスタムイメージリストで、共有したいカスタムイメージを選択し、右側の共有をクリックします。

4. 表示された「共有イメージ」ウィンドウで、相手ルートアカウントのアカウントIDを入力し、**共有**をクリック します。

5. CVMコンソール にログインし、イメージ>共有イメージを選択して、共有したイメージを確認できることを相 手に通知します。

複数のTencent Cloudアカウントに共有したい場合は、上記の手順を繰り返してください。

ModifyImageSharePermissionインターフェースを使用して、イメージを共有することができます。詳細について は ModifyImageSharePermission をご参照ください。

関連する操作

Lighthouseとのイメージ共有

Lighthouseとのカスタムイメージの共有、またはLighthouseのカスタムイメージのCVMとの共有によって、サービ スの高速なオフライン移行を実現できます。共有済みのイメージを使用して、インスタンスをすばやく作成し、必 要なコンポーネントを取得したり、そこからカスタムコンテンツを追加したりすることもできます。

カスタマイズイメージの共有を取り消す

最終更新日:::2022-04-14 15:17:59

ユースケース

このドキュメントは、共有カスタマイズイメージを解除する方法を説明します。ユーザーはほかのユーザーと共有 されているイメージの共有状態をいつでも終了でき、ほかのユーザーと共有しないことを決定できます。この操作 はほかのユーザーがこの共有イメージを利用して作成したインスタンスに影響しませんが、他のユーザーがこの イメージを確認したり、このイメージを利用して新しいインスタンスを作成したりすることができません。

操作手順

コンソールを利用して共有を解除する

APIを利用して共有を解除する

1. CVMコンソールにログインします。左側ナビゲーションバーで、イメージをクリックします。

2. カスタマイズイメージタブを選択して、カスタマイズイメージ管理画面に入ります。

3. カスタマイズイメージリストから、共有を解除するカスタマイズイメージを選択して、その他 > 共有を解除す るをクリックします。

Create an instance	ross-region replication	port image Delete				
ID/Name	Status	Туре	Capacity	Operating System	Creation Time	Operation
	Normal	Custom Image	50GB		2022-03-15 10:17:56	Create an Instance Share More 🔻
	Normal	Custom Image	50GB		2020-12-14 12:46:03	Cross-regic Create an Instance Share Cancel Sha Export ima
	Normal	Custom Image	175GB		2020-12-14 11:15:59	Create an Instance Share Modify Delete

4. 新しい画面で、解除する対向側アカウントの唯一IDを選択して、【共有を解除する】をクリックします。確認 した後、イメージ共有の解除を完了します。

ModifyImageSharePermission インターフェースを利用して、共有イメージを解除できます。詳細については、イメージ共有情報の修正をご参照ください。

カスタムイメージの削除

最終更新日:::2023-05-10 16:13:56

ユースケース

このドキュメントでは、カスタムイメージを削除する方法について説明します。

注意事項

カスタムイメージを削除する前に、次の点に注意してください。

カスタムイメージを削除すると、それを使用して新しいCVMインスタンスを作成することはできなくなります が、既に起動されているインスタンスには影響しません。このイメージから起動されたすべてのインスタンスを 削除する場合は、 インスタンスの回収 または インスタンスの終了/リリース をご参照ください。

他のユーザーと共有されているカスタムイメージは削除できません。削除する前にすべての共有を解除する必要 があります。詳細については、カスタムイメージの共有解除方法 をご参照ください。

カスタムイメージのみを削除できます。パブリックイメージと共有イメージは削除できません。

操作手順

コンソールからイメージを削除する

API経由でイメージを削除する

- 1. CVMコンソールにログインします。左側のナビゲーションバーで イメージ をクリックします。
- 2. カスタムイメージタブを選択して、カスタムイメージ管理ページに進みます。
- 3. 実際のニーズに基づいてカスタムイメージを削除する方法を選択します。
- **単一のイメージの削除**:イメージリストで削除するカスタムイメージを見つけて、**さらに > 削除**をクリックしま す。

Ē	Create an Instance	Cross-region replication	port Image Delete			Separate keyw	ords with " ", and separate tags using the §
l	ID/Name	Status	Туре	Capacity	Operating System	Creation Time	Operation
l		Normal	Custom Image	60GB		2022-03-21 23:01:40	Create an Instance Share Mor
l		Normal	Custom Image	60GB	100 million (*** 100	2022-03-02 20:56:50	Create an Instance Share Ca Exq
l		Normal	Custom Image	50GB		2021-08-06 16:03:54	Create an Instance Share
L				50.00	0	2024 07 45 45 00 25	

複数のイメージの削除:イメージリストで削除するすべてのカスタムイメージを選択し、上部の**削除**をクリック します。

innage sindpsin	ots are office by the size of shapshots, re	e can check the total shapshot size	птопаранос отстиси.		
Create an Instance	Cross-region replication	port Image Delete			Separate keywords with
- ID/Name	Status	Туре	Capacity	Operating System	Creation Time
	Normal	Custom Image	60GB		2022-03-21 23:01:40
	Normal	Custom Image	60GB	1 mar - 1 m - 1 m - 1 m -	2022-03-02 20:56:50

4. [OK] をクリックします。

削除できない場合は、理由が表示されます。

ユーザーはDeleteImagesインターフェースを使用してイメージを削除します。詳細については、イメージの削除 をご参照ください。



最終更新日:::2023-04-25 18:14:48

コピーの概要

一般的な手順

イメージのコピーには、カスタムイメージ - クロスリージョンレプリケーションと共有イメージ - 同一リージョン レプリケーションの2つの機能が含まれています。

イメージコピー機 能	利点	説明
カスタムイメージ -	ユーザーが クロスリージョン で同じ	クロスリージョンでカスタムイメージをコ
クロスリージョン	CVMインスタンスをすばやくデプロ	ピーし、そのイメージを新しいリージョン
レプリケーション	イできるようにします	にコピーしてCVMを作成できます
共有イメージ - 同	ユーザーが共有イメージをカスタム	コピーされたカスタムイメージには特別な
一リージョンレプ	イメージにコピーできるようにしま	制限はなく、他のカスタムイメージの機能
リケーション	す。より柔軟に使用できます	を備えています

コピーの説明

カスタムイメージは、クロスリージョンレプリケーションをサポートします。共有イメージは、同一リージョンレ プリケーションをサポートします。

リージョン制限:

中国本土リージョン、その他の国および地域内でのイメージコピーをサポートしています。中国本土リージョンか ら他の国および地域にイメージをコピーしたい場合、または他の国および地域から中国本土リージョンにイメージ をコピーしたい場合は、チケットを提出してください。

イメージコピーの機能自体は、無料で使うことができますが、コピーされたカスタムイメージを保持するために一 定のスナップショット料金が発生します。

イメージのコピーは10分から30分かかります。

イメージ全体は現在、クロスリージョンレプリケーションをサポートしていません。

コピーの方法

カスタムイメージ-クロスリージョンレプリケーション

コンソール経由でイメージをコピーする API経由でイメージをコピーする 1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションメニューで、 イメージ をクリックして、イメージ管理画面に入ります。

3. コピーしたい元のイメージが存在するリージョンを選択して、カスタムイメージタブをクリックします。下図に 示すとおりです:

例えば、広州リージョンを選択します。

Imag	es 🕓 Guangzi	hou 🔻					
1 0.01	cuilitage cu	Shared Image	-				
(i)	Note						
	 Microsoft disco to purchase nev 	ntinued maintenance support for the v CVM instances or reinstall CVM inst	Windows Server 2008 R2 operating sys ances. However, the use of custom ima	tem on January 14, 2020. A ges, marketplace images, ar	ccordingly, Tencent Cloud officially deactivated the pu nd imported images will not be affected.	ublic image for Windows Server 2008 R2 En	terprise Edition SP1 64-bit on
	2. Tencent Cloud p	plans to start charging custom images	according their snapshot size in Q1 20	20. You can go to <u>snapshot</u>	list and image details page to check the updated info	ormation on associated snapshots of the im	iage.
	3. Image service u	ses CBS snapshot for data storage. <mark>Cl</mark>	3S Snapshot (International) was comme	rcialized on March 1, 2019.	Please note that you may be charged for snapshot se	ervice for your custom images. For details, p	lease see <u>Snapshot Introducti</u>
	4. You can adjust t	the policy according to your actual re	quirements to avoid unnecessary costs:				
	 When a custo 	m image is created, a related snapsho	ot is created automatically. To delete thi	s snapshot, you need the d	elete the associated image first. Please check associat	ed snapshots in Image Details page.	
	 For shared im 	ages, only the creator of the image is	charged.				
	 Image snapsh 	ots are billed by the size of snapshot:	s. You can check the total snapshot size	in Snapshot Overview.			
Cre	ate an Instance	Cross-region replication	Import Image Delete			Separate keywo	ords with " ", and separate tag
	D/Name	Status	Туре	Capacity	Operating System	Creation Time	Operation
	17	Normal	Custom Image	60GB	Ubuntu Server 20.04 LTS 64bit	2022-03-21 23:01:40	Create an Instance
		Normal	Custom Image	60GB	Ubuntu Server 20.04 LTS 64bit	2022-03-02 20:56:50	Create an Instance

4. イメージをコピーする必要があるインスタンスを見つけて、画面右側のメニューから**さらに > クロスリージョン** ンレプリケーションをクリックします。

5. コピー先のリージョンを選択し、**OK**をクリックします。

コピーが成功すると、コピー先のリージョンのイメージリストに、同じ名前で異なるIDのイメージが表示されます。

6. コピー先のリージョンに切り替えて、そのリージョンのイメージリストに、コピーされたイメージを選択し、**イ** ンスタンスの作成をクリックして同じのCVMインスタンスを作成できます。

SyncImagesインターフェースを使用してイメージをコピーすることができます。詳細については、SyncImages を ご参照ください。

共有イメージ - 同一リージョンレプリケーション

コンソール経由でイメージをコピーする

API を使用してイメージをコピーする

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションメニューで、 イメージ をクリックして、イメージ管理画面に入ります。

3. コピーしたい元のイメージが存在するリージョンを選択して、**共有イメージ**タブをクリックします。下図に示す とおりです:

例えば、広州リージョンを選択します。

Image	s 🔇 Gu	angzhou 🔻							
Public	Public image Custom image Shared image								
0	Note								
	1. Image ser	vice uses CBS snapshot	for data storage. You r	nay be charged for snapshot service	for your custom images. F	or details, see FAQ about Snapshot Commerciali	ization 🗹 and <u>Snapshot Pricing</u> 🗹 .		
	2. CentOS 8	has been discontinued	officially from January	1, 2022 (UTC +8), and CentOS 7 will	be discontinued from June	e 30, 2024 (UTC +8). Tencent Cloud provides you	with alternatives. Learn more		
	3. You can ad	djust the policy according	ng to your actual requi	rements to avoid unnecessary costs					
	• When a	custom image is create	d, a related snapshot is	created automatically. To delete th	is snapshot, you need to de	elete the associated image first. Please check ass	ociated snapshots in Image Details page.		
	• For shar	ed images, only the cre	ator of the image is ch	arged.					
	• Image s	napshots are billed by t	he size of snapshots. Y	ou can check the total snapshot size	in Snapshot Overview.				
Creat	te an Instance						Sepa	rate keywords with " ", and separate	tags using the l
)/name		Status	Туре	Capacity	Operating system	License type	Creation Time	O
- 4			Normal	Shared image	50GB	TencentOS Server 2.4	Tencent Cloud license	2022-09-22 22:49:25	Cr

4. イメージをコピーする必要があるインスタンスを見つけて、画面右側のメニューから**さらに > 同一リージョン** レプリケーションをクリックします。

5. コピー先のリージョンを選択し、**OK**をクリックします。

コピーが成功すると、コピー先のリージョンのイメージリストに、同じ名前で異なるIDのイメージが表示されます。

6. カスタムイメージタブを切り替えて、コピーされたイメージを選択し、**インスタンスの作成**をクリックして同 じのCVMインスタンスを作成できます。コピーされたカスタムイメージには特別な制限はなく、他のカスタムイ メージの機能を備えています。

Synclmagesインターフェースを使用してイメージをコピーすることができます。詳細については、Synclmages を ご参照ください。

イメージのインポート イメージのインポートの概要

最終更新日:::2023-04-03 12:06:12

カスタマイズイメージの作成 機能を使用する以外に、Tencent Cloudはインポート機能もサポートしています。 ローカルまたは他のプラットフォームのサーバーのシステムディスクにあるイメージファイルをCloud Virtual Machine (CVM)のカスタマイズイメージにインポートできます。イメージをインポートした後、それを使用して CVMを作成したり、既存のCVMシステムをリインストールしたりできます。

インポートの準備

事前にインポート要件を満たすイメージファイルを準備してください。 Linuxシステムタイプのイメージ制限 Windowsシステムタイプのイメージ制限

イメージ属 性	条件
OS	CentOS、CentOS Stream、Ubuntu、Debian、OpenSUSE、CoreOS、FreeBSD、AlmaLinux、 Rocky Linux、Fedora、Kylin、UnionTech、TencentOSリリースバージョンに基づくイメージ です。 32ビットと64ビットの両方のOSがサポートされています。
イメージ形 式	RAW、VHD、QCOW2、VMDKのイメージ形式をサポートします。 qemu-img info imageName grep 'file format' を利用してイメージ形式を確認 します。
ファイルシ ステムのタ イプ	GPTパーティションはサポートされていません。
イメージの サイズ	<pre>イメージの実際のサイズは50Gを超えることはできません。 qemu-img info imageName grep 'disk size' を利用して、イメージの実際のサイズを確認します。 イメージのvsizeは500Gを超えることはできません。 qemu-img info imageName grep 'virtual size' を利用して、イメージのvsizeを確認します。 注記: イメージをインポートする時のサイズはQCOW2形式に変換したイメージ情報に準じます。</pre>
ネットワー ク	デフォルトでは、Tencent Cloudはインスタンスにeth0ネットワークインターフェースを提供 します。

	ユーザーはインスタンスのmetadataサービスを使用して、インスタンスのネットワーク設定 を確認できます。詳細については、インスタンスのメタデータをご参照ください。
ドライバー	イメージに仮想化プラットフォームKVMのVirtioドライバーをインストールする必要がありま す。詳細については、LinuxでのVirtioドライバーの確認 をご参照ください。 イメージにcloudinitをインストールする必要があります。詳細については、Linuxでのイメージ インポートによるcloudinitのインストールをご参照ください。 他の原因で、イメージにcloudinitをインストールできない場合、イメージの強制インポートを 参照して、自分でインスタンスを設定してください。
カーネルの 制限	イメージにはネイティブカーネルが推奨されます。カーネルを変更すると、イメージをCVM にインポートできなくなる場合があります。
地域の制限	現在、上海金融区、深セン金融区では、その他の地域のCloud Object Storage(COS)サービ スからのイメージのインポートをサポートしていません。

イ メー ジ属 性	条件
OS	Windows Server 2008関連バージョン、Windows Server 2012関連バージョン、Windows Server 2016 関連バージョン、Windows Server 2019関連バージョン、Windows Server 2022関連バージョン 32ビットと64ビットの両方のOSがサポートされています。
イ メー ジ形 式	RAW、VHD、QCOW2、VMDKのイメージ形式をサポートします。 qemu-img info imageName grep 'file format' を利用してイメージ形式を確認しま す。
フイシテのイ	MBRパーティションを使用するNTFSファイルシステムのみをサポートします。 GPTパーティションをサポートしません。 ロジックボリュームマネージャー(LVM)をサポートしません。
イ メー ジイ ズ	<pre>イメージの実際のサイズは50Gを超えることはできません。 qemu-img info imageName grep 'disk size' を利用して、イメージの実際のサイズを確認します。 イメージのvsizeは500Gを超えることはできません。 qemu-img info imageName grep 'virtual size' を利用して、イメージのvsizeを確認します。 注記: イメージをインポートする時のサイズはQCOW2形式に変換したイメージ情報に準じます。</pre>

ネットワーク	デフォルトでは、Tencent Cloudはインスタンスにローカルエリア接続ネットワークインターフェー スを提供します。 ユーザーはインスタンスのmetadataサービスを使用して、インスタンスのネットワーク設定を確認 できます。詳細については、インスタンスメタデータをご参照ください。
ドラ イ バー	イメージにはバーチャル化プラットフォームKVMのVirtioドライバーをインストールする必要があり ます。WindowsシステムにはデフォルトでVirtioドライバーがインストールされていませんが、ユー ザーはWindows Virtioドライバーをインストールして、ローカルイメージをエクスポートすることが できます。Windows Virtioドライバーのダウンロードアドレスは次のとおりです。実際のネットワー ク環境に応じてダウンロードしてください。 パブリックネットワークダウンロードアドレス: http://mirrors.tencent.com/install/windows/virtio_64_1.0.9.exe プライベートネットワークダウンロードアドレス: http://mirrors.tencentyun.com/install/windows/virtio_64_1.0.9.exe
地域 の制 限	現在、上海金融区、深セン金融区では、その他の地域のCOSサービスからのイメージのインポート をサポートしていません。
その 他	インポートされたWindowsシステムイメージは、Windowsアクティベーション サービスを提供しま せん。

インポート手順

1. CVM コンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの **イメージ** をクリックします。

2. カスタマイズイメージを選択し、イメージのインポートをクリックします。

3. 操作インターフェースの要件に基づき、まず COSのアクティブ化、次に bucketの作成 を実行し、イメージファ イルをbucketに オブジェクトのアップロード して、イメージファイルURLの取得 を実行します。

4. 次のステップへをクリックします。

5. 実際の状況に応じて、リストを記入し、インポート開始をクリックします。

ご注意:

入力したCOSのURLが正確であることを確認してください。

インポートの成功または失敗は、いずれも内部メッセージの形式で通知されます。

インポートに失敗する

コンソールでイメージのインポート操作を実行した後、何らかの理由でタスクが失敗する場合があります。タスク が失敗した場合は、以下の内容に基づいて問題のトラブルシューティングを行います。

注意事項

このドキュメントによって、失敗の原因をトラブルシューティングする前に、内部メッセージの管理ページの メッセージサブスクリプションバーで製品サービスに関連する通知をサブスクリプションしていることを確保しま す。これにより、失敗の原因を含む内部メッセージ、SMS、および電子メールを確実に受信することができます。 ご注意:

メッセージセンターで製品サービスに関連する情報をサブスクリプションしないと、インポートに成功/失敗する 内部メッセージを受信ことができません。

トラブルシューティング

次の内容を参考に、対応するエラー情報のトラブルシューティングを実行することができます。具体的なエラープ ロンプトとエラーの説明については、エラーコード をご参照ください。

InvalidUrl:COSリンクの無効

InvalidUrlエラーが発生します。エラーメッセージ:イメージのインポートページに間違ったCOSリンクが記入さ れています。次の原因が考えられます:

入力したイメージリンクは Tencent Cloud COS のイメージリンクではありません。

COSのオブジェクトアドレスにはパブリック読み取り権限、プライベート書き込み権限がありません。

COSファイルのアクセス権限はプライベート読み取りですが、署名の有効期限が切れています。

ご注意:

署名のあるCOSファイルのリンクには一度しかアクセスできません。

海外地域でイメージをインポートする場合、別の地域からのCOSリンクが使用されます。

ご注意:

現在、海外地域からインポートされたイメージサービスは、同一地域のCOSサーバーのみをサポートします。つ まり、同一地域のCOSリンクを使用してインポートしてください。

ユーザーのイメージファイルが削除されました。

COSリンクが無効であるというエラーメッセージが表示された場合、上記の原因に基づいて問題のトラブル シューティングを行います。

InvalidFormatSize:形式またはサイズの条件は不適合である

InvalidFormatSizeエラーが発生します。エラーメッセージ:事前にインポートされるイメージの形式またはサイズ は、Tencent Cloudのイメージインポート機能の制限を満たしません。制限は以下の通りです:

イメージのインポートは qcow2、 vhd、 vmdk、 raw という4種類の形式のイメージファイルをサポート しています。

イメージをインポートするファイルの実際のサイズが50GB(qcow2形式に変換したイメージファイルに基づく) を超えることはできません。

イメージをインポートするシステムディスクのサイズが500GBを超えることはできません。

イメージの形式またはサイズの条件が不適合であるというエラーメッセージを受信した場合:

Linuxイメージの作成に記載しているイメージ形式の変換内容に基づいて、イメージファイルを適切なファイル形 式に変換し、イメージ内容を簡素化して、サイズの制限を満たしてからイメージを再インポートします。 オフラインインスタンス移行 機能を利用してインスタンスを移行することもできます。この機能は最大500GBの イメージファイル移行をサポートしています。

VirtioNotInstall: Virtioドライバーの未インストール

VirtioNotInstallエラーが発生します。エラーメッセージ:事前にインポートされたイメージにはVirtioドライバーが インストールされていません。Tencent CloudがKVM仮想化テクノロジーを利用して、ユーザーがインポートした イメージにVirtioドライバーがインストールされている必要があります。一部のユーザーがカスタマイズされた Linux OSを除き、ほとんどのLinux OSには既にVirtioドライバーがインストールされています。Windows OSでは、 ユーザーはVirtioドライバーを手動でインストールしてください:

Linuxイメージのインポートについては、ドキュメント Linux OSでのVirtioドライバーの確認 をご参照ください。 Windowsイメージのインポートについては、ドキュメント Windowsイメージの作成 を参照して、Virtioドライバー をインストールしてください。

CloudInitNotInstalled: cloud-initプログラムの未インストール

CloudInitNotInstalledエラーが発生します。エラーメッセージ:事前にインポートされたイメージにcloud-initプログ ラムがインストールされていません。Tencent Cloudはオープンソースプログラムcloud-initを利用してCVMの初期 化を実行するため、cloud-initプログラムがインストールされていない場合、CVMの初期化に失敗することがあり ます。

Linuxイメージのインポートについては、ドキュメント Linux OSへのcloud-initのインストール をご参照ください。 Windowsイメージのインポートについては、ドキュメント Windows OSへのcloudbase-initのインストール をご参 照ください。

cloud-init/cloudbase-initをインストールした後、関連ドキュメントに従って構成ファイルを置き換えて、CVMを起 動する時に正しいデータソースからデータを取得できます。

PartitionNotPresent:パーティション情報の損失

PartitionNotPresentエラーが発生します。エラーメッセージ:インポートされたイメージは不完全です。この場合は、イメージの作成時にブートパーティションが含まれているかどうかを確認してください。

RootPartitionNotFound:ルートパーティションの損失

RootPartitionNotFoundエラーが発生します。エラーメッセージ:インポートしたイメージにはルートパーティションを含むことが検出されていません。この場合は、イメージファイルを確認してください。考えられる原因は次のとおりです:

インストールパッケージファイルがアップロードされました。

データディスクイメージがアップロードされました。

ブートパーティションイメージがアップロードされました。

間違ったファイルがアップロードされました。

InternalError:未知のエラー

InternalErrorが発生します。エラーメッセージ:イメージインポートサービスにはエラーの原因が記録されていま せん。この場合は、弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。技術担当者が顧客の問題をできるだけ早く解 決するお手伝いをします。



エラーコード

エラーコード	エラーの原因	推奨される解決策
InvalidUrl	無効なCOSリンク	COSリンクはインポートされたイメージリンクと同じ であるかどうかを確認します。
InvalidFormatSize	形式またはサイズの 条件は不適合です	イメージは インポートの準備 中の イメージの形 式 と イメージのサイズ の制限を満たす必要があり ます。
VirtioNotInstall	virtioドライバーがイ ンストールされてい ません	イメージにvirtioドライバーをインストールする必要が あります。インポートの準備 中のドライバー`部分をご 参照ください。
PartitionNotPresent	パーティションの情 報を見つかりません	イメージの作成方法が間違っているため、イメージが 破損する可能性があります
CloudInitNotInstalled	cloud-initがインス トールされていませ ん	Linuxイメージにcloud-initをインストールする必要があ ります。インポートの準備 中の ドライバー 部分をご 参照ください。
RootPartitionNotFound	ルードパーティショ ンが検出されていま せん	イメージの作成方法が間違っているため、イメージが 破損する可能性があります
InternalError	他のエラー	カスタマサービスにお問い合わせください

イメージの強制インポート

最終更新日:::2023-06-15 14:57:10

操作シナリオ

ユーザーのLinuxイメージはある原因で cloudinitのインストール できなくなった場合は、強制的にイメージをイン ポートする機能を使用してインポートを完成させます。ユーザーが強制的にイメージをインポートする場合、 Tencent CloudはユーザーのCVMに対して初期化を設定できなくなります。ユーザーはTencent Cloudが提供してい る設定ファイルに基づいてスクリプトを設定してCVMを設定する必要があります。このドキュメントは強制的に イメージをインポートしてCVMを設定する方法について説明します。

制限条件

イメージのインポート 時、Linux イメージをインポートする制限(cloudinit 以外)を満たす必要があります。 インポートしたイメージのOSパーティションが残っています。

インポートしたイメージはリモート利用可能な脆弱性が存在できません。

イメージを強制的にインポートして、インスタンスが成功に作成した後にユーザーがパスワードを変更すること をお勧めします。

操作手順

ユーザーが強制的にイメージをインポートする時に、cloudinitを使用していないため、自動的に設定することがで きません。Tencent Cloudは設定情報を含むcdromデバイスを提供して、ユーザーが自分で設定できます。ユー ザーはcdromをマウントする必要があり、 mount_point/qcloud_action/os.conf 情報を読み取って設定 します。ユーザーはほかの設定データとUserDataを利用するニーズがある場合、 直接 mount_point/ 配下の ファイルを読み取ることができます。

設定ファイルos.confの内容

os.confの基本内容は以下のようなります:





```
hostname=VM_10_20_xxxx
password=GRSgae1fw9frsG.rfrF
eth0_ip_addr=10.104.62.201
eth0_mac_addr=52:54:00:E1:96:EB
eth0_netmask=255.255.192.0
eth0_gateway=10.104.0.1
dns_nameserver="10.138.224.65 10.182.20.26 10.182.24.12"
```

説明:

以上の情報はパラメータ名のみ参考する意味があり、パラメータ値は単なる事例になります。
os.conf に各パラメータの意味は以下の通り:

パラメータ名	パラメータ意味
hostname	ホスト名
password	暗号化したパスワード
eth0_ip_addr	eth0 ENIのLAN IP
eth0_mac_addr	eth0 ENIの MAC アドレス
eth0_netmask	eth0 ENIのサブネットマスク
eth0_gateway	eth0 ENIのゲートウェイ
dns_nameserver	DNS 解析サーバー

設定スクリプトの解析

注意事项

スクリプトはスタートアップする時、自動的に実行されます、OSのタイプに基づいてこの要件を実現してください。

スクリプトは /dev/cdrom をマウントする必要があり、マウントポイントの qcloud_action/os.conf ファイルを読み取って、設定情報を取得します。

Tencent Cloudが cdrom に入力したパスワードは暗号化されたパスワードであり、ユーザーは chpasswd -e 方式を使用して設定します。

暗号化されたパスワードには特別な文字が含まれる可能性があり、まずファイルの中に入力してから、

chpasswd -e < passwd_file 方式で設定することを推薦します。

強制的にイメージをインポートして作成したインスタンスを使用して再びイメージを作成する時に、インスタン スを正確に設定することを保証するために、スクリプトが実行されることを確認する必要があります。インスタン スの中でcloudinitをインストールすることもできます。

事例

Tencent CloudはCentOSに基づいてサンプルスクリプトを提供します。ユーザーはサンプルスクリプトに基づいて、独自のイメージ設定スクリプトを作成できます。作成中、以下の点を注意してください:

イメージをインポートする前にこのスクリプトをOSに正しく設置する必要があります。

このスクリプトは全てのOSに適しいることではなく、ユーザーは自分のOSに応じて修正する必要があります。 1.以下スクリプトを例として、 os_config スクリプトを作成する。

ユーザーは実際状況に応じて os_config スクリプトを修正します。





```
#!/bin/bash
### BEGIN INIT INFO
# Provides: os-config
# Required-Start: $local_fs $network $named $remote_fs
# Required-Stop:
# Should-Stop:
# Default-Start: 2 3 4 5
# Default-Stop: 0 1 6
# Short-Description: config of os-init job
# Description: run the config phase without cloud-init
### END INIT INFO
```

S Tencent Cloud

```
cdrom_path=`blkid -L config-2`
load os config() {
mount_path=$(mktemp -d /mnt/tmp.XXXX)
mount /dev/cdrom $mount_path
if [[ -f $mount_path/qcloud_action/os.conf ]]; then
    . $mount_path/qcloud_action/os.conf
    if [[ -n $password ]]; then
        passwd_file=$(mktemp /mnt/pass.XXXX)
        passwd line=$(grep password $mount path/gcloud action/os.conf)
        echo root:${passwd_line#*=} > $passwd_file
    fi
    return 0
else
    return 1
fi
}
cleanup() {
umount /dev/cdrom
if [[ -f $passwd_file ]]; then
    echo $passwd_file
    rm -f $passwd_file
fi
if [[ -d $mount_path ]]; then
    echo $mount_path
    rm -rf $mount_path
fi
}
config_password() {
if [[ -f $passwd_file ]]; then
    chpasswd -e < $passwd_file
fi
}
config_hostname() {
if [[ -n $hostname ]]; then
    sed -i "/^HOSTNAME=.*/d" /etc/sysconfig/network
    echo "HOSTNAME=$hostname" >> /etc/sysconfig/network
fi
}
config_dns() {
if [[ -n $dns_nameserver ]]; then
    dns_conf=/etc/resolv.conf
    sed -i '/^nameserver.*/d' $dns conf
    for i in $dns_nameserver; do
        echo "nameserver $i" >> $dns_conf
    done
 fi
```

```
config_network() {
/etc/init.d/network stop
 cat << EOF > /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0
DEVICE=eth0
IPADDR=$eth0_ip_addr
NETMASK=$eth0_netmask
HWADDR=$eth0 mac addr
ONBOOT=yes
GATEWAY=$eth0 gateway
BOOTPROTO=static
EOF
 if [[ -n $hostname ]]; then
    sed -i "/^${eth0_ip_addr}.*/d" /etc/hosts
     echo "${eth0_ip_addr} $hostname" >> /etc/hosts
 fi
 /etc/init.d/network start
}
config_gateway() {
sed -i "s/^GATEWAY=.*/GATEWAY=$eth0_gateway" /etc/sysconfig/network
}
start() {
 if load_os_config ; then
    config_password
    config_hostname
    config_dns
    config_network
    cleanup
    exit 0
 else
     echo "mount ${cdrom_path} failed"
     exit 1
 fi
}
RETVAL=0
case "$1" in
 start)
    start
    RETVAL=$?
 ;;
 *)
    echo "Usage: $0 {start}"
    RETVAL=3
 ;;
esac
exit $RETVAL
```

2. /etc/init.d/ ディレクトリに os_config スクリプトを設置して、以下のコマンドを実行します。



chmod +x /etc/init.d/os_config
chkconfig --add os_config

3. 以下のコマンドを実行し、 os_config は起動サービスに追加されたかどうかを確認します。





chkconfig --list

説明:

ユーザーはスクリプトが正しく実行されたことを確認する必要があります。イメージをインポートした後、SSH を利用してインスタンスへの接続ができなかったり、ネットワークに接続できなかった場合、コンソールを利用 してインスタンスに接続し、スクリプトを再実行して、問題をトラブルシューティングしてください。それでも 処理できない場合は、カスターサービスにお問い合わせください。

イメージのエクスポート

最終更新日:::2023-06-25 17:49:49

概要

Tencent Cloudは作成済みのカスタムイメージの COS バケット内へのエクスポートをサポートしています。この 機能によって必要なイメージをエクスポートすることができます。

前提条件

COSコンソール ですでにCOSサービスをアクティブ化していること。

エクスポートするカスタムイメージが存在するリージョンでバケットを作成済みであること。詳細については、 バケットの作成 をご参照ください。

注意事項

Windows イメージなどの商用イメージをエクスポートすることはできません。

カスタムイメージのシステムディスクおよびデータディスク1枚あたりの容量は500GBを超えることはできません。

CVMインスタンス全体のイメージをエクスポートする場合、CVMインスタンスには5つを超えるデータディスク を含めることはできません。

料金

CVMとCOSなどの他のサービスを同時に使用する場合は、実際に使用するサービスの課金ルールに従って料金が 計算されます。

料金詳細は以下の通りです:

シナリオ	料金	説明ド キュメ ント
イメージ をCOSバ ケットに エクス	ストレージ料金。イメージをCOSバケットに保存すると、ストレージ料金が発生します。COSはオブジェクトサイズを計算し、ターゲットオブジェクトのストレージ タイプとリージョンに基づいて料金が請求されます。	スト レージ 料金

ポートする	リクエスト料金。イメージをCOSバケットにエクスポートすると、書き込みリクエ ストの料金が発生します。COSは書き込みリクエストの回数を計算し、それに応じ て料金が請求されます。	リクエ スト料 金
	トラフィック料金。イメージをCOSバケットにエクスポートすると、アップスト リームトラフィックが発生します。COSはトラフィック量を計算します。プライ ベートネットワークのアップストリームトラフィックとパブリックネットワークの アップストリームトラフィックは無料です。	トラ フィッ ク料金
COSバ ケットか らイメウ ンロード する	リクエスト料金。COSバケットからイメージをダウンロードすると、書き込みリク エストの料金が発生します。COSは書き込みリクエストの回数を計算し、それに応 じて料金が請求されます。	リクエ スト料 金
	トラフィック料金。COSバケットからイメージをダウンロードすると、ダウンスト リームトラフィックが発生します。COSはトラフィック量を計算します。プライ ベートネットワークのダウンストリームトラフィックは無料ですが、パブリック ネットワークのダウンストリームトラフィックは有料です。	流量费 用

操作手順

1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで イメージ をクリックします。

2. 「イメージ」ページの上方で、エクスポートするカスタムイメージが存在するリージョンを選択し、カスタム イメージタブをクリックします。

3. 下図に示すように、エクスポートするイメージを見つけて、画面右のメニューから **さらに > イメージのエクス** ポート をクリックします。

4. 「イメージのエクスポート」画面が表示され、この画面で次の設定を行います。下図のように:

Export image		>
 Steps to export an 	image	
1. You need to act	ivate COS object storage service; <u>Cloud Object Storage</u> 🛂	
2. Create a COS B located; <u>Bucket</u>	ucket in advance in the region where the image is	
3. Please make su <u>Management</u> [2	re that you've allowed CVM to access COS; <u>Access</u>	
mage Name	1234	
Region	Chongqing	
System platform	TencentOS	
Architecture	x86_64	
Operating System	TencentOS Server 2.4	
COS Bucket	Select Bucket 👻 🛈	
	Please select a COS Bucket	
Prefix of the files to export	1234	
	Please enter the prefix of files to be exported	
	Agree to authorize CVM to access my COS Bucket	
	Confirm Cancel	

COS Bucket:エクスポートするイメージが存在するバケットを選択します。バケットがエクスポートするイメージと同じリージョンにあることを確認してください。

エクスポートファイルのプレフィックス名:エクスポートファイルのプレフィックス名をカスタマイズします。 「CVMに私のCOS Bucketへのアクセス権限を付与することに同意します」にチェックを入れます。

5. OKをクリックすると、イメージのエクスポートを開始します。

6. ポップアップウィンドウで**OK**をクリックします。

エクスポートにかかる時間は、イメージファイルのサイズとエクスポートタスクキューの長さによって異なりま すので、しばらくお待ちください。エクスポートタスクが完了すると、イメージファイルはターゲットバケット 内に保存されます。 バケットリスト ページに進み、ターゲットバケットIDをクリックしてバケットの詳細ページ に移動できます。バケットの詳細ページで、 カスタムプレフィックス名_xvda.raw という名前のファイルがエ クスポートされたイメージファイルになります。

よくある質問

1. COSのパブリックネットワークのダウンストリームトラフィックはどのようにして発生され、請求されますか。

パブリックネットワークのダウンストリームトラフィックとは、インターネットを通じてデータをCOSからクラ イアントに転送する際に発生するトラフィックを指します。 ユーザーがオブジェクトリンクからオブジェクトを 直接ダウンロードした場合、または**静的Webサイトのエンドポイント**を介してオブジェクトを閲覧した場合に発 生するトラフィックがパブリックネットワークダウンストリームトラフィックに該当し、それに対応する料金が パブリックネットワークダウンストリームトラフィック料金です。請求の詳細については、 課金項目 および 製品 価格 のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

2. COSコンソール、ツール、API、SDKなどの方式でファイルをダウンロードした場合、パブリックネットワー クのダウンストリームトラフィック料金は発生しますか。

COS へのアクセスによって生成されるトラフィック(プライベートネットワークトラフィックまたはパブリック ネットワークトラフィック)はご利用の方式に関係なく、同一リージョンのクラウド製品からCOSにアクセスす る場合にのみ、デフォルトでプライベートネットワークを使用するため、パブリックネットワークのダウンスト リームトラフィック料金が発生しません。プライベートネットワークアクセスを識別する方法の詳細について は、プライベートネットワークとパブリックネットワークアクセス のページに掲載しておりますので、ご覧くだ さい。

3. COSはパブリックネットワークトラフィックをどのように区別していますか。

パブリックネットワークのダウンストリームトラフィックとは、インターネットを通じてデータをCOSからクラ イアントに転送する際に発生するトラフィックを指します。例えば、COSに保存されているファイルをCOSコン ソール経由でダウンロードする場合、ツールによってオブジェクトへのアクセスやダウンロードを行う場合、ま たはブラウザを使用してオブジェクトのプレビューを行う場合、オブジェクトアドレスまたはカスタムドメイン 名を使用してオブジェクトにアクセスおよびダウンロードを行う場合などは、いずれもパブリックネットワーク のダウンストリームトラフィックが発生します。詳細については、プライベートネットワークとパブリックネット ワークアクセスの判断のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

4. プライベートネットワーク経由でCOSにアクセスすると料金が発生しますか。

プライベートネットワーク経由でCOSにアクセスする場合、トラフィック料金は発生しませんが、ストレージ容 量とリクエスト回数については関連の料金が発生します。詳細については、課金項目のページに掲載しておりま すので、ご覧ください。

CentOS Linux関連操作 CentOSの移行 TencentOS Serverガイド

最終更新日:::2023-04-25 17:59:34

ユースケース

CentOSは、CentOS Linuxプロジェクトのメンテナンスを正式に停止する予定があります。CentOS 8とCentOS 7 のメンテナンスを次の表に示します。詳細については、CentOS公式発表 をご参照ください。

OSバー ジョン	メンテナン ス停止時間	使用者への影響
CentOS 8	2022年01 月01日	メンテナンスを停止すると、問題の修正や機能の更新を含むソフトウェアのメン テナンスやサポートを受けることができなくなります。
CentOS 7	2024年06 月30日	

それを考慮して、新しいCVMインスタンスを購入する場合は、TencentOS Serverイメージを使用することをお勧めします。CentOSインスタンスを使用している場合は、このドキュメントを参照してTencentOS Serverに入れ替えてください。

バージョン説明

移行元サーバーでサポートされるオペレーティングシステムのバージョン:

次のCentOS 7シリーズをサポートします。

CentOS 7.2 64ビット、CentOS 7.3 64ビット、CentOS 7.4 64ビット、CentOS 7.5 64ビット、CentOS 7.6 64ビッ

ト、CentOS 7.7 64ビット、CentOS 7.8 64ビット、CentOS 7.9 64ビット

次のCentOS 8シリーズをサポートします:

CentOS 8.0 64ビット、CentOS 8.2 64ビット、CentOS 8.4 64ビット

移行元サーバーの推奨OS:

CentOS 7シリーズはTencentOS Server 2.4(TK4)へ移行することをお勧めします。

CentOS 8シリーズはTencentOS Server 3.1(TK4)へ移行することをお勧めします。

ご注意:

CentOS 7.2およびCentOS 7.3のパブリックイメージにはデフォルトで32ビットパッケージが含まれている場合が あるため、アップグレードを実行する前に手動で削除する必要があります。

注意事項

移行は次の場合にはサポートされません: グラフィカルインターフェイスがインストールされた場合。

i686のrpmパッケージがインストールされた場合。

次のような場合は移行後のビジネスが正常に機能しなくなる場合があります:

ビジネスプログラムにはサードパーティ製のrpmパッケージにインストールされ、それに依存している場合。

ビジネスプログラムが特定のバージョンのカーネルに依存しているか、独自にカーネルモジュールをコンパイル している場合。

移行後のターゲットバージョンは5.4カーネルベースのtkernel4です。このバージョンは、CentOS 7およびCentOS 8のカーネルバージョンよりも更新されており、新しいバージョンでは古い機能が変更される場合があります。 ビジネスプログラムは特定のgccバージョンに依存している場合。

現在、TencentOS Server 2.4にはgcc 4.8.5がデフォルトでインストールされ、TencentOS Server 3.1にはgcc 8.5がデフォルトでインストールされています。

移行が終了したら、TencentOS Serverカーネルに入るには再起動する必要があります。

移行はディスクに影響がなくOSレベルのアップグレードだけで、他の操作が実行されません。

リソース要件

利用可能なメモリが500MB以上。 システムディスクの空き容量が10GB以上。

操作手順

移行準備

1. 移行操作は可逆的ではありません。ビジネスデータの安全性を確保するために、移行を実行する前にスナップ

ショットの作成を使用してシステムディスクのデータをバックアップすることをお勧めします。

2. i686のrpmパッケージをチェックし、手動でアンインストールします。

移行の実行

CentOS 7シリーズはTencentOS Server 2.4 (TK4) へ移行します

CentOS 8シリーズはTencentOS 3.1 (TK4) へ移行します。

1.移行先CVMにログインします。詳細については、標準ログイン方式を使用してLinuxインスタンスにログイン を ご参照ください。

2. 次のコマンドを実行して、Python 3をインストールします。





yum install -y python3

3. 移行ツールの取得には以下のコマンドを実行します。





wget http://mirrors.tencent.com/tencentos/2.4/tlinux/x86_64/RPMS/migrate2tencentos-

4.移行ツールのインストールには以下のコマンドを実行します。このコマンドは、/usr/sbinの下で migrate2tencentos.pyを作成します。





rpm -ivh migrate2tencentos-1.0-4.tl2.noarch.rpm

5. 移行の開始には以下のコマンドを実行します。





python3 /usr/sbin/migrate2tencentos.py -v 2.4

移行には時間がかかります。しばらくお待ちください。スクリプトの実行が完了し、次の図に示すような情報が出 力されると、移行が完了したことを意味します。



6. インスタンスを再起動します。詳細については、 インスタンスの再起動 をご参照ください。

7.移行結果のチェック。

7.1 os-releaseのチェックには以下のコマンドを実行します。



cat /etc/os-release

下図に示す情報を返します:

[root@VM-2-43-centos ~]# cat /etc/os-release NAME="TencentOS Server" VERSION="2.4" ID="tencentos" ID_LIKE="rhel fedora centos tlinux" VERSION_ID="2.4" PRETTY_NAME="TencentOS Server 2.4" ANSI_COLOR="0;31" CPE_NAME="cpe:/o:tencentos:tencentos:2" HOME_URL="https://cloud.tencent.com/product/ts"

7.2 カーネルのチェックには以下のコマンドを実行します。





uname -r

下図に示す情報を返します:

```
[root@VM-2-43-centos ~]# uname -r
5.4.119-19-0009.1
[root@VM-2-43-centos ~]#
```

説明:

カーネルはデフォルトでyumの最新バージョンです。実際に返された結果を基準にしてください。このドキュメン トでは、図のバージョンを例として説明します。

8. yumのチェックには以下のコマンドを実行します。



yum makecache

下図に示す情報を返します:



1.移行先CVMにログインします。詳細については、標準ログイン方式を使用してLinuxインスタンスにログイン を ご参照ください。

2. 次のコマンドを実行して、Python 3をインストールします。





yum install -y python3

3. 移行ツールの取得には以下のコマンドを実行します。





wget http://mirrors.tencent.com/tlinux/3.1/Updates/x86_64/RPMS/migrate2tencentos-1.

4. 移行ツールのインストールには以下のコマンドを実行します。このコマンドは、/usr/sbinの下で migrate2tencentos.pyを作成します。





rpm -ivh migrate2tencentos-1.0-4.tl3.noarch.rpm

5. 移行の開始には以下のコマンドを実行します。





python3 /usr/sbin/migrate2tencentos.py -v 3.1

移行には時間がかかります。しばらくお待ちください。スクリプトの実行が完了し、次の図に示すような情報が出 力されると、移行が完了したことを意味します。



6. インスタンスを再起動します。詳細については、 インスタンスの再起動 をご参照ください。

7.移行結果のチェック。

7.1 os-releaseのチェックには以下のコマンドを実行します。



cat /etc/os-release

下図に示す情報を返します:

[root@VM-2-2-centos ~]# cat /etc/os-release NAME="TencentOS Server" VERSION="3.1 (Final)" ID="tencentos" ID_LIKE="rhel fedora centos" VERSION_ID="3.1" PLATFORM_ID="platform:el8" PRETTY_NAME="TencentOS Server 3.1 (Final)" ANSI_COLOR="0;31" CPE_NAME="cpe:/o:tencentos:tencentos:3" HOME_URL="https://cloud.tencent.com/product/ts"

7.2 カーネルのチェックには以下のコマンドを実行します。





uname -r

下図に示す情報を返します:

説明:

カーネルはデフォルトでyumの最新バージョンです。実際に返された結果を基準にしてください。このドキュメントでは、図のバージョンを例として説明します。

8. yumのチェックには以下のコマンドを実行します。



yum makecache

下図に示す情報を返します:

サービス移行 オンライン移行 オンライン移行の概要

最終更新日:::2023-07-27 10:58:56

オンライン移行とは、稼働中のシステムを停止することなく、サーバーまたは仮想マシン上のシステム、サービ スプログラムなどを、自社のデータセンター(IDC)または他のクラウド プラットフォームなどの移行元環境から Tencent Cloudに同期または移行することです。

Tencent Cloudは「go2tencentcloud」移行ツールを提供します。移行ツールを移行元サーバーで実行すると、移行 元サーバーで実行されているすべてのシステムとサービスアプリケーションをTencent Cloudの移行先 CVMに移行 することができます。この移行ツールを使用すると、イメージの制作、アップロード、インポートなどの煩雑な準 備作業を行う必要がなくなり、ソースデータをクラウドに直接移行できます。業務のクラウド化、異なるクラウド プラットフォーム間での移行、クロスアカウントまたはクロスリージョン移行、およびハイブリッドクラウド展 開に関する企業のビジネス要件を満たすことができます。

説明:

ソースサーバーの形式は、物理サーバー、仮想マシン、または別のクラウドプラットフォーム上のクラウドサー バーにすることができます。その他のクラウドプラットフォームには、AWS、Google Cloud Platform、VMware、 Alibaba Cloud、Huawei Cloudなどの仮想マシンプラットフォームが含まれますが、これらに限りません。

ユースケース

オンライン移行は、次のシナリオに適用できます(これに限定されません)。 ITアーキテクチャのクラウド化 ハイブリッドクラウドアーキテクチャの展開 クラウド間移行 アカウント間またはリージョン間での移行

オフライン移行との違い

オフライン移行では、移行元サーバーでシステムディスクまたはデータディスクのイメージを作成してから、イ メージを Cloud Virtual Machine (CVM) または Cloud Block Storage (CBS) に移行する必要があります。オンライン 移行はイメージを作成する必要がなく、移行元サーバーで移行ツールを直接実行して、移行元サーバーで実行さ れているすべてのシステムとサービスアプリケーションをTencent Cloudの移行先 CVMに移行することができま す。



移行の開始

オンライン移行方法は大きく2種類あります。必要に応じて適切な移行方法を選択してください。

移行方法	概要	ユースケース	特徴
オンライン移 行:クライアン トからの移行元 のインポート	ソースインスタンスにログインし、ツール を使用して移行元をインポートし、コン ソールで移行タスクを作成して移行を完了 します。	パブリックネットワークお よびプライベートネット ワーク経由での移行 他のクラウドプラット フォームからTencent Cloud への移行 顧客のデータセンターから Tencent Cloudへの移行	高い 互換 性
オンライン移 行:コンソール でのワンクリッ ク移行	コンソールにログインして本人確認完了 後、移行元をワンクリックでインポート し、移行タスクを作成します。	移行元サーバーにログイン する必要はありません パブリックネットワーク経 由での移行 クラウド間移行:ソースイ ンスタンスがAlibaba Cloud にあるシナリオに適用され ます。	ワ ク リ ッ で 括 行

よくあるご質問

詳細については、 サービスの移行 をご参照ください。

移行ガイド オンライン移行ガイド

最終更新日:::2023-07-27 10:58:56

オンライン移行は、稼働中のシステムを停止することなく、サーバーまたは仮想マシン上のシステム、サービス プログラムなどを、自社のデータセンター(IDC)または他のクラウドプラットフォームなどの移行元環境から Tencent Cloudに移行または同期することをサポートします。

オンライン移行方法は大きく2種類あります。必要に応じて適切な移行方法を選択してください。

移行方法	概要	ユースケース	特徴
オンライン移 行:クライアン トからの移行元 のインポート	ソースインスタンスにログインし、ツール を使用して移行ソースをインポートし、コ ンソールで移行タスクを作成して移行を完 了します。	パブリックネットワーク およびプライベートネッ トワーク経での移行 他のクラウドプラット フォームからTencent Cloudへの移行 顧客のデータセンター か らTencent Cloudへの移 行	高い互換性
オンライン移 行:コンソール でのワンクリッ ク移行	コンソールにログインして本人確認完了 後、移行元をワンクリックでインポート し、移行タスクを作成します。	パブリックネットワーク 経由での移行 クラウド間移行:ソースイ ンスタンスが Alibaba Cloud にあるシナリオに 適しています	ワンクリッ クで一括移 行コンソー ルでの操作

オンライン移行:クライアントからの移行元 のインポート

最終更新日:::2023-12-05 10:55:42

このドキュメントでは、クライアントから移行元をインポートして、移行元サーバーを Tencent Cloud CVM に移 行する方法について説明します。

移行ワークフロー

クライアントから移行元をインポートする手順は以下のとおりです。

Prepare for migration Register the migration source Create a migration Get the access key in the Tencent Cloud • Console for accessing the destination • Log in to the source server • Configure migration destination • CVM • Download and run the migration tool • Configure migration • Back up data • Download and run the migration tool	1	2	3
Back up data Download and run the migration tool Check before migration	Prepare for migrat Get the access key in the •console for accessing the	tion Register the migr Tencent Cloud destination • Log in to the source	ation source Create a migration server • Configure migration destinat information
 Check before migration 	•Back up data	•Download and run the	migration tool
	 Check before migration 		

移行手順

手順1:移行の準備

APIキー管理ページに移動してキーを作成し、 SecretId と SecretKey を取得します。

-移行時に既存のアプリケーションに影響しないように、移行元サーバー上のアプリケーションを一時停止して データをバックアップすることをお勧めします。

移行元サーバー:スナップショット機能またはその他の方法を使用して、移行元サーバー上のデータをバック アップできます。移行元サーバーは、移行されるサーバーです。

移行先CVM: スナップショットの作成 などの方式を選択して、移行先CVMのデータをバックアップできます。 サブアカウントを使用してコンソールで移行を実行する場合、ルートアカウントで CAMコンソール にログイン し、サブアカウントにQcloudCSMFullAccessとQcloudCVMFullAccess権限を付与する必要があります。 移行前、実際の状況に基づいて次の構成を確認する必要があります。ご確認いただきたい内容は以下のとおりで す: CVM インスタンスへの移行:移行元サーバーと移行先CVMを確認する必要があります。

CVM イメージへの移行:移行元サーバーのみを確認します。

Linux 移 行元サー バー	 Virtio を確認してインストールします。詳細については、LinuxでのVirtioドライバーの確認を ご参照ください。 which rsyncコマンドを実行して、rsync がインストールされているかどうかを確認します。 インストールされていない場合は、rsync をインストールする方法の指示に従ってインストール してください。 SELinux が有効化されているかどうかを確認します。SELinuxが有効になっている場合は、 SELinuxを無効化する方法を参照して無効化してください。 Tencent Cloud API に移行リクエストを送信した後、API は現在の UNIX 時間を使用して、生成されたトークンを確認します。サーバーのシステム時刻が正しいことを確認してください。
Windows 移行元 サーバー	 Virtio を確認してインストールします。詳細については、WindowsでのVirtioドライバーの確認 をご参照ください。 (オプション)Cloudbase-Init を確認してインストールします。詳細については、Windows への Cloudbase-Init のインストール をご参照ください。移行前に移行元サーバーにインストールする か、移行後にターゲットインスタンスにインストールするかを選択できます。移行前にインス トールされている場合は、移行後にネットワークの自動構成やアクティベーションなどの初期 化作業が行われます。 移行前にインストールされていない場合は、VNC 経由でインスタンスにログインし、ネット ワーク構成を手動で変更する必要があります。
移行先 CVM	 ストレージ容量:移行先CVMのクラウドディスク(システムディスクとデータディスクを含む)には、移行元サーバーから移行されたデータを保存するための十分な容量が必要です。 セキュリティグループ:セキュリティグループでポート80、443、および3389を開放します。 帯域幅:移行をより円滑に進めるためには、移行元と移行先の両方の環境の帯域幅を最大化することをお勧めします。移行プロセス中に消費されるトラフィックは、移行されたデータの量とほぼ同じになります。必要に応じて、移行前にネットワーク課金モデルを調整します。 ネットワーク設定:移行元または移行先サーバーが IPv6 のみをサポートし、IPv4 をサポートしていない場合は、client.jsonファイルのパラメータ説明 をご参照ください。

説明:

sudo ./go2tencentcloud_x64 --check などのツールコマンドを使用して、移行元サーバーを自動的に チェックできます。

デフォルトでは、go2tencentcloudツールは起動時に自動的にチェックを実行します。このチェックをスキップし て強制移行する場合は、client.json ファイルの Client.Extra.IgnoreCheck フィールドの値を true に設定 してください。

手順2:移行元のインポート

移行ツールによる移行元のインポート

Linuxサーバー

Windowsサーバー

1.移行元サーバーで次のコマンドを実行して、移行ツール go2tencentcloud.zip をダウンロード してディ レクトリに進みます。



wget https://go2tencentcloud-1251783334.cos.ap-guangzhou.myqcloud.com/latest/go2ten




unzip go2tencentcloud.zip





cd go2tencentcloud/go2tencentcloud-linux

説明:

go2tencentcloud ディレクトリ下のファイルは移行されません。移行するファイルをこのディレクトリに置かないでください。

2. (オプション)移行元サーバー上で移行不要のファイルまたはディレクトリを除外します

Linux移行元サーバー上で移行不要のファイルおよびディレクトリがある場合、ファイルおよびディレクトリを rsync_excludes_linux.txtファイル に追加できます。

3.移行元をインポートします。

3.1 例えば、64ビットのLinux移行元サーバーで、root ユーザーとして次のコマンドを順番に実行してツールを実行します。



chmod +x go2tencentcloud_x64





sudo ./go2tencentcloud_x64

3.2 準備事項 で取得したアカウントのAPIアクセスキーの SecretId および SecretKey を入力し、Enterを押 します。下図に示すとおり:

<pre>[root@VM-0-28-centos go2tencentcloud]# ./go2tencentcloud_x64</pre>
[2021-11-29 10:47:25] Start go2tencentcloud 2.2.3
[2021–11–29 10:47:25] Start loading data
Please Enter SecretId:
Please Enter SecretKey: ************************************

次のメッセージが表示されたら、移行元サーバーは正常にインポートされています。CVM コンソールに移動して サーバーを表示できます。

[2021–11–29	10:47:54]	Load user.json successfully.
[2021–11–29	10:47:54]	Load client.json successfully.
[2021–11–29	10:47:54]	Calculating the size of file system, please wa
[2021–11–29	10:47:55]	Check environment
[2021–11–29	10:47:59]	Check environment successfully.
[2021–11–29	10:47:59]	Start import source server
[2021-11-29	10:47:59]	Import source server [server-03tw3wlr] success

1. 移行ツールgo2tencentcloud.zipを移行元サーバーに ダウンロード またはアップロードします。この圧縮ファイルを解凍してgo2tencentcloudフォルダーを入手し、その中の「go2tencentcloud-windows」を開くと以下のディレクトリが表示されます。

lage	2022/7/6 14:20
iogs	2022/11/2 14:35
lientiese	2022/11/2 14:45
	2022/11/2 14:43
goztencentcioud_xo4.exe	2022/11/2 14:43
user.json	2022/11/2 14:43

2. 以下の方法で「go2tencentcloud_x64.exe」アプリケーションを実行します。

方法1:「go2tencentcloud_x64.exe」を右クリックし、管理者権限で「go2tencentcloud_x64.exe」を実行し、ポップアップした画面でSecretId、SecretKeyを入力します。

方法2:管理者権限でcmdまたはpowershelコマンドライン: cd /d "go2tencentcloud_x64.exeが所在するディレクトリの絶対パス"を起動し、go2tencentcloud_x64.exeを実行します。

3. ポップアップした画面で Tencent Cloud API キー (SecretIdと SecretKey) を入力します。



go2tencentcloud	
Please input your SecretKey	
6C4h	

4. 以下のメッセージが表示された場合は、移行元がすでにコンソールにインポートされています。コンソールで移 行元を確認できます。

[2022-11-02 14:47:20] Start go2tencentcloud 2.2.3	
If the input window does not pop up, there may be a problem with your operating system.	
Try manually modifying the SecretId and SecretKey fields in user.json[2022-11-02 14:47:34] Load user.json successful	11y.
[2022-11-02 14:47:34] Load client json successfully.	
[2022-11-02 14:47:34] Calculating the size of file system, please wait	
[2022-11-02 14:47:34] Check environment successfully.	
[2022-11-02 14:47:35] Start import source server	
[2022-11-02 14:47:35] Import source server [server-100-wip4] successfully.	
[2022-11-02 14:47:35] Start check migrate job status	
Waiting for a migrate job to be created in the console, Used: 00:00:03	

説明:

「Import source server successfully」が表示されない場合は、移行元のインポートが失敗したことを意味します。 ログ(デフォルトでは移行ツールディレクトリ下にあるlogs/logファイル)を確認して問題を解決した後、移行 ツールを再実行して移行元をインポートすることができます。

コンソールでの移行元サーバーの確認

オンライン移行コンソール にログインし、インポートされた移行元を確認します。サーバーのステータスは**オン ライン**となっています。下図に示すとおり:



Online Migration					
Migration source	ligration task				
 Before importing, plea 	se check whether the agent is ins	talled correctly. See Operation Guide			
Import Delete					Separat
V ID/Name	Status	Operating system	IP address	Imported time	Operati
VM-:	Online	centos		2022-03-02 03:24:09	Create r
Total items: 1					

ご注意:

移行元を正常にインポートした後、移行タスクの実行が完了するまで、インスタンス内の移行ツールを停止しな いでください。停止すると、移行元がオフラインになり、移行タスクを完了できません。

手順3:移行タスクの作成

1. 移行タスクの作成

オンライン移行コンソール にログインし、対象の移行元がある行の右側の**移行タスクの作成**をクリックします。 移行タスクの作成画面が表示されます。この画面で以下の情報を参照して設定します。下図に示すとおり:

Selected: 1 Migration sour	ce Collapse	
ID/name	Status	Operating system
	Online	windows
 Basics 		
larget region		•
Task name		
Task description		
Target type	O CVM image	CVM instance
mage name	Please enter the imag	ge name
Network mode	O Public network	Private network
Configure incremental sync	When it is enabled, sync duration.	you can configure the incremental
Scheduled start time	If it's not selected,	only the task is created.

移行タスクの詳細設定内容は、以下のとおりです。

基本オプション:

アイテム	入力必須	説明
移行先リージョン	はい	移行元サーバーの移行先となる Tencent Cloudリージョン。リー

		ジョンの詳細については、リー ジョンとアベイラビリティーゾー ン ドキュメントをご参照くださ い。
タスク名	はい	移行タスクの名前。
タスクの説明	いいえ	移行タスクの説明。
ターゲットタイプ	はい	Tencent Cloud に移行する移行元 サーバーのターゲットタイプを設 定します。 CVMイメージ:移行完了後、移 行元サーバーのCVMイメージが 生成されます。 イメージ名:移行元に対して生成 されるターゲットCVM イメージ の名前。名前がすでに存在する場 合は、移行タスク ID が名前に追 加されます。 CVMインスタンス:移行先リー ジョン内のCVMインスタンスを 移行先として選択します。 移行先インスタンス:移行先イン スタンスと移行元サーバーには同 じOSを使用することをお勧めし ます。例えば、CentOS 7 移行先 として CentOS 7 CVM を選択し ます。
ネットワークモード	はい	データを転送するために使用され るネットワークタイプを設定しま す。 パブリックネットワーク経由の データ転送:移行先CVMまたは リレーインスタンスにデータを移 行および転送する場合は、パブ リックネットワークを使用しま す。 プライベートネットワーク経由の データ転送:移行先CVMまたは リレーインスタンスにデータを移 行および転送する場合は、プライ ベートネットワークを使用しま す。詳細については、プライベー

		 トネットワーク経由の移行をご参照ください。 Virtual Private Cloud (VPC): CVMイメージに移行する場合、 リレーインスタンスはVPC内に 作成されます。 サブネット:CVMイメージに移 行する場合、リレーインスタンス はサブネット内に作成されます。
移行方法	はい	Linux インスタンスの場合: Linuxファイルレベルの移行:移 行の粒度はファイルレベルであ り、互換性は高く、転送効率は比 較的低くなります。 Linuxブロックレベルの移行:移 行の粒度はディスクのロジックス トレージユニットの「ブロック」 レベルであり、転送効率は高く、 互換性は比較的低くなります。
		Windowsブロックレベルの移 行:移行の粒度はディスクのロ ジックストレージユニットの「ブ ロック」レベルであり、 Windows移行では、互換性が高 く、転送効率が高いブロックレベ ルの移行がデフォルトで採用され ています。
増分同期の構成	いいえ	増分同期時間をカスタマイズし、 データを継続的に同期し、移行の 配信時間を柔軟に制御します。 無効化:移行ツールによって増分 移行を自動的に認識して実行し、 通常は1回実行されます。 有効化:増分同期の実行時間を自 由に選択でき、ツールは増分デー タをTencent Cloudに継続的に同 期します。タスクリストで増分同 期を手動で停止することもできま す。
予約実行時間	いいえ	移行タスクを作成後、設定した時 間に自動的に移行タスクを開始し



	ます。予約実行時間は最短で現在
	時刻の10分後に設定できます。

高度な設定(オプション):

アイテム	入力必須	説明
転送速度 制限 (KB/s)	いいえ	移行中、データ転送の帯域幅の上限(0 ~ 25600 KB/s)。デフォルトでは 0 に設定されて います。現在、Windows移行はこのオプションをサポートしていません。
Checksum 検証	いいえ	有効にすると、データの整合性チェックが強化されますが、転送速度は遅くなる場合が あります。現在、Windows移行はこのオプションをサポートしていません。

2. 移行タスクの起動

説明:

スケジュールされたタスクは、この手順をスキップすることができます。移行タスクは、スケジュールされた時刻 に移行を自動的に実行します。

移行タスクを作成した後、**移行タスク**タブをクリックして移行タスクを確認することができます。下図に示すとおり:

Online Migration					
Migration source	Migration task				
(i) If the migration ta	ask fails, please check the migration logs. Se	ee Operation Guide 🔀			
Start/restart	Delete				Separat
Task ID/name	Task status	Source ID/Name	Target region	Destination	Ope
migrate-1c7k0gh1 test-task	Pending start up	server-r8lbz6wd VM-32-69-centos	Guangzhou		Crea
Total items: 1					

タスクの右側にある開始/リトライをクリックしてタスクを開始し、表示された画面から**OK**をクリックすると、移 行タスクを開始できます。このとき、タスクのステータスは「移行中」に変わります。下図に示すとおり:



Online Migration					
Migration source	Migration task				
i If the migration t	task fails, please check the migration logs.	See Operation Guide			
Start/restart	Delete				Separa
Task ID/name	Task status	Source ID/Name	Target region	Destination	Op
migrate-1c7k0gh1 test-task	Migrating	server-r8lbz6wd VM-32-69-centos	Guangzhou		Cre
Total items: 1					

ご注意:

移行先がCVM インスタンスの場合、移行開始後に移行先CVMは移行モードに入ります。移行を完了して移行モードが終了するまで、移行先CVMに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリ セットなどの操作を行わないでください。

移行先がCVMイメージの場合、移行開始後にアカウント下に do_not_delete_csm_instance という名前の リレーインスタンスが作成されます。移行が完了して、今回作成されたリレーインスタンスが自動的に破棄される まで、リレーインスタンスに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットな どの操作を行わないでください。

手順4:移行後のチェック

1. コンソールで移行の進行状況の確認

移行タスクのステータスが成功になると、移行処理が正常に完了したことを示します。下図に示すとおり:

Online Migration					
Migration source Mig	gration task				
(i) If the migration task fai	ls, please check the migration logs.	See Operation Guide			
Start/restart Delete					Separa
Task ID/name	Task status	Source ID/Name	Target region	Destination	Op
migrate-1c7k0gh1 test-task	Successful	server-r8lbz6wd VM-32-69-centos	Guangzhou		Cre
Total items: 1					

説明:

データ転送に必要な時間は、移行元データのサイズ、ネットワーク帯域幅などの要因に左右されます。移行が完了 するまでお待ちください。

移行タスクの開始後、移行タスクのある行で**一時停止**をクリックすると、移行タスクを停止できます。

移行ツールはデータ転送の中断からの再開をサポートしています。タスクの一時停止後、**開始/リトライ**をクリッ クすると、前回一時停止したポイントから移行を継続できます。

移行タスクはデータ転送段階での一時停止のみサポートしています。コンソールでの移行タスク中に**一時停止**をク リックすると、移行ツールはデータ転送段階でデータの転送を一時停止します。

移行中に消費時間が長くなりすぎ、今回の移行を中止したい場合は、まず移行タスクを一時停止してから**削除**をク リックすると、今回の移行タスクをキャンセルすることができます。

2. 移行後のチェック

移行に失敗した場合:

-ログファイル(デフォルトでは移行ディレクトリ下のログファイル)に出力されている内容を確認し、操作ガイ ドまたは サーバー移行に関するよくあるご質問 ドキュメントを参照し、問題のトラブルシューティングを行って ください。問題を解決した後、移行タスクの操作列で**開始/リトライ**をクリックすると、移行タスクを再開できま す。

移行に成功した場合:

移行先がCVMの場合は、移行先CVMが正常に起動できるか、移行先CVMのデータが移行元サーバーと一致しているか、ネットワークが正常か、他のシステムサービスが正常かなどを確認してください。

移行先がCVMイメージの場合は、移行タスクのある行のCVMイメージIDをクリックし、CVMイメージページ に 進むとこのイメージの情報を確認でき、このイメージを使用してCVMインスタンスを作成することができます。 ご質問がある場合や移行エラーが発生した場合は、サービス移行に関するFAQ を参照するか、お問い合わせ くだ さい。

オンライン移行:コンソールでのワンクリッ ク移行

最終更新日:::2023-07-27 11:21:18

このドキュメントでは、コンソールの「ワンクリック移行」方法を通じて移行元サーバーを Tencent Cloud CVM に移行する方法について説明します。

概要

ワンクリック移行は オンライン移行 を簡潔化したソリューションであり、移行元サーバーへのログインやツール のダウンロードなどの複雑な操作が不要になり、ワンクリックで移行タスクを一括作成し、移行元サーバー上の OSやアプリケーションなどのデータをTencent Cloudに一括移行することができます。

ワンクリック移行は、Linux と Windows の両方のOSをサポートします。また、Tencent Cloud CVMコンソールの オンライン移行ページで移行の進行状況を確認することもできます。

制限事項

「ワンクリック移行」方法を使用するには、移行元サーバーでクラウドアシスタント (Alibaba Cloud ECS Cloud Assistant など) をインストールし、パブリック IP を構成し、VPC (クラシックネットワークをサポートしない) を 使用する必要があります。

現在、ワンクリック移行では Alibaba Cloud サーバーの Tencent Cloud への移行のみをサポートしており、他のプ ラットフォームはサポートしません。

コンソールのワンクリック移行機能は継続的に最適化されているため、現在は特定のシナリオでのみサポートされ ています。ご要望を満たせない場合、 オンライン移行: クライアントから移行元のインポート 方法を使用するこ とをお勧めします。この移行方法はより強力な互換性を持っています。

移行ワークフロー

コンソールのワンクリック移行によるオンライン移行の流れを次の図に示します。



移行手順

手順1:移行の準備

Tencent Cloudコンソールからアクセスキーを取得します

CAMコンソールの APIキー管理 ページでAPI キーを作成し、**SecretId と SecretKey **を取得します。詳細については、アクセスキー をご参照ください。

説明:

サブアカウントを使用してコンソールで移行を実行する場合、ルートアカウントで CAMコンソール にログイン

し、サブアカウントにQcloudCSMFullAccessとQcloudCVMFullAccess権限を付与する必要があります。

移行元クラウドプラットフォームでアクセスキーを取得します

Alibaba CloudのAccessKeyIDとAccessKeySecretを取得する手順は以下の通りです:

1.1 Alibaba Cloud RAMコンソールにログインして、Identities > Users ページに入ります。

1.2 Create Userをクリックし、アクセス方法からOpenAPI Access(他のアクセス方法を選択しても有効になら

ない)を選択して、作成を確認した後、AccessKeyID とAccessKeySecretの情報を保存します。詳細な操作手順については、RAM ユーザーの準備 をご参照ください。

1.3 ユーザリストから作成したユーザに**権限を追加**します。ECS 読み取り専用権限 (AliyunECSReadOnlyAccess) と ECS クラウドアシスタント管理権限 (AliyunECSAssistantFullAccess) を追加します。詳細な操作手順について は、Grant permissions to a RAM user をご参照ください。

移行元サーバーのアプリケーションの一時停止(オプション)

移行中に既存のアプリケーションへの影響を回避するために、移行元サーバー上のすべてのアプリケーションを 停止することをお勧めします。

移行元サーバーと移行先CVM上のデータのバックアップ(オプション)

移行前に次の方法でデータをバックアップすることをお勧めします。

移行元サーバー:スナップショット機能またはその他の方法を使用して、移行元サーバー上のデータをバック アップできます。



移行先CVM:スナップショットの作成 などの方式を選択して、移行先CVMのデータをバックアップできます。

移行先CVMの確認

移行先がCVMインスタンスの場合は、移行先のCVMを確認する必要があります。

	1. ストレージ容量:移行先CVMのクラウドディスク(システムディスクとデータディスクを含む)
	には、移行元サーバーから移行されたデータを保存するための十分な容量が必要です。
按行	2. セキュリティグループ:セキュリティグループでポート80、443、および3389を開放します。
少门	3. 帯域幅:移行をより円滑に進めるためには、移行元と移行先の両方の環境の帯域幅を最大化する
	ことをお勧めします。移行プロセス中に消費されるトラフィックは、移行されたデータの量とほぼ
CVIVI	同じになります。必要に応じて、移行前にネットワーク課金モデルを調整します。
	4. ネットワーク設定:移行元または移行先サーバーが IPv6 のみをサポートし、IPv4 をサポートして
	いない場合は、client.jsonファイルのパラメータ説明をご参照ください。

ワンクリック移行ページに入ります

1.1 CVMコンソールにログインし、サービス移行 > オンライン移行 ページに入ります。移行元のインポートをクリックして、移行元のインポート ページに移動します。
 1.2 ワンクリック移行を選択して、移行タスクを一括で作成することができます。

手順2:移行タスクの作成

1. タスクの設定

タスクの名前と説明を入力します。

2.移行元の設定

移行元のサービスプロバイダーはデフォルトではAlibaba Cloud ECSを選択します。移行元サーバーへのアクセス 権限を持っていることを確認するために、下図に示すように、Alibaba CloudアカウントのAccessKeyとSecretKey (取得方法)を入力して検証する必要があります:

ご注意:

キーを大切に保管してください。移行完了後に、キーを削除または無効化することをお勧めします。

vice provider	Alibaba Cloud ECS	
essKey *	Enter the AccessKey	
retKey *	Enter the SecretKey	

3.移行先の設定

移行先のサービスプロバイダーはデフォルトではTencent Cloud CVMを選択します。**Tencent Cloud CVMの権限** を取得するために、Tencent Cloud APIキーのSecretIdとSecretKey(取得方法)を入力する必要があります。API キー管理 からキーの情報をそのままコピーできます。APIキーが正しくなければ、移行に失敗しますので、API キーが正しいことを確認してください。

ご注意:

キーを大切に保管してください。移行完了後に、キーを削除または無効化することをお勧めします。

Service provider	Tencent Cloud CVM	Create SecretId and SecretKey 🗹
SecretId *	Enter the SecretId	
SecretKey *	Enter the SecretKey	

4.移行情報の設定



4.1 移行元の情報を確認したら、移行元の追加をクリックして、ポップアップした画面から移行するインスタンス を選択します。

4.2 画面の左上隅でリージョンを選択し、**リージョン**内の**インスタンスリスト**を取得します。リージョンの後の数 字はインスタンスの数を示します。

4.3 移行するインスタンスを選択して、それが右側の選択済みリストに追加されます。

説明:

マルチインスタンス、マルチリージョンの一括移行がサポートされます。移行元を複数回追加することができま す。

現在、最大5つのインスタンスを一括移行できます。

4.4 OKをクリックすると、移行元情報リストに移行待ちのインスタンス情報が表示されます。操作列で移行先の 追加をクリックし、移行先の情報を設定できます。

4.5 移行先の追加画面で、リージョンと移行先のタイプを設定します。

アイテム	入力必须	説明
移行 先 リー ジョ ン	はい	移行元サーバーの移行先となるTencent Cloudリージョン。リージョンについては、リージョ ンとアベイラビリティーゾーン をご参照ください。
移行 先タ イプ	はい	Tencent Cloud に移行する移行元サーバーのターゲットタイプを設定します。 CVMイメージ:移行完了後、移行元サーバーのCVMイメージが生成されます。イメージ名: 移行元に対して生成されるターゲットCVM イメージの名前。イメージ名がターゲットリー ジョンにすでに存在する場合、移行タスクはイメージ名にタスク ID を自動的に追加します。 CVMインスタンス:移行先リージョン内のCVMインスタンスを移行先として選択します。移 行先インスタンス:移行先CVMインスタンスと移行元サーバーには同じOSを使用することを お勧めします。例えば、CentOS 7 移行元サーバーを移行する場合、移行先として CentOS 7 CVM を選択します。さらに、移行先CVMインスタンスのシステムディスクとデータディスク の容量は、移行元サーバーの容量よりも大きい必要があります。

5. 「新規作成」をクリックして移行タスクを開始します。次のようなメッセージが表示されますので、ご注意くだ さい。

移行元でタスクの実行が時間かかりますので、しばらく経ってからコンソールで進捗状況を確認できます。 移行元サーバー環境の異常や誤った情報により移行元のインポートに失敗した場合、Tencent Cloudコンソールに 失敗の原因を表示しない可能性があります。この場合、タスクを再作成するか、[オンライン移行]をご利用くださ い。

手順3:移行後の確認

1.移行状態と進行状況の確認

正常に作成された移行タスクは自動的に実行されます。移行元ページ で移行元の情報を確認できます。また、移 行タスク ページでタスクの進行状況を確認できます。

移行先がCVMの場合、移行開始後に移行先CVMは移行モードに入ります。移行を完了して移行モードが終了する まで、移行先CVMに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットなどの操 作を行わないでください。

移行先がCVMイメージの場合、移行開始後にアカウント下に do_not_delete_csm_instance という名前の リレーインスタンスが作成されます。移行が完了して、今回作成されたリレーインスタンスが自動的に破棄される まで、リレーインスタンスに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットな どの操作を行わないでください。

2.移行タスクの完了を待つ

移行タスクのステータスが**成功**になると、移行処理が正常に完了したことを示します。下図に示すとおり:

Online Migration					
Migration source Migr	ration task				
i If the migration task fails	, please check the migration logs.	See Operation Guide			
Start/restart Delete					Separa
Task ID/name	Task status	Source ID/Name	Target region	Destination	Op
migrate-1c7k0gh1 test-task	Successful	server-r8lbz6wd VM-32-69-centos	Guangzhou		Cre
Total items: 1					

説明:

データ転送の消費時間は、移行元データのサイズ、ネットワーク帯域幅などの要因に左右されます。移行が完了す るまでお待ちください。

移行タスクの開始後、移行タスクのある行で一時停止クリックすると、移行タスクを停止できます。

移行ツールはデータ転送の中断からの再開をサポートしています。タスクの一時停止後、**開始/リトライ**をクリッ クすると、前回一時停止したポイントから移行を継続できます。

移行タスクはデータ転送段階での一時停止のみサポートしています。コンソールでの移行タスク中に**一時停止**をク リックすると、移行ツールはデータ転送段階でデータの転送を一時停止します。

移行中に消費時間が長くなりすぎ、今回の移行を中止したい場合は、まず移行タスクを一時停止してから**削除**をク リックすると、今回の移行タスクをキャンセルすることができます。

3.移行後のチェック

移行に失敗した場合:

ログファイル(デフォルトでは移行ディレクトリ下のログファイル)に出力されている内容を確認し、操作ガイ ドまたは サーバー移行に関するよくあるご質問 ドキュメントを参照し、問題のトラブルシューティングを行って ください。問題を解決した後、移行タスクの操作列で**開始/リトライ**をクリックすると、移行タスクを再開できま す。

移行に成功した場合:

移行先がCVMの場合は、移行先CVMが正常に起動できるか、移行先CVMのデータが移行元サーバーと一致してい るか、ネットワークが正常か、他のシステムサービスが正常かなどを確認してください。

移行先がCVMイメージの場合は、移行タスクのある行の「CVMイメージID」をクリックし、CVMイメージページ に進むとこのイメージの情報を確認でき、このイメージを使用してCVMインスタンスを作成することができま す。

ご質問がある場合や移行エラーが発生した場合は、サービス移行に関するFAQ を参照するか、[お問い合わせ]ください。

マイグレーションツールの説明 互換性とツール設定の説明

最終更新日:::2023-05-17 15:26:47

サポートされているオペレーティングシステム

現在オンラインマイグレーションツールがサポートする移行元サーバーのOSは以下を含みますが、これらのOSに 限定されません。

Linux OS	Windows OS
CentOS 5/6/7/8	
Ubuntu 10/12/14/16/18/20	
Debian 7/8/9/10	Windows Server 2008
SUSE 11/12/15	Windows Server 2012 Windows Server 2016
openSUSE 42	Windows Server 2019
Amazon Linux AMI	Windows Server 2022
Red Hat 5/6/7/8	
Oracle Linux 5/6/7/8	

サポートされているマイグレーションモード

パブリックネットワークマイグレーションモード

プライベートネットワークマイグレーションモード

お客様の移行元サーバーと移行先CVMの両方にパブリックネットワークアクセス機能がある場合は、パブリック ネットワークマイグレーションモードを使用してマイグレーションができます。

現在のパブリックネットワークマイグレーションモードでは、移行元サーバーはインターネット経由でTencent Cloud APIにアクセスし、マイグレーションリクエストを送信するとともに、データを移行先CVMに転送して、移 行元サーバーをTencent Cloudの移行先CVMにマイグレーションします。パブリックネットワークマイグレーショ ンモードを下図に示します:





お客様の移行元サーバーまたは移行先CVMがプライベートネットワークまたはVPCにあり、移行元サーバーがイ ンターネット経由で移行先クラウドサーバーとの接続を直接確立できない場合は、ツールのプライベートネット ワークマイグレーションモードを使用してマイグレーションができます。VPCピアリング接続、VPN接続、CCN または ダイレクト接続 といった方法で、移行元サーバーと移行先CVM間で接続チャネルを確立する必要がありま す。

シナリオ1: (このシナリオは、ツールを使用したマイグレーションのみをサポートする)お客様の移行元サー バーまたは移行先CVMがパブリックネットワークにアクセスできない場合は、まずパブリックネットワークアク セス機能を備えたホスト (ゲートウェイなど)を介してインターネット経由でTencent Cloud APIにアクセスする ことにより、マイグレーションリクエストを発することができます。次に、接続チャネルを介して移行先CVMに データを送信してマイグレーションします。このシナリオでは、移行元サーバーと移行先CVMにパブリックネッ トワークへのアクセス機能は必要ありません。





シナリオ2:お客様の移行元サーバーがパブリックネットワークにアクセスできる場合、まずインターネット経由 で移行元サーバー上のTencent Cloud APIにアクセスしてマイグレーションリクエストを発してから、次に接続 チャネルを介して移行先CVMにデータを送信してマイグレーションすることができます。このシナリオでは、移 行元サーバーにパブリックネットワークへのアクセス機能が必要ですが、移行先CVMには必要ありません。



シナリオ3:お客様の移行元サーバーがプロキシ経由でパブリックネットワークにアクセスできる場合は、まず ネットワークプロキシ経由で移行元サーバー上のTencent Cloud APIにアクセスしてマイグレーションリクエスト を発することができます。次に、接続チャネルを介して移行先CVMにデータを送信してマイグレーションしま す。このシナリオでは、移行元サーバーと移行先CVMにパブリックネットワークへのアクセス機能は必要ありま せん。



圧縮パッケージファイルの説明

go2tencentcloud.zip を解凍後のファイルの説明は次のとおりです:

ファイル名	説明
go2tencentcloud-linux.zip	Linux OSのマイグレーション圧縮パッケージです。
go2tencentcloud-windows.zip	Windowsシステムのマイグレーション圧縮パッケージ。
readme.txt	ディレクトリ概要ファイルです。
release_notes.txt	マイグレーションツールの変更ログです。

go2tencentcloud-linux.zip を解凍後のファイルの説明は次のとおりです:

ファイル名 説明

go2tencentcloud_x64	64ビット Linux OS用の移行ツールの実行可能プログラム。
go2tencentcloud_x32	32ビット Linux OS用の移行ツールの実行可能プログラム。
user.json	マイグレーション時のユーザー情報です。
client.json	マイグレーションツールの設定ファイルです。
rsync_excludes_linux.txt	rsync構成ファイル。Linuxシステムで移行する必要のないファイルとディレクト リを除外します。

go2tencentcloud-windows.zip を解凍後のファイルの説明は次のとおりです:

ファイル名	説明
go2tencentcloud_x64.exe	64ビットのWindowsシステムのマイグレーションツールで実行可能なプログラ ムです。
user.json	マイグレーション時のユーザー情報です。
client.json	マイグレーションツールの設定ファイルです。
client.exe	Windowsシステムの移行で実行可能なプログラムです。

ご注意:

設定ファイルは削除できません。設定ファイルはgo2tencentcloudの実行可能なプログラムと同じ階層のディレク トリ下に置いてください。

user.jsonファイルパラメータの説明

user.json設定ファイルの説明は下表のとおりです:

パラメー タ名	タイ プ	入力必須 かどうか	説明
SecretId	String	はい	APIにアクセスするためにアカウントで使用されるSecretldです。詳細 については、アクセスキーをご参照ください。
SecretKey	String	はい	APIにアクセスするためにアカウントで使用されるSecretldです。詳細 については、アクセスキーをご参照ください。

client.json ファイルパラメータの説明

client.json設定ファイルの一部の説明は下表のとおりです:

パラメータ名	タイ プ	入 力	説明
--------	---------	--------	----

		必須かどうか	
Client.Extra.IgnoreCheck	Bool	いいえ	デフォルト値は falseであり、マイグレーションツールはデ フォルトではツールの実行開始時に移行元サーバーの環境を 自動的にチェックします。チェックを省略したい場合は、true に設定してください。
Client.Extra.Daemon	Bool	いいえ	デフォルト値は falseです。バックグラウンドでマイグレー ションツールを実行する必要がある場合、trueに設定してくだ さい。
Client.Net.Proxy.lp	String	いいえ	デフォルト値はNULLです。マイグレーションシナリオがプラ イベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 である 場合、ネットワークプロキシのIPアドレスを設定してくださ い。
Client.Net.Proxy.IPv6	Bool	いいえ	デフォルト値はfalseです。IPv6(マイグレーション時に移行 元または移行先にはIPv6のIPしかないなど)でデータを転送 する場合、このオプションにtrueを設定してください。そうし ないと、マイグレーションのトラフィックはIPv4で転送され ます。
Client.Net.Proxy.Port	String	いいえ	デフォルト値はNULLです。マイグレーションシナリオがプラ イベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 である 場合、ネットワークプロキシポートを設定してください。
Client.Net.Proxy.User	String	いいえ	デフォルト値はNULLです。マイグレーションシナリオがプラ イベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 で、 ネットワークプロキシには認証が必要である場合、ネット ワークプロキシユーザー名を設定してください。
Client.Net.Proxy.Password	String	いいえ	デフォルト値はNULLです。マイグレーションシナリオがプラ イベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 で、 ネットワークプロキシには認証が必要である場合、ネット ワークプロキシパスワードを設定してください。

説明:

上記のパラメータを除き、client.jsonファイルのその他の設定項目は通常は入力不要です。

rsync_excludes_linux.txtファイル説明

このファイルは、移行や転送が不要なLinuxの移行元サーバーのファイル、または指定されたディレクトリにある 設定ファイルを除外するために使用されます。次のディレクトリとファイルはデフォルトで除外されていますの で、**設定を削除または変更しないでください**。



/dev/*
/sys/*
/proc/*
/var/cache/yum/*
/lost+found/*
/var/lib/lxcfs/*
/var/lib/docker-storage.btrfs/root/.local/share/gvfs-metadata/*



他のディレクトリやファイルを削除する必要がある場合は、このファイルの最後に内容を追加してください。例 えば、 /mnt/disk1 にマウントされているデータディスクのすべての内容は削除されます。



/dev/* /sys/* /proc/* /var/cache/yum/* /lost+found/* /var/lib/lxcfs/* /var/lib/docker-storage.btrfs/root/.local/share/gvfs-metadata/* /mnt/disk1/*

ツールの実行パラメータの説明

パラメータオ プション	説明
help	ヘルプ情報を印刷します。
check	移行元サーバーをチェックします
log-file	ログファイルの名前を設定します。デフォルトはlogです。
log-level	ログ出力レベルです。値の範囲は1(ERRORレベル)、2(INFOレベル)、3(DEBUGレ ベル)です。デフォルト値は2です。
version	バージョン番号を印刷します。
clean	マイグレーションタスクを中止します。

移行時間予測チュートリアル

最終更新日:::2022-05-07 16:28:41

このドキュメントでは、オンラインマイグレーションによって、ソースサーバー上のシステム、アプリケーショ ンプログラムなどを自分で作成したコンピュータルーム(IDC)やクラウドプラットフォームなどのソース環境か らTencent Cloud CVMに移行する場合にかかる時間を予測する方法についてご紹介します。

移行時間は主に移行中のデータ転送速度の影響を受けます。移行元サーバーから移行先リージョンのサーバー間の 転送速度をテストすることで、移行時間を予測できます。

異なるシナリオにおける移行時間の予測

シナリオ1

移行タスクの移行先タイプがCVMの場合、移行時間は主に実際のデータ転送時間であると予測されます。 例えば、移行元サーバーの移行対象の全ディスクデータの実際の使用量が50GB、アウトバウンド帯域幅が 100Mbpsの場合、全体の移行時間は1.14時間と予測されます。手順は次のとおりです:

1. 単位の換算

実際のブロードバンド速度をMB/sに換算します。100Mbps = 100 / 8 = 12.5MB/s

実際のディスクデータ量をMBに換算します。50GB = 50 × 1024 = 51200MB

2. 実際のデータ移行時間の推定

51200 / 12.5 = 4096秒 = 1.14時間

シナリオ2

移行タスクの移行先タイプがCVMイメージの場合、移行時間には主に実際のデータ転送時間およびイメージ制作 時間が含まれます。 例えば、移行元サーバーの移行対象の全ディスクデータの実際の使用量が50GB、アウトバウンド帯域幅が 100Mbpsの場合、全体の移行時間は1.23時間と予測されます。手順は次のとおりです: 1.単位の換算 実際のブロードバンド速度をMB/sに換算します。100Mbps = 100/8 = 12.5MB/s 実際のディスクデータ量をMBに換算します。50GB = 50 × 1024 = 51200MB 2.実際のデータ移行時間の推定 51200 / 12.5 = 4096秒 = 1.14時間 3.イメージ制作時間です。制作速度は約160MB/s 51200 / 160 = 320秒 = 0.089時間 4.総移行時間

1.14+0.089=1.23時間。

関連操作:データ転送速度のテスト

iperf3ツールを使用してデータ転送速度をテストすることができます。例えば、クライアントからサーバーまでの データ転送の帯域幅、速度などをテストします。

転送速度の影響因子

移行元サーバーのアウトバウンド帯域幅と移行先インスタンスのインバウンド帯域幅。

例えば、移行元サーバーのアウトバウンド帯域幅が50Mbps、移行先インスタンスのインバウンド帯域幅が 100Mbpsの場合、理論上、実際の転送速度は50Mbpsを超えることはありません。

移行中は常に帯域幅を完全に占有するわけではありません。移行中は移行先のインスタンス(または中継インス タンス)のインバウンド帯域幅を動的に調整することができます。

移行元サーバーと移行先インスタンスが異なるリージョンにある場合、同じリージョンにある場合と比べて転送 速度は遅くなります。

説明:

コンソールによるオンラインマイグレーションの場合、移行先がCVMイメージであれば、移行中に中継インスタ ンス(名称はdo_not_delete_csm_instance)が作成されることがあります。帯域幅上限は50Mpbsです。

移行中はコンソール上で移行先のインスタンス(または中継インスタンス)のインバウンド帯域幅を動的に調整 し、移行速度を制御することができます。

Tencent Cloud Linux CVMに移行する場合の速度テスト

例えば、コンソールのオンラインマイグレーション機能により、サーバーをTencent Cloud CentOS 7.5インスタン スに移行する場合、その転送速度のテスト手順は次のようになります:

1.移行先リージョンに従量課金のCentOS 7.5インスタンスを作成します。

説明:

移行先がCVMイメージであれば、移行中にCentOS 7.5の中継インスタンスが作成されることがあります。速度の テストを行いたい場合は、標準型かつCPU、メモリ構成が比較的低いマシンモデルを選択し、実際の移行時のシ ナリオにより近づけて行うことをお勧めします。

iperf3サーバーのデフォルトポートはTCP 5201であり、テストするCentOS 7.5インスタンスのセキュリティグ ループのインバウンド方向にTCP 5201ポートを追加および開放してください。

2.移行先のテストインスタンスと移行元サーバーにそれぞれiperf**3**ツールをインストールします。 次のコマンドを実行し、移行先のCentOS 7.5インスタンスにiperf**3**ツールをインストールします。





yum -y install iperf3

移行元サーバーにiperf3ツールをインストールします。移行元サーバーのLinuxリリースバージョンに応じて、対応 するインストールコマンドを使用してiperf3ツールをインストールしてください。

3. 次のコマンドを実行し、移行先のCentOS 7.5テストインスタンスのiperf3をサーバーとして起動します。





iperf3 -s

「Server listening on 5201」などのメッセージが返されれば、起動は成功です。 4. 次のコマンドを実行し、移行元サーバーでiperf3をクライアントとして起動します。





iperf3 -c [移行先インスタンスIP]

返されるテスト結果は次のように表示され、移行元サーバーとCentOS 7.5テストインスタンス間の転送速度はお よそ111Mbpsであることがわかります。

0	root	VM-0-48-centos	s ~]#	f iper:	E3 -C		
Co	onneo	ting to host			, po	rt 5201	
[4]	local 10.0.0.4	18 pc	ort 506	582 conn	ected to	
[ID]	Interval		Trans	sfer	Bandwidth	R
[4]	0.00-1.00	sec	24.2	MBytes	203 Mbits/sec	6
[4]	1.00-2.00	sec	12.1	MBytes	101 Mbits/sec	4
[4]	2.00-3.00	sec	12.0	MBytes	101 Mbits/sec	5
[4]	3.00-4.00	sec	12.1	MBytes	102 Mbits/sec	4
[4]	4.00-5.00	sec	11.9	MBytes	100 Mbits/sec	4
I	4]	5.00-6.00	sec	12.1	MBytes	101 Mbits/sec	4
[4]	6.00-7.00	sec	12.2	MBytes	102 Mbits/sec	4
I	4]	7.00-8.00	sec	12.1	MBytes	101 Mbits/sec	5
[4]	8.00-9.00	sec	12.0	MBytes	101 Mbits/sec	5
[4]	9.00-10.00	sec	12.1	MBytes	101 Mbits/sec	4
-							
[ID]	Interval		Trans	sfer	Bandwidth	R
[4]	0.00-10.00	sec	133	MBytes	111 Mbits/sec	5
[4]	0.00-10.00	sec	133	MBytes	111 Mbits/sec	

課金説明

最終更新日:::2023-04-28 17:34:15

サービスの移行は無料ですが、移行ツールの使用については**トランジットインスタンス、ネットワーク**などの料 金がかかる場合があります。このドキュメントでは、サービスの移行を使用するときに発生する料金と課金方法に ついて説明します。

トランジットインスタンス

移行先がCVMイメージの場合、移行開始後にお客様のアカウントの下に「do_not_delete_csm_instance」と呼ば れるトランジットが作成され、インスタンス料金とクラウドディスク料金などが発生します。

課金方式:従量課金

移行が完了するまでトランジットインスタンスの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセット などは行わないでください。移行が完了すると、今回作成されたトランジットインスタンスが自動的に破棄され ます。

パブリックネットワークトラフィック

オンライン移行には、次のようなトラフィックが発生します。料金は次のとおりです。

パブリックネットワークを使用した移行では、移行元のインスタンスが固定帯域幅の場合、追加料金は発生しま せん。移行先はインバウンドトラフィックであり、料金は発生しません。

パブリックネットワークを使用した移行では、移行元のインスタンスが使用量に応じて課金されている場合、移 行元のインスタンスにネットワーク料金が発生します。移行先はインバウンドトラフィックであり、料金は発生し ません。

VPCピアリング接続、VPN接続、CCN または ダイレクト接続 などの方法を介して接続チャネルを確立します。 費用については具体的なネットワーク料金をご参照ください。
オフライン移行

最終更新日:::2023-06-25 17:55:06

このドキュメントでは、インスタンスとデータをオフラインで移行する方法について説明します。

概要

サービス移行は、企業のクラウド移行を加速することに役立つ、Tencent Cloud によって開発された移行プラット フォームです。この移行プラットフォームを使用すると、OS、アプリケーション、およびアプリケーションデー タをソースサーバーからCloud Virtual Machine (CVM) インスタンスまたはCloud Block Storage (CBS) インスタン スに移行できます。これは、クラウド化、クロスクラウド移行、クロスアカウントまたはクロスリージョン移行、 およびハイブリッドクラウド展開に対する企業のニーズを満たすのに役立ちます。

サービス移行には、オフラインとオンラインの両方の移行がサポートされます。 オフライン移行は、次の2つのタ イプに分かれます。

CVMへの移行:システムディスクイメージ(または必要に応じてシステムディスクイメージとデータディスクイ メージの両方)を特定のCVMインスタンスに移行できます。

CBSへの移行:データディスクイメージを指定のクラウドディスクに移行できます。

前提条件

オフライン移行には、Cloud Object Storage(COS)のサポートが必要です。所在リージョンで COS が利用可能 であることを確認してください。

現在COSでサポートされているリージョンについては、 リージョンとアクセスドメイン名 をご参照ください。

準備作業

ご注意:

現在、Tencent Cloudのサービス移行でサポートされているイメージ形式は、qcow2、vhd、vmdk、および raw で す。伝送と移行の時間を短縮するために、圧縮イメージ形式を使用することをお勧めします。

アップロードするイメージは、宛先CVMインスタンスと同じリージョンのCOSバケットに保存する必要がありま す。さらに、COSバケットはパブリック読み取りアクセスを許可する必要があります。

システムディスクイメージとデータディスクイメージの両方をインポートする必要がある場合は、対応する数の データディスクをターゲットインスタンスにマウントする必要があります。

ターゲットディスクの容量はソースディスクの容量以上である必要があります。



オフライン移行では、スナップショットファイル (-00000.vmdkなどのファイル名を持つスナップショットファイ ル)の移行はサポートされていません。 イメージ制作ドキュメントに従って、ソースサーバーのイメージを作成します。 Windows の場合は、Windowsイメージの作成 をご参照ください。 Linux の場合は、Linuxイメージの作成 をご参照ください。 作成したイメージファイルをCOSにアップロードします。 イメージサイズが大きいため、ブラウザからアップロードすると失敗する場合があります。 イメージをアップ ロードするには COSCMD ツールを使用することをお勧めします。操作の詳細については、 COSCMD ツール を ご参照ください。 他のクラウドプラットフォームからエクスポートされたイメージが圧縮パッケージ (.tar.gz ファイルなど) である 場合、それらをCOSに直接アップロードできます。 アップロードしたイメージのCOSアドレスを取得します。 COSコンソールに移動し、アップロードしたイメージファイルを見つけて、イメージファイルの詳細ページで一 時リンクをコピーします。 移行するCVMまたはCBSインスタンスを用意します。 **CVM**の購入に進む CBS購入ガイドライン

操作手順

CVMへの移行

CBSへの移行

1. CVMコンソールにログインし、左側ナビゲーションの サービス移行 をクリックします。

2. 「オフライン移行」ページで「CVMに移行」をクリックします。

3. 「CVMに移行」画面が表示されます。この画面で準備を完了し、「次へ」をクリックします。

4. リージョンを選択し、タスク名、COS リンク、移行先のCVMインスタンスなどの情報を入力します。下図に示 すとおりです。

Migrate to Prep () No shu 1.1 2.1 1	te: when you migrat aration > te: when you migrat at down the CVM be Before you start, cre Data disks of the de more 🖄	2 Configuration te your server to a CVM insta- fore migration. ate a snapshot to back up yo stination CVM are not cleare	ance, all data in the syste our data to avoid data lo ed. But you need to attac	em disk of the CVM are overwritten. You need to oss. <u>Learn more</u>
Region	Guangzhou	.		
	Note: the region m	oust be the same as the COS	bucket region selected	when you uploaded the image
Task name	Please enter the	task name		
COS link	Please enter the	link		
	Enter the link of th	e image file in COS		
Please select	instances to migrat	2		
Enter the I	D/name			Q
ID/N	lame O	perating system	IP address	Configuration
0) Te	ncentOS Server 2.2 (Final)		1-core 1 GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network _{test}
Total items	: 1		20 🔻	/ page 🛛 🖌 🦿 1 🔷 / 1 page 🕨 🕅
Add data	disk image			

5. 完了をクリックすると、移行タスクを正常に作成します。

移行中にサービス移行 ページを終了または閉じることができます。 また、いつでもこのページに戻って移行の進 捗状況を確認することができます。

1. CVMコンソールにログインし、左側ナビゲーションの サービス移行 をクリックします。

2.「オフライン移行」ページで「CBSに移行」をクリックします。

3. 「CBSに移行」画面が表示されます。この画面で準備を完了し、「次へ」をクリックします。

4. リージョンを選択し、タスク名、COS リンク、移行先のCBSインスタンスなどの情報を入力します。下図に示 すとおりです。

Migrate to	o CBS Daration > 2 Configu	ıration	×				
1 No cai Be	ote: when you migrate a disk to a Tencen nnot be recovered. fore you start, please create a snapshot :	t Cloud cloud disk, all data in the destination to back up your data to avoid data loss. Fo	on cloud disk are cleared and and r details, please see <u>Operation Guide</u>				
Region	Guangzhou 🔻						
	Note: the region must be the same as	the COS bucket region selected when you	uploaded the image				
Task name	Please enter the task name						
COS link	Please enter the link						
	Enter the link of the image file in COS						
Please select	the destination cloud disk						
Enter the I	D/name		Q				
ID/N	ame Status	Capacity	Туре				
No data yet							
Total items	c 0	20 💌 / page	I /1 page ▶ ▶				
		Back Complete					

5. 完了をクリックすると、移行タスクを正常に作成します。

移行中に サービス移行 ページを終了または閉じることができます。 また、いつでもこのページに戻って移行の進 捗状況を確認することができます。

よくあるご質問

詳細については、サービス移行をご参照ください。

お問い合わせ

最終更新日:::2023-05-12 17:11:45

弊社WEBサイトをご覧いただき、誠にありがとうございます。

サービスの移行中に問題が発生した場合、または改善提案やご意見などがある場合は、いつでもお気軽に弊社ま でご連絡くださいませ!

チケットシステム

弊社の製品をご使用中にトラブルが発生した場合は、Tencent Cloudコンソールにログインし、画面の指示に従っ てチケットを送信できます。お問い合わせ内容の確認後、担当者より、できるだけ早くご連絡させていただきま す。

チケットリンク:

サポートチケットの送信:チケットの送信

チケットステータスの照会:チケットリスト

メンテナンスタスク

メンテナンスタスクの概要

最終更新日:::2023-01-31 16:19:42

メンテナンスタスク機能は、標準化されたCVMトラブルシューティング、認定されたメンテナンスサービスを ユーザーに提供することを目的とします。

インスタンスの実行パフォーマンスと安定性を向上させ、基盤となるプラットフォームの安全で効率的な運用を 確保するために、プラットフォームは基盤となるホストおよびプラットフォームアーキテクチャをオンラインで 定期的にメンテナンスおよびアップグレードします。この期間中、CVMは通常どおり安定して動作し、業務プロ グラムを中断することなく、プラットフォームのアップグレードによるパフォーマンスの向上させることができ ます。

メンテナンスタスクは、ユーザーがCVMインスタンスのさまざまな緊急事態をリアルタイムに制御および処理 し、潜在的なサーバーダウンのリスクを事前に回避し、メンテナンス効率を向上させるとともに、ユーザーのメ ンテナンスコストを削減することができます。ユーザーは、独自の業務特性および運用・メンテナンスのシナリオ に合わせて、異常インスタンスの重要データをタイムリーにバックアップし、安定した業務運用を保証できます。 また、メンテナンスタスクは、ユーザーが実際のニーズに応じて事前設定された承認ポリシーを策定したり、ク ラウドAPIを介して接続して、CVMの障害や隠れた危険シナリオに対応する柔軟で制御可能な自動運用・メンテナ ンス機能を構築することをサポートします。

機能のメリット

無償有効化

メンテナンスタスク機能は、デフォルトで完全にオープンになり、追加購入なしで無料で使用できます。CVMイ ンスタンスを作成して使用した後、メンテナンスタスクコンソール にログインし、現在のユーザーが属するCVM インスタンスの完全なメンテナンスタスクレコードを表示できます。

異常、隠れた危険シナリオの全面的なカバー

CVMインスタンスのさまざまな予期せぬ異常(たとえば、基盤となるホストの突然の異常サーバーダウンによる CVMの異常な再起動)、運用上の隠れた危険(基盤となるホストのさまざまなソフトウェア・ハードウェア障害 の隠れた危険に対する事前予測)、ハードディスクの異常/警告(ローカルディスクインスタンスのハードディス ク使用の異常/早期警告)、およびプラットフォーム計画内のメンテナンスとアップグレードのタスクをカバーしま す。

柔軟な設定

独自の業務シナリオと運用・メンテナンス要件に基づいて、複数の事前設定された承認ポリシーの設定をサポー トします。各ポリシーは、さまざまなコンピューティング製品インスタンスファミリーに関連付けることができ、 CVMタグによる高速バインディングをサポートします。

柔軟な接続

メンテナンスタスクは、ユーザーに柔軟で便利な使用方法を提供します。メンテナンスタスクコンソールを提供す るだけでなく、ユーザーが事前設定された承認ポリシー、クラウドAPIを介して、自動メンテナンスおよび承認さ れた接続を行うこともサポートします。

ユースケース

インスタンス異常のリアルタイム検出、高速リカバー

CVMインスタンスのさまざまな異常情報は、お客様に通知をタイムリーにプッシュし、対応するメンテナンスタ スクを作成します。ユーザーは、メンテナンスタスクコンソールにログインし、影響を受けたインスタンスのリカ バー状況に注意を払い、タイムリーにリスクを回避して、安定した業務運用を保証できます。

インスタンスの隠れた危険のリアルタイム監視、事前回避

現在正常に稼働しているが、プラットフォームによって基盤となるホストにソフトウェア・ハードウェアの隠れ た危険性が監視されたり、プラットフォーム計画内に実行待ちのメンテナンスタスクが存在したりするCVMイン スタンスの場合、ユーザーは関連情報をリアルタイムに検出し、メンテナンス計画を策定し、ピークの少ない業務 時間帯にタイムリーに承認して、隠れた危険を事前に回避し、潜在的なサーバーダウンのリスクを排除できます。

CVM異常シナリオでの自動運用・メンテナンス

ユーザーは、事前設定された承認ポリシー、クラウドAPIを介してすばやく接続できます。CVMが新しいメンテナ ンスタスクおよびアラームイベントをトリガーすると、自動運用・メンテナンス機能を使用して、障害の自己修 復を実現し、運用・メンテナンスの効率を向上できます。

使用制限

メンテナンスタスク機能は現在、CVM、CVM Dedicated Host (CDH)およびベアメタルCVMに適用され、その他の 製品はまだサポートされていません。

メンテナンスタスクタイプと対処ポリシー

最終更新日:::2023-01-31 16:19:42

プラットフォームによってインスタンスの可用性と運用パフォーマンスに影響を与える異常状態(たとえば、基盤となるホストの突然の異常サーバーダウン、または基盤となるホストの潜在的なソフトウェアとハードウェアの障害を事前に予測してサーバーダウンのリスクを事前に回避するなど)が監視されると、プラットフォームは、ただちにメンテナンスプロセスを開始し、対応するメンテナンスタスクを記録し、影響を受けるインスタンスの障害または隠れた危険の通知をユーザーにプッシュします。関連する通知を受け取った後、メンテナンスタスクコンソール1にタイムリーに移動し、異常インスタンスの修復時間と処理の進行状況を確認し、プラットフォームが異常インスタンスを修復して通常の運用状態をリカバーすることを承認できます。

CVMインスタンスのメンテナンスタスクは、トリガーの理由に従って分類され、次の複数のタイプに分けることができます。各タスクタイプの具体的な意味、対策、およびオプションの承認ポリシーを次の表に示します:

タス クタ イプ	タスクの意味	対策	オプションの承認ポリシー
イスンの作常	インスタンスの基盤と なるホストの突然のソ フトウェア・ハード ウェア障害またはシス テムエラーにより、イ ンスタンスの異常サー バーダウンまたは再起 動が発生します。	異常な動作タイプのインスタンス のメンテナンスタスクがトリガー されることを監視すると、プラッ トフォームは直ちに関連するメン テナンス操作を実行し、異常なイ ンスタンスを再起動して、インス タンスの可用性をすばやくリカ バーします。インスタンスの自動 再起動が完了するまで待機し、メ ンテナンスタスクステータス更新 の進行状況に注意することをお勧 めします。	メンテナンスタスクの現在の状 態に応じて、次の対処ポリシー を決定します: タスクが「処理中」の状態であ る場合、プラットフォームは、 異常インスタンスに対して関連 するメンテナンス操作を緊急に 実行しています。メンテナンスが 完了すると、タスクステータス がタイムリーに同期更新され、 関連する通知がプッシュされま す。 タスクが「終了」の状態である 場合、異常インスタンスの自動 再起動が完了して動作を再開 し、インスタンスとアプリケー ションが正常に戻るかどうかを 確認できます。
イン スタ	インスタンスは現在正 常に実行されています	できるだけ早くメンテナンスを完 了して、基盤となるソフトウェ	インスタンスの基盤となる隠れ た危険の修復方法に応じて、次

メンテナンスタスクの分類

ン動のれ危ス作隠た険	が、インスタンスホス トまたは基盤となるプ ラットフォームにソフ トウェア・ハードウェ アの隠れた危険がある ことが監視されると、 インスタンスパフォー マンスジッター、異常 サーバーダウンのリス クを引き起こす可能性 があります。	 ア・ハードウェアの隠れた危険を 回避し、潜在的なサーバーダウン のリスクを回避するために、事前 に業務データをバックアップし、 できるだけ早くメンテナンスタス クコンソールに移動することをお 勧めします: 1. (オプション) インスタンス データのバックアップを実行しま す。 2. プラットフォームがただちに メンテナンスを開始したり、48時 間以内に予定されたメンテナンス 時間を予約したりすることが承認 されます。 3. 予定されたメンテナンス時間 に、システムが自動的にメンテナンスを開始するまで待ちます。 	の方法を選択して処理を承認で きます: オンライン移行承認(インスタ ンスをシャットダウンする必要 はなく、移行プロセス中にCVM に短期の高負荷またはネット ワークジッターが発生する可能 性があります。 シャットダウンメンテナンスの 承認(インスタンスを再起動 し、すばやくリカバーしま す)。 注意: 1.たとえば、ユーザーが48時間 以上承認していない場合、シス テムはデフォルトで、予定され たメンテナンス時間にメンテナ ンスを開始します。 2.ローカルディスクインスタン スは現在、再起動後のすばやい リカバーをサポートしておらず、 基た危険をリカバーするためによ り長いメンテナンス期間が必要 です。必要に応じて、ユーザー は、ローカルディスクインスタ ンスの再デプロイを選択して、 隠れた危険をすばやく回避でき ます(ローカルディスクデータ は保持できません)。
イスンのハドデスの常ンタス ー ィク異	インスタンスのローカ ルハードディスクに突 然の障害が発生する と、インスタンスのI/O パフォーマンスが低下 したり、ハードディス ク機能が損傷したりす る可能性があります。	できるだけ早くメンテナンスを完 了して、異常ハードディスクの可 用性をリカバーするために、事前 に業務データをバックアップし、 できるだけ早くメンテナンスタス クコンソールに移動することをお 勧めします。 1. (オプション)インスタンス データのバックアップを実行しま す。 2. プラットフォームがただちに異 常ハードディスクを交換したり、 48時間以内に予定されたメンテナ ンス時間を予約したりすることが 承認されます。	ローカルディスクインスタンス の異常ハードディスクの修復方 法に応じて、次の方法を選択し て処理を承認できます。 オンラインでのディスク交換 (インスタンスは、異常ハード ディスクをオンラインで交換し ます。メンテナンスプロセス中、 異常ハードディスクのI/Oは短時 間、一時的に使用できなくなり ます。処理完了後、プロンプトに 従って新しいディスクをマウン トして使用することができま す)。

		3. プラットフォームが異常ハード ディスクの交換を完了するのを待 ち、リカバー通知の操作プロンプ トに従って、交換後のローカル ハードディスクを再マウントして 使用します。	 シャットダウンによるディスク 交換(インスタンスは、異常 ハードディスクを交換するため にシャットダウンする必要があ ります。ローカルディスクのデー タを保持する可能性があります が、より長いメンテナンスサイ クルが必要です)。 (オプション)ディスク破棄に よる移行:ローカルディスクの インスタンスを再デプロイし、 ローカルディスクのデータを保 持できません。分レベルでイン スタンスの可用性をすばやくり カバーします。
イスンハドデスの告ンタスーニィク警	インスタンスのローカ ルハードディスクが破 損したり、寿命が近づ いたりする可能性があ るため、インスタンス I/O異常またはディスク オフラインなどのデー タレベルの異常が発生 する可能性があります。	できるだけ早くメンテナンスを完 了して、ローカルハードディスク の潜在的な障害のリスクを排除す るために、事前に業務データを バックアップし、できるだけ早く メンテナンスタスクコンソールに 移動することをお勧めします。 1. (オプション)インスタンス データのバックアップを実行しま す。 2. プラットフォームがただちに隠 れた危険のあるハードディスクを 交換したり、48時間以内に予定さ れたメンテナンス時間を予約した りすることが承認されます。 3. プラットフォームが異常ハード ディスクの交換を完了するのを待 ち、リカバー通知の操作プロンプ トに従って、交換後のローカル ハードディスクを再マウントして 使用します。	ローカルディスクインスタンス の異常ハードディスクの修復方 法に応じて、次の方法を選択し て処理を承認できます。 オンラインでのディスク交換 (インスタンスは、異常ハード ディスクをオンラインで交換し ます。メンテナンスプロセス中、 異常ハードディスクのI/Oは短時 間、一時的に使用できなくなり ます。処理完了後、プロンプトに 従って新しいディスクをマウン トして使用することができま す)。 シャットダウンによるディスク 交換(インスタンスは、異常 ハードディスクを交換するため にシャットダウンする必要があ ります。ローカルディスクのデー タを保持する可能性があります が、より長いメンテナンスサイ クルが必要です)。 (オプション)ディスク破棄に よる移行:ローカルディスクの インスタンスを再デプロイし、 ローカルディスクのデータを保 持できません。分レベルでイン スタンスの可用性をすばやくリ カバーします。

イスンのネトワク続常ンタス(ッ)ー接異	インスタンスの基盤と なるネットワーク接続 の突然の障害により、 インスタンスのネット ワークジッタが発生し たり、異常ネットワー ク接続が発生したりす る可能性があります。	異常なネットワーク接続タイプの インスタンスのメンテナンスタス クがトリガーされることを監視す ると、プラットフォームはただち に基盤となるネットワークに対し て関連するメンテナンス操作を実 行し、異常インスタンスのネット ワーク接続の可用性をリカバーし ます。 インスタンスのネットワーク接続 の自動修復が完了するまで待機 し、メンテナンスタスクステータ ス更新の進行状況に注意すること をお勧めします。	メンテナンスタスクの現在の状 態に応じて、次の対処ポリシー を決定します: タスクが「処理中」の状態であ る場合、プラットフォームは、 異常インスタンスの基盤となる ネットワークに対して関連する メンテナンス操作を緊急に実行 しています。メンテナンスが完了 すると、タスクステータスがタ イムリーに同期更新され、関連 する通知がプッシュされます。 タスクが「終了」の状態である 場合、異常インスタンスのネッ トワーク接続が正常に戻り、イ ンスタンスとアプリケーション が正常に戻るかどうかを確認で きます。
イスンメテンのアプレドンタスンナス ッグー	インスタンスのパ フォーマンスおよびセ キュリティを向上させ るために、インスタン スは、基盤となるホス トアーキテクチャ、ソ フトウェアのアップグ レードなどの理由によ り、オンラインメンテ ナンスを開始する必要 があります。	できるだけ早くメンテナンスを完 了して、インスタンスのパフォー マンスおよびセキュリティを向上 させるために、事前に業務データ をバックアップし、できるだけ早 くメンテナンスタスクコンソール に移動することをお勧めします。 1. (オプション)インスタンス データのバックアップを実行しま す。 2. プラットフォームがただちにメ ンテナンスを開始したり、48時間 以内に予定されたメンテナンス時間 間を予約したりすることが承認さ れます。 3. 予定されたメンテナンス時間 に、システムが自動的にメンテナ ンスを開始するまで待ちます。	次の承認方法を選択できます: オンラインメンテナンス(イン スタンスをシャットダウンする 必要はなく、メンテナンスプロ セス中にCVMに短期間の高負荷 またはネットワークジッターが 発生する可能性があります。 注意 : ユーザーが48時間以上承認して いない場合、システムはデフォ ルトで、予定されたメンテナン ス時間にメンテナンスを開始し ます。

タスクのステータス

タスクのス テータス	意味

承認待ち	ユーザーの承認を待って、ユーザーは承認されたメンテナンス方法とメンテナンス時間を 選択できます。ハードディスク以外のメンテナンスタスクに対して、ユーザーが48時間以 上承認していない場合、システムはデフォルトで、予定されたメンテナンス時間にメンテ ナンスを開始し、メンテナンスタスクを処理中ステータスに変更します。
予約済み	ユーザーは操作を承認し、メンテナンス時間を予約しました。タスク作成から48時間以 内に、システムのデフォルトの予定されたメンテナンス時間を変更できます。
処理中	メンテナンスタスクを実行しています。
終了	メンテナンスタスクが処理されました。
回避済み	インスタンスに未完了のメンテナンスタスクがある場合、ユーザーがインスタンスの返 却、破棄、構成の調整などを実行するとき、メンテナンスタスクプロセスを回避するため に中断されます。
キャンセル済 み	今回のメンテナンスタスクがシステムによってキャンセルされました。

メンテナンスタスクの確認

最終更新日:::2023-05-12 17:44:55

概要

このドキュメントでは、CVMコンソールで保留中および履歴のメンテナンスタスクのリストと詳細なトラブル シューティング情報を表示する方法について説明します.

操作手順

CVMコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーのメンテナンスタスク > タスクリスト を選択します。
 「メンテナンスタスク」リストページで、リスト上方のフィルタリング条件を選択し、必要なメンテナンスタスクリストを取得します。

3. メンテナンスタスクIDをクリックすれば、メンテナンスタスク詳細ページに移動し、その他情報を確認できます。

メンテナンスポリシーの承認とメンテナンス の時間枠の指定

最終更新日:::2023-05-12 17:48:34

概要

ここではTencent Cloudコンソールからメンテナンスタスクに応じた具体的なメンテナンスポリシーを選択し、メ ンテナンス実行日時を予約する方法について説明します。

操作手順

CVMコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーのMaintenance task > Task List をクリックします。
 メンテナンスタスクの行の右側にあるAuthorize/Scheduleをクリックします。

3. ポップアップしたウィンドウで、タスクのメンテナンスポリシーおよびメンテナンス時間を選択します。 **説明:**

タスクタイプに応じて承認するメンテナンス方式を決定します。詳細については、メンテナンスタスクタイプと対 処ポリシー をご参照ください。

「メンテナンス時間の予約」を設定しない場合は、デフォルトで直ちにメンテナンスが開始されます。 4. OKをクリックし、メンテナンスポリシーの承認を完了します。

プリセット承認ポリシーの設定

最終更新日:::2023-05-12 17:53:55

概要

特定のタグの下のすべてのCVMインスタンスに対して、プリセットメンテナンス承認ポリシーを設定できます。 メンテナンスタスクが生成されると、手動で承認する必要なく、設定済みのプリセットポリシーに従って処理さ れます。このドキュメントでは、CVM コンソールでプリセットメンテナンス承認ポリシーを設定する方法につい て説明します。

操作手順

1. CVMコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーから Maintenance Task > Preset authorization policy をクリックします。

2. 「Preset authorization policy」ページで、 **Create**をクリックします。 「Create Preset Authorization Policy」 画面 が表示されます。

3. 「Create Preset Authorization Policy」 画面で、プリセット承認を実行する必要がある製品タイプ、指標、対応 するプリセット承認ポリシーを選択し、対応するタグを付けます。

4. OKをクリックすれば、プリセットメンテナンス承認ポリシーが作成できます。タグに関連付けられたインスタンスは、メンテナンスタスク生成後に、デフォルトでプリセットポリシーを使用してメンテナンス処理を実行します。

メンテナンスタスクアラート通知の設定

最終更新日:::2023-06-25 17:56:20

概要

CVM インスタンスのメンテナンスタスクにアラームを設定できます。障害発生時に、電子メール、ショートメッ セージ、電話などのチャネルを介して即座に措置を講じるよう通知します。このドキュメントでは、EventBridge を使用して、EventBridge コンソールで CVM インスタンスのアラーム通知を設定する方法について説明します。

操作手順

1. EventBridgeコンソール にログインし、 EventBridgeのアクティブ化 の指示に従ってサービスをアクティブ化します。

2. 左側のサイドバーで Event Rule を選択し、「Event Rule」ページの上部でターゲットリージョンとイベントバスを選択して、**Create Event Rule**をクリックします。

3. 「Create Event Rule」ページで、次の操作を実行します。

3.1 下図に示すように、「Basic Information」で、**ルール名**を入力します。

← Create e	event rule
1 Rule patte	ern > 2 Delivery target
Basic inform	ation
Region	Guangzhou
Event Bus	
Rule name *	
Rule description	
Tag	Enable
Data 🛈 conversion	

3.2 下図に示すように、「Event Pattern」で、次の情報を参照して「イベントマッチング」パラメータを設定し、 その他のパラメータを必要に応じて設定します。

Tencent Cloud service Event Type Please select Please select Filters events published to EventBridge according to the spectrum source":"cvm.cloud.tencent", 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 4 5 3 4 5 5 7			
Event Type Please select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of the select Image: Constraint of th	Tencent Cloud service	Cloud Virtual Machine 🔹	Filters events published to EventBridge according to the specified rule
Q 4 "cvm:ErrorEvent:DiskReadonly" All events 5] Disk read-only 7 Kernel failure 7	event Type	Please select 💌	1 ∨ [2 "source":"cvm.cloud.tencent", 3 ∨ "type":[
All events 6 Disk read-only 7 Kernel failure		Q	4 "cvm:ErrorEvent:DiskReadonly" 5 1
Disk read-only 7		All events	6
Kernel failure		Disk read-only	7
		Kernel failure	
OOM 🥥 Correct JSON		OOM	Correct JSON
ping unreachable		ping unreachable	
Server restarted		Server restarted	🔅 Test match rule 🎤 Edit match rule

Tencent Cloud service:ドロップダウンリストから**CVM**を選択します。

Event Type:必要に応じて、ドロップダウンリストからオプションを選択します。

3.3 Nextをクリックします。

3.4「Delivery target」で、必要に応じて「Trigger method」ドロップダウンリストからオプションを選択します。

「トリガーモード」は**Cloud Log Service (CLS)**を選択する場合、 CLSログターゲット を参照して設定を行う ことができます。

「トリガーモード」はNotification messageを選択する場合、メッセージプッシュターゲット を参照して設定を 行うことができます。

4. Completeをクリックし、設定を完了します。

Cloud Block Storage CBSスケールアウト

最終更新日:::2023-06-30 15:28:14

概要

クラウドディスクはクラウド上の拡張可能なストレージデバイスです。ユーザーは、クラウドディスクの作成後、 いつでも容量を拡張して、データを失うことなくストレージ容量を増やすことができます。

クラウドディスクを拡張した後、パーティションとファイルシステムを拡張する必要があります。拡張した容量を 既存のパーティションに分割したり、別々の新しいパーティションにフォーマットしたりすることができます。

ご注意:

MBRパーティションは、最大2TB の容量のディスクをサポートします。2TBを超える容量のディスクをパーティ ション分割する場合は、新しいデータディスクを作成してマウントし、GPT パーティション形式を使用してデー タを新しいディスクにコピーすることをお勧めします。

データディスクの拡張

クラウドディスクがデータディスクの場合、次の3つの方法で拡張することができます。

ご注意:

CVMに同じ容量・種類の複数のクラウドディスクが接続されている場合、データディスクの区分に示す方法で区分できます。拡張するデータディスクを選択後、次の手順に従ってその容量を拡張します。

CVMコンソールを介した拡張(推奨)

CBSコンソールを介した拡張

API を介した拡張

1. CVMコンソール にログインします。

2. ターゲットCVMの右側にあるさらに>リソース調整>CBSを拡張をクリックします。

3. 「CBSを拡張」画面が表示されます。この画面で拡張するデータディスクを選択し、次へをクリックします。

4. 目標容量(現在の容量以上である必要があります)を設定し、次へをクリックします。

5. 注意事項を読み、変更を開始をクリックします。下図に示すように:



6. ターゲットCVMのOSに応じて、パーティションとファイルシステム(Windows)を拡張する、または パー ティションとファイルシステム(Linux)を拡張する 必要があり、拡張された容量を既存のパーティションに割り 当てるか、独立した新しいパーティションにフォーマットします。

1. CBSコンソール にログインします。

2. ターゲットCBSの右側にあるさらに>スケールアウトをクリックします。

3. 必要な新しい容量を選択します(現在の容量以上である必要があります。)。

4. お支払いをしてください。

5. ターゲットCVMのOSに応じて、パーティションとファイルシステム(Windows)を拡張する、またはパー ティションとファイルシステム(Linux)を拡張する必要があり、拡張された容量を既存のパーティションに割り 当てるか、独立した新しいパーティションにフォーマットします。

「ResizeDisk」 API を使用して、指定したクラウドディスクを拡張できます。 詳細については、ResizeDisk をご 参照ください。

システムディスクの拡張

1. CVMコンソール にログインし、ターゲットCVMの右側にあるさらに>リソース調整>CBSを拡張をクリックします。

CBSを拡張」画面が表示されます。この画面で拡張するデータディスクを選択し、次へをクリックします。
 目標容量(現在の容量以上である必要があります)を設定し、次へをクリックします。

4. 次の拡張方法で拡張操作を完了します。

CVMコンソールを介した拡張

CBSコンソールを介した拡張

APIを介した拡張

説明:

CVMは、インスタンスをシャットダウンせずにクラウドシステムディスクの拡張をサポートします。

1. パーティションとファイルシステムの拡張タブで注意事項を読み、変更を開始をクリックします。下図に示す ように:



2. コンソールで容量拡張を完了し、インスタンスにログインしてファイルシステムが自動的に拡張されたかどう かを確認してください。そうでない場合は、オンラインでのシステムディスクとファイルシステムの拡張の説明 に従ってパーティションとファイルシステムを拡張します。

1. CBSコンソール にログインします。

2. ターゲットCBSの右側にあるさらに>スケールアウトをクリックします。

3. 必要な新しい容量を選択します(現在の容量以上である必要があります。)。

4. お支払いをしてください。

5. ターゲットCVMのOSに応じて、パーティションとファイルシステム(Windows)を拡張する、またはパー

ティションとファイルシステム(Linux)を拡張する 必要があり、拡張された容量を既存のパーティションに割り 当てるか、独立した新しいパーティションにフォーマットします。

ResizeInstanceDisksインターフェースを使用して、指定した非エラスティックディスクを拡張できます。詳細に ついてはResizeInstanceDisksをご参照ください。

関連する操作

データディスクの区分



CVM OSに応じてクラウドディスクを確認します。

Linux

Windows

1. Linuxインスタンスにログイン します。

2. 次のコマンドを実行して、クラウドディスクとデバイス名の間の対応関係を確認します。



ls -l /dev/disk/by-id

次の情報が表示されます:

[root@VM_63_126_centos ~]# ls -l /dev/disk/by-id/ total 0 lrwxrwxrwx 1 root root 9 Mar 1 17:31 virtio-disk-35t32l8g -> ../../vdf lrwxrwxrwx 1 root root 9 Mar 1 17:31 virtio-disk-jel3nl0g -> ../../vdc lrwxrwxrwx 1 root root 9 Mar 1 17:31 virtio-disk-jwz43lpg -> ../../vde lrwxrwxrwx 1 root root 9 Mar 1 17:31 virtio-disk-jwz43lpg -> ../../vde

そのうち、 disk-xxxx はクラウドディスクの IDで、 CBSコンソール に進み確認できます。 1. Windowsインスタンスにログイン します。

2.

を右クリックして、**実行**を選択します。

3. 「実行」ウィンドウで cmd と入力してEnterを押します。

4. 次のコマンドを実行して、クラウドディスクとデバイス名の間の対応関係を確認します。





wmic diskdrive get caption, deviceid, serialnumber

または、次のコマンドを実行します。





wmic path win32_physicalmedia get SerialNumber,Tag

次の情報が表示されます:

C:\Users\Administrator>wmic diskdrive get caption,deviceid,serialnumber Caption SerialNumber Red Hat VirtIO SCSI Disk Device \\.\PHYSICALDRIVEØ Red Hat VirtIO SCSI Disk Device \\.\PHYSICALDRIVE1 disk-hmvcmqrm

そのうち、 disk-xxxx はクラウドディスクの IDで、 CBSコンソール に進み確認できます。

Cloudinit 構成の確認

CVM OSに応じてクラウドディスクを確認します。

Linux インスタンスのCloudinit 構成の確認

ディスク拡張後、Linuxインスタンスにログインして、 /etc/cloud/cloud.cfg にgrowpartおよびresizefsの

設定項目が含まれているかどうか確認します。

「はい」の場合、その他の操作の必要はありません。下図に示すように:



growpart:パーティションをディスクサイズまで拡張します。

resizefs: / パーティション内のファイルシステムをパーティションサイズに拡張または調整します。

「いいえ」の場合、ターゲットCVMのOSに応じて、手動でファイルシステムとパーティションを拡張する必要が あります。パーティションとファイルシステムの拡張 (Linux)を実行する必要があり、拡張された容量を既存の パーティションに割り当てるか、独立した新しいパーティションにフォーマットします。

Windows インスタンスのCloudinit 構成の確認

ディスク拡張後、Windowsインスタンスにログインして、 C:\\Program Files\\Cloudbase Solutions\\Cloudbase-Init\\conf\\cloudbase-init.conf のpluginにExtendVolumesPlugin設定項目 が含まれているかどうか確認してください。

「はい」の場合は、マシンを再起動してください。 cloudbase-init はボリュームを自動的に拡張し、Cパー ティションの後ろにある空き領域をCパーティションに追加します。Cパーティション と空き領域の間に他のパー ティションがあってはいけないことに注意してください。マシンを再起動したくない場合、Cパーティションと空 き領域の間に他のパーティションがある場合、または「cloudbase-init」がサードパーティのセキュリティ ソフト ウェアによってブロックされている場合は、次の powershell コマンドを手動で実行する必要があります。





```
$DiskOps="@
select disk 0
select volume c
extend
exit
@"
$DiskOps | diskpart.exe | Out-Null
```

「いいえ」の場合、ターゲットCVMのOSに応じて、手動でファイルシステムとパーティションを拡張する必要があります。パーティションとファイルシステムの拡張 (Windows) を実行する必要があり、拡張された容量を既存



のパーティションに割り当てるか、独立した新しいパーティションにフォーマットします。

ディスクメディアの調整

最終更新日:::2022-05-26 18:36:43

操作シナリオ

Tencent Cloud CVMは、ストレージハードウェアメディアの調整をサポートしています。ストレージハードウェア メディアを調整することにより、異なる業務のストレージ要件に柔軟に対応できます。

Tencent Cloudは、CBS および ローカルディスク の2種類のブロックストレージを提供します。現在、ローカル ディスクからCBSへの変更をサポートします。本ドキュメントでは、ディスクメディアの調整方法と関連する注 意事項について説明します。

ローカルディスクCVMには次の制限があります:

ホストリソースの影響を受けるため、構成をカスタマイズできません。

スナップショットや作成の加速などの機能はサポートされていません。

データの信頼性が低い。

長時間にわたるホスト障害の影響を受けます。

ローカルディスクを持つCVMの制限を解除したい場合は、アカウントの既存のローカルディスクを持つCVMをク ラウドディスクを持つCVMに変更できます。

前提条件

CVMの状態

この操作は、CVMが終了状態の時のみ実行できます。まずは、CVMをシャットダウンしてください。

CVMの制限

入札型CVMは、ローカルディスクからCBSへの変更をサポートしていません。

ビッグデータモデル、高IOモデルはローカルディスクからCBSへの変更をサポートしていません

ベアメタル型インスタンスはローカルディスクからCBSへの変更をサポートしていません。

CVMの設定

CVMのシステムディスクまたはデータディスクには、少なくとも1つの「**通常ローカルディスク**」または「SSD **ローカルディスク**」がある場合のみ、ローカルディスクをCBSに変更できます。

CVMが配置されているアベイラビリティーゾーンで使用できるCBSタイプがあり、且つ現在のインスタンスの ローカルディスクサイズはCBSのサポート範囲内である場合のみ、ローカルディスクをCBSに変更できます。 CVMのシステムディスクとデータディスクの両方がローカルディスクである場合、ローカルディスクをCBSに調 整すると、CVMの**すべて**のローカルディスクがCBSに調整されます。部分的な調整はサポートされていません。 各ディスクのクラウドディスクタイプを個別に設定できます。

つまり、完全なローカルディスクのCVMでディスクメディアタイプを変更する場合、システムディスクのみCBS

に調整することまたはデータディスクのみCBSに調整することはサポートされていません。すべてのディスクに 調整する必要があります。

ディスクのメディアタイプを変更しても、ディスクのサイズは変わりません。メディアタイプを変更した後、 CBSの拡張からディスクのサイズを調整できます。

ローカルディスクをCBSに変更しても、CVMのライフサイクル、インスタンスID、プライベート/パブリックIP、 ディスクデバイス名及びマウントポイントは変更されません。

注意事項

ローカルディスクをCBSに変更する操作にはデータコピーの方式を採用して、ローカルディスク上のデータを CBSシステムにコピーしますので、ソースのローカルディスクのサイズおよびデータ転送速度の制限を受けます。 この操作の完了には時間がかかります。しばらくお待ちください。

ローカルディスクをCBSに変更することのみが可能です。ローカルディスクをすでにCBSに変更している場合、 このCBSをローカルディスクに戻すことはできません。

変更が完了した後、データが失われていないかどうかを確認するために、CVMを起動してログインすることをお 勧めします。

操作手順

1. CVMコンソール にログインし、インスタンス管理ページに進みます。

説明:

CVMが「無効」状態の場合は、直接 手順3 を実施します。

2. (オプション)調整対象のCVMの右側で、その他>インスタンス状態>シャットダウンを選択して、シャットダウン操作を実行します。

3.

調整対象のCVMの右側で、その他>リソース調整>ディスクメディアタイプの調整をクリックします。

4. ディスクメディアの調整ダイアログボックスで、システムディスク/データディスクに調整したいターゲット CBSタイプを選択し、同意のチェックボックスをONにすると、すぐに変換するをクリックします。
5. 情報を確認し、支払いが必要な注文を完了して、プロセスが完了するまで待ちます。

CBSのパフォーマンスの調整

最終更新日:::2022-01-10 18:16:19

Cloud Block Storage (CBS) のパフォーマンスは、通常ではCBSの容量と相関性があります。CBSがパフォーマ ンスの最大値に達しない時は、容量を調整することによってパフォーマンスを向上させることができます。このう ち、拡張型SSDのCBSは、パフォーマンスがベーシックパフォーマンスの最大値に達した後に、追加パフォーマ ンスを設定してベーシックパフォーマンスの制限を超えることができます。条件を満たしている場合、必要に応じ ていつでも追加パフォーマンスを設定して調整することができます。詳細については、拡張型SSD CBSパフォー マンスの説明をご参照ください。

ご注意:

現在は**拡張型SSD CBS**のみがパフォーマンスの個別調整をサポートしています。

ベーシックパフォーマンスが最大値に達したので、追加パフォーマンスを個別調整することができます。 CBSパフォーマンス調整期間は、業務の実施や通常の使用には影響を与えません。

CBSパフォーマンス調整費用の説明

パフォーマンスのアップグレード

CBS従量制課金について:すぐに有効になります。新たに設定した価格で課金計算を開始します。

パフォーマンスのダウングレード

CBS従量制課金について:すぐに有効になります。新たに設定した価格で課金計算を開始します。

パフォーマンスのアップグレード

コンソールを使用したパフォーマンスのアップグレード

前提条件を満たす場合、次の手順でパフォーマンスをアップグレードできます。

1. CBSコンソール にログインします。

2. リージョンを選択し、パフォーマンスを調整するCBSを選択します。

3. 対象のCBSのその他>パフォーマンス調整を選択します。

4. ポップアップした「パフォーマンス調整」ウィンドウで調整する対象の設定を選択します。

5. 説明を確認して、調整を開始します。

APIを使用したパフォーマンスのアップグレード

ModifyDiskExtraPerformanceインターフェースを使用して、指定したクラウドディスクのパフォーマンスをアップ グレードできます。具体的な操作については、CBSの追加パフォーマンスの調整 をご参照ください。

パフォーマンスのダウングレード

コンソールを使用したパフォーマンスのダウングレード

前提条件を満たす場合、次の手順でパフォーマンスをダウングレードできます。

1. CBSコンソール にログインします。

2. リージョンを選択し、パフォーマンスを調整するCBSを選択します。

3. 対象のCBSのその他>パフォーマンス調整を選択します。

4. ポップアップした「パフォーマンス調整」ウィンドウで調整する対象の設定を選択します。

5. 説明を確認して、調整を開始します。

APIを使用したパフォーマンスのダウングレード

ModifyDiskExtraPerformanceインターフェースを使用して、指定したクラウドディスクのパフォーマンスをダウン グレードできます。具体的な操作については、CBSの追加パフォーマンスの調整をご参照ください。

ネットワーク

VPCサービス切替

最終更新日:::2024-03-26 14:58:53

操作シナリオ

Tencent Cloud上のネットワークは基幹ネットワークとプライベートネットワークに分かれ、両者はユーザーにそ れぞれ優れたサービスを提供します。これに基づいて、より柔軟なサービスを提供し、ネットワーク管理を容易に します。

ネットワーク間の切り替え

基幹ネットワークからVPCへの切り替え:Tencent Cloudは単一のCVMおよび複数のCVMの基幹ネットワークから VPCへの切り替えサービスをご提供いたします。

VPC AからVPC Bへの切り替え: Tencent Cloudは単一のCVMおよび複数のCVMのVPC AからVPC Bへの切り替え サービスをご提供いたします。

カスタマイズIPの設定

自身でインスタンスの元のプライベートIPおよびHostName能力を保持することを選択します

前提条件

移行前に、プライベート/パブリックネットワークのCLBおよびすべての補助Elastic Network Interface(ENI)のバ インドを自身で解除し、プライマリENIの補助IPをリリースしてください。移行後に再びバインドします。

操作手順

インスタンスのネットワーク属性の判断

1. CVMコンソールにログインします。

2.「インスタンス」リストページで、実際に使用されているビューモードに従い、ネットワークを切り替えたい ターゲットインスタンスを確認します。

リストビュー

タブビュー

下図に示すように、「インスタンス設定」に表示されているネットワークが「基幹ネットワーク」であれば、そ のインスタンスが所属するネットワークは基幹ネットワークです。

(Create	Start up	Shutdown	Restart	Reset Password	More Actions 👻	
Se	eparate keyw	vords with " "; pro	ess Enter to separa	te filter tags			
-	ID/Name		Monitoring	Status 🔻	Availability Zon 🔻	Instance Type T	Instance Configuration
~	ins	x 	di	Running TerminateInstanc es failed	Guangzhou Zone 3	Standard S3	1-core 1GB 10I System disk: Pi Cloud Storage Network: Classic network

「基本情報」の中の「ネットワーク情報」に表示されているネットワークが「基幹ネットワーク」であれば、そ のインスタンスが所属するネットワークは基幹ネットワークです。

ご注意:

基幹ネットワークからVPCへの切り替え後は元に戻せません。CVMからVPCへの切り替え後、その他の基幹ネットワークのクラウドサービスとは相互接続できません。

基幹ネットワークからVPCに切り替える前に、移行したい基幹ネットワークCVMと同一リージョンのVPC、なら びに同一のアベイラビリティーゾーンのサブネットワークを事前に作成しておく必要があります。具体的には VPCの作成 をご参照ください。

インスタンスのネットワーク属性を把握した後は、必要に応じて VPCへの切り替え 手順を参照し、対応する操作 を行ってください。

VPCへの切り替え

1. CVMコンソール にログインします。

2.「インスタンス」ページで、ターゲットインスタンスをVPCに切り替えます。

リストビュー

タブビュー

単一インスタンスのVPCへの切り替え

下図に示すように、ネットワークを切り替えたいターゲットインスタンスを選択し、右側の操作バーで、その他> リソース調整 > VPCへの切り替えを選択します。



Network billing mod Y Pro		Project 🔻		Operation	
Bill by traff	Default Proje	ct	Log In More 🔻		
			Purch	ase with same conf	igurations
			Instan	ce Status	×
Bill by traff	ïc	Default Proje	Instance Settings		Þ
			Reinst	tall the system	
			Passw	vord/key	Þ
Bill by traf	Adjust Configuration		Resou	Irce Adjustment	Þ
	Expand Data Disk		Create	e Image	
	Expand System Disk Change Disk Media Type Adjust Network Switch VPC Add to Bandwidth Package		IP/EN	I	F
			Secur	ity Groups	Þ
Bill by traf			ct	Log In More 🔻	

複数インスタンスのVPCへの切り替え

下図に示すように、ターゲットインスタンスのVPCへの一括切り替えを行う必要がある場合は、ネットワークを 切り替えたいインスタンスにチェックを入れ、インスタンスリストの上方で、その他の操作 > リソース調整 > VPCへの切り替えを選択します。

ご注意:

CVMのネットワークタイプを一括で切り替える場合は、選択するCVMが必ず同一のアベイラビリティーゾーンに なければなりません。

Create Start u	Shutdov	wn Restart	Reset Pass	word	More Actions 👻]
Separate keywords with	Terminate/Return	n				
	Monitori ng				Instance Setting	s⊧
- ID/Name		Status T	Availability Z 🔻	Instance	Load a key	
	di	Running	Adjust Network		Resource Adjust	tment 🕨
ins 🚬			3 Switch VPC		Add to security g	group
		TerminateInstan			CI	oud Stor
		ces railed			INC	etwork: L
in.	di	🐼 Running	Guangzhou Zone	Big Data	D21 8-	core 320
			3		Sy	stem dis
					Ne	etwork:

下図に示すように、ネットワークを切り替えたいターゲットインスタンスのタブを選択し、右上隅のその他の操 作>リソース調整>VPCへの切り替えを選択します。

Unna Initial login If you forgo	med 🖄 😰 🚺 name: root. You can d t your password, click	Running check the details of the newly kReset password	y created instances inMes	sage Center.		Log In Shutdown Restart
Basic Information	ENI Publi	ic IP Monitoring	Security Groups	Operation Logs	Run Commands	Uploading a file
😒 Instance Informatio	n					
Name	Unnamed 🎤			Project	Default Project	
Instance ID	ins-7w8spi00			Tags	None 🧨	
UUID			jā	Key	None	
Instance Specification	Standard S5	S5.SMALL2		Placement Group	None	

3. ポップアップした「VPCへの切り替え」ウィンドウで、注意事項を確認し、次のステップをクリックします。 4. VPCおよび対応するサブネットワークを選択し、次のステップをクリックします。
| witch VPC | | | | | |
|--|----------------|---|---------|-----|----------|
| Preparation > 2 | Select Network | 3 | Set IP | > (| 4 Shutdo |
| /PC VPC1(vpc-p | | | Ŧ | | |
| Please select a subnet in Guangzhou Zo | one 3. | | | | |
| Search by subnet name/ID | | | | | |
| Name | ID | | CIDR | | Amour |
| O test0723 | subnet | I | 192.168 | | 240 |
| | | | | | |
| | | | | | |

5. 実際のニーズに応じて、下図のように現在選択されているサブネットワークでプライベートIPアドレスおよび HostNameオプションを設定します。

Switch VPC Preparation	> 🗸 Select Network > 3	Set IP > 4 Shutdo
Instance IP Address		
Instance Name	Instance ID	Pre-allocate IP
	ins-98tsl77k	Auto allocated if it's lef
Migrate to VPC		
Subnet		
Retain original private IP	● No ○ Yes You can choose to obtain a new private IP or retain the o	original private IP.
HostName Options *	Reset HostName Retain original HostName of While switching VPC, you can choose to reset the instance	the instance ce HostName or retain the old HostN
	Previous Next	Close

主なパラメータは次のとおりです:

IPアドレスの事前割り当て:インスタンスの元のプライベートIPを保持しない場合、「IPアドレスの事前割り当 て」と入力してください。入力されていない場合、システムが自動的に割り当てます。

インスタンスの元のプライベートIPを保持するかどうか:必要に応じてインスタンスの元のプライベートIPアドレ スを保持するかどうかを選択することができます。

HostNameオプション:必要に応じてインスタンスの元のHostNameを保持するかどうかを選択することができます。

6. 下図に示すように、次へをクリックして、シャットダウンプロンプトに従って操作を行い、移行開始をクリックし、コンソールページでインスタンスの変更ステータスを「インスタンスのvpc属性変更」とします。

ご注意:

移行プロセスでは、ホストのインスタンスを再起動する必要があります。その他の操作は行わないでください。 移行後、インスタンスの稼働状態を注意深くチェックし、プライベートネットワークのアクセスおよびリモートロ グインが正常かどうかチェックしてください。



cvm15-Big4-test	ılı	U Running ModifyInstances	Tokyo Zone 1	S2 👬	1-core 1 GB 1 Mbps System disk: Premium Ck Network: <mark>tes123</mark>	Bill by traffic
-----------------	-----	------------------------------	--------------	------	---	-----------------

一般的なパブリックIPアドレス

最終更新日:::2023-04-11 18:11:13

概要

このドキュメントでは、一般的なパブリックIPアドレスを使用する方法についてご紹介いたします。 一般的なパ ブリックIPはCloud Virtual Machineの購入時にのみ割り当てられます。CVMとの関連付けを解除することはできま せん。 購入時に割り当てられていない場合は、取得することができません。

説明:

従来のアカウントタイプでは、CVMからEIPの関連付けを解除すると、各アカウントは一般的なパブリックIPアド レスを1日あたり10回無料で再割り当てできます。

現在、一般的なパブリックIPアドレスは、General BGP IPのみサポートしています。

操作ガイド

次の一般的なパブリックIP機能を使用することができます。

機能タイ プ	操作シナリオ	関連ドキュメ ント
パブリッ クIPアド レスの復 元	誤操作によってパブリックIPアドレス(Elastic IPと一般的なパブリックIP を含む)をリリースまたは返却した場合は、パブリックIPコンソールで復 元でき、復元後のパブリックIPはElastic IPとなります。	-
一般的な パブリッ クIPをEIP に変換	CVMの一般的なパブリックIPをElastic IPに変換すると、変換後のElastic IP はいつでもCVMと関連付けおよび関連付け解除できるため、パブリックIP の柔軟な管理をさらに手軽に実現できます。	-
パブリッ クIPの変 更	CVMの一般的なパブリックIPを変更し、変更後、元のパブリックIPはリ リースされます。	CVMコンソー ルにおけるパ ブリックIPの 変更
ネット ワーク帯	必要に応じて、帯域幅または課金モデルを変更できます。変更が完了した 時点ですぐに反映されます。	ネットワーク 設定の調整



域幅の調	
整	

EIP

最終更新日:::2022-09-23 16:23:58

ユースケース

ElasticパブリックIPアドレス(EIP)は、Elastic IPアドレスまたはElastic IPと呼ばれます。ダイナミッククラウド コンピューティングのために設計した静的なIPアドレスであり、あるリージョンにおいて、固定パブリックIP ア ドレスと指します。EIPを使用すると、アドレスをアカウント内の別のインスタンスまたは NAT Gatewayインスタ ンス にマッピングでき、インスタンスの故障を避けられます。本ドキュメントはEIPの使用方法について紹介しま す。

EIPを申請する

1. CVMコンソール にログインしました。

- 2. 左側ナビゲーションバーで、Public IP をクリックし、EIPの管理画面にアクセスします。
- 3. EIPの管理画面で、申請をクリックします。リージョンを選択し、数量も記入します。
- 4. 申請が完成した後、申請したEIPをリストに表示され、この時はまだ未バインド状態になっています。

EIPにクラウド製品をバインドする

1. CVMコンソール にログインしました。

- 2. 左側ナビゲーションバーで、Public IP をクリックし、EIPの管理画面にアクセスします。
- 3. EIPの管理画面で、バインドする必要があるクラウド製品のEIPを選択し、バインドをクリックします。
- ご注意:

バインドする時に、EIP がすでにインスタンスにバインドされている場合は、最初にバインドを解除します。 4. ポップアップボックスでバインドするクラウド製品のタイプを選択し、対応するクラウド製品インスタンスID を選択し、[バインディング]ボタンをクリックして、クラウド製品とのバインディングを完成させます。

EIPにクラウド製品をバインド解除する

1. CVMコンソール にログインしました。

2. 左側ナビゲーションバーで、Public IP をクリックし、EIPの管理画面にアクセスします。

3. EIPの管理画面で、バインド解除する必要があるクラウド製品のEIPを選択し、バインド解除をクリックします。

4. **OK**をクリックします。

ご注意:

バインド解除が完成した後、クラウド製品のインスタンスが新しいパブリックネットワークIPにアサインされ、 バインディング前のパブリックネットワークIPと一致しない場合があります。

EIPをリリースする

1. CVMコンソール にログインしました。

2. 左側ナビゲーションバーで、Public IP をクリックし、EIPの管理画面にアクセスします。

3. EIPの管理画面で、リリースする必要があるクラウド製品のEIPを選択し、詳細>リリースをクリックします。 4. OKをクリックし、リリースを完成させます。

帯域幅を調整する

1. CVMコンソール にログインしました。

2. 左側ナビゲーションバーで、Public IP をクリックし、EIPの管理画面にアクセスします。

3. EIPの管理画面で、帯域幅を調整する必要があるEIPを選択し、帯域幅を調整するをクリックします。

4. 帯域幅を調整する画面で、目標帯域幅値を調整します。

5. OKをクリックし、調整を完成させます。

パブリックネットワークIPをEIPに置き換える

Cloud Virtual Machine (CVM)のインスタンスを購入する際と同時に購入したパブリックネットワークIPは普通の パブリックネットワークIPであり、Elastic機能を持たない、つまりマウントまたはアンマウントされることができ ません。以下のような操作手順に従って、普通のパブリックネットワークIPをEIPに置き換えることができます。 1. 左側ナビゲーションバーで、インスタンスをクリックし、インスタンスの管理画面にアクセスします。 2. EIPに置き換えたいインスタンスを選択し、

5 をクリックします。下図に示すように:

S Dedicated Hosts	Separate keywords with "[", a	nd separate tags u	sing the Enter key			Q View instances pending	repossession
 Reserved Instance Placement Group 	ID/Name	Monitorin g	Status T	Availability Zo 🕇	Instance Type 🔻	I This IP will not be changed and become an EIP. You C can activate up to 20 EIPs, and you've activated 3	Instance Billing Mode
& Dedicated Reservation		di	🔿 Running			EIP(s) now.	Pay-as-you-go Created at 2022-09-22 19:42:55
Images							
Cloud Block Storage		di	阏 Running			Naturda	Pay-as-you-go Created at 2022-09-22 19:40:30

3. ポップアップの「EIPに置き換える」ウインドウで、置き換えを確定するをクリックします。



異常をチェックする

EIPはネットワーク通信異常が発生した可能性があり、原因は以下のように:

EIPにクラウド製品がバインドされていません。バインドの方法は EIPにクラウド製品のバインド をご参照ください。

セキュリティポリシーが無効です。有効なセキュリティポリシー(セキュリティグループまたはネットワーク ACL)があるかどうかを確認します。バインドされたクラウド製品のインスタンスにセキュリティポリシーがあれ ば、例えば: 8080 ポートにアクセスを禁止すると、EIPの8080ポートにはアクセスできません。

ENI

最終更新日:::2023-05-12 17:22:54

CVMインスタンスのENIを設定するには、次の手順に従います。

1. ENIを作成します。

ENIの作成が完了したら、「ENIの表示」ページでENIの詳細情報を確認できます。

2. CVMインスタンスにENIをアタッチして構成する必要があります。(重要)

3. CVM およびVPCルートテーブルを設定します。

4. プライベートIPを割り当てます。

5. Virtual Private Cloud コンソールにログインします。

6. 画面左側のナビゲーションバーで「ENI」をクリックして、ENIリストページに進みます。

7. 「ENI ID/名前」をクリックすると、詳細情報が表示されます。

8. 「IP Management」をクリックして、詳細ページに進みます。

9. 「Assign private IP」をクリックして、IPアドレスの割り当て方法(自動割り当てまたは手動入力。手動入力を選択した場合は、適切なプライベート IP を入力する必要がある)を選択し、「OK」 をクリックします。

10. ENI を管理します。

プライベートIPの解放

CVMインスタンスからENIをデタッチする ENIの削除 EIPをENIに関連付ける ENIからEIPの関連付けを解除する プライマリプライベートIPの変更 ENIのサブネットの変更

パブリックネットワークゲートウェイの構成

最終更新日:::2023-02-16 10:20:28

警告:

単一のCloud Virtual Machine(CVM)をパブリックゲートウェイとして使用すると、シングルポイントリスクが あるため、本番環境では NAT Gateway を使用することをお勧めします。

注意:2019年12月06日以降、Tencent Cloudは、CVMの購入ページでのパブリックゲートウェイの選択と設定を サポートしません。必要に応じて、このドキュメントでの設定に従って、ご自身で設定してください。

概要

Tencent Cloud VPCの一部のCVMに共通のパブリックネットワークIPがないが、パブリックネットワークにアクセ スする必要がある場合は、パブリックネットワークIP(共通のパブリックネットワークIPまたはElasticパブリック ネットワークIP)を備えたCVMを使用してパブリックネットワークにアクセスできます。パブリックゲートウェ イCVMは、アウトバウンドトラフィックのソースアドレス変換を実行します。他のすべてのCVMがパブリック ネットワークにアクセスするトラフィックは、パブリックゲートウェイCVMを通過した後、ソースIPがパブリッ クゲートウェイCVMのパブリックネットワークIPアドレスに変換されます。下図の通りです:



前提条件

すでに CVMコンソール ログインしています。

パブリックゲートウェイCVMは、配置されているサブネット上にないルートの転送要求のみを転送できるため、 パブリックゲートウェイCVMは、パブリックゲートウェイを使用してパブリックネットワークにアクセスする必 要があるCVMと同じサブネット内に存在することはできません。



パブリックゲートウェイCVMはLinux CVMである必要があります。Windows CVMをパブリックゲートウェイとし て使用することはできません。

操作手順

手順1:Elasticパブリックネットワークへのバインディング(オプション)

説明:

パブリックゲートウェイとして使用されるCVMにすでにパブリックネットワークIPアドレスがある場合は、この 手順をスキップして次の手順を完了してください。

1. CVMコンソール にログインし、左側ナビゲーションバーでは、 ElasticパブリックネットワークIP をクリック して、ElasticパブリックネットワークIP管理ページへ進みます。

2. インスタンスをバインディングする必要があるElasticパブリックネットワークIPのアクションバーの下にあるその他 > バインディングを選択します。

		л	Not bound, incurring idle fee		Bill by hours			-
--	--	---	----------------------------------	--	---------------	--	--	---

3.「リソースのバインディング」ポップアップボックスで、パブリックゲートウェイとして選択された**CVM**イン スタンスを選択してバインディングします。

inter a name or ID			(
Instance ID/Name	Availability Zone	Private IP	Bound public IP
D	Guangzhou Zone 3		
C	Guangzhou Zone 3		
	Guangzhou Zone 4		

手順2:ゲートウェイが配置されているサブネットのルートテーブルの設定

ご注意:

ゲートウェイサブネットと共通サブネットを同じルートテーブルにアソシエイトすることはできません。独立し たゲートウェイルートテーブルを作成し、ゲートウェイサブネットをこのルートテーブルにアソシエイトしてく ださい。

1. カスタマイズルートテーブルの作成。

2. 作成後、サブネットへのアソシエイトアクションが要求されます。パブリックゲートウェイサーバーが配置されているサブネットを直接アソシエイトすることができます。

R Block/ Route table associat

手順3:共通サブネットのルートテーブルの設定

共通サブネットのルートテーブルを設定します。デフォルトでルーティングがパブリックゲートウェイCVMを経 由することで、共通サブネット内のCVMがパブリックゲートウェイのルーティング転送機能によってパブリック ネットワークにアクセスできるように設定します。

共通CVMが配置されているサブネットのルートテーブルに、次のルーティングポリシーを追加します:

ターゲット側:アクセスするパブリックネットワークアドレス。

ネクストホップタイプ:CVM。

ネクストホップ:手順1でElasticパブリックネットワークIPにバインディングされたCVMインスタンスのプライベートネットワークIP。

具体的な操作については、ルーティングポリシーの設定 をご参照ください。



0.0.0.0∕0	CVM	v		
		Crea	te a CVM	
ld a line				

手順4:パブリックゲートウェイの設定

1. パブリックゲートウェイCVM にログインし、次の操作を実行してネットワーク転送およびNATプロキシ機能を 有効にします。

1.1 次のコマンドを実行して、 usr/local/sbin ディレクトリにスクリプト vpcGateway.sh を新規作成します。





vim /usr/local/sbin/vpcGateway.sh

1.2 iを押して編集モードに切り替え、次のコードをスクリプトに書き込みます。





```
#!/bin/bash
echo "------"
echo " `date`"
echo "(1)ip_forward config....."
file="/etc/sysctl.conf"
grep -i "^net\\.ipv4\\.ip_forward.*" $file &>/dev/null && sed -i \\
's/net\\.ipv4\\.ip_forward.*/net\\.ipv4\\.ip_forward = 1/' $file || \\
echo "net.ipv4.ip_forward = 1" >> $file
echo 1 > /proc/sys/net/ipv4/ip_forward
[ `cat /proc/sys/net/ipv4/ip_forward` -eq 1 ] && echo "-->ip_forward:Success" || \\
echo "-->ip_forward:Fail"
```



echo "(2)Iptables set....."
iptables -t nat -A POSTROUTING -j MASQUERADE && echo "-->nat:Success" || echo "-->n
iptables -t mangle -A POSTROUTING -p tcp -j TCPOPTSTRIP --strip-options timestamp &
echo "(3)nf_conntrack config....."
echo 262144 > /sys/module/nf_conntrack/parameters/hashsize
[`cat /sys/module/nf_conntrack/parameters/hashsize` -eq 262144] && \\
echo "-->hashsize:Success" || echo "-->hashsize:Fail"
echo 1048576 > /proc/sys/net/netfilter/nf_conntrack_max
[`cat /proc/sys/net/netfilter/nf_conntrack_max` -eq 1048576] && \\
echo "-->nf_conntrack_max:Success" || echo "-->nf_conntrack_tcp_timeout_established` -eq 10800] \\
&& echo "-->nf_conntrack_tcp_timeout_established:Fail"

1.3 Escを押し、:wq を入力して、ファイルを保存して戻ります。
 1.4 次のコマンドを実行して、スクリプトファイルの権限を設定します。





```
chmod +x /usr/local/sbin/vpcGateway.sh
echo "/usr/local/sbin/vpcGateway.sh >/tmp/vpcGateway.log 2>&1" >> /etc/rc.local
```

2. パブリックゲートウェイのrpsの設定:

2.1次のコマンドを実行して、 usr/local/sbin ディレクトリにスクリプト set_rps.sh を新規作成します。





vim /usr/local/sbin/set_rps.sh

2.2 iを押して編集モードに切り替え、次のコードをスクリプトに書き込みます。





```
# !/bin/bash
echo "-----"
date
mask=0
i=0
total_nic_queues=0
get_all_mask() {
local cpu_nums=$1
if [ $cpu_nums -gt 32 ]; then
mask_tail=""
mask_low32="ffffffff"
```

```
idx=$((cpu_nums / 32))
cpu_reset=$((cpu_nums - idx * 32))
if [ $cpu_reset -eq 0 ]; then
mask=$mask_low32
for ((i = 2; i <= idx; i++)); do</pre>
mask="$mask,$mask_low32"
done
else
for ((i = 1; i <= idx; i++)); do</pre>
mask tail="$mask tail,$mask low32"
done
mask_head_num=$((2 ** cpu_reset - 1))
mask=$(printf "%x%s" $mask_head_num $mask_tail)
fi
else
mask_num=$((2 ** cpu_nums - 1))
mask=$(printf "%x" $mask_num)
fi
echo $mask
}
set_rps() {
if ! command -v ethtool &>/dev/null; then
source /etc/profile
fi
ethtool=$(which ethtool)
cpu_nums=$(cat /proc/cpuinfo | grep processor | wc -1)
if [ $cpu_nums -eq 0 ]; then
exit 0
fi
mask=$(get_all_mask $cpu_nums)
echo "cpu number:$cpu_nums mask:0x$mask"
ethSet=$(ls -d /sys/class/net/eth*)
for entry in $ethSet; do
eth=$(basename $entry)
nic_queues=$(ls -l /sys/class/net/$eth/queues/ | grep rx- | wc -l)
if (($nic_queues == 0)); then
continue
fi
cat /proc/interrupts | grep "LiquidIO.*rxtx" &>/dev/null
if [ $? -ne 0 ]; then # not smartnic
#multi queue don't set rps
max_combined=$(
$ethtool -1 $eth 2>/dev/null | grep -i "combined" | head -n 1 | awk '{print $2}'
)
#if ethtool -1 $eth goes wrong.
[[ ! "$max_combined" =~ ^[0-9]+$ ]] && max_combined=1
if [ ${max_combined} -ge ${cpu_nums} ]; then
```

```
echo "$eth has equally nic queue as cpu, don't set rps for it..."
continue
fi
else
echo "$eth is smartnic, set rps for it..."
fi
echo "eth:$eth queues:$nic_queues"
total_nic_queues=$(($total_nic_queues + $nic_queues))
i=0
while (($i < $nic_queues)); do</pre>
echo $mask >/sys/class/net/$eth/queues/rx-$i/rps_cpus
echo 4096 >/sys/class/net/$eth/queues/rx-$i/rps_flow_cnt
i=$(($i + 1))
done
done
flow_entries=$((total_nic_queues * 4096))
echo "total_nic_queues:$total_nic_queues flow_entries:$flow_entries"
echo $flow_entries >/proc/sys/net/core/rps_sock_flow_entries
}
set_rps
```

2.3 Escを押して、:wq を入力し、ファイルを保存して戻ります。2.4 次のコマンドを実行して、スクリプトファイルの権限を設定します。





chmod +x /usr/local/sbin/set_rps.sh
echo "/usr/local/sbin/set_rps.sh >/tmp/setRps.log 2>&1" >> /etc/rc.local
chmod +x /etc/rc.d/rc.local

3. 上記の設定が完了すると、パブリックゲートウェイCVMをリスタートして設定を有効にし、パブリックネット ワークIPがないCVMで、パブリックネットワークに正常にアクセスできるかどうかをテストします。

EIP直通

最終更新日:::2023-05-12 17:42:20

ユースケース

ユーザーがEIP経由でインターネットにアクセスする場合は、NATモードまたはEIP直通モードを選択することが できます。デフォルトは NATモードです。

NATモードでは、EIPはローカルマシンで表示されません。

EIP直通モードでは、EIPはローカルマシンで表示され、設定ごとに毎回手動でEIPアドレスを追加する必要がない ため、開発コストを最小限に抑えることができます。

NATモードは、ほとんどのニーズを満たすことができますが、CVMインスタンス内でパブリックIPを確認する場合は、EIP直通モードを使用する必要があります。

使用制限

現在、EIP直通モードはベータテスト期間中であり、ホワイトリストに登録されているユーザーのみ利用でき、 VPC内のデバイスのみをサポートしています。 この機能をご利用になりたい場合は、チケットを提出 してください。

NATゲートウェイは、直通モードが有効になっている EIPとバインドできますが、直通効果はありません。 CVMでは、EIP直通モードとNATゲートウェイを同時に有効にすることはできません。CVMが存在するサブネッ トに関連付けられたルーティングテーブルが、NATゲートウェイを介してパブリックネットワークにアクセスす るルーティングポリシーを設定している場合、CVMのEIPを介して直通機能を実現できません。NATゲートウェイ とEIPの優先順位を調整 することで、CVMがEIPを介してパブリックネットワークにアクセスできるようにするこ とができます。この場合、EIP直通機能を実現できます。

操作手順

EIP直通モードを使用するには、コンソールでEIPを有効にし、OS内でIPをENIに追加する必要があります。また、アプリケーションに基づいてOSでルーティングを構成する必要があります。そのため、プライベートネット ワークトラフィックがプライベートIPを通過し、パブリックネットワークトラフィックがパブリックIPを通過する ように、IPを構成するためのスクリプトを提供します。

説明:

具体的なアプリケーションに応じてルーティングを構成してください。

Linux CVMでEIP直通を構成する

説明:

Linuxスクリプトは、CentOS 6 以降およびUbuntuをサポートします。

Linuxスクリプトは、プライマリENI(eth0)のみをサポートし、現在、セカンダリENIはサポートしません。 プライマリENIにバインドされているパブリックIPがEIPでない場合は、先にパブリックIPアドレスをEIPに変換す る必要があります。詳細については、パブリックIPからEIPへの変換をご参照ください。

シナリオ

Linuxスクリプトは、次のシナリオに適用できます。プライベートIPとパブリックIPの両方がプライマリENI (eth0)にバインドされ、パブリックネットワークアドレスがパブリックIPを介してアクセスされ、プライベー トネットワークアドレスがプライベートIPを介してアクセスされます。

手順1: EIP直通スクリプトをダウンロードする

EIP直通モードを有効にするプロセスを開始すると、ネットワークの中断を引き起こす可能性があります。そのため、事前にEIP直通用のスクリプトをダウンロードしてCVMにアップロードする必要があります。次のいずれかの 方法でスクリプトを取得できます。

方式1:EIP直通スクリプトをアップロードする

1.1 EIP直通の構成スクリプトをダウンロードします。

1.2 Linux スクリプトをローカルにダウンロードした後、EIP直通が必要なCVMにアップロードします。

方法2:コマンドを直接使用する

CVMにログインし、CVMで次のコマンドを実行してスクリプトをダウンロードします。





wget https://network-data-1255486055.cos.ap-guangzhou.myqcloud.com/eip_direct.sh

手順2:EIP直通スクリプトを実行する

1. EIP直通が必要なCVMにログインします。

- 2. EIP直通スクリプトを実行します。詳細手順:
- 2.1 次のコマンドを実行して、実行権限を追加します。





chmod +x eip_direct.sh

2.2 次のコマンドを実行して、スクリプトを実行します。





./eip_direct.sh install XX.XX.XX.XX

そのうち、XX.XX.XX.XXはEIPアドレスで、オプションです。入力しない場合、 ./eip_direct.sh install を直接実行します。

手順3:EIP直通を有効にする

1. EIPコンソール にログインします。

2. ターゲットEIPを見つけ、右側の操作バーで【More】>【Direct connection】をクリックします。



Windows CVMでEIP直通を構成する

説明:

WindowsでEIP直通を使用するには、プライベートIPとパブリックIPそれぞれ1枚のENIが必要です。パブリックIP をプライマリENIにバインドし、プライベートIPをセカンダリENIにバインドします。

WindowsでEIPを構成するプロセスに、インターネットに接続できない場合があります。この場合、 VNCを介して Windowsインスタンスにログイン することをお勧めします。

プライマリENIにバインドされているパブリックIPがEIPでない場合は、先にパブリックIPアドレスをEIPに変換す る必要があります。詳細については、パブリックIPアドレスのEIPアドレスへの変換 をご参照ください。

シナリオ

Windowsスクリプトは、次のシナリオに適用できます。パブリックネットワークトラフィックはプライマリENIを 通過し、プライベートネットワークトラフィックはセカンダリENIを通過します。

手順1: EIP直通スクリプトをダウンロードする

EIP直通モードを有効にするプロセスを開始すると、ネットワークの中断を引き起こす可能性があります。そのため、事前にEIP直通用のスクリプトをダウンロードしてCVMにアップロードする必要があります。 CVMのブラウザで次のリンクを開いて、EIP直通スクリプトのダウンロードを行ってください。





https://windows-1254277469.cos.ap-guangzhou.myqcloud.com/eip_windows_direct.bat

手順2:セカンダリENIを構成する

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスリストで、構成するCVM IDをクリックし、詳細ページに進みます。

3. 【ENI】タブを選択し、【Bind ENI】をクリックし、プライマリENIと同じサブネットのENIを新規作成します。

= 0	10	(tke_cls-1sr	n3sb92_worker)		
asic Info	ENI	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs
After bin	iding an EN	NI to the instanc	e, you need to log	into the instance to cor	nfigure IP and routing.Check Operation Guidelines 🛂
Bind ENI					
>			(Prim	ary)	
Private IP	•			Туре	Bound public IP
				Primary IP	

4. ポップアップボックスで、【Create and Bind an ENI】を選択し、関連情報を入力し、【Assign IP】のセクションで【Automatic Assignment】を選択し、【OK】をクリックします。

Bind ENI		×
Please select the E This instance can b IPs,Learn More Ab O Bind an Existing	NIs you want to bind to be bound with 2 ENIs. Each ENI can be bound with 2 private out ENI Quota 22 g ENI O Create and Bind an ENI	
Name	Please enter the ENI name	
Region	Guangzhou	
Network	C)	
Subnet	▼ ار	
Availability Zone	Guangzhou Zone 3	
Available IPs	1/2 IPs (Available IPs for current subnet: 4091)	
Assign IP	Primary	
	Add a secondary IP	
	automatically	
	OK Cancel	

手順3:プライマリENIのEIP直通を構成する

1. EIPコンソール にログインします。

2. プライマリENIにバインドされているEIPを見つけて、右側の操作バーで【More】>【Direct Connection】をクリックします。

手順4: CVMでIPを構成する

1. CVMにログインします。この操作により、パブリックネットワークが切断される可能性があります。したがって、VNCを介してWindowsインスタンスにログインする必要があります。

2. OSのインターフェースで、左下の



をクリックして、「Windows PowerShell」ウィンドウを開き、 firewall.cpl を入力してEnterキーを押す と、「Windowsファイアウォール」ページを開きます。

3. 画面左側の項目から Windowsファイアウォールの有効化または無効化をクリックします。「設定のカスタマイズ」画面が表示されます。



4. 「プライベートネットワークの設定」と「パブリックネットワークの設定」のいずれか、もしくは両方で Windows ファイアウォールを無効にする(推奨されません)を選択し、【OK】をクリックします。

→ • ↑ 🕍	Control Panel > System and Security > Windows Defender Firewall > Customize Settings	~
Custor	mize settings for each type of network	
You can	modify the firewall settings for each type of network that you use.	
Private	network settings	-
	◯ Turn on Windows Defender Firewall	
•	Block all incoming connections, including those in the list of allowed apps	
	Notify me when Windows Firewall blocks a new app	
S	Turn off Windows Defender Firewall (not recommended)	
Public r	network settings	_
	◯ Turn on Windows Defender Firewall	
•	Block all incoming connections, including those in the list of allowed apps	
	Notify me when Windows Firewall blocks a new app	
	Turn off Windows Defender Firewall (not recommended)	
•		

5. 手順1でダウンロードしたスクリプトをダブルクリックして実行し、パブリックIPアドレスを入力して、Enter キーを2回押します。

6. 「Windows PowerShell」ウィンドウで ipconfig を入力してEnterキーを押すと、プライマリENI上のIPv4ア ドレスがパブリックネットワークアドレスに変更されていることが分かります。

说明:

EIP直通が有効になっている場合、プライマリENIに再度プライベートIPを構成しないでください。構成した場合、CVMはパブリックネットワークにアクセスできなくなります。

セキュリティ セキュリティグループ セキュリティグループの概要

最終更新日:::2022-06-29 11:06:37

セキュリティグループは、ステートフルパケットをフィルタリングする機能を備えた仮想ファイアウォールです。 CVM、Cloud Load Balancer(CLB)、クラウドデータベースなどのインスタンスを設定するネットアクセス制御、イ ンスタンスレベルのインバウンド・アウトバウンドトラフィックの制御のために使用されます。ネットワークセ キュリティに対する重要な隔離手段です。

セキュリティグループルールを設定することにより、セキュリティグループ内のインスタンスのインバウンドお よびアウトバウンドトラフィックを許可または拒否できます。

セキュリティグループの特徴

セキュリティグループは、論理グループであり、同一リージョン内にある同じネットワークセキュリティ分離要 件を持つCVM、ENI、TencentDBなどのインスタンスを同じセキュリティグループ内に追加することができます。 セキュリティグループにルールが追加されていない場合、デフォルトではすべてのトラフィックが拒否されます。 お客様が適切な許可ルールを追加してください。

セキュリティグループはステートフルであり、許可されたインバウンドトラフィックに対して、自動的にアウト バウンドも許可され、逆の場合も同じです。

いつでもセキュリティグループルールを変更できます。新しいルールはすぐに有効になります。

使用制限

セキュリティグループの使用制限とクォータについては、 使用制限一覧 のセキュリティグループに関連する制限 の章をご参照ください。

セキュリティグループルール

構成要素

セキュリティグループルールの構成要素は、以下のことを含みます: ソース:ソースデータ(インバウンド)またはターゲットデータ(アウトバウンド)のIPアドレス。 プロトコルタイプとプロトコルポート:プロトコルタイプは、 TCP、UDPなどです。 ポリシー:許可または拒否。

ルールの優先順位

セキュリティグループ内のルールは、優先順位があります。リストの一番上が、最も優先順位が高くなります。下 になるほど優先順位は低くなります。

ルールに競合がある場合、優先順位の高いルールがデフォルトで優先されます。

特定のセキュリティグループにバインドされたインスタンスに入る/出るトラフィックがある場合、セキュリティ グループルールリストの一番上にあるルールから順に最後までマッチングを実行します。特定のルールのマッチン グに成功した(通過許可/通過拒否)場合は、このルール以降のルールのマッチングを停止します。

複数のセキュリティグループ

1つのインスタンスを1つまたは複数のセキュリティグループにバインドすることができます。インスタンスを複数のセキュリティグループにバインドする場合は、複数のセキュリティグループが一番上から一番下まで順に マッチングを実行します。いつでもセキュリティグループの優先順位を調整することができます。

セキュリティグループテンプレート

セキュリティグループを新規作成する際に、Tencent Cloudが提供する2つのセキュリティグループテンプレートの いずれかを選択できます。

すべてのポートを開放:すべてのインバウンドおよびアウトバウンドトラフィックの通過が許可されます。 主要なポートを開放:ポートTCP 22(Linux SSHログインの場合)、ポート80および443(Webサービスの場 合)、ポート3389(Windowsリモートログインの場合)、ICMPプロトコル(Pingコマンドの場合)、およびプラ イベートネットワークをインターネットにオープンします。

説明:

提供されたセキュリティグループテンプレートがお客様の要求を満たさない場合は、カスタムセキュリティグ ループを新規作成することができます。詳細については、セキュリティグループの作成、セキュリティグループの 適用例 をご参照ください。

アプリケーション層(HTTP/HTTPS)に対するセキュリティ保護要件がある場合は、別途、Tencent Cloud Web Application Firewall (WAF) を購入することができます。WAFはアプリケーション層のWebセキュリティ保護を提 供し、Web脆弱性攻撃、悪意あるクローラやCC攻撃などの行為を食い止め、サイトやWebアプリケーションのセ キュリティを保護します。

使用手順

セキュリティグループの使用手順は下図のとおりです:


セキュリティグループのベストプラクティス

セキュリティグループの作成

APIを介してCVMを購入する場合、セキュリティグループを指定することをお勧めします。セキュリティグループ が指定されていない場合、システムによって自動的に生成されたデフォルトのセキュリティグループが使用され ます。またデフォルトのセキュリティグループは削除できません。デフォルトのルールはすべてのIPv4をオープ ンすることであり、作成された後に状況に応じて変更することができます。

インスタンス保護ポリシーを変更する必要がある場合は、新しいセキュリティグループを作成するのではなく、 既存のルールを変更することをお勧めします。

ルールの管理

ルールを変更したい場合は、まず現在のセキュリティグループをエクスポートしてバックアップすることができ ます。新たなルールに悪影響がある場合は、以前のセキュリティグループルールをインポートして復元することが できます。

複数のセキュリティグループルールが必要となる場合には、パラメータテンプレートを使用してください。

セキュリティグループと関連付ける

インスタンスごとに個別のセキュリティグループを設定する必要がなく、同じ保護要件を持つインスタンスを同 じセキュリティグループに追加することができます。

過剰な数のセキュリティグループを1つのインスタンスにバインドすることを回避してください。セキュリティグ ループルール同士の競合により、ネットワークに接続できなくなる場合があります。

セキュリティグループの作成

最終更新日:::2023-05-12 18:01:04

シナリオ

セキュリティグループは、CVMインスタンスの仮想ファイアウォールとして機能し、各CVMインスタンスは少な くとも1つのセキュリティグループに関連付ける必要があります。CVMインスタンスを作成する際に、セキュリ ティグループを作成したことがない場合には、Tencent Cloudは、デフォルトのセキュリティグループを作成する ための「**すべてのポートを開放する**」と「**22、80、443、3389ポートとICMPプロトコル**を開放する」の2つのテ ンプレートが用意されています。詳細については、セキュリティグループの概要 をご参照ください。 デフォルトのセキュリティグループがニーズを満たさない場合は、本ドキュメント内の説明に従って独自のセ キュリティグループを作成することもできます。このドキュメントでは、CVMコンソールでセキュリティグルー プを作成する方法について説明します。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで**セキュリティグループ**をクリックすると、セキュリティグループ管理ページに進みます。

3. セキュリティグループ管理ページで【リージョン】を選択し、【Create】をクリックします。

4. 「Create security group」ページで、次の設定を完了します。次の図に示すとおり:

Create a se	ecurity group		×
Template	Open all ports	Ŧ	
Name	Open all ports-2020030517310818894		
Project	DEFAULT PROJECT	Ŧ	
Notes	All ports open for both Internet and private network (HIGH-RISK)		
Display tem	oplate rule OK Cancel		

テンプレート:ニーズに合った最適なテンプレートを選んでください。一目で分かるように以下で図にまとめました:

テンプレート	説明	備考
すべてのポー トを開放	デフォルトではすべてのポートが開いています。セキュリ ティ上の問題が発生する可能性があります。	-
22、80、 443、3389 ポートとICMP プロトコルを 開放	デフォルトでは22、80、443、3389ポートとICMPプロトコ ルを開放し、すべてのポートはプライベートネットワーク で開いています。	セキュリティグループ内 のインスタンスは Web サービスを配備する必要 があります。
カスタマイズ	セキュリティグループの作成が完了した後、必要に応じて セキュリティグループルールを自ら追加します。操作の詳細 については、セキュリティグループルールの追加 をご参照 ください。	-

名前:セキュリティグループの名前をカスタマイズします。

プロジェクト:デフォルトで「デフォルトプロジェクト」が選択されていますが、後で管理しやすいようにその 他のプロジェクトを指定することができます。

備考:カスタム。セキュリティグループの簡単な説明。

5. 【OK】をクリックして、セキュリティグループの作成を完了します。

セキュリティグループのテンプレートとして「Custom」を選択した場合は、セキュリティグループを作成した



後、【Add rules now】をクリックして セキュリティグループルールを追加 できます。

セキュリティグループルールの追加

最終更新日:::2020-11-02 11:38:23

概要

セキュリティグループは、パブリックネットワークまたはプライベートネットワークからのアクセス要求を受け 入れるかどうかを管理するために使用されます。セキュリティ上の理由から、ほとんどのインバウンドトラフィッ クはデフォルトで拒否されます。セキュリティグループの作成際には「すべてのポートを開放」テンプレートまた は「22、80、443、3389ポートおよびICMPプロトコルを開放」テンプレートを選択した場合、選択したテンプ レートのタイプに応じて、システムが一部の通信ポートにセキュリティグループのルールを自動的に追加します。 詳細については、セキュリティグループの概要をご参照ください。

このドキュメントでは、セキュリティグループルールを追加して、セキュリティグループ内のCVMインスタンス からパブリックネットワークまたはプライベートネットワークへのアクセスを許可または拒否する方法について 説明します。

注意事項

セキュリティグループルールは、IPv4およびIPv6ルールをサポートします。 **すべてのポートを開放し、IPv**4とIPv6の両方のトラフィックが許可されます。

前提条件

セキュリティグループが作成されました。具体的な操作については、セキュリティグループの作成 をご参照くだ さい。

CVMインスタンスが許可または拒否する必要があるパブリックネットワークまたはプライベートネットワークへのアクセスはすでに了解します。セキュリティグループのルール設定に関する適用例の詳細については、セキュリティグループの適用例をご参照ください。

操作手順

1. CVMコンソールにログインします。

 左側のナビゲーションバーで、セキュリティグループをクリックすると、セキュリティグループ管理ページに 進みます。 3. セキュリティグループ管理ページで、リージョンを選択し、ルールを設定するセキュリティグループを見つけます。
 4. 「操作」列の「Modify Rules」をクリックします。

5.

セキュリティグループルールページで

、「Inbound rules」をクリックし、実際のニーズに応じて次のいずれかの方法を選択してルールを追加します。<

÷	
Security Group Rule	Associate with Instance
Inbound rule	Outbound rule
Add a Rule	Import rule Sort Delete Open all ports How to Set 🗹

説明:

次の操作は方式2:「ルールの追加」を例にします。

方式1: すべてのポートを開放します。この方法は、ICMPプロトコルルールを設定せずに、すべてのトラフィックがポート20、21、22、80、443、および3389とICMPプロトコルを通過する場合に最適です。

方式2:ルールを追加します。この方法は、上記以外の複数のプロトコルとポートを使用する必要がある場合に最 適です。

6. ポップアップウィンドウで、ルールを設定します。

Гуре	Source (i)	Protocol port (j)	Policy Not
Custom	 IP or IP ranges, etc. (IPv4 / IPv6) 	For example, UDP:53, TCP:80,443 or TCP:8	Allow 🔻
		+ New Line	

ルールの追加に関する主なパラメータは下記の通りです。

タイプ:デフォルトでは「カスタム」が選択されますが、「Windowsログイン」テンプレート、「Linuxログイン」テンプレート、「Ping」テンプレート、「HTTP(80)」テンプレートおよび「HTTPS(443)」テンプレートなどの他のシステムルールテンプレートを選択することもできます。

ソース:トラフィックのソース(インバウンドルール)またはターゲット(アウトバウンドルール)としては、 下記選択肢のいずれかを指定してください。

指定のソース/ターゲット	説明
単一のIPv4アドレスまたは	CIDR表記法を使用します(例: 203.0.113.0 、 203.0.113.0/24 または 0.0.0.0/0 。そのうち、0.0.0/0はすべてのIPv4アドレスにマッチン
IPv4アドレス範囲	グしていることを表します)。
単一のIPv6アドレスまたは IPv6アドレス範囲	CIDR表記法を使用します (例: FF05::B5 、 FF05:B5::/60 、 ::/0 または 0::0/0 。その うち、::/0または0::0/0はすべてのIPv6アドレスにマッチングしていることを 表します)。
セキュリティグループIDの	現在のセキュリティグループは、CVMに関連付けられたセキュリティグルー
引用。以下のセキュリティ	プIDを表します。
グループのIDを引用できま	その他のセキュリティグループは、同一エリア内の同一プロジェクト下の別
す:	のセキュリティグループIDを表します。
現在のセキュリティグルー	説明:
プ	セキュリティグループのID引用は拡張機能であり、オプションとして利用す
その他のセキュリティグ	ることができます。引用されるセキュリティグループのルールは現在のセ
ループ	キュリティグループに追加されません。

	セキュリティグループルールを設定するとき、ソース/ターゲットにセキュリ ティグループIDが入力されると、パブリックIPアドレスを除き、このセキュ リティグループIDに関連付けられているCVMインスタンス、ENIのプライ ベートIPアドレスをソース/ターゲットとすることを示します。
パラメーターテンプレート 内のIPアドレスオブジェク トまたはIPアドレスグルー プオブジェクトを引用しま す	_

プロトコルポート:プロトコルタイプとポート範囲を記入します。プロトコルタイプはTCP、UDP、ICMP、

ICMPv6およびGREをサポートします。また パラメータテンプレート のプロトコル/ポートまたはプロトコル/ポー トグループを引用してもよい。プロトコルポートは次の形式をサポートします。

TCP:80 のような単一ポート。

TCP:80,443 のような複数のポート。

TCP:3306-20000 のようなポート範囲。

TCP:ALL のようなすべてのポート。

ポリシー:デフォルトで「許可」が選択されます。

許可:このポートへのトラフィックが許可されます。

拒否:データパケットを直接破棄し、いかなる応答情報も戻しません。

備考:ユーザー設定が可能で、今後管理のため、ルールを簡単に記述します。

7.

【Complete】をクリックし、セキュリティグループのインバウンドルールの追加を完了します。

8. セキュリティグループルールページで、「Outbound rule」をクリックし、ステップ5-ステップ7を参照して、セキュリティグループのアウトバウンドルールの追加を完了します。

インスタンスをセキュリティグループに関連 付ける

最終更新日:::2023-05-15 10:25:25

説明:

セキュリティグループは、CVM、ENI、TencentDB for MySQL、およびCLBに関連付けることができます。このド キュメントでは、セキュリティグループをCVMインスタンスに関連付ける方法について説明します。

概要

セキュリティグループは、単一または複数のCVMインスタンスのネットワークアクセス制御を設定するために使用され、ネットワークを守る非常に高度なセキュリティソリューションです。必要に応じて、CVMインスタンスを1つ以上のセキュリティグループに関連付けることができます。以下では、コンソールでCVMインスタンスをセキュリティグループに関連付ける方法について説明します。

前提条件

CVMインスタンスが作成されました。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで、 **セキュリティグループ**をクリックして、セキュリティグループ管理ページに進みます。

3. セキュリティグループ管理ページで、**地域**を選択し、ルールの設定を必要とするセキュリティグループを見つ けます。

4. ルールの設定を必要とするセキュリティグループの行では、操作列のManage Instancesをクリックして、関連 付けるインスタンスページに進みます。

5. Add Instance をクリックします。

6. 「Add Instance」ダイアログボックスで関連付けるインスタンスを選択し、**OK**をクリックします。 説明:

複数のセキュリティグループをインスタンスに関連付けると、関連付けた順序で実行されます。セキュリティグ ループの優先順位を調整するには、セキュリティグループの優先順位の調整 をご参照ください。

後続の操作

特定の地域で利用可能なすべてのセキュリティグループを一覧表示するには、セキュリティグループのリストを クエリできます。

操作の詳細については、セキュリティグループの表示 をご参照ください。

CVMインスタンスとセキュリティグループの関連付けを解除したい場合は、CVMインスタンスをセキュリティグ ループから削除できます。

操作の詳細については、セキュリティグループから削除 をご参照ください。

セキュリティグループが不要になった場合は、削除できます。セキュリティグループが削除されると、セキュリ ティグループ内のすべてのルールが同時に削除されます。

操作の詳細については、セキュリティグループの削除 をご参照ください。

セキュリティグループ セキュリティグループのコピー

最終更新日:::2023-05-15 16:47:23

シナリオ

次の場合には、セキュリティグループをコピーする必要があります。

リージョンAにセキュリティグループsg-Aを作成し、リージョンBのインスタンスに対してsg-Aと同じルールを使用する必要があるとします。新しいセキュリティグループを最初から作成する代わりに、セキュリティグループ sg-Aをリージョン Bへ直接コピーすることができます。

サービスに新しいセキュリティグループルールを実行する必要がある場合は、バックアップとして古いセキュリ ティグループルールをコピーすることができます。

注意事项

デフォルトでは、セキュリティグループをコピーすると、元のセキュリティグループと同じインバウンドルールと アウトバウンドルールでコピーが作成され、このセキュリティグループに関連付けられたインスタンスはコピーさ れません。

複数のプロジェクト、リージョンにわたってセキュリティグループをコピーできます。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで、**セキュリティグループ**をクリックして、セキュリティグループ管理ページに進 みます。

3. セキュリティグループ管理ページで、**リージョン**を選択し、コピーするセキュリティグループを見つけます。

4. ターゲットセキュリティグループの横にある【More】>【Clone】をクリックします。

5. 「Clone security group」画面が表示されます。この画面で【Target project】と【Target region】を選択し、新しいセキュリティグループの【New name】を入力します。【OK】をクリックします。

セキュリティグループの優先順位の調整

最終更新日:::2023-04-10 18:36:38

概要

1つのCVMインスタンスは、複数のセキュリティグループに関連付けることができます。複数のセキュリティグ ループをインスタンスに関連付けると、これらのセキュリティグループは優先順位に基づいて実行されます。以下 の操作によりセキュリティグループの優先順位を調整することができます。

前提条件

CVMインスタンスは、2つ以上のセキュリティグループに関連付けられています。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

- 2. インスタンス管理画面で、CVMインスタンスIDをクリックして詳細ページに移動します。
- 3. セキュリティグループタブをクリックして、セキュリティグループ管理ページに入ります。

4. 「Bound security groups」モジュールで Sortをクリックします。

c Information	ENI	Public IP	Monitoring	Security Groups	Operation Logs			
		7 2010 11 6 11						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
V Note: Since	Jecember 1	7, 2019, the folio	wing limits have been	appiled: maximum secui	ity groups of an instance,	maximum instances of a	a security group, number of re	rerenced rules. Io learn more, please rerer to <u>i</u>
Bound with see	urity gro	up				Sort Bind	Rule preview	
Priority (j)			Security Group ID/N	lame	Operation		Inbound Rules	Outbound Rules
1					Unbind		•	Margaret and Article

5. 次のアイコンをクリックし、上下にドラッグし、セキュリティグループの優先順位を調整します。リストでの 順位が高いほどセキュリティグループの優先順位が高くなります。

	ce becember 17, 2019, the following limits have been applied: maximum security groups of an instance, m
Bound with	security group
Sec	urity Group ID/Name
Save	Cancel

6. 調整が完了したら、**Save**をクリックします。

セキュリティグループルールの管理 セキュリティグループルールの表示

最終更新日:::2023-05-10 15:16:14

シナリオ

セキュリティグループルールを追加した後、コンソールでその詳細を表示できます。

前提条件

セキュリティグループを作成し、少なくとも1つのルールを追加しました。 セキュリティグループの作成とセキュリティグループルールの追加について、セキュリティグループの作成と セ キュリティグループルールの追加 をご参照ください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで、**セキュリティグループ**をクリックして、セキュリティグループ管理ページに進みます。

3. セキュリティグループ管理ページで、**リージョン**を選択して、ルールを表示するセキュリティ グループを見つ けます。

ルールを表示するセキュリティグループIDをクリックして、セキュリティグループルールページに進みます。
 セキュリティグループルールページで、インバウンド/アウトバウンドルールタブをクリックして、すべてのインバウンドルールとアウトバウンドルールを表示できます。

セキュリティグループルールの変更

最終更新日:::2023-05-12 17:28:34

シナリオ

不適切なセキュリティグループルールを使っていた場合、セキュリティに深刻なリスクをもたらす可能性があり ます。たとえば、セキュリティグループルールは特定のポートへのアクセスを制限しません。セキュリティグ ループ内の不適切なルールを変更することで、CVMインスタンスのネットワークセキュリティを確保できます。 このドキュメントでは、セキュリティグループルールを変更する方法について説明します。

前提条件

セキュリティグループが作成され、ルールにこのセキュリティグループが追加されました。 セキュリティグループの作成とセキュリティグループルールの追加について、セキュリティグループの作成 と セ キュリティグループルールの追加 をご参照ください。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで、セキュリティグループをクリックして、セキュリティグループ管理ページに進みます。

3. セキュリティグループ管理ページで、**リージョン**を選択して、ルールを変更するセキュリティグループを見つ けます。

4. ルールを変更するセキュリティグループの行で、「操作」列の【Modify rule】 をクリックして、セキュリティ グループルールページに進みます。

5. セキュリティグループルールの方向(インバウンド/アウトバウンド)に応じて、【Inbound rules】または 【Outbound rules】タブをクリックします。

6. 変更するルールを見つけ、「操作」列の【Edit】ボタンをクリックして、既存のルールを変更します。 説明:

セキュリティグループルールを変更した後、CVMインスタンスを再起動する必要はありません。

セキュリティグループルールの削除

最終更新日:::2023-05-15 10:55:20

シナリオ

セキュリティグループルールが不要になった場合は、削除できます。

前提条件

セキュリティグループが作成され、ルールにこのセキュリティグループが追加されました。

セキュリティグループの作成とセキュリティグループルールの追加について、セキュリティグループの作成とセ キュリティグループルールの追加 をご参照ください。

CVMインスタンスが、パブリックネットワークまたはプライベートネットワークからのアクセスを許可または禁止する必要がないことを確認しました。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで、 **セキュリティグループ**をクリックして、セキュリティグループ管理ページに進みます。

3. セキュリティグループ管理ページで、**リージョン**を選択して、ルールを削除するセキュリティグループを見つ けます。

4. ルールを削除するセキュリティグループの行で、「操作」列の**Modify rule**をクリックして、セキュリティグ ループルールページに進みます。

5. セキュリティグループルールの方向(インバウンド/アウトバウンド)に応じて、**Inbound rules**または **Outbound rules**タブをクリックします。

6. 削除するセキュリティグループルールを見つけて、操作列のDeleteをクリックします。

7. その後表示されるダイアログで、**OK**をクリックします。

セキュリティグループルールのエクスポート

最終更新日:::2023-06-30 15:28:14

シナリオ

セキュリティグループルールをエクスポートし、バックアップ用にローカルに保存できます。

操作手順

1. CVMコンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションバーで、セキュリティグループをクリックして、セキュリティグループ管理ページに進みます。

Virtual Private Cloud	Security groups	🔇 Guangzhou 4 🔻	All projects
l目 Network Topology Map	Create Delete	Edit tags	
Virtual Private Cloud	ID/Name	Associated	inst Remark
Subnet		2	default security grou
Route Tables			
🗔 IP and Interface 🗸		3	1000
Shared Bandwidth Pack			
📋 NAT Gateway		. 4	Custom Template
A Peering Connections			Contract contract of a contract
VPN Connection *		9	System created secu
💮 Private Link 🛛 👻	Total items: 4		
Direct Connect Gateway			
Cloud Connect Network			
Security Group			
Network ACL			
Parameter Template			

3. セキュリティグループ管理ページで、**リージョン**を選択して、ルールをエクスポートするセキュリティグループを見つけます。

Virtual Private Cloud	Security groups	🔇 Guangzhou 4 🔻	All projects 💌	
l Retwork Topology Map	Create Delete	Recently Visited		
🔒 Virtual Private	ID/Name	Jakarta 4	Tokyo 7 Silicon \	/alley 5
Cloud		South China	Hong Kong/Macao/Taiwan (China) Southeast
Gubnet Subnet Sub		Guangzhou 4	Hong Kong, China 6	Jakarta 4
Route Tables		Qingyuan 6	Taiwan, China 2	
🔜 IP and Interface 🛛 👻				Western U
E Shared Bandwidth		East China	North America	Silicon Val
Pack		Shanghai 21	Toronto 2	
📋 NAT Gateway		Jinan 1		Southwest
A Peering		Hangzhou	North China	Chengdu 6
Connections		Nanjing 20	Beijing 34	Chongqing
VPN Connection *		Fuzhou 1	Shijiazhuang	
💮 Private Link 🛛 👻	Total items: 4	Hefei		Europe
Direct Connect			Southeast Asia	Frankfurt 1
Gateway			Singapore 12	Northeaste
Cloud Connect Network			Bangkok 4	
🐨 Security ^				
 Security Group 				
Network ACL				
 Parameter Template 				

4. ルールをエクスポートするセキュリティグループID/名をクリックして、セキュリティグループルールページに 進みます。

5. セキュリティグループルールページで、**Inbound rules/Outbound rules**タブをクリックします。 6. 画面の右上にある

▲ をクリックし、セキュリティグループルールをファイルにエクスポートし、ローカルデバイスに保存します。

Add rule Impo	ort rule Sort	Edit all	Delete	Open all common ports	How to Set 🗹	
Source (i) T	Pro	tocol+Port 🛈		Policy	Remark	
		N		Allow		
				Allow		
				Allow		
				Allow		
				Allow		
				Allow		

セキュリティグループの応用例

最終更新日:::2022-12-26 10:41:53

セキュリティグループの設定は、Cloud Virtual Machines(CVM)へのアクセスを管理するために使用され、セ キュリティグループのインバウンドとアウトバウンドルールを設定することにより、お客様のCVMにアクセスで きるかまたは他のネットワークリソースにアクセスできるかどうかを設定できます。

デフォルトでは、セキュリティグループのインバウンドとアウトバウンドルールは次のとおりです。

データセキュリティのため、セキュリティグループのインバウンドルールは拒否ポリシーであり、外部ネットワー クへのリモートアクセスを禁止します。CVMに外部からアクセスする必要がある場合は、対応するポートのイン バウンドルールを許可にする必要があります。

セキュリティグループのアウトバウンドルールは、お客様のCVMが外部ネットワークリソースにアクセスできる かどうかを設定するために用います。「すべてのポートを開放する」または「ポート22、80、443、3389を開放 し、ICMPプロトコルを許可する」を選択した場合、セキュリティグループのアウトバウンドルールはすべての ポートを開放します。カスタムセキュリティグループルールを選択した場合、アウトバウンドルールはデフォルト で「すべて拒否」となるので、対応するポートのアウトバウンドルールを許可にして、外部ネットワークリソー スにアクセスできるようにする必要があります。

一般的なユースケース

このドキュメントでは、セキュリティグループのいくつかの一般的なユースケースを紹介します。以下のケースが 要件を満たしている場合は、対応するユースケースの推奨設定に従ってセキュリティグループを直接設定できま す。

シナリオ1:SSH経由でLinux CVMにリモート接続する

事例:Linux CVMを作成し、SSH経由でCVMにリモート接続したい場合。

解決策:セキュリティグループルールの追加 を行うときに、「タイプ」で「Linuxログイン」を選択し、ソースが WebShellプロキシIPであるプロトコルポート22を開放し、LinuxSSHログインを許可します。

また、実際のニーズに応じて、すべてのIPを解放するか、またはIP(IPセグメント)を指定して、SSH経由で CVMにリモート接続できるIPソースを設定することもできます。

方向	タイ プ	ソース	プロト コル ポート	ポリ シー
インバ ウンド 方向	Linux ログ イン	すべてのIP:0.0.0.0/0 WebShellプロキシIP:詳細については、OrcatermプロキシIPア ドレスの置き換えに関する通知 をご参照ください IPの指定:指定するIPまたはIPセグメントを入力します	TCP:22	許可

シナリオ2: RDP経由でWindows CVMにリモート接続する

事例:Windows CVMを作成し、RDP経由でCVMにリモート接続したい場合。 解決策:セキュリティグループルールの追加 を行うときに、「タイプ」で「Windowsログイン」を選択し、ソー スがWebRDPプロキシIPのプロトコルポート3389を開放し、Windowsリモートログインを許可します。 また、実際のニーズに応じて、すべてのIPを解放するか、またはIP(IPセグメント)を指定して、RDP経由で CVMにリモート接続できるIPソースを設定することもできます。

方向	タイプ	ソース	プロトコル ポート	ポリ シー
インバウンド 方向	Windowsログ イン	すべてのIP:0.0.0.0/0 WebRDPプロキシIP: 81.69.102.0/24 106.55.203.0/24 101.33.121.0/24 101.32.250.0/24 IPの指定:指定するIPまたはIPセグメントを 入力します	TCP:3389	許可

シナリオ3:パブリックネットワークがCVMにpingできるようにする

事例: CVMを構築し、このCVMと他のCVM間の通信ステータスが正常であるかどうかをテストしたい場合。 **解決策**: pingプログラムを使用してテストを行います。手順は、セキュリティグループルールの追加 を行うとき に、「タイプ]で「Ping」を選択し、ICMPプロトコルポートを開放して、その他のCVMがICMPプロトコルを介し てCVMにアクセスすることを許可します。

また、実際のニーズに応じて、すべてのIPを解放するか、またはIP(IPセグメント)を指定して、ICMPプロトコ ルを介したCVMへのアクセスを許可するIPソースを設定することもできます。

方向	タイ プ	ソース	プロトコルポー ト	ポリ シー
インバウン ド	Ping	すべての IP:0.0.0.0/0 IPを指定:指定したIPまたはIPセグメントを入力 します	ICMP	許可

シナリオ4:Telnetを介してCVMにリモートログイン

事例:Telnetを介してCVMにリモートログインしたい場合。

解決策:Telnetを介してCVMにリモートログインする必要がある場合は、セキュリティグループルールの追加を 行うときに、以下のセキュリティグループのルールを設定する必要があります。

方向	タイプ	ソース	プロトコル ポート	ポリ シー

インバウンド	カスタマ	すべての IP:0.0.0.0/0	TCP:23	許可
方向	イズ	IPを指定:指定したIPまたはIPセグメントを 入力します		

シナリオ5:HTTPまたはHTTPSを介してWebサービスへのアクセスを開く

事例:お客様がウェブサイトを構築し、ユーザーにHTTPまたはHTTPSを介してお客様が構築したウェブサイト にアクセスしてほしい場合。

解決策:HTTPまたはHTTPSを介してCVMにアクセスする必要がある場合は、セキュリティグループルールの追加を行うときに、実際のニーズに応じて以下のセキュリティグループのルールを設定する必要があります。 パブリックネットワーク上のすべてのIPにこのウェブサイトへのアクセスを許可します

方向	タイプ	ソース	プロトコルポート	ポリシー
インバウンド	HTTP (80)	0.0.0/0	TCP:80	許可
インバウンド	HTTPS (443)	0.0.0/0	TCP:443	許可

パブリックネットワークの一部のIPアドレスがこのウェブサイトへのアクセスを許可します。

方向	タイプ	ソース	プロトコル ポート	ポリ シー
インバ ウンド	HTTP (80)	ウェブサイトへのアクセスが許可されているIPアドレスま たはIPアドレスセグメント	TCP:80	許可
インバ ウンド	HTTPS (443)	ウェブサイトへのアクセスが許可されているIPアドレスま たはIPアドレスセグメント	TCP:443	許可

シナリオ6:外部IPが指定ポートにアクセスすることを許可する

事例:業務をデプロイした後、指定されたサービスポート(例:1101)に外部からアクセスできるようにしたい 場合。

解決策: セキュリティグループルールの追加 を行うときに、「タイプ」で「カスタム」を選択し、プロトコル ポート1101を開放して、指定された業務ポートへの外部アクセスを許可します。

また、実際のニーズに応じて、すべてのIPを解放するか、またはIP(IPセグメント)を指定して、指定されたサービスポートのIPソースへのアクセスを許可することもできます。

方向	タイプ	ソース	プロトコル ポート	ポリ シー
インバウ ンド	カスタマ イズ	すべてのIP:0.0.0.0/0 IPを指定:指定したIPまたはIPセグメントを入 力します	TCP:1101	許可

シナリオ7:外部IPアドレスから指定したポートへのアクセスを拒否する

事例:業務をデプロイした後、指定されたサービスポート(例:1102)に外部からアクセスされないようにしたい場合。

解決策:セキュリティグループルールの追加を行うときに、「タイプ」で「カスタム」を選択し、プロトコル ポート1102を構成し、「ポリシー」を「拒否」に設定して、指定されたサービスポートへの外部アクセスを拒否 します。

方向	タイプ	ソース	プロトコル ポート	ポリ シー
インバウ ンド	カスタマ イズ	すべてのIP:0.0.0.0/0 IPを指定:指定したIPまたはIPセグメントを入 力します	TCP:1102	拒否

シナリオ8:CVMが特定の外部IPへのアクセスのみを許可

事例:CVMが特定の外部IPアドレスのみアクセスできるようにします。

ソリューション:以下の設定を参照し、次の2つのアウトバンドのセキュリティグループルールを追加します。 CVMインスタンスが特定の外部IPアドレスにアクセスできるようにします。

インスタンスが任意のプロトコルを介してパブリックIPアドレスにアクセスすることを禁止します。

ご注意:

アクセスを許可するルールは、アクセスを拒否するルールより優先する必要があります。

方向	タイプ	ソース	プロトコルポート	ポリ シー
アウトバ ンド	カスタマ イズ	CVMがアクセスできる特定のパブリック IPアドレス	必要なプロトコルと ポート	許可
アウトバ ンド	カスタマ イズ	0.0.0/0	ALL	拒否

シナリオ9:CVMが特定の外部IPにアクセスすることを拒否する

事例:CVMが外部の特定のIPアドレスにアクセスできないようにします。

解決策:次の構成を参照して、セキュリティグループルールを追加してください。

方向	タイプ	ソース	プロトコル ポート	ポリ シー
アウトバ ンド	カスタマ イズ	インスタンスからのアクセスを拒否する特定のパブ リックIPアドレス	ALL	拒否

シナリオ10:FTPを使用してファイルをアップロードまたはダウンロードする



事例:FTPソフトウェアを利用して、CVMにファイルをアップロードまたはダウンロードする場合。 解決策:次の構成を参照して、セキュリティグループルールを追加してください。

方向	タイプ	ソース	プロトコルポート	ポリシー
インバウンド	カスタマイズ	0.0.0/0	TCP:20-21	許可

複数シーンの組み合わせ

実際のシナリオでは、業務ニーズに応じて複数のセキュリティグループルールを設定する必要がある可能性があ ります。例えば、インバウンドルールまたはアウトバウンドルールを同時に設定します。CVM1台は、1つまたは 複数のセキュリティグループにバインドできます。CVMが複数のセキュリティグループにバインドされている場 合、複数のセキュリティグループが上から下に順番にマッチングが実行されます。セキュリティグループの優先度 はいつでも変更できます。セキュリティグループルールの優先度の説明については、ルールの優先度の説明 をご 参照ください。

サーバーの通常ポート

最終更新日:::2020-07-30 13:41:28

このドキュメントでは、サーバーでよく使うポートの説明です。Windowsにおけるより多くのサービスアプリ ケーションポートの詳細については、 Microsoft公式サイトのドキュメント(Windowsのサービス概要及びネット ワークポートの要件)をご参照ください。

ポート	サービス	説明
21	FTP	FTPサーバーでオーペンされているポート、アップロードとダウン ロードに使われます。
22	SSH	22ポートはSSHポートであり、通常のCommand Line Interfaceモード によるLinuxシステムサーバーへのリモート接続に使われています。
25	SMTP	SMTPサーバーでオーペンされているポート、メールの送信に使われ ています。
80	HTTP	サイトサービスに使われています。例えば、IIS、Apache、Nginx等 は外部アクセスを提供しています。
110	POP3	110ポートはPOP3(メールプロトコル 3)サービスのためにオーペ ンされています。
137、 138、139	NETBIOS プロトコ ル	ポート137および138は、マイネットワーク経由でファイルを転送す るためのUDPポートです。 139ポート:このポート経由で確立さ れた接続はNetBIOS/SMBサービスの取得を試します。このプロトコ ルは、WindowsおよびSAMBAでのファイルとプリンターの共有に使 用されます。
143	IMAP	143ポートは主に「Internet Message Access Protocol」v2(Internet メッセージアクセスプロトコルであり、IMAPと略称する)に使われ ており、POP3と同じように、電子メールを受信するためのプロト コルです。
443	HTTPS	Webブラウジング用のポートであり、暗号化とセキュリティポート を介した転送を提供できるもう1種のHTTPです。
1433	SQL Server	1433ポートはSQL Serverのデフォルトポートです。SQL Serverサー ビスはTCP-1433とUDP-1434の2つのポートを使っています。そのう ち、ポート1433はSQL Serverが外部サービスを提供するために使用 され、ポート1434はリクエスタに対してSQL ServerがどのTCP/IP ポートを使っているかを返信することに使われています。
3306	MySQL	3306ポートはMySQLデータベースのデフォルトポートであり、 MySQLは外部サービスを提供するために使われています。

3389	Windows Server Remote Desktop Services(リモート デスクトップサービ ス)	3389ポートはWindows Server リモートデスクトップのサービスポー トです。このポートを介して、「リモートデスクトップ」接続ツール でリモートサーバーに接続することができます。
8080	プロキシポート	8080ポートは80ポートと同様に、WWW プロキシサービスに使われ ています。特定のWebサイトにアクセスする場合、またはプロキシ サーバーを使う場合、よくURLに「:8080」ポート番号を追加しま す。また、Apache Tomcat Webサーバーがインストールされた後の デフォルトのサービスポートはポート8080です。

機密性の高い操作に対する保護機能を強化

最終更新日:::2023-05-15 11:03:07

概要

現在、CVMは機密性の高い操作に対する保護機能を提供しています。この機能を有効にしたら、機密性の高い操 作を実行する前に、身元確認を完了する必要があります。 機密性の高い操作に対する保護機能は、シャットダウン、再起動、VNCログイン、パスワードのリセット、インス タンスの終了、システムの再インストール、構成の調整、キーの読み込み、VPC の切り替えなど、アカウントリ ソースのセキュリティを効果的に保護することができます。

操作保護機能の有効化

セキュリティ設定コンソール で操作保護機能を有効にすることができます。 詳細については、Operation Protection をご参照ください。

操作保護の検証

操作保護機能が有効になっている場合は、機密性の高い操作を実行する前に、検証を完了する必要があります。 操作保護のために **多要素認証 (MFA)** が有効になっている場合、MFAデバイス上に表示される 6 桁の確認コードを 入力する必要があります。

操作保護のためにSMS認証が有効になっている場合、携帯電話宛てに送信されたSMSに記載のある確認コードを 入力する必要があります。

ログインパスワードの管理

最終更新日:::2023-05-15 11:38:05

概要

Cloud Virtual Machine のアカウントとパスワードは、CVM にログインするための資格情報です。本ドキュメント では、CVM にログインする時にパスワードを使用および管理する方法について説明します。

制限条件

パスワードを設定する場合、以下の制限条件を満たす必要があります:

Linux インスタンス:パスワードの長さは8~30文字で、12文字以上のパスワードを推奨し、「/」で始めること はできず、少なくとも3つの項目(英小文字 a~z 、英大文字 A~z 、数字 0~9 および記

号 () ~!@#\$%^&*-+=_|{}[]:;'<>,.?/)を含む必要があります。

Windows インスタンス:パスワードの長さは12~30文字で、「/」で始めることはできず、少なくとも3つの項目 (英小文字 a~z 、英大文字 A~z 、数字 0~9 および記号 () ~!@#\$%^&*-+=_|{}[]:;'<>,.?/)を 含む必要があり、ユーザー名を含むことができません。

操作手順

初期パスワードの設定

CVMの購入時に選択した構成方法が異なると、初期パスワードの設定も異なります。 カスタム設定によるインスタンスの作成:作成時に、初期パスワードの設定方法はログインモードによって異なり ます。

ログイン モード	説明
ランダムパ スワードの 生成	アカウントに関連付けられているメールアドレスとコンソールの サイト内メール に初期パス ワードのメッセージが送信されます。
キーの関連 付け	ユーザー名とパスワードによるログインは、デフォルトで無効になっています。パスワード を使用するには、CVMコンソールにログインして パスワードをリセット してください。
カスタムパ スワード	設定したパスワードが初期パスワードです。

パスワードの確認

システムによって自動生成されたランダムパスワードは、電子メールおよびコンソールの サイト内メール を通じ て送信されます。以下の操作はサイト内メールを例として説明します。

1. CVMコンソール にログインします。

2. 右上の

をクリックし、その製品情報を選択します。下図の通りです:

1000 • 10000 • 1000 • 1000 • 1000 • 1000 • 1000 • 1000 • 1000 • 1000 • 1	Billing Center - English -	Provident
	Message Center	Check More 🛛 🗙
<i>"</i>	EIP Idle Fee Incurred	*
	Product notificatio	2020-04-09 17:51:28
	[Tencent Cloud] CVM Crea	ted Successfully
	Product notificatio	2020-04-09 13:00:20
Bills	EIP Idle Fee Incurred	
	Product notificatio	2020-04-09 11:55:53
View More	Elastic IP Unbound	
	Product notificatio	2020-04-08 20:24:18
	[Tencent Cloud] CVM Crea	ted Successfully
leration Platform	Product notificatio	2020-04-08 20:24:17
	Tencent Cloud L CVM Crea	ted Successfully

この製品の情報画面にアクセスし、パスワードを確認できます。



[Tencent Cloud] CVM	/ Created Successful	ly 2020-04-09 17:51:28		De
	CVM Created Su Dear Tencent Cloud use Your (A sfully Server operating system ubuntu,the initial passwo	ICCESSFUIIY r,) CVM (1 in is TKE Ubuntu18 64 bits optimized ,th ord is :	n total) is created succes he default account is	
	Resource ID/Name	Resource Configuration	Status	
		Zone ap-guangzhou-3 Configuration D2/8Core/32GB/1Mbps System Disk CLOUD_PREMIUM/50GB	SUCCESS	

パスワードのリセット

詳細については、インスタンスパスワードのリセット をご参照ください。

SSHキーの管理

最終更新日:::2023-06-30 15:28:14

概要

このドキュメントでは、SSHキーの作成、バインド、バインド解除、変更、削除など、SSH キーペアを使用した インスタンスへのログインに関連する一般的な操作について説明します。

ご注意:

SSH キーは、シャットダウンされた CVM インスタンスにのみバインドまたはバインド解除できます。CVM イン スタンスをシャットダウンする方法については、 インスタンスのシャットダウン をご参照ください。

操作手順

SSHキーの作成

1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで SSHキー を選択します。

2. SSHキー管理画面で作成をクリックします。

3. 「SSHキーを作成」画面が表示されます。「SSHキーを作成」画面でキーを設定します。下図に示すように:

Create an SSH	key	×
Creation method	O Create a new key pair O Import existing public keys	
Key Name	1 - 25 characters. It can include letters, numbers :	
	25 more characters allowed	
Tag (Optional)	Tag key 🔻 Tag value 🔻	×
	+ Add	
i We will n key dow	not keep your private key information. Be sure to save the private nloaded after creation.	
	OK Cancel	

作成方法:

「新しいキーペアを作成します」を選択した場合は、キー名を入力してください。

「**既存の公開鍵を使用します**」を選択した場合は、キー名と既存の公開鍵情報を入力してください。

ご注意:

パスワードが必要ない公開鍵を使用する必要があります。そうしないと、コンソールでインスタンスにログインで きません。

キー名:名前をカスタマイズします。

タグ(オプション):必要に応じてキーのタグを追加できます。タグは、リソースの分類、検索、および集約に使用できます。 詳細については タグ をご参照ください。

4. **OK**をクリックすると、作成が完了します。

ご注意:

OKをクリックすると秘密鍵が自動的にダウンロードされます。Tencent Cloudは秘密鍵の情報を保管しませんの で、ご自身で大切に保管してください。秘密鍵が失われた場合は、キーを再作成して、対応するインスタンスに バインドできます。

インスタンスへのキーのバインド

1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで SSHキー を選択します。

2. 下図に示すように、「SSHキー」ページで、ターゲットキーの右側にある**インスタンスをバインドする**をク リックします。

SSH key All Projects 🔻				
New Delete				Separa
ID/name	Bound Instances	Tag (key:value)	Bound custom images	
	3	\diamond	0	

3. ポップアップウィンドウで、リージョンとターゲットCVMインスタンスを選択し、**バインド**をクリックしま す。

インスタンスからキーのバインドを解除

1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで SSHキー を選択します。

2. 下図に示すように、ターゲットキーの右側にあるインスタンスのバインドを解除するをクリックします。

SSH key All Projects 💌			
New Delete			Separ
ID/name	Bound Instances	Tag (key:value)	Bound custom images

3. ポップアップウィンドウで、リージョンとターゲットCVMインスタンスを選択し、バインド解除をクリックします。

SSHキーの名前または説明の変更

CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで SSHキー を選択します。
 SSHキー」ページで、キー名の右側にある

を選択します。下図に示すように:

SSH key All Projects 🔻			
New Delete			Separa
D/name	Bound Instances	Tag (key:value)	Bound custom images
	3		0

3. ポップアップウィンドウで、新しいキーの名前と説明を入力し、OKをクリックします。

SSHキーの削除

ご注意:

CVMインスタンスまたはカスタムイメージにバインドされているSSHキーは削除できません。 1. CVMコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーで SSHキー を選択します。

2. 「SSHキー」ページで、必要に応じてキーを個別または一括で削除することができます。

キーの個別削除

キーの一括削除

1. 下図に示すように、削除したいSSHキーの右側にある削除をクリックします。

SSH key All Projects 💌				
New Delete				Separate keywords with " ", and separate tags using the Enter k
ID/name	Bound Instances	Tag (key:value)	Bound custom images	Creation Time
	3		0	2023-03-31 10:58:55

2. 「削除」画面が表示されます。「削除」画面で**OK**をクリックします。

1. 削除するキーをすべて選択し、ページ上部にある削除をクリックしてキーを一括削除します。

2. 「削除」画面が表示されます。「削除」画面でOKをクリックします。下図のように:

選択したキーペアに削除できないキーペアが含まれている場合、この操作は削除可能なキーペアに対してのみ行 われます。

ID/Name	Operation
	Deletable
	Unable to delete: this key is bound with instance or custom image

関連操作

SSHキーを使用したLinux CVMへのログイン

- 1. SSHキーの作成。
- 2. インスタンスへのキーのバインド。
- 3. SSHキーを使用したLinuxインスタンスへのログイン。

キータグの編集

SSHキーのタグを追加、変更、および削除する方法については、次の手順を参照してください。タグの詳細については、タグをご参照ください。

1. 「SSHキー」ページでキーの右側にある**タグ編集**をクリックします。下図のように:

SSH key All Projects 🔻			
New Delete			Separat
ID/name	Bound Instances	Tag (key:value)	Bound custom images

2.「タグ編集」画面が表示されます。「タグ編集」画面で必要に応じて設定してください。
 3. OKをクリックします。
スプレッドプレイスメントグループ

最終更新日:::2023-05-15 17:35:42

シナリオ

このドキュメントでは、スプレッドプレイスメントグループを管理する方法について説明します。スプレッドプレ イスメントグループの詳細については、プレイスメントグループ をご参照ください。

操作手順

プレイスメントグループを作成する

1. CVMプレイスメントグループコンソール にログインします。

2. 新規作成をクリックします。

3. 表示されるダイアログボックスで、プレイスメントグループの名前を入力し、プレイスメントグループのレイ ヤーを選択します。

4. 【OK】ボタンをクリックして作成を完了します。

プレイスメントグループでインスタンスを起動する

1. CVM購入画面に移動します。

2. 画面の指示に従って、購入手続きを進めてください。

購入する際は、次の操作を実行してください。

CVMを設定する時、**詳細設定**をクリックし、インスタンスをスプレッドプレイスメントグループに追加するに チェックを入れ、既存のプレイスメントグループを選択します。

既存のプレイスメントグループが適切でない場合、コンソールで プレイスメントグループを作成 できます。 構成情報を確認する際、このプレイスメントグループに追加する必要のあるインスタンスの総数を入力します。こ の総数はプレイスメントグループにより定められた上限を超えることはできません。

インスタンスのプレイスメントグループを変更する

説明:

現在、プレイスメントグループの名前変更のみがサポートされています。

1. CVMプレイスメントグループコンソール にログインします。

2. ターゲットプレイスメントグループのIDまたは名前にマウスカーソルを合わせて、

をクリックします。

3. 表示されるダイアログボックスで、新しい名前を入力します。
 4. OKボタンをクリックすると変更が完了します。

プレイスメントグループを削除する

説明:

プレイスメントグループを置き換える必要がある場合、またはプレイスメントグループが不要になった場合は、 削除できます。削除する前に、このプレイスメントグループで実行されているすべてのインスタンスを終了する必 要があります。

1. CVMプレイスメントグループコンソール にログインします。

2. 削除するプレイスメントグループの行で、**インスタンス数**をクリックし、インスタンス管理画面に進み、プレ イスメントグループ内のすべてのインスタンスを終了します。

3. プレイスメントグループコンソールに戻り、削除するプレイスメントグループを選択して、削除をクリックします。

4. 表示されるダイアログボックスで、**OK**をクリックすると、削除が完了します。

プレースメントグループを単一または一括で削除できます。

25番ポートのブロック解除

最終更新日:::2023-05-15 16:51:57

概要

このドキュメントでは、25番ポートのブロック解除方法について説明します。

注意事項

各Tencent Cloudアカウントは、最大で5つのインスタンスのポートのブロックを解除できます。 サードパーティのSMTPサーバーに接続して電子メールを送信する場合は、必ず25番ポートのみを使用してくだ さい。SMTPプロトコルを使用してCVM経由で直接メールを送信していることが判明した場合は、Tencent Cloud はTCPポート25番を永久にブロックし、関連するサービスの提供を停止または終了する権利を有します。

操作手順

1. Tencent Cloud コンソールにログインします。

2. 右上隅にあるアカウント名をクリックし、安全管理を選択します。

3. 左側のサイドバーで、「Unblock port 25」をクリックして、25番ポートのブロック解除ページに進みます。

4. 「Apply for unblocking port 25」をクリックします。

5. ブロックを解除する必要があるリージョンとCVMインスタンスを選択します。「I have read and accepted "Port 25 Protocol"」にチェックを入れます。下の図に示すように:

説明:

25番ポートのブロックを解除する前に、現在のアカウントのブロック解除クォータを使い切っていないことを確認してください。「Application for Unblocking TCP Port 25」画面の左下で残りのクォータを確認できます。

are restricted maximum of	er to improve the performance f I from accessing the external TC 5 unblocking operations are all	or sending e P Port 25 by owed for ead	mails from Tencent Cloud IP addresses, your CVM default. You can apply for unblocking your CVMs :h account.	1s A
elect Region	South China (Guangzhou)		·	
Select a CVM			Selected(1)	
Search CVM		Q,	in	×
			Ur	~
	1			
		←	>	
fotal: 3 item(s)	H d 1/1 -	b bi		
s can s recin(s)	1/1 *			

6. **OK**をクリックしてブロックを解除できます。

タグ タグを使用したインスタンスの管理

最終更新日:::2023-05-15 17:50:19

概要

タグは、リソースを簡単に識別できるようにTencent Cloudが提供するキーと値のペアです。タグを使用すると、 さまざまな方面(例えばサービス、目的、担当者など)からCVM リソースを簡単に管理および分類できます。 Tencent Cloudはユーザーが設定したタグを使用しません。タグはCVMリソースを管理するためにのみ使用されま す。

使用制限

タグを使用する場合、次の制限に注意してください。

数量制限:各クラウドリソースは、最大 50 個のタグを適用できます。

タグキーの制限:

タグキーは、 qcloud 、 tencent 、または project で始めることはできません。

タグキーの長さは最大255文字で、数字、アルファベットと+=.@-のみ使うことができます。

タグ値には、最大127文字の数字、アルファベット、+=.@-を含めることができます。必要に応じて空のままにす ることができます。

操作方法とユースケース

ユースケース

ある企業が6つのCVM インスタンスを購入した場合、これらの6つのインスタンスの使用部門、業務範囲、担当者 に関する情報は次のとおりです。

インスタンス instance-id	使用部門	業務範囲	担当者
ins-abcdef1	Eコマース	マーケティングキャンペーン	張三
ins-abcdef2	Eコマース	マーケティングキャンペーン	王五
ins-abcdef3	ゲーム	ゲーム A	张四
ins-abcdef4	ゲーム	ゲームB	王五

ins-abcdef5	エンターテインメント	ポストプロダクション	王五
ins-abcdef6	エンターテインメント	ポストプロダクション	張三

ins-abcdef1 を例として、このインスタンスに次のタグを追加できます:

タグキー	タグ値
dept	ecommerce
business	mkt
owner	zhangsan

同様に、他のインスタンスも、使用部門、業務範囲、担当者の違いによって対応するタグを設定できます。

CVM コンソールでタグを設定する

上記のケースを例として、タグキーとタグ値の設定が完了した後、CVMコンソールにログインしてタグを設定で きます。

1. CVMコンソール にログインします。

2. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します。

リストビュー

タブビュー

下図のように、タグを編集したいインスタンスを選択し、さらに>インスタンス設定>タグ編集をクリックします。

Create Start Up Separate keywords with " ", and	Shutdow d separate tag	n Restart is using the Enter ke	Reset Passwor	rd More Actions	T	Q View instances pe	ending repossession		
D/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🤅	Primary IPv6	Instance Billing Mod 🔻	Network Billing Mo
	di	🐼 Running	Shanghai Zone 4		122		-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffic
	di	Running	Shanghai Zone 4	•	15	1000	٢	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill Rename Export Instances Edit Tags
Total items: 2									Bind/Modify a R Assign to Projec
									Manage Instance

下図のように、タグを編集したいインスタンスを選択し、右上コーナーのその他の操作>インスタンス設定>タグ 編集をクリックします。



as-test1	• as-test2			
	Running			Log In Shutdow
The initia	I login name for this CVM is root. You can check the initial login password in	heMessage Center,Reset the password if you forgot it.		
Instance ID		Instance Configuration		
Instance ID		Instance Configuration		
Instance ID Availability Zone		Instance Configuration Operating System		
Instance ID Availability Zone IP		Instance Configuration Operating System Creation Time	2021-01-08 19:00:29	
Instance ID Availability Zone IP Instance Billion Mode		Instance Configuration Operating System Creation Time	2021-01-08 19:00:29	

3. 下図のように、表示される「you have selected 1 resource」ウィンドウで、タグを設定します。 例えば、3つのタグキーと値のペア を ins-abcdef1インスタンスに追加できます。

Edit Tags The tag is used to tag does not meet	manage resour your requireme	ces by categ	ory from diffe	erent dimensi e Tags 🗳	ons. If the existin
1 resource selected	1				
	Ŧ			*	×
-		110			×
	×				×
+ Add					
				1	

4. OKをクリックします。編集が成功したことを示すメッセージが表示されます。

タグキーを使用してインスタンスをフィルタリングする

タグキーでインスタンスをフィルタリングするには、次の手順に従います。

- 1. 検索ボックスで、タグキーを選択します。
- 2. タグキー:の後にタグキーを入力し、

Q をクリックして検索を実行します。

タグキーを複数同時に指定してインスタンスをフィルタリングすることができます。たとえば、検索ボックスにタ グキー: key1|key2 と入力して、タグキーkey1または key2 にバインドされているインスタンスをフィルタリングで きます。

タグ編集

最終更新日:::2023-05-16 09:40:56

概要

このドキュメントでは、リソースのタグを編集する方法について説明させていただきます。

使用制限

タグの編集にはいくつかの制限事項があります。

数量制限:各クラウドリソースは、最大 50 個のタグを適用できます。

タグキーの制限:

タグキーは、 qcloud 、 tencent 、または project で始めることはできません。

タグキーには、 数字 、 アルファベット と +=.0- のみを含めることができます。 長さは255文字を超えることはできません。

タグ値の制限:タグ値には、最大127文字の数字、アルファベット、+=.@-を含めることができます。必要に応じて空のままにすることができます。

前提条件

CVMコンソール にログインしました。

操作手順

個々のインスタンスのタグ編集

複数インスタンスのタグ編集

1. インスタンスの管理画面で、実際に使用されているビューモードに従って操作します

リストビュー:下図のように、タグを編集したいインスタンスを選択し、**さらに > インスタンス構成 > タグ編集** をクリックします。

Create Start Up	Shutdow	/n Restart	Reset Passwor	d More Actions 🛪	·					
Separate keywords with " ", and	d separate tag	s using the Enter ke				Q. View instances p	pending repossession			
ID/Name	Monitori ng	Status T	Availability Z 🔻	Instance Type T	Instance Configuration	Primary IPv4 🤅	Primary IPv6	Instance Billing Mod $ ilde{ extsf{T}}$	Network Billing Mod T	Proj
	di	阏 Running	Shanghai Zone 4		122	100	-	Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:29	Bill by traffic	Defa
	di	🛞 Running	Shanghai Zone 4	•	15	1000		Pay-as-you-go Created at 2021-01-08 19:00:28	Bill Rename Export Instances Edit Tags	
Total items: 2									Bind/Modify a Role Assign to Project	
									Manage Instance Place Migrate to CDH	ement (

タブビュー:下図のように、タグを編集したいインスタンスを選択し、画面の右上隅にあるその他の操作 > イン スタンス構成 > タグ編集をクリックします。

as-test1	• as-test2			
	Running		Log In	Shutdown Restart Rese
The initial	login name for this CVM is root. You can check the initial login password	in the Message Center, Reset the password if you forgot it.		
Instance ID		Instance Configuration		Rename
Availability Zone		Operating System		Export Instances
IP		Creation Time	2021-01-08 19:00:29	Edit Tags
				Bind/Modify a Role
				Assign to Project
Instance Billing Mode				Manage Instance Placemen
Instance Billing Mode				

2. 表示されるダイアログボックスで、実際のニーズに応じてタグを追加、変更、または削除できます。 説明:

一度に最大20個のリソースタグを編集できます。

1. 下図のように、インスタンスの管理画面で、タグを編集したいインスタンスを選択し、上部のその他の操作> タグ編集をクリックします。

Create Start U	p Shutdov	wn l	Restart Reset Password	More Actions 🔻		
Separate keywords with "	", and separate tag	gs using the l	Enter key	Terminate/Return		Q,
			Rename	Instance Settings	•	
✓ ID/Name	Monitori ng	Status]	Export Instances	Load a Key	ration	Primary
			Edit Tags	Resource Adjustment	•	
	di	🐼 Runr	Bind/Modify a Role	Add to Security Group	lisk.	
			Delete a Role			
			Assign to Project			
~	di	🐼 Runr	Manage Instance Placement Group			
			Migrate to CDH		n	

2. 表示されるダイアログボックスで、実際のニーズに応じてタグを追加、変更、または削除できます。

参照ドキュメント

タグの使用方法については、タグでインスタンスを管理する をご参照ください。

監視とアラーム インスタンスの監視データを取得する

最終更新日:::2023-02-24 15:36:24

操作シナリオ

Tencent Cloudは、デフォルトではすべてのユーザーにクラウド監視機能を提供し、ユーザーが手動でアクティブ 化する必要がありません。クラウド監視にデータの収集と監視を開始させるには、ユーザーはいずれかのTencent Cloud製品を使用する必要があります。このドキュメントでは、インスタンスを取得してデータを監視する方法に ついて説明します。

操作手順

クラウド製品コンソールを介して取得する

クラウド監視コンソールを介して取得する

APIを介して取得する

説明:

CVMに搭載されているコンソールに個別の監視データ読み取り機能ページが提供されています。 このページで は、ユーザーはCVMインスタンスのCPU、メモリ、ネットワーク帯域幅、ディスク、その他の監視データを表示 でき、表示期間を自由に調整できます。

1. CVMコンソール にログインします。

- 2. インスタンス管理ページで、監視データを表示するのインスタンスIDをクリックして、対象インスタンスの詳細ページに入ります。
- 3. [監視]タブをクリックして、インスタンスの監視データを取得します。

説明:

クラウド監視コンソールは、すべての製品監視データの統合エントリーであり、ユーザーは、CVMのCPU、メモリ、ネットワーク帯域幅、ディスクなどの監視データを表示し、表示期間を自由に調整できます。

1. クラウド監視コンソール にログインします。

2. 左側のナビゲーションツリーで、[クラウド製品監視]> [CVM]を選択して、[CVM-基本監視]管理ページに入ります。

3. 監視データを表示するのインスタンスIDをクリックして、監視の詳細ページに入り、インスタンス監視データ を取得します。

ユーザーは、GetMonitorDataインターフェースを使用して、すべて製品の監視データを取得できます。詳細については、指標監視データの取り込みをご参照ください。



アラームの作成

最終更新日:::2022-07-27 14:42:35

操作シナリオ

Basic Cloud MonitorでサポートされているCVMリソースのパフォーマンス消費系のインジケータにしきい値ア ラームを設定することができます。また、CVMインスタンスまたはプラットフォームの基盤となるインフラスト ラクチャのサービスステータスに、イベントアラームを設定することもできます。異常が発生した場合は、メー ル、Short Message Service、電話などのチャネルを通じて、講じる対策について速やかにお知らせします。ア ラームを適切に作成すると、アプリケーションの堅牢性と信頼性を向上させることができます。ここでは、アラー ムの作成方法についてご説明します。アラームの関連情報については、アラームポリシーの新規作成 をご参照く ださい。

操作手順

1. Basic Cloud Monitorコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**アラーム設定 > アラームポリシー** を 選択します。

2. 「アラームポリシー」ページで、新規作成をクリックします。

3. ポップアップした「アラームポリシーの新規作成」ウィンドウで、下表に基本情報、アラームルールおよび通知テンプレートの新規作成の設定について説明しておりますので、ご参照ください。

設定タ イプ	設定項目	説明
	ポリシー名	カスタムポリシー名です。
	備考	カスタムポリシーの備考です。
++	監視タイプ	クラウド製品の監視タイプをサポートします。
奉平情報	ポリシータイ プ	監視する必要のあるクラウド製品のポリシータイプを選択します。
	ポリシーが属 するプロジェ クト	属するプロジェクトを設定すると、アラームポリシーリストにおけるプロジェ クトの下にあるアラームポリシーをすばやくフィルタリングできます。
設定ア ラーム ルール	アラームオブ ジェクト	インスタンスIDを選択すると、このアラームポリシーが選択したインスタンス にバインドされます。

			タグを選択すると、このアラームポリシーがタグの下のすべてのインスタンス にバインドされます。 インスタンスグループを選択すると、このアラームポリシーが選択したインス タンスグループにバインドされます。 すべてのオブジェクトを選択すると、このアラームポリシーは、現在のアカウ ントに権限があるすべてのインスタンスにバインドされます。
		手動構 成(イ ンジ ケーラ ム)	アラームトリガー条件:インジケータ、比較関係、しきい値、統計周期および 持続周期で構成されるセマンティック条件です。トリガー条件の詳細を展開 し、チャートのインジケータの変化傾向に応じて、適切なアラームしきい値を 設定できます。
	トリ ガー 条件 ベア ム テレの	手動構 成(イ ベント アラー ム)	クラウド製品リソースまたは基盤となるインフラストラクチャサービスに異常 が発生した場合、イベントアラームを作成して、講じる対策について速やかに お知らせすることができます。
		テンプ レート の選択	テンプレートボタンを選択し、ドロップダウンリストから構成済みテンプレートを選択します。具体的な構成については、トリガー条件テンプレートの構成 をご参照ください。
構成ア ラーム 通知 オプ ショ ン)	通知テ レート	ンプ	システムプリセットの通知テンプレートはデフォルトでバインドされています (受信者はルートアカウント管理者であり、受信チャネルはShort Message Serviceとメールです)。各アラームポリシーは、最大3つの通知テンプレート にのみバインドできます。通知テンプレートの構成の詳細については、通知テ ンプレートをご参照ください。

4. 入力が完了したら、**完了**をクリックすればOKです。

Cloud Access Managementの例

最終更新日:::2022-05-26 18:53:47

操作シナリオ

Cloud Access Management (CAM) ポリシーを利用して、Cloud Virtual Machine (CVM) のコンソールで特定リ ソースの確認・利用権限をユーザーに付与します。本ドキュメントは特定リソースの確認・利用権限を例として、 コンソールの特定部分のポリシーの利用方法をユーザーに提供します。

操作事例

CVM の完全な読み書きポリシー

CVM インスタンスを作成・管理する権限をユーザーに持たせることを希望する場合、このユーザーに QcloudCVMFullAccess のポリシーを利用させます。このポリシーはユーザーに CVM、VPC(Virtual Private Cloud)、CLB(Cloud Load Balance)と MONITOR のすべてのリソースの操作権限を持たせることにより、この 目標を達成します。

具体的な操作手順は下記の通り:

権限付与管理 を参照して、プリセットポリシー QcloudCVMFullAccess をユーザーに認証します。

CVM の読取専用ポリシー

ユーザーに CVM インスタンスのクエリー権限を持たせて作成、削除、起動/シャットダウン権限を持たせないこ とを希望する場合、ユーザーにQcloudCVMInnerReadOnlyAccess のポリシーを利用させます。このポリシーは ユーザーに別々で次の操作によって目標を達成します、CVMですべて単語「Describe」を始まる操作とすべて単 語「Inquiry」を始まる操作に操作権限を持たせます。具体的な操作手順は下記の通り:

権限付与管理を参照して、プリセットポリシー QcloudCVMInnerReadOnlyAccess をユーザーに認証します。

CVM 関連リソースの読取専用ポリシー

ユーザーに CVMインスタンス及び関連リソース(VPC、CLB)へのクエリー権限だけ持たせて作成、削除、起動/ シャットダウンなど操作権限を持たせないことを希望する場合、このユーザーにQcloudCVMReadOnlyAccess の ポリシーを利用させます。このポリシーはユーザーに次の操作権限を持たせることにより、この目標を達成しま す。

CVM で単語「Describe」を始まるすべての操作と単語 「Inquiry」を始まるすべての操作。

VPC で単語 「Describe」を始まるすべての操作、単語 「Inquiry」を始まるすべての操作と単語 「Get」を始まる すべての操作。

CLB で単語「Describe」を始まるすべての操作。



Monitor ですべての操作。

具体的な操作手順は下記の通り:

権限付与管理 を参照して、プリセットポリシー QcloudCVMReadOnlyAccess をユーザーに認証します。

Elastic Cloud Block Storage関連のポリシー

CVM コンソールのCloud Block Storage情報を表示できるようにし、CBSの作成・利用などの権限をユーザーに持たせることを希望する場合、まず下記の操作をポリシーに追加してから、またこのポリシーをユーザーに関連することによって実現できます。

CreateCbsStorages:CBSを作成します。

AttachCbsStorages:指定されたElastic CBSを指定されたCVMにマウントします

DetachCbsStorages:指定されたElastic CBSをアンマウントします。

ModifyCbsStorageAttributes:指定されたCBSの名称或いは項目 ID を修正します。

DescribeCbsStorages:CBSの詳細情報をクエリーします。

DescribeInstancesCbsNum: CVMにマウント済のElastic CBSの数量とマウントできるElastic CBS数量の合計を クエリーします。

RenewCbsStorage:指定されたElastic CBSを更新します。

ResizeCbsStorage:指定されたElastic CBSをスケールアウトします。

具体的な操作手順は下記の通り:

1. ポリシーに基づいて、CVM コンソール内のCBS情報を確認するとCBSを作成・利用するなどの権限のカスタマ イズポリシーを作成します。

ポリシー内容は下記のポリシー文法を参照して設定できます:





```
],
"resource": [
"qcs::cvm::uin/1410643447:*"
]
}
]
}
```

2. 作成したポリシーを検索し、このポリシー行の「操作」列で、ユーザ/グループの関連をクリックします。
 3.ポップアップされた「ユーザー/ユーザグループの関連」ウィンドウで、権限付与必要なユーザ/グループを選択し、OKをクリックします。

セキュリティグループの関連ポリシー

ユーザーがCVM コンソールのセキュリティグループを確認・利用できることを希望する場合、下記の操作をポリ シーに追加してから、このポリシーをユーザーに関連することによって実現できます。

DeleteSecurityGroup: セキュリティグループを削除します。

ModifySecurityGroupPolicys: セキュリティグループのすべてのポリシーを置き換えます。

ModifySingleSecurityGroupPolicy: セキュリティグループの単一ポリシーを修正します。

CreateSecurityGroupPolicy: セキュリティグループポリシーを作成します。

DeleteSecurityGroupPolicy: セキュリティグループポリシーを削除します。

ModifySecurityGroupAttributes:セキュリティグループの属性を修正します。

具体的な操作手順は下記の通り:

1. ポリシー に基づいて、ユーザーが CVM コンソールでセキュリティグループの作成、削除、修正などの権限を 持つことを可能にするのカスタマイズポリシーを作成します。

ポリシー内容は下記のポリシー文法を参照して設定できます:





```
{
    "version": "2.0"、
    "statement": [
        {
            "action": [
                "name/cvm:ModifySecurityGroupPolicys"、
                "name/cvm:ModifySingleSecurityGroupPolicy"、
                "name/cvm:CreateSecurityGroupPolicy"、
                "name/cvm:DeleteSecurityGroupPolicy",
                "name/cvm:DeleteSecurityGroupPolicy",
                "name/cvm:DeleteSecurityGroupPolicy",
                "name/cvm:ModifySingleSecurityGroupPolicy",
                "name/cvm:CreateSecurityGroupPolicy",
                "name/cvm:DeleteSecurityGroupPolicy",
                "name/cvm:DeleteSecurityGroupPolicy",
```

```
"effect": "allow"
}
]
}
```

2. 作成したポリシーを検索し、このポリシー行の「操作」列で、ユーザ/グループの関連をクリックします。
 3. ポップアップされた「ユーザー/ユーザグループの関連」ウィンドウで、権限付与必要なユーザ/グループを選択し、OKをクリックします。

Elastic IPアドレスの関連ポリシー

ユーザーが CVM コンソールでElastic IPアドレスを確認・利用できることを希望する場合、まず下記の操作をポリ シーに追加してから、このポリシーをユーザーに関連することによって実現できます。

AllocateAddresses:アドレスを VPC 又は CVM にアサインします。

AssociateAddress: Elastic IPアドレスをインスタンス或いはネットワークインターフェースに関連します。

DescribeAddresses: CVM コンソールのElastic IP アドレスを確認します。

DisassociateAddress: Elastic IPアドレスは、インスタンス或いはネットワークインターフェースの関連を取り 消します。

ModifyAddressAttribute: Elastic IPアドレスの属性を修正します。

ReleaseAddresses: Elastic IPアドレスを解除します。

具体的な操作手順は下記の通り:

1. ポリシーに基づいて、カスタマイズポリシーを作成します。

このポリシーはユーザーが CVM コンソールでElastic IPアドレスをを表示でき、インスタンスにアサインするこ と、インスタンスを関連することを許可しますが、Elastic IPアドレスの属性を修正したり、Elastic IPアドレスの 関連を解除したり、Elastic IPアドレスの権限をリリースしたりすることはできません、ポリシー内容は下記のポ リシー文法を参照して設定できます:





```
{
    "version": "2.0",
    "statement": [
        {
            "action": [
               "name/cvm:DescribeAddresses",
               "name/cvm:AllocateAddresses",
               "name/cvm:AssociateAddress"
        ],
            "resource": "*",
            "effect": "allow"
```

] }

2. 作成したポリシーを検索し、このポリシー行の「操作」列で、ユーザ/グループの関連をクリックします。
 3. ポップアップされた「ユーザ/ユーザグループの関連」ウィンドウで、権限付与必要なユーザ/グループを選択し、OKをクリックします。

ユーザーに特定 CVM への操作権限を付与するポリシー

ユーザーに特定 CVM への操作権限を付与することを希望する場合、下記のポリシーをユーザーに関連することに よって実現できます。具体的な操作手順は下記の通り:

1. ポリシーに基づいて、カスタマイズポリシーを作成します。

このポリシーはユーザーに ID が ins-1、リージョンが広州 のCVM インスタンスへの操作権限を持たせることを許可します。ポリシー内容は下記のポリシー文法を参照して設定できます:





2. 作成したポリシーを検索し、このポリシー行の「操作」列で、ユーザ/グループの関連をクリックします。
 3. ポップアップされた「ユーザ/ユーザグループの関連」ウィンドウで、権限付与必要なユーザ/グループを選択し、OKをクリックします。

ユーザーに特定リージョンのCVM への操作権限を付与するポリシー

ユーザーに特定リージョンの CVM への操作権限を付与することを希望する場合、下記のポリシーをユーザーに関 連することによって実現できます。具体的な操作手順は下記の通り:

1. ポリシー に基づいて、カスタマイズポリシーを作成します。

このポリシーはユーザーに広州リージョンの CVM への操作権限を持たせることを許可します、ポリシー内容は下 記のポリシー文法を参照して設定できます:





```
{
    "version": "2.0",
    "statement": [
        {
            "action": "cvm:*",
            "resource": "qcs::cvm:ap-guangzhou::*",
            "effect": "allow"
        }
    ]
}
```

2. 作成したポリシーを検索し、このポリシー行の「操作」列で、ユーザ/グループの関連をクリックします。
 3. ポップアップされた「ユーザ/ユーザグループの関連」ウィンドウで、権限付与必要なユーザ/グループを選択し、OKをクリックします。

サブアカウントに CVM のすべての権限を(支払い権限以外)付与する

仮に、企業アカウント(CompanyExample, ownerUin が12345678)が一つのサブアカウント(Developer)があ ります。このサブアカウントが企業アカウントのCVM サービスに対するすべての権限(例え作成、管理などすべ ての操作)を持たせることが必要であり、ただし支払い権限は含めません(注文できるが支払いできません)。 下記の二つのソリューションによって実現します:

ソリューションA

企業アカウント CompanyExample は直接プリセットポリシー QcloudCVMFullAccess をサブアカウント Developer に付与します。権限付与方式は 権限付与管理 をご参照ください。

ソリューションB

1.1 下記のポリシー文法に基づいて、カスタマイズポリシーを作成します。





```
{
    "version": "2.0",
    "statement":[
        {
            "effect": "allow",
            "action": "cvm:*",
            "resource": "*"
        }
]
}
```

1.2 このポリシーをサブアカウントに付与します、権限付与方式は権限付与管理をご参照ください。

サブアカウントにプロジェクト管理の操作権限を付与する

仮に、企業アカウント(CompanyExample, ownerUin 为12345678)は一つのサブアカウント(Developer)があ ります。プロジェクトを基づいてサブアカウントにコンソールでリソース管理権限を付与する必要があります。 具体的な操作手順は下記の通り:

1. 業務権限に基づいてプロジェクト管理のカスタマイズポリシーを作成します

詳細情報は ポリシー をご参照ください。

2. 権限付与管理を参照して、作成したカスタマイズポリシーをサブアカウントに付与します。

サブアカウントがプロジェクトを管理する時に、権限なしの提示があった場合は、例えば、スナップショット、イ メージ、VPC、Elasticパブリックネットワーク IP などの製品を確認する時に権限なしを提示されました。サブア カウントに QcloudCVMAccessForNullProject、QcloudCVMOrderAccess と QcloudCVMLaunchToVPC のプリセッ トポリシーを付与できます。権限付与方式は権限付与管理をご参照ください。

カスタマイズポリシー

プリセットポリシーが要件を満たせないと予測した場合、カスタマイズポリシーを作成することによって目標を 達成します。

具体的な操作手順は ポリシー をご参照ください。

CVM関連のポリシー文法の詳細については、権限付与ポリシー文法 をご参照ください。。